

**令和2年度**

**主要な施策の成果説明書**



**長野県白馬村**

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 233 条第 5 項の規定に基づき、令和 2 年度決算に係る主要な施策の成果説明書を次のとおり提出する。

令和 3 年 9 月

白馬村長 下 川 正 剛

# 目 次

## 一 般 会 計

### 総 括

総括並びに資料 .....	6
---------------	---

### 成果の説明

#### 議 会 費

議会事務事業 .....	22
--------------	----

#### 総 務 費

職員健康管理事業 .....	24
職員研修事業 .....	25
人事評価制度運用支援事業 .....	26
例規管理支援事業 .....	27
交通災害共済保険事業 .....	28
消費者行政活性化事業 .....	29
人事給与システム事業 .....	30
財産管理事業 .....	31
交通安全対策事業 .....	32
防犯対策事業 .....	33
姉妹都市提携事業 .....	34
企画一般事業 .....	35
情報化対策事業 .....	36
広報事業 .....	37
コミュニティ推進事業 .....	38
ケーブルテレビ白馬管理運営事業 .....	39
ふるさと納税事業 .....	40
移住交流集落支援事業 .....	41
特別定額給付金事業 .....	42
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業（高校支援） .....	43
会計管理事業 .....	45
電算事業 .....	46
景観形成事業 .....	47
地球温暖化対策事業 .....	48
コンビニ収納導入業務 .....	49
地番図更新等業務 .....	50
白馬村土地評価替業務 .....	51

	外国人データベースシステム等業務	52
	戸籍住民基本台帳事業	53
	選挙管理委員会事業	57
	明正選挙推進事業	58
	国勢調査事業	59
	監査事業	60
	スノーハープ維持管理事業	61
	白馬ジャンプ競技場維持管理事業	62
	スポーツ振興事業	63
	ナショナルトレーニングセンター事業 (NTC)	64
民 生 費		
	社会福祉総務事業	65
	老人福祉事業	67
	介護予防・地域支え合い事業	69
	乗合タクシー運行事業	70
	権利擁護事業	71
	高齢者移動支援事業	72
	心身障害福祉事業	73
	地域生活支援事業	75
	保健福祉ふれあいセンター維持管理事業	76
	社会福祉施設事業	77
	介護保険事業	78
	地域包括支援センター・地域支援事業	79
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 (社会福祉)	80
	住民総務事業	81
	住民国保事業	82
	後期高齢者医療事業	83
	福祉医療費給付事業	84
	児童福祉総務事業	85
	放課後児童クラブ事業	86
	放課後子ども教室事業	87
	児童手当等給付事業	88
	児童手当等給付事業 (その他)	89
	子育て世帯への臨時給付金事業	91
	子育て支援事業	92
	しろうま保育園運営事業	95
	子育て支援ルーム運営事業	98
	国民年金業務事業	100
衛 生 費		
	環境衛生事業	101

狂犬病予防対策事業	102
公衆トイレ管理事業	103
合併処理浄化槽整備事業	104
A. 保健予防事業	105
1 予防接種事業（成人・高齢者）	106
2 健康増進事業	107
3 その他の保健事業	108
B. がん検診推進事業	112
新型コロナウイルスワクチン接種体制整備事業	113
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業（保健予防）	114
母子健康事業	115
母子保健衛生事業	118
医療対策事業	119
スキー傷害診療事業	120
塵芥処理事業	121
し尿処理事業	126
農 林 業 費	
農業委員会事業	127
農業総務事業	129
農業振興事業	130
産地づくり対策事業	132
中山間地域等直接支払事業	133
特産品事業	134
農地集積協力金交付事業	135
農業次世代人材投資事業	136
多面的機能支払交付金事業	137
村単土地改良事業	138
農業基盤整備促進事業	139
奈良井湿原保全事業	140
地域用水機能増進事業	141
ほ場整備事業	142
林業振興・林道維持補修事業	143
森林整備事業	144
森のエネルギー推進事業	145
有害鳥獣被害対策事業	146
森林経営管理制度推進事業	147
地籍調査事業	148
観 光 商 工 費	
観光総務事業	149
長野県観光協会事業	150

	平地観光施設管理事業	151
	山岳観光施設維持補修事業	152
	山岳感染対策支援事業	153
	2 1 観光戦略事業	154
	海外観光客受皿整備事業	157
	ゆるきゃら活用事業	158
	サイクルツーリズム事業	159
	地方創生推進交付金事業（観光）	160
	観光割引クーポン発行支援事業	163
	観光安全浄化対策事業	165
	道の駅白馬振興事業	166
	遭難対策事業	167
	商工振興事業	168
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業（商工費）	169
	地域支え合いプラスワン消費促進事業	171
土 木 費		
	土木総務事業	172
	道路橋梁総務事業	173
	道路維持補修事業	174
	除雪事業	175
	村道改良国庫補助事業	176
	村道改良国庫補助事業（繰越）	177
	村道改良起債事業	178
	村道改良単独事業	179
	交通安全施設整備事業	180
	河川総務事業	181
	都市計画事業	182
	立地適正化計画策定事業	183
	都市公園維持管理事業	184
	村営住宅管理事業	185
	克雪住宅普及促進事業	186
消 防 費		
	非常備消防事業	187
	常備消防事業	188
	消防施設管理事業	189
	防災事業	190
教 育 費		
	教育委員会総務事業	191
	教育委員会事務局一般事業	192
	教育相談事業	193

学校環境整備事業	194
南小・北小 学校管理事業	195
南小学校教育振興事業	196
北小学校教育振興事業	197
スクールバス運行事業	198
中学校管理事業	199
中学校教育振興事業	200
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業（教育総務費）	201
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業（学校管理費）	202
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業（教育振興費）	203
社会教育一般事業	204
公民館一般事業	205
図書館事業	206
文化財保護事業	207
伝統的建造物群保存事業	208
保健体育一般事業	209
体育施設維持管理事業	210
ウイング21維持管理事業	212
学校給食事業センター事業	213
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業（学校給食費）	216
災害復旧費	
現年発生災害復旧事業（繰越）	217
公債費	
公債元金事業	218
公債利子事業	219
諸支出金	
基金事業	220
<b>特別会計</b>	
白馬村国民健康保険事業勘定特別会計	221
白馬村後期高齢者医療特別会計	227
白馬村農業集落排水事業特別会計	231

## 総 括

令和2年度決算状況がまとまりましたので、決算書の補足説明資料として本書を作成しました。

本書の構成は以下のとおりです。

- ・会計ごとに区分して作成しています。(一般会計、特別会計)
- ・一般会計のページ

総括並びに資料・・・一般会計の決算規模、歳入の内訳、歳出の性質・目的別分析、資料等を掲載しています。

主要な施策の成果説明書・・・1款 議会費から款ごと、主管課(事業)ごとに主要な施策の成果説明を掲載しています。

- ・一般会計の総括ページでの数値は、令和2年度地方財政状況調査(総務省:決算統計)の数値を計上してあります。(決算上の独自ルールによる区分や端数処理のため、決算書及び主要な施策の成果説明の数値と異なる場合があります。)
- ・一般会計に引き続き、特別会計の主要な施策の成果説明を掲載しています。

### 1 決算規模

令和2年度白馬村一般会計の決算額

歳入 7,638,563 千円 (前年度比 1,173,231 千円 (18.1%) の増)

歳出 7,524,141 千円 (前年度比 1,215,682 千円 (19.3%) の増)

### 2 決算収支

令和2年度の歳入歳出差引額(形式収支)は114,422千円で、翌年度へ繰り越すべき財源18,525千円を差し引いた実質収支は95,897千円です。単年度収支は△32,815千円、実質単年度収支は97,683千円となりました。なお、実質収支のうち、48,000千円を財政調整基金に積立を行い、残額の47,897千円を令和3年度へ繰越しました。

### 3 歳入

(1) 概況(歳入総額7,638,563千円の内訳)

歳入の主なものは、村税1,485,157千円(構成比19.4%)、地方交付税2,035,864千円(26.7%)、国庫支出金1,670,359千円(21.9%)です。これらを合わせると5,191,380千円で、歳入総額に占める割合は68.0%となっています。



## (2) 村税

村税の決算額は、1,485,157 千円で前年度比 37,007 千円 (2.4%) の減となりました。税目ごとの詳細につきましては税務課の頁を参照してください。

## (3) 地方交付税

特別交付税を含めた地方交付税の総額は 2,035,864 千円で前年度比 56,934 千円 (2.9%) の増となり、歳入に占める割合は 26.7%です。

普通交付税の決算額は 1,654,781 千円で前年度比 8,088 千円 (0.5%) の微増となりました。臨時財政対策債は 140,852 千円で前年度比 9,917 千円 (6.6%) の減となり、交付額総額 (普通交付税+臨時財政対策債) は 1,795,633 千円で前年度比 1,829 千円 (0.1%) の微減となりました。

特別交付税は 381,083 千円で前年度比 48,846 千円 (14.7%) の増となりました。特別交付税は市町村の特殊事情に対して交付されるもので、白馬村では除雪経費や地域おこし協力隊経費、地方創生推進交付金事業などに交付されています。交付額は事業量により毎年変動します。令和 2 年度は降雪量が例年並みに戻ったため、雪不足であった令和元年度に比べて除雪経費の算定額が大幅に増えました。

## (4) 国庫支出金・県支出金

国庫支出金は 1,670,359 千円で、新型コロナウイルス感染症対策のため前年度比 1,123,988 千円 (205.7%) の大幅な増です。特別定額給付金給付事業費・事務費 869,522 千円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 293,085 千円が主なものです

県支出金は 395,182 千円で前年度比 109,643 千円 (38.4%) の増です。ジャンプ台管理委託金 56,344 千円、地域支えあいプラスワン消費促進事業補助金 44,906 千円が主なものです。

## (5) 繰入金

「ふるさと白馬村を応援する基金」から目的に応じた事業へ 281,820 千円を繰り入れました (スポーツ振興として 4 事業へ 32,460 千円、環境保全として 15 事業へ 123,820 千円、国際交流として 2 事業へ 1,420 千円、教育力向上として 8 事業へ 12,900 千円、白馬高校の魅力化・国際化として 1 事業へ 65,600 千円、国際観光地づくりとして 6 事業へ 23,190 千円、子育て支援として 8 事業へ 17,530 千円、地域力向上として 1 事業へ 4,900 千円を繰り入れています)。ほかには、保健福祉ふれあいセンターエアコン設置工事のため福祉基金から 1,960 千円、ふるさと人材奨学金返還補助として、ふるさと白馬人づくり基金から 640 千円を繰り入れました。北アルプス広域連合過年度還付金につきましては、決算統計上において 1,804 千円を繰入金として処理しています。なお、令和 2 年度は令和元年度に引き続き財政調整基金からの繰り入れはありません。

#### (6) 村債

村債の新規発行額は 581,152 千円で、新規発行債は元金償還額以下としたため前年度比 146,117 千円 (20.1%) の減です。臨時財政対策債<sup>※1</sup>140,852 千円、道路新設改良事業 140,700 千円、新防災情報配信システム整備事業 136,300 千円が主なものです。

※1 臨時財政対策債とは、普通交付税の交付に振り替えて発行できるもので、元利償還金にあたる金額が後年度交付税措置されます。

### 4 歳出 (歳出総額 7,524,141 千円の内訳)

#### (1) 性質別歳出の状況

##### ①人件費 1,037,185 千円

前年度比 78,969 千円の増となりました。会計年度任用職員制度の導入などによるものです。

##### ②物件費 951,991 千円

前年度比 24,428 千円の増となりました。寄附金額の増加に伴うふるさと納税事業の返礼業務委託料 (53,579 千円増) などによるものです。

##### ③維持補修費 360,357 千円

前年度比 164,921 千円の大幅な増となりました。雪不足であった令和元年度と比較して除雪委託料 159,461 千円増などによるものです。

##### ④扶助費 358,436 千円

前年度比 25,401 千円の増となりました。子育て世帯への臨時特別給付金 (9,950 千円) や幼児教育・保育無償化に伴う白馬幼稚園への施設等利用給付費 (9,441 千円増) などによるものです。

##### ⑤補助費 2,591,052 千円

前年度比 915,625 千円の増となりました。新型コロナウイルス感染症対策に係る特別定額給付金 (863,200 千円) や地域支えあいプラスワン消費促進事業補助金 (97,628 千円)、拡大防止協力企業等特別支援事業負担金 (65,900 千円) などによるものです。

##### ⑥公債費 638,095 千円

前年度比 23,437 千円の増となりました。学校教育施設等整備事業債の元金償還開始などによるものです。

##### ⑦積立金 471,751 千円

前年度比 130,115 千円の増となりました。運用益の財源依存から転換し、財政調整基金を 130,000 千円、義務教育施設整備基金を 40,000 千円積み立てたことなどによるものです。

##### ⑧投資・出資・貸付金 20,000 千円

前年度比の増減はありません。

⑨繰出金 362,209 千円

前年度比 2,641 千円の減となりました。国民健康保険事業特別会計繰出金 (2,210 千円減) などによるものです。

⑩普通建設事業費 700,082 千円

前年度比 132,512 千円の減となりました。令和元年度は学校空調設備設置事業 (152,163 千円) などがあったため減となっています。

主な普通建設事業

新防災情報配信システム整備事業 174,489 千円、道路改良起債事業 117,835 千円、B&G 体育館改修事業 80,498 千円

※どの事業も、普通建設事業費以外の経費を除いています。

⑪災害復旧事業費 32,983 千円

前年度比 12,061 千円の減となりました。令和元年 7 月 25 日の梅雨前線豪雨により被災した菅の村道で繰り越した災害復旧事業です。

災害復旧事業

公共土木施設 32,983 千円

(2) 目的別歳出の状況

①議会費 73,517 千円

前年度比 2,057 千円の減となりました。令和元年度は全員協議会室のマイク購入費 (2,030 千円) などがあったため減となっています。

②総務費 2,340,255 千円

前年度比 927,757 千円の大幅な増となりました。新型コロナウイルス感染症対策に係る特別定額給付金事業 (869,288 千円) や運用益の財源依存から転換し、財政調整基金を 130,000 千円積み立てたことなどによるものです。

③民生費 1,123,310 千円

前年度比 33,092 千円の増となりました。新型コロナウイルス感染症対策に係る子育て支援金給付事業 (16,364 千円) や子育て世帯臨時特別給付金事業 (10,954 千円) などによるものです。

④衛生費 442,716 千円

前年度比 129,792 千円の増となりました。白馬リサイクルセンター整備などに係る塵芥処理事業の北アルプス広域連合負担金 (76,646 千円増)、新型コロナウイルスワクチン接種体制整備に係る保健予防事業 (16,085 千円増) などによるものです。

⑤農林業費 229,230 千円

前年度比 54,404 千円の増となりました。ほ場整備事業 (43,989 千円増) や森林環境譲与税を充当した新たな森林管理システム事業 (5,804 千円) などによるものです。

⑥観光商工費 733,864 千円

前年度比 17,507 千円の増となりました。地方創生推進交付金事業は 243,604 千円減でしたが、新型コロナウイルス感染対策事業（178,085 千円）や地域支えあいプラスワン消費促進事業（98,323 千円）などによるものです。

⑦土木費 988,097 千円

前年度比 82,758 千円の増となりました。予算の枠配分方式による下水道事業会計繰出金は 35,074 千円減でしたが、降雪量が例年並みに戻ったため除雪委託料（159,461 千円増）などによるものです。

⑧消防費 351,778 千円

前年度比 43,455 千円の増となりました。新防災情報配信システム整備工事費（68,049 千円増）などによるものです。

⑨教育費 570,296 千円

前年度比 82,402 千円の減となりました。運用益の財源依存から転換し、義務教育施設整備基金 40,000 千円を積み立てましたが、令和元年度は学校空調設備設置事業（152,163 千円）などがあったため減となっています。

## 5 財政構造

### （1）標準財政規模

標準的な状態での通常収入があるとされる経常的な一般財源の規模を示すものであり、令和2年度は 3,622,610 千円で前年度比 109,725 千円（3.1%）の増となりました。

### （2）財政力指数

令和2年度（H30-R2の3か年の平均）は 0.455 で前年度比 0.002 ポイント増となりました。

（財政力指数＝普通交付税算定の基準財政収入額／基準財政需要額）

### （3）経常収支比率

財政構造の弾力性を判断する指標であり、令和2年度は 77.0%でした（前年度比 7.8 ポイント減）。

### （4）財政調整基金と減債基金

令和2年度の財政調整基金は 130,498 千円の積み立てを行い、令和元年度に引き続き取り崩しをしていません。令和2年度末の現在高は、財政調整基金 877,043 千円、減債基金は 217,388 千円です。両基金の合計は 1,094,431 千円となりました。令和2年度会計の実質収支額から積み立てた 48,000 千円は、決算上では令和3年度会計決算において基金残高に計上されるもので令和2年度決算では積立金としての計上はされません。

(5) その他特定目的基金

特定目的基金（土地開発基金を除く）の令和2年度末の総額は769,644千円です。令和2年度は、義務教育施設整備基金へ40,001千円の積み立てを行い、ほかにも中小企業融資利子補給基金へ積み立て、企業版を含むふるさと納税制度の利用により白馬村に寄附された金額をそれぞれの目的に応じたふるさと白馬村を応援する基金などへ積み立てています。

(6) 村債現在高

令和2年度末の村債現在高は7,115,312千円で前年度比29,337千円（0.4%）の減となりました。健全財政を堅持するため新規発行債を元金償還額以下としたことにより平成25年度決算以来、久しぶりに前年度比が減となりました。

(7) 実質公債費比率等

実質公債費比率は3か年平均値12.2%となりました。単年度数値で見ると12.6%で前年度比0.2ポイントですが減少しています。予算の枠配分方式による公営企業繰出金の減などによるものです。

また、将来負担比率は63.0%で前年度比7.7ポイント減となりました。控除する充当可能基金の増などによるものです。

## 6 繰越明許

令和3年度への繰越明許事業は以下のとおりです。

(1) 賦課徴収事業	2,640千円
(2) スポーツ振興事業	850千円
(3) 村道改良国庫補助事業	102,300千円
(4) 村営住宅管理事業	8,000千円
合計	113,790千円

## 7 事故繰越

令和3年度への事故繰越事業は以下のとおりです。

(1) スポーツ振興事業	2,750千円
--------------	---------

第1表 決算規模及び決算収支の状況

(単位：千円、%)

区分	年度	令和元年度		令和2年度	
		決算額	前年度比	決算額	前年度比
1 歳入総額		6,465,332	△8.3	7,638,563	18.1
2 歳出総額		6,308,459	△9.6	7,524,141	19.3
3 歳入歳出差引額		156,873	110.1	114,422	△27.1
4 翌年度へ繰り越すべき財源		28,161	172.6	18,525	△34.2
5 実質収支		128,712	100.1	95,897	△25.5
6 単年度収支		64,390		△32,815	
7 積立金		815		130,498	
8 繰上償還金		0		0	
9 積立金取崩額		0		0	
10 実質単年度収支		65,205		97,683	

※数値は、地方財政状況調査（総務省：決算統計）による数値

※積立金及び積立金取崩額は、財政調整基金に関する金額のみを計上

第2表 歳入決算の状況（借換債を除く）

（単位：千円、％）

区分		令和元年度		令和2年度				
		決算額	構成比	決算額	前年度比	増減率	構成比	
1	地方税	自	1,522,164	23.6	1,485,157	△37,007	△2.4	19.4
2	地方譲与税	依	71,559	1.1	73,725	2,166	3.0	1.0
3	利子割交付金	依	765	0.0	751	△14	△1.8	0.0
4	配当割交付金	依	3,383	0.1	3,321	△62	△1.8	0.0
5	株式等譲渡所得割交付金	依	1,959	0.0	3,867	1,908	97.4	0.1
6	法人事業税交付金	依			4,769	4,769	皆増	0.1
7	地方消費税交付金	依	187,382	2.9	223,987	36,605	19.5	2.9
8	自動車取得税交付金	依	9,797	0.2	0	△9,797	皆減	0.0
9	自動車税環境性能割交付金	依	2,377	0.0	4,749	2,372	99.8	0.1
10	地方特例交付金	依	19,057	0.3	6,398	△12,659	△66.4	0.1
11	地方交付税	依	1,978,930	30.6	2,035,864	56,934	2.9	26.7
	(1)普通交付税		1,646,693	25.5	1,654,781	8,088	0.5	21.7
	(2)特別交付税		332,237	5.1	381,083	48,846	14.7	5.0
12	交通安全対策特別交付金	依	1,357	0.0	1,611	254	18.7	0.0
13	分担金及び負担金	自	99,849	1.5	112,451	12,602	12.6	1.5
14	使用料	自	98,130	1.5	54,755	△43,375	△44.2	0.7
15	手数料	自	8,833	0.1	8,154	△679	△7.7	0.1
16	国庫支出金	依	546,371	8.5	1,670,359	1,123,988	205.7	21.9
17	県支出金	依	285,539	4.4	395,182	109,643	38.4	5.2
18	財産収入	自	11,744	0.2	9,718	△2,026	△17.3	0.1
19	寄附金	自	339,126	5.3	422,854	83,728	24.7	5.5
20	繰入金	自	265,667	4.1	286,224	20,557	7.7	3.7
21	繰越金	自	41,654	0.6	91,872	50,218	120.6	1.2
22	諸収入	自	242,420	3.7	161,643	△80,777	△33.3	2.1
23	地方債	依	727,269	11.3	581,152	△146,117	△20.1	7.6
合 計			6,465,332	100.0	7,638,563	1,173,231	18.1	100.0

第2表 - 2 歳出決算の状況(合計は借換債を除く)

(単位:千円、%)

## 【性質別】

区分	令和元年度		令和2年度			
	決算額	構成比	決算額	前年度比	増減率	構成比
1 人件費	958,216	15.2	1,037,185	78,969	8.2	13.8
2 物件費	927,563	14.7	951,991	24,428	2.6	12.6
3 維持補修費	195,436	3.1	360,357	164,921	84.4	4.8
4 扶助費	333,035	5.3	358,436	25,401	7.6	4.8
5 補助費	1,675,427	26.6	2,591,052	915,625	54.7	34.4
6 公債費	614,658	9.7	638,095	23,437	3.8	8.5
7 積立金	341,636	5.4	471,751	130,115	38.1	6.3
8 投資・出資・貸付金	20,000	0.3	20,000	0	0.0	0.3
9 繰出金	364,850	5.8	362,209	△2,641	△0.7	4.8
10 普通建設事業費	832,594	13.2	700,082	△132,512	△15.9	9.3
11 災害復旧事業費	45,044	0.7	32,983	△12,061	△26.8	0.4
合計	6,308,459	100.0	7,524,141	1,215,682	19.3	100.0

## 【目的別】・・・公債費、災害復旧費は性質別と重複するため除く

区分	令和元年度		令和2年度			
	決算額	構成比	決算額	前年度比	増減率	構成比
1 議会費	75,574	1.2	73,517	△2,057	△2.7	1.0
2 総務費	1,412,498	22.4	2,340,255	927,757	65.7	31.1
3 民生費	1,090,218	17.3	1,123,310	33,092	3.0	14.9
4 衛生費	312,924	5.0	442,716	129,792	41.5	5.9
5 労働費	0	0.0	0	0	0.0	0.0
6 農林業費	174,826	2.8	229,230	54,404	31.1	3.0
7 観光商工費	716,357	11.4	733,864	17,507	2.4	9.8
8 土木費	905,339	14.3	988,097	82,758	9.1	13.1
9 消防費	308,323	4.9	351,778	43,455	14.1	4.7
10 教育費	652,698	10.3	570,296	△82,402	△12.6	7.6



第3表 財政構造の状況

(金額単位：千円)

区分	年度	令和元年度		令和2年度	
		決算額等	前年度比	決算額等	前年度比
1 標準財政規模 <sup>※1</sup>		3,512,885	1.2%	3,622,610	3.1%
2 基準財政需要額		2,992,851	2.6%	3,091,589	3.3%
3 基準財政収入額		1,343,522	1.7%	1,435,229	6.8%
4 歳入一般財源 歳入総額に対する構成比		4,088,034 63.2%	△5.6% 1.8	4,385,465 57.4%	7.3% △5.8
5 財政調整基金現在高		681,545	5.2%	877,043	28.7%
6 地方債現在高		7,144,649	2.1%	7,115,312	△0.4%
7 経常経費歳入比 (歳入総額に対する歳出経常経費)		58.1%	9.3	48.8%	△9.3
8 経常収支比率 <sup>※2</sup> (歳入経常一財に対する歳出経常一財)		84.8%	3.6	77.0%	△7.8
9 公債費負担比率 <sup>※3</sup>		15.0%	1.6	14.4%	△0.6
10 実質公債費比率 <sup>※4</sup> (単年度数値)		12.8%	1.5	12.6%	△0.2
11 実質公債費比率 <sup>※5</sup> (3か年平均数値)		10.9%	1.0	12.2%	1.3
12 将来負担比率 <sup>※6</sup>		70.7%	5.3	63.0%	△7.7
13 財政力指数 <sup>※7</sup>		0.453	0.001	0.455	0.002

※1：標準税収入額等+普通交付税交付額+臨時財政対策債（平成21年度から）

※2：減税補てん債及び臨時財政対策債を経常一財とする

※3：公債費負担比率とは、公債費の状況から財政運営の弾力性を測定する指標  
(歳入一財に占める公債費充前一財の割合)

※4：実質公債費比率とは、一般財源の規模に対する公債費の割合

※5：3か年平均値は小数点第2位以下を切り捨て

※6：将来負担比率とは、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率

※7：基準財政需要額に対する収入額の割合の3か年平均値

引上げ分の市町村交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費

(歳入)・地方消費税交付金（社会保障財源化分） 107,753 千円  
 (歳出)・社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費 697,767 千円

【社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費】 (単位：千円)

事業名	経費	財源内訳					
		特定財源			一般財源		
		国県支出 金	地方債	その他	地方消費 税(社会保 障財源化 分)	その他	
社会 福祉	社会福祉総務事業	24,435	2,770		2,181		19,484
	老人福祉事業	20,588			3,729	10,000	6,859
	介護予防・地域支え合い事業	10,211	971		1,670		7,570
	乗合タクシー運行事業	11,361	150		1,497	7,753	1,961
	高齢者移動支援事業	2,108	2,108				
	心身障害者福祉事業	138,008	100,574			15,000	22,434
	地域生活支援事業	6,145	2,820				3,325
	保健福祉ふれあい センター維持管理事業	5,600			2,244		3,356
	社会福祉施設事業	5,486					5,486
	地域包括支援センター・ 地域支援事業	28,108	2,653		25,455		
小計	252,050	112,046		36,776	32,753	70,475	
社会 保険	介護保険事業	159,504					159,504
	住民国保事業	104,473	53,648			20,000	30,825
	後期高齢者医療事業	99,748	16,101		7,357	25,000	51,290
	国民年金事業	339	339				
	小計	364,064	70,088		7,357	45,000	241,619
保 健 衛 生	福祉医療費給付事業	37,132	11,312			15,000	10,820
	保健予防事業	38,086	20,665		2,421	15,000	
	がん検診推進事業	240	34				206
	医療対策事業	6,195					6,195
	小計	81,653	32,011		2,421	30,000	17,221
合計	697,767	214,145		46,554	107,753	329,315	

※経費については、事務費や事務職員の人件費（サービス提供に直接従事しない職員分）等を除いています。

1. 村税の徴収状況

(1)村税収入額及び徴収率

令和2年度の徴収状況は、次の表のとおりです。

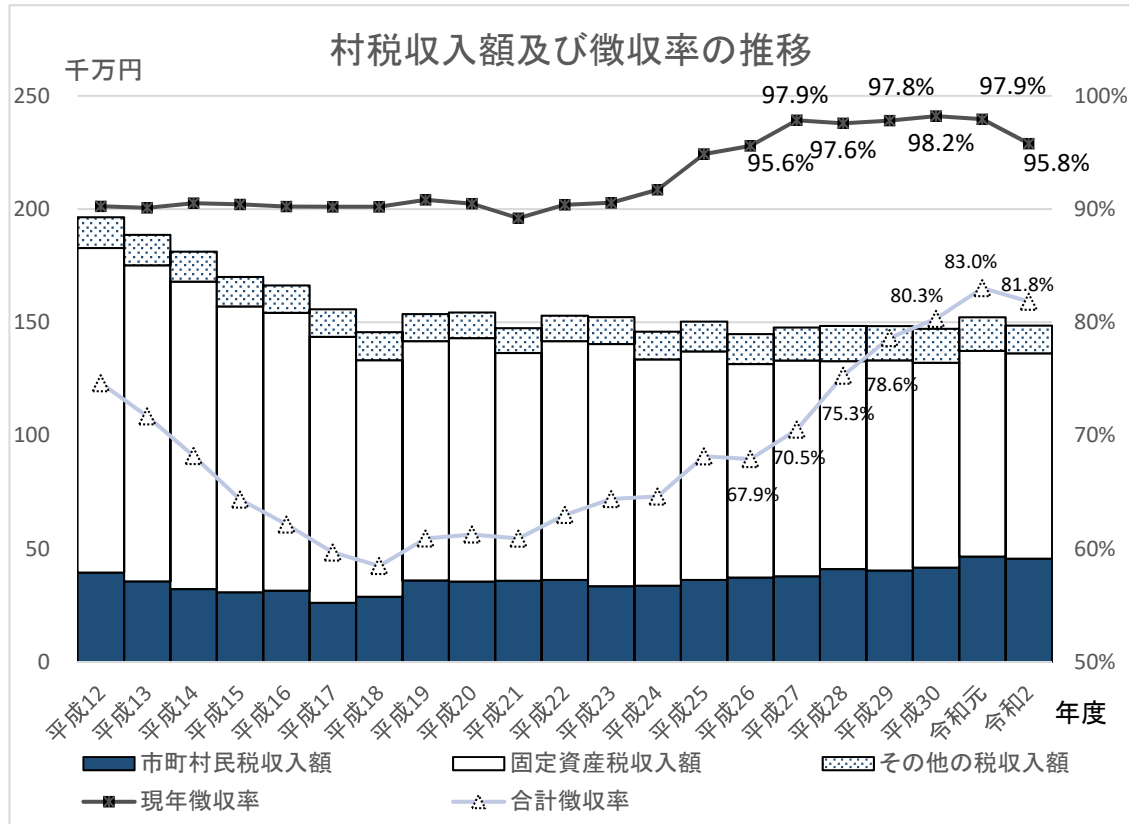
(単位:千円・%)

税目	種別	予算額	調定済額	収入済額		徴収率 (B)/(A)	前年比較 (ポイント)	
			(A)	(B)	構成比			
村民税	個人	現年課税分	331,200	366,349	360,217	24.3	98.3	△ 0.6
		滞納繰越分	3,596	28,195	3,601	0.2	12.8	1.4
		計	334,796	394,544	363,818	24.5	92.2	△ 0.4
	法人	現年課税分	83,390	93,993	92,007	6.2	97.9	△ 1.7
		滞納繰越分	557	1,803	563	0.0	31.2	△ 15.5
		計	83,947	95,796	92,570	6.2	96.6	△ 1.9
	計	418,743	490,340	456,388	30.7	93.1	△ 0.7	
固定資産税	現年課税分	867,550	942,762	889,191	59.9	94.3	△ 2.8	
	滞納繰越分	12,576	250,672	15,083	1.0	6.0	△ 2.9	
	交付金	2,209	2,209	2,209	0.1	100.0	0.0	
	計	882,335	1,195,643	906,483	59.6	75.8	△ 0.9	
軽自動車	現年課税分	33,576	33,890	33,639	2.3	99.3	0.0	
	滞納繰越分	203	787	205	0.0	26.0	6.3	
	環境性能割	2,200	2,200	2,200	0.1	100.0	0.0	
	計	35,979	36,877	36,044	2.4	97.7	0.2	
たばこ税	現年課税分	60,265	60,265	60,265	4.1	100.0	0.0	
	計	60,265	60,265	60,265	4.1	100.0	0.0	
入湯税	現年課税分	25,161	27,879	25,449	1.7	91.3	△ 8.2	
	滞納繰越分	527	4,016	528	0.0	13.1	6.3	
	計	25,688	31,895	25,977	1.7	81.4	△ 10.0	
合計	現年課税分	1,405,551	1,529,547	1,465,177	98.7	95.8	△ 2.1	
	滞納繰越分	17,459	285,473	19,980	1.3	7.0	△ 2.4	
	計	1,423,010	1,815,020	1,485,157	100.0	81.8	△ 1.2	

※現年調定済額は前年度に比較して 490 万円あまり増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による徴収猶予の特例の適用により、現年収入済額は前年度に比較して2,800 万円あまり減額となり、合計収入済額も 3,700 万円あまり減額、徴収率も現年課税分・滞納繰越分共に前年度を下回り、合計で1. 2ポイントの減少となりました。

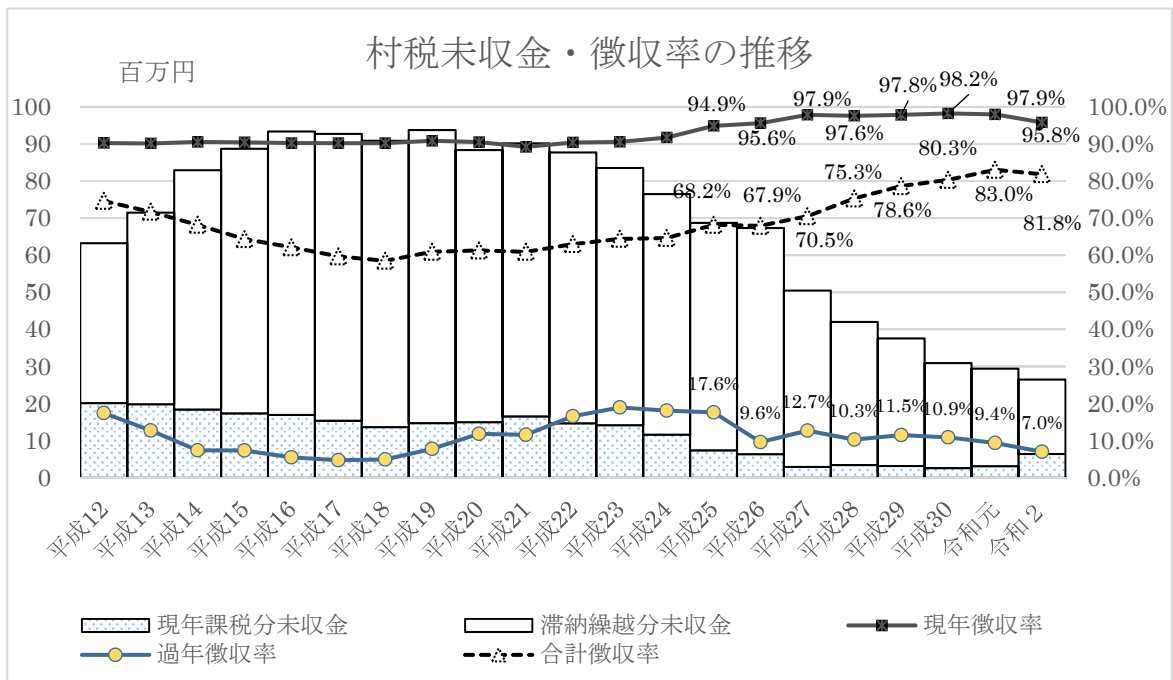
### (2)村税収入額及び徴収率の推移

合計徴収率は平成 19 年度から上昇傾向にあり、令和元年度は 83%となりましたが、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響や徴収猶予の適用で 81.8%に低下しました。



### (3)村税未収金・徴収率の推移

未収金は、滞納処分の強化と適正な債権処理により減少しています。特に平成 27 年度から大きく圧縮されています。

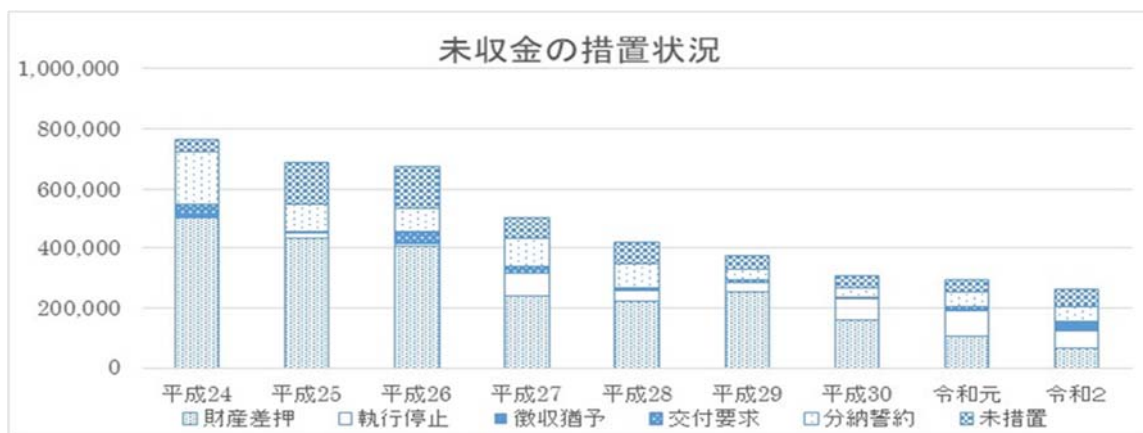


(4)未収金の措置状況

(単位：千円)

年 度	財産差押	執行停止	徴収猶予	交付要求	分納誓約	未措置	合 計
令和2	65,600	56,350	24,585	9,892	47,264	61,130	264,821
令和元	106,504	86,590	0	10,454	48,231	42,432	294,211
平成30	158,028	71,388	0	7,858	27,935	44,128	309,337
平成29	252,904	34,017	0	7,855	35,128	46,178	375,582
平成28	224,678	34,349	854	7,458	80,381	72,439	420,159
平成27	241,842	76,292	262	19,322	94,456	72,360	504,534
平成26	406,029	9,506	50	41,829	76,866	139,141	673,421
平成25	432,912	17,830	579	4,703	93,550	137,496	687,070
平成24	506,493	3,258	2,897	37,125	174,847	40,172	764,792

※合計欄は、未収金(翌年度繰越額)であり、令和元年度に引き続き3億円を下回りました。



(単位：件)

(5)滞納処分状況

年 度	差 押							交付要求		公売公告		売却件数		捜 索
	動産	不動産	預貯金	給与	国税還付金	その他債権	差押計	件数	配当	不動産	動産	不動産	動産	
令和2	3	12	118	7	9	3	152	5	1	0	2	0	7	2
令和元	6	14	113	5	8	7	153	7	4	0	2	0	55	1
平成30	1	12	121	14	4	6	158	4	2	1	1	1	8	1
平成29	9	27	99	18	15	24	192	2	4	5	6	7	74	4
平成28	13	26	99	22	13	18	191	6	0	7	7	5	15	6

(6)差押の換価状況

(単位：千円)

年 度	動産	不動産	債 権				債権計	合 計
			預貯金	給与	国税還付金	その他債権		
令和2	50	0	3,666	1,202	296	1,559	6,723	6,773
令和元	396	0	4,656	1,411	96	2,262	8,425	8,821
平成30	56	11,105	5,407	2,068	549	3,776	11,800	22,961
平成29	690	11,352	3,575	1,407	145	10,848	15,975	28,017
平成28	556	3,791	3,275	3,244	290	7,492	14,301	18,648
平成27	251	5,812	2,796	4,910	190	5,537	13,433	19,496
平成26	195	2,968	7,143	1,680	602	8,265	17,690	20,853
平成25	6,516	13,495	12,446	377	174	826	13,823	33,834
平成24	875	657	26,043	791	364	1,724	28,922	30,454

## (7)令和2年度不納欠損処分状況

(単位:円)

税目	種別	未収額	不納欠損				滞納繰越額	
			第15条の7第4項	第15条の7第5項	第18条第1項	合計		
村民税	個人	現年課税分	6,132,664				0	6,132,664
		滞納繰越分	24,593,655	(13) 19,379,253	(3) 48,255	(1) 3,310	(17) 19,430,818	5,162,837
		計	30,726,319	(13) 19,379,253	(3) 48,255	(1) 3,310	(17) 19,430,818	11,295,501
	法人	現年課税分	1,986,100					1,986,100
		滞納繰越分	1,240,363		(3) 129,100		(3) 129,100	1,111,263
		計	3,226,463		(3) 129,100		(3) 129,100	3,097,363
計	33,952,782	(13) 19,379,253	(6) 177,355	(1) 3,310	(20) 19,559,918	14,392,864		
固定資産税	現年課税分	53,571,502		(2) 133,500		(2) 133,500	53,438,002	
	滞納繰越分	235,587,815	(13) 953,230	(23) 20,977,992	(11) 22,740,700	(47) 44,671,922	190,915,893	
	交付金	0					0	
	計	289,159,317	(13) 953,230	(25) 21,111,492	(11) 22,740,700	(49) 44,805,422	244,353,895	
軽自動車税	現年課税分	251,200					251,200	
	滞納繰越分	582,100	(3) 37,400	(1) 4,000		(4) 41,400	540,700	
	計	833,300	(3) 37,400	(1) 4,000		(4) 41,400	791,900	
たばこ税	現年課税分	0					0	
	計	0					0	
入湯税	現年課税分	2,429,150					2,429,150	
	滞納繰越分	3,489,002		(2) 635,502		(2) 635,502	2,853,500	
	計	5,918,152		(2) 635,502		(2) 635,502	5,282,650	
合計	現年課税分	64,370,616		(2) 133,500		(2) 133,500	64,237,116	
	滞納繰越分	265,492,935	(29) 20,369,883	(32) 21,794,849	(12) 22,744,010	(73) 64,908,742	200,584,193	
	計	329,863,551	(29) 20,369,883	(34) 21,928,349	(12) 22,744,010	(75) 65,042,242	264,821,309	

※( )内は、件数

※第15条の7第4項とは、滞納処分の執行停止をした場合において、その停止が3年間継続したことにより消滅した税額。

※第15条の7第5項とは、滞納処分の執行停止をした場合において、直ちに消滅させた税額。

※第18条第1項とは、徴収権を5年間行使しないことによって消滅した税額。

# **一般会計**

## **成果の説明**

1款	議会費	1項	議会費	1目	議会費
----	-----	----	-----	----	-----

事業名	議会事務事業	決算書の頁	P. 25
-----	--------	-------	-------

事業内容	1. 議会活動 2. 議会だよりの発行 3. 会議録の反訳、印刷製本 4. 行政視察 5. 備品の購入 6. 人件費 議員12名(白馬村議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例) 事務局職員2名、会計年度任用職員1名
------	--

実績・成果	1. 議会活動 (1) 定例会、臨時会の開催状況																																																																																																																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">会 期 日 数</th> <th rowspan="2">本 会 議 日 数</th> <th rowspan="2">一 般 質 問 人 数</th> <th colspan="5">付議事件(村長提出)</th> <th colspan="4">付議事件 (議員提出)</th> <th rowspan="2">傍 聴 人 数</th> </tr> <tr> <th>条 例</th> <th>予 算</th> <th>決 算</th> <th>専 決 処 分</th> <th>そ の 他 事 件</th> <th>意 見 書</th> <th>決 議</th> <th>条 例 ・ 規 則 等</th> <th>そ の 他 事 件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2 第2回定例会 (6/8~17)</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>12</td> <td>15</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>R2 第3回定例会 (9/7~24)</td> <td>18</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>R2 第4回定例会 (12/2~11)</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>5</td> <td></td> <td>3</td> <td>2</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>R3 第1回定例会 (3/2~18)</td> <td>17</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>R2 第1回臨時会(4/14)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>R2 第2回臨時会(7/10)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R2 第3回臨時会(8/5)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>R3 第1回臨時会(2/18)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>59</td> <td>20</td> <td>33</td> <td>26</td> <td>23</td> <td>6</td> <td>16</td> <td>26</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>94</td> </tr> </tbody> </table>		会 期 日 数	本 会 議 日 数	一 般 質 問 人 数	付議事件(村長提出)					付議事件 (議員提出)				傍 聴 人 数	条 例	予 算	決 算	専 決 処 分	そ の 他 事 件	意 見 書	決 議	条 例 ・ 規 則 等	そ の 他 事 件	R2 第2回定例会 (6/8~17)	10	4	7	4			12	15	2				17	R2 第3回定例会 (9/7~24)	18	4	9	8	4	6	1	2	2				15	R2 第4回定例会 (12/2~11)	10	4	10	8	5		3	2	6				37	R3 第1回定例会 (3/2~18)	17	4	7	5	11			6	1				13	R2 第1回臨時会(4/14)	1	1						1					4	R2 第2回臨時会(7/10)	1	1			1								2	R2 第3回臨時会(8/5)	1	1		1	1								3	R3 第1回臨時会(2/18)	1	1			1								3	合 計	59	20	33	26	23	6	16	26	11				94
						会 期 日 数	本 会 議 日 数	一 般 質 問 人 数	付議事件(村長提出)					付議事件 (議員提出)				傍 聴 人 数																																																																																																																																				
		条 例	予 算	決 算	専 決 処 分				そ の 他 事 件	意 見 書	決 議	条 例 ・ 規 則 等	そ の 他 事 件																																																																																																																																									
	R2 第2回定例会 (6/8~17)	10	4	7	4			12	15	2				17																																																																																																																																								
	R2 第3回定例会 (9/7~24)	18	4	9	8	4	6	1	2	2				15																																																																																																																																								
	R2 第4回定例会 (12/2~11)	10	4	10	8	5		3	2	6				37																																																																																																																																								
	R3 第1回定例会 (3/2~18)	17	4	7	5	11			6	1				13																																																																																																																																								
	R2 第1回臨時会(4/14)	1	1						1					4																																																																																																																																								
	R2 第2回臨時会(7/10)	1	1			1								2																																																																																																																																								
R2 第3回臨時会(8/5)	1	1		1	1								3																																																																																																																																									
R3 第1回臨時会(2/18)	1	1			1								3																																																																																																																																									
合 計	59	20	33	26	23	6	16	26	11				94																																																																																																																																									
※令和2年第4回定例会の意見書数には、議員発議による国土強靱化等に向けた社会資本整備の促進を求める意見書(国宛)が含まれる。																																																																																																																																																						
(2) 請願・陳情の状況 令和2年度に議会で受理し、審査した請願・陳情書は以下のとおりです。発委として意見書を国に9件、県に1件提出した。																																																																																																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">件数</th> <th colspan="5">内 訳</th> </tr> <tr> <th>採 択</th> <th>不採択</th> <th>一部採択</th> <th>趣旨採択</th> <th>継続審査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請 願</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>陳 情</td> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			件数	内 訳					採 択	不採択	一部採択	趣旨採択	継続審査	請 願	7	6	1				陳 情	4	4																																																																																																																															
	件数			内 訳																																																																																																																																																		
		採 択	不採択	一部採択	趣旨採択	継続審査																																																																																																																																																
請 願	7	6	1																																																																																																																																																			
陳 情	4	4																																																																																																																																																				



実績成果	(3) 委員会の開催状況			
	委員会名	定例会・臨時会により 開会した委員会(回数)	定例会閉会中に 開会した委員会(回数)	合計
	総務社会委員会	4		4
	産業経済委員会	4		4
	議会運営委員会	11	4	15
	議会報調査編集特別委員会	4	12	16
	予算特別委員会	5		5
	決算特別委員会	5		5
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会全員協議会の開催状況 16回</li> <li>・議員懇談会、勉強会 5回</li> </ul>			
	(4) 村民との意見交換会 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため意見交換会を中止し、白馬村議会に関するアンケートを実施(郵送による)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・18歳以上の村民1,000人を無作為抽出し、11の設問を設定(枝設問を入れると19設問)</li> <li>・回答者数428人(回答率:42.8%)</li> <li>・集計結果は白馬村議会のホームページに掲載 <a href="https://www.vill.hakuba.lg.jp/gyosei/gyoseijoho/hakubamuragikai/1865.html">https://www.vill.hakuba.lg.jp/gyosei/gyoseijoho/hakubamuragikai/1865.html</a></li> </ul>			
2. 議会だよりの発行 731,104円 年4回 3,100部/回(定例会終了月の翌月に発行)				
3. 会議録の反訳、印刷製本 1,180,465円 定例会、臨時会の本会議、及び会期中に開催された委員会の会議録の作成				
4. 行政視察 隔年実施のため、令和2年度はなし				
5. 備品の購入 195,800円 全員協議会室のロングマイク2本を増設外				
6. 人件費 40,266,259円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・議員報酬(12名) 32,808,000円 議長:304,000円/月 副議長:240,000円/月 常任委員長・議会運営委員長:226,000円/月 議員:216,000円/月</li> <li>・議会事務局(2名)、会計年度任用職員(1名) 7,458,259円</li> </ul>				
7. その他 31,143,149円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・議員共済会負担金、共済組合負担金(職員)、旅費、郵便代等</li> </ul>				
予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )
73,705,000	73,516,777			一 般 財 源
				73,516,777

2款	総務費	1項	総務管理費	1目	一般管理費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	一般管理事業(職員健康管理事業)	決算書の頁	P. 26-27
-----	------------------	-------	----------

事業内容	<p>1. 健康診断 労働安全衛生法第66条により義務付けられた定期健康診断及び白馬村職員安全衛生規程に定める追加項目を実施</p> <p>2. 心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック) 労働安全衛生法第66条及びストレスチェック制度実施規定に基づき、年1回実施(7月)</p> <p>3. 産業医による面談 上記セルフチェックでストレスの高い職員や、面談を希望する職員の心身の健康等について、産業医(神城医院・宮城 彰先生)に月1回、面談を依頼し、指導・助言をいただく。</p> <p>4. 心の相談会 職員が抱える職場や家庭の悩みなどの相談について、カウンセラー(吉澤早帆先生)に2か月に1回依頼し、相談会を開催している。</p>
	<p>1. 健康診断【委託料 1,609,355 円】 (受診者1名につき10,285円※受診メニューにより料金の変動有) 実施日:10月8日～9日 受診人数:146名 委託先:(公財)長野県健康づくり事業団</p> <p>2. 心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)【委託料 195,811 円】 実施日:7月10日～22日 受検人数 127名 委託先:(公財)長野県健康づくり事業団</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック) 労働者のストレスの程度を把握し、労働者自身のストレスへの気付きを促すとともに、職場改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めることによって労働者がメンタルヘルス不調となることを未然に防止することを目的とした検査で、労働者50人以上の事業場において実施が義務づけられている。</p> </div> <p>3. 産業医による面談【委託料 240,000 円】 面談日:毎月1回 水曜日の午後 面談時間:1名 30分～1時間程度 面談実績:延べ29名</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※産業医 職場において労働者の健康管理等を効果的に行うためには、医学に関する専門的な知識が不可欠なことから、労働安全衛生法の規定により、事業者は、事業場の規模に応じて、以下の人数の産業医を選任し、労働者の健康管理等を行わなければならない。 ◇ 労働者数50人以上3,000人以下の規模の事業場・・・1名以上選任 ◇ 労働者数3,001人以上の規模の事業場・・・2名以上選任</p> </div> <p>4. 心の相談会【年間謝礼 25,000 円】 面談日:2か月に1回 第4火曜日 午後1時～午後3時 面談実績等:予約なしで直接先生への面談が可能</p> <p>5. その他【71,268 円】 人間ドックに係る事業主負担分</p>

実績成果	<p>1. 健康診断【委託料 1,609,355 円】 (受診者1名につき10,285円※受診メニューにより料金の変動有) 実施日:10月8日～9日 受診人数:146名 委託先:(公財)長野県健康づくり事業団</p> <p>2. 心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)【委託料 195,811 円】 実施日:7月10日～22日 受検人数 127名 委託先:(公財)長野県健康づくり事業団</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック) 労働者のストレスの程度を把握し、労働者自身のストレスへの気付きを促すとともに、職場改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めることによって労働者がメンタルヘルス不調となることを未然に防止することを目的とした検査で、労働者50人以上の事業場において実施が義務づけられている。</p> </div> <p>3. 産業医による面談【委託料 240,000 円】 面談日:毎月1回 水曜日の午後 面談時間:1名 30分～1時間程度 面談実績:延べ29名</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※産業医 職場において労働者の健康管理等を効果的に行うためには、医学に関する専門的な知識が不可欠なことから、労働安全衛生法の規定により、事業者は、事業場の規模に応じて、以下の人数の産業医を選任し、労働者の健康管理等を行わなければならない。 ◇ 労働者数50人以上3,000人以下の規模の事業場・・・1名以上選任 ◇ 労働者数3,001人以上の規模の事業場・・・2名以上選任</p> </div> <p>4. 心の相談会【年間謝礼 25,000 円】 面談日:2か月に1回 第4火曜日 午後1時～午後3時 面談実績等:予約なしで直接先生への面談が可能</p> <p>5. その他【71,268 円】 人間ドックに係る事業主負担分</p>
	<p>1. 健康診断【委託料 1,609,355 円】 (受診者1名につき10,285円※受診メニューにより料金の変動有) 実施日:10月8日～9日 受診人数:146名 委託先:(公財)長野県健康づくり事業団</p> <p>2. 心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)【委託料 195,811 円】 実施日:7月10日～22日 受検人数 127名 委託先:(公財)長野県健康づくり事業団</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック) 労働者のストレスの程度を把握し、労働者自身のストレスへの気付きを促すとともに、職場改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めることによって労働者がメンタルヘルス不調となることを未然に防止することを目的とした検査で、労働者50人以上の事業場において実施が義務づけられている。</p> </div> <p>3. 産業医による面談【委託料 240,000 円】 面談日:毎月1回 水曜日の午後 面談時間:1名 30分～1時間程度 面談実績:延べ29名</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※産業医 職場において労働者の健康管理等を効果的に行うためには、医学に関する専門的な知識が不可欠なことから、労働安全衛生法の規定により、事業者は、事業場の規模に応じて、以下の人数の産業医を選任し、労働者の健康管理等を行わなければならない。 ◇ 労働者数50人以上3,000人以下の規模の事業場・・・1名以上選任 ◇ 労働者数3,001人以上の規模の事業場・・・2名以上選任</p> </div> <p>4. 心の相談会【年間謝礼 25,000 円】 面談日:2か月に1回 第4火曜日 午後1時～午後3時 面談実績等:予約なしで直接先生への面談が可能</p> <p>5. その他【71,268 円】 人間ドックに係る事業主負担分</p>

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( 眼 底 検 査 共 済 助 成 金 )	一 般 財 源
2,142,000	2,141,434			53,985	2,087,449

2款	総務費	1項	総務管理費	1目	一般管理費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	一般管理事業(職員研修事業)	決算書の頁	P. 27
-----	----------------	-------	-------

事業内容	1. 職員研修
	<p>白馬村人材育成基本方針に基づき、「組織における人材の育成が不可欠であり、人づくりは組織全体の課題であるとの共通認識のもと、職員一人ひとりが自覚し積極的に職員研修に取り組む」ことを基本として実施している。</p> <p>年齢や職階による段階的な研修のほか、行政の課題や職員として必要な資質の向上を図ることを目的として実践している。</p>

実績成果	1. 職員全体研修【委託料:299,299円】																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>研修課程</th> <th>講師</th> <th>受講数(名)</th> <th>委託料(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>例規システム研修</td> <td>(株)ぎょうせい</td> <td>43</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>認知症サポーター研修</td> <td>村地域包括支援センター職員</td> <td>73</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>文書管理例規支援</td> <td>東京レコードマネジメント(株)</td> <td>31</td> <td>299,299</td> </tr> </tbody> </table>	No	研修課程	講師	受講数(名)	委託料(円)	1	例規システム研修	(株)ぎょうせい	43	0	2	認知症サポーター研修	村地域包括支援センター職員	73	0	3	文書管理例規支援	東京レコードマネジメント(株)	31	299,299																												
	No	研修課程	講師	受講数(名)	委託料(円)																																												
	1	例規システム研修	(株)ぎょうせい	43	0																																												
	2	認知症サポーター研修	村地域包括支援センター職員	73	0																																												
	3	文書管理例規支援	東京レコードマネジメント(株)	31	299,299																																												
	2. 職場外研修(各課で実施する専門研修は除く) 長野県市町村職員研修センター等が実施する研修会に参加																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>研修課程</th> <th>受講数(名)</th> <th>No</th> <th>研修課程</th> <th>受講数(名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>新規採用職員研修(前期)</td> <td>中止</td> <td>7</td> <td>税務職員初任者研修</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>新規採用職員研修(後期)</td> <td>中止</td> <td>8</td> <td>法制執務応用研修</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>一般職員研修</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>折衝力・交渉力研修</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>係長研修</td> <td>中止</td> <td>10</td> <td>CS 接遇力向上研修</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>部課長研修</td> <td>1</td> <td>11</td> <td>議会書記研修</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>会計事務研修</td> <td>1</td> <td>12</td> <td>わかりやすい資料作成研修</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">合 計</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	No	研修課程	受講数(名)	No	研修課程	受講数(名)	1	新規採用職員研修(前期)	中止	7	税務職員初任者研修	7	2	新規採用職員研修(後期)	中止	8	法制執務応用研修	2	3	一般職員研修	1	9	折衝力・交渉力研修	1	4	係長研修	中止	10	CS 接遇力向上研修	1	5	部課長研修	1	11	議会書記研修	1	6	会計事務研修	1	12	わかりやすい資料作成研修	1	合 計					16
	No	研修課程	受講数(名)	No	研修課程	受講数(名)																																											
	1	新規採用職員研修(前期)	中止	7	税務職員初任者研修	7																																											
2	新規採用職員研修(後期)	中止	8	法制執務応用研修	2																																												
3	一般職員研修	1	9	折衝力・交渉力研修	1																																												
4	係長研修	中止	10	CS 接遇力向上研修	1																																												
5	部課長研修	1	11	議会書記研修	1																																												
6	会計事務研修	1	12	わかりやすい資料作成研修	1																																												
合 計					16																																												
3. 登山研修																																																	
<p>村出身の職員の減少・登山未経験の職員の増加により、令和2年度に開始。村営山小屋・登山道等の現状を把握し、山岳観光の認識を深めるため登山研修を実施する。【委託料:121,600円】</p>																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>研修課程</th> <th>参加者(名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>村民登山同行(猿倉-頂上宿舎-柵池)1泊2日</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>(猿倉-天狗山荘-八方)1泊2日</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>(八方池山荘-唐松岳往復)日帰り</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>(東山きこりの道整備)日帰り</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>	No	研修課程	参加者(名)	1	村民登山同行(猿倉-頂上宿舎-柵池)1泊2日	4	2	(猿倉-天狗山荘-八方)1泊2日	5	3	(八方池山荘-唐松岳往復)日帰り	7	4	(東山きこりの道整備)日帰り	6	合 計		22																															
No	研修課程	参加者(名)																																															
1	村民登山同行(猿倉-頂上宿舎-柵池)1泊2日	4																																															
2	(猿倉-天狗山荘-八方)1泊2日	5																																															
3	(八方池山荘-唐松岳往復)日帰り	7																																															
4	(東山きこりの道整備)日帰り	6																																															
合 計		22																																															

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
421,000	420,899				420,899

2款	総務費	1項	総務管理費	1目	一般管理費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	一般管理事業(人事評価制度運用支援事業)	決算書の頁	P. 27
-----	----------------------	-------	-------

事業内容	1. 人事評価制度の運用
	平成 28 年度から本格運用により、能力及び実績に基づく人事管理の徹底を図る。

実績成果	1. 人事評価制度共同構築・導入検討委員会(圏域町村及び北ア広域で組織) 2 回開催(第 15 回 9/25、第 16 回 3/24)  2. 人事評価制度運用支援業務 委託先: 一般社団法人 日本経営協会 契約金額: 396,000 円(北アルプス広域全体額 1,980,000 円)  3. 職員研修(対象者全員)
	(1) 評価者研修 7 回開催 ・新任評価者研修 4/17 ・評価研修 10/7、8、9 12/9、10、11  ・(2) 被評価者研修 2 回開催 ・新人職員 4/16、17  4. 人事評価制度検証委員会 6 月 30 日開催

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
396,000	396,000				396,000

2款	総務費	1項	総務管理費	1目	一般管理費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	一般管理事業(例規管理支援事業)	決算書の頁	P. 27
-----	------------------	-------	-------

事業内容	1. 法令管理支援
	例規管理徹底のため例規管理システムを導入し、例規条文の内容審査、改め文及び新旧対照表の自動作成など、例規改廃業務の効率化を図っている。また、法令改正に伴う例規改廃箇所情報を早期に受け取り、例規立案の参考としている。

実績	1. 法規審査委員会 20回開催																								
	2. 制定・改廃例規の公布状況																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>公布時期</th> <th>条例</th> <th>規則</th> <th>要綱・規程など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月～6月</td> <td>2(2)</td> <td>5(2)</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>7月～9月</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>10月～12月</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>1月～3月</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30(2)</td> <td>24(2)</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>	公布時期	条例	規則	要綱・規程など	4月～6月	2(2)	5(2)	15	7月～9月	8	8	8	10月～12月	9	8	13	1月～3月	11	3	9	合計	30(2)	24(2)	45
	公布時期	条例	規則	要綱・規程など																					
	4月～6月	2(2)	5(2)	15																					
	7月～9月	8	8	8																					
	10月～12月	9	8	13																					
	1月～3月	11	3	9																					
	合計	30(2)	24(2)	45																					
	※( )の数は白馬山麓環境施設組合の例規の件数																								
3. 新規制定条例																									
・白馬村中小企業融資利子補給基金条例																									
・白馬村多文化共生社会の推進に関する条例																									
・白馬村議会議員及び白馬村長の選挙における選挙運動の公営に関する条例																									
4. 廃止条例																									
・白馬山麓事務組合塵芥処理施設条例を廃止する条例																									
5. 例規システム利用料																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>業務名</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法制支援ソフト利用料(ぎょうせい)</td> <td>264,000</td> </tr> <tr> <td>例規システム利用料</td> <td>1,876,820</td> </tr> <tr> <td>  法令改廃情報提供システム使用料(ぎょうせい)</td> <td>396,000</td> </tr> <tr> <td>  例規集データベースシステムの使用及び更新業務(ぎょうせい)</td> <td>989,780</td> </tr> <tr> <td>  コンシェルジュデスク利用料(第一法規)</td> <td>491,040</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,140,820</td> </tr> </tbody> </table>	業務名	金額(円)	法制支援ソフト利用料(ぎょうせい)	264,000	例規システム利用料	1,876,820	法令改廃情報提供システム使用料(ぎょうせい)	396,000	例規集データベースシステムの使用及び更新業務(ぎょうせい)	989,780	コンシェルジュデスク利用料(第一法規)	491,040	合計	2,140,820											
業務名	金額(円)																								
法制支援ソフト利用料(ぎょうせい)	264,000																								
例規システム利用料	1,876,820																								
法令改廃情報提供システム使用料(ぎょうせい)	396,000																								
例規集データベースシステムの使用及び更新業務(ぎょうせい)	989,780																								
コンシェルジュデスク利用料(第一法規)	491,040																								
合計	2,140,820																								

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 ( )	一般財源
2,142,000	2,140,820				2,140,820

2款	総務費	1項	総務管理費	1目	一般管理費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	交通災害共済保険事業	決算書の頁	P. 27
-----	------------	-------	-------

事業内容	交通事故に遭われた方の救済を目的に交通災害共済に関して次の事務を行う。			
	1. 共済加入手続事務			
	2. 傷病見舞金事務			
	3. 交通災害共済の加入促進活動(広報活動の実施)			
	◎中信地域交通災害共済事務組合 構成町村 15町村 ○公費負担状況			
	区分	北安曇郡	東筑摩郡	木曾郡
	全住民	白馬村・池田町 松川村・小谷村	筑北村・生坂村 山形村・朝日村	木祖町・大滝村 大桑村
	18歳以下/75歳以上	-	-	木曾町
	18歳以下	-	麻績村	上松町・南木曾町

実績成果	1. 共済加入手続事務		
	(1) 加入実績(平成 27 年度より全村民公費加入、短期滞在の外国人転入者を除く)		
	年度	加入者数(名)	
	令和 2 年度	8,548	
	令和 元年度	9,153	
	平成 30 年度	9,415	
	(2) 公費負担加入実績		
	年度	負担金額(円)	
	令和 2 年度	1,608,250	
	令和 元年度	2,478,680	
平成 30 年度	2,488,090		
2. 傷病見舞金請求事務			
年度	件数	支払金額(円)	備考
令和 2年度	12 件	1,342,000	
令和 元年度	12 件	2,936,000	死亡 1 件
平成 30 年度	7 件	514,000	
3. 交通災害共済の加入促進活動			
チラシ地区配布 1 回 ・ 広報誌掲載 1 回			
4. その他			
歳入項目	金額(円)		
交通災害共済加入促進交付金	50,000		
事務費負担金	160,310		
合計	210,310		
※中信地域町村交通災害共済事務組合より			

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (事務費負担金等)	一 般 財 源
2,154,000	1,608,250			210,310	1,397,940

2款	総務費	1項	総務管理費	1目	一般管理費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	消費者行政活性化事業	決算書の頁	P. 27-28
-----	------------	-------	----------

事業内容	<p>平成21年度の消費者安全法の改正により消費生活相談が市町村事務となり、平成22年4月に消費生活相談窓口を設置した。現在は、関係機関(中信消費生活センター)と連携して消費者被害防止に努めているほか、平成28年度からは北アルプス広域連携事業により、大町市に消費生活センターを設置し、消費生活相談の効率化と充実を図る。</p> <p>1.ホームページによる注意喚起 2.リーフレット作成及び敬老会での配布による注意喚起 3.行政無線や広報誌による注意喚起</p> <p>○長野県消費者行政活性化事業補助金(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費生活センター運営事業</td> <td>367</td> <td>369</td> <td>338</td> </tr> <tr> <td>消費者被害防止啓発事業</td> <td>142</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>若年者に対する消費者教育</td> <td></td> <td></td> <td>136</td> </tr> </tbody> </table>			年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	消費生活センター運営事業	367	369	338	消費者被害防止啓発事業	142			若年者に対する消費者教育			136
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度															
消費生活センター運営事業	367	369	338																
消費者被害防止啓発事業	142																		
若年者に対する消費者教育			136																

実績成果	<p>村民の多種多様な相談に対し、県関係機関と連携してきめ細やかな対応を行った。</p> <p>1. 小中学生向けリーフレット作成【事業費:135,245円】 消費者意識向上のため小学校、中学校にリーフレットを配布</p> <p>2. 行政無線や広報誌による注意喚起 県関係機関からの情報を広報誌へ掲載した。 緊急の場合は行政無線を使用し注意喚起を行った。(随時)</p> <p>3. 広域連携事業【668,043円】 相談対応件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>白馬村件数</th> <th>主な相談内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年</td> <td>33</td> <td rowspan="3">架空請求等</td> </tr> <tr> <td>令和元年</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>			区分	白馬村件数	主な相談内容	令和2年	33	架空請求等	令和元年	31	平成30年	30
	区分	白馬村件数	主な相談内容										
令和2年	33	架空請求等											
令和元年	31												
平成30年	30												

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
812,000	803,288	405,000			398,288

2款	総務費	1項	総務管理費	1目	一般管理費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	一般管理事業(人事給与システム事業)	決算書の頁	P.28
-----	--------------------	-------	------

事業内容	<p>1. 白馬村人事給与管理システム業務          正規職員(特別職・一般職)及び          フルタイム会計年度任用職員・パートタイム会計年度任用職員(一部除く)の給与計算          ※令和2年度から導入          ※10年間の長期継続契約</p>
------	---

実績成果	1. 白馬村人事給与管理システム業務【使用料 1,233,100 円】
	(1) 一般職システム・・・特別職・一般職 110 名(再任用・臨時的任用含)
	①令和2年4月～令和3年3月 月例給全 12 回(毎月16日支給)
	②6月・12月賞与 全2回(6月30日、12月10日支給)
	③年末調整処理、源泉徴収票発行
	④共済・退職手当・社会保険料等の各種データ作成
	⑤給与実態調査、決算統計等各種調査用データ処理
	(2) 臨時職員システム・・・フルタイム会計年度任用職員・パートタイム会計年度任用職員 83 名
	①令和2年4月～令和3年3月 月例給全 12 回(毎月10日支給)
	②6月・12月賞与 全2回(6月30日、12月10日支給)
	③年末調整処理、源泉徴収票発行
	④共済・退職手当・社会保険料等の各種データ作成
	※システム対象者は通年雇用、給料が月額支給、賞与支給対象の全てを満たす職員
	2. データ連携
	(1) 一般職システム
①給料、職員手当伝票 ②共済負担金伝票	
(2) 臨時職員システム	
①報酬、職員手当、費用弁償伝票 ②共済負担金伝票	
3. 関係機関用データ作成	
①銀行振込データ ③退職手当報告用データ	
②共済組合報告用データ ④社会保険用データ	

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
1,234,000	1,233,100				1,233,100



2款	総務費	1項	総務管理費	2目	財産管理
----	-----	----	-------	----	------

事業名	財産管理事業	決算書の頁	P. 28-29
-----	--------	-------	----------

事業内容	1. 庁舎等の維持管理		
------	-------------	--	--

実績 ・ 成果	令和2年度実績	
	科目	金額(円)
	1. 会計年度職員人件費(2名)	5,189,372
	2. 燃料費	4,073,187
	3. 光熱水費	4,729,984
	4. 修繕費	2,899,381
	庁舎外部床修繕工事	653,400
	庁舎駐車場区画線設置工事	533,500
	EV急速充電機工事	322,300
	庁舎ボイラ修繕工事	317,900
	その他	1,072,281
	5. 通信運搬費	1,676,415
	6. 公用車検点検手数料等	574,345
	7. 建物災害共済保険料(役場庁舎など)	5,171,945
	8. 自動車損害保険料(公用車など)	717,080
	9. 庁舎等保守管理委託料	3,604,326
	公共施設清掃業務委託料	941,600
	自家用電気工作物保安管理業務委託料	530,640
	ボイラー設備等保守点検業務委託料	471,900
	庁舎警備委託業務	409,200
エレベーター保守管理委託料	402,600	
消防用設備諸点検委託料	242,000	
その他	606,386	
10. 庁舎敷地借り上げ	433,657	
11. 庁舎LED等リース料	2,758,229	
12. 庁舎改修修繕工事費	24,199,000	
白馬村多目的研修集会施設等屋根改修工事	20,910,000	
木質バイオマス設備導入工事	2,409,000	
白馬村役場網戸設置工事	880,000	
13. その他事業	2,375,197	
合計	58,402,118	

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 (ふるさと基金繰入)	一般財源
58,831,000	58,402,118	1,606,000	15,200,000	800,000	40,796,118

2款	総務費	1項	総務管理費	3目	交通安全対策費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	交通安全対策事業	決算書の頁	P.30
-----	----------	-------	------

事業内容	1. 交通安全運動の周知活動の実施(広報誌、行政無線) 2. 白馬村交通安全協会への助成 (交通事故防止活動、各種イベントの交通誘導協力、交通安全施設の整備・点検等の業務の推進) 3. 交通安全村民大会の実施 4. 大町警察署、大町建設事務所等関係機関への陳情、要望活動
------	---

実績成果	1. 交通安全運動の周知活動 広報誌4回、防災無線80回 2. 交通安全協会への助成 補助金交付額【480,000円】※協会費収入1,513,000円 (1) 交通事故防止活動 ①季別の交通事故防止活動 <table border="1" data-bbox="339 891 1193 1003"> <tr> <td>街頭啓発</td> <td>18日/年</td> <td>春8日、夏5日、秋5日</td> </tr> <tr> <td>人波作戦</td> <td>3日/年</td> <td>春、夏、秋</td> </tr> <tr> <td>交通指導所の開設</td> <td>1日/年</td> <td>春</td> </tr> </table> ②交通安全標語コンクール 応募件数 357点 ③新入学児童への交通安全啓発物品の配布(南小学校・北小学校) (2) 各種イベントへの協力 南・小学校交通安全教室・北小学校交通安全教室、保育園交通安全教室、塩の道祭り、夏祭り、大北縦断駅伝(コロナウイルスにより中止) (3) 交通安全施設の整備 <table border="1" data-bbox="339 1220 1404 1332"> <tr> <td>カーブミラー修繕</td> <td>13箇所</td> <td>青鬼9、八方口1、通2、飯森1</td> </tr> <tr> <td>カーブミラー新設</td> <td>5箇所</td> <td>切久保2、飯田1、沢渡1、大出1</td> </tr> <tr> <td>交通安全看板(通学路) 新設</td> <td>12箇所</td> <td>めいてつ4、みそら野4、八方口3、白馬町1</td> </tr> </table> 3. 交通安全村民大会 12月18日開催(コロナウイルスにより規模を縮小して開催) (1) 講師:大町警察署刑事課長 (2) 参加者:来賓4名、主催者7名、事務局3名、一般17名 4. 関係機関への陳情、要望活動 要望:2回(公安委員会) 5. 交通事故発生件数(白馬村内) ※1月～12月 <table border="1" data-bbox="347 1624 1193 1780"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数(件)</th> <th>死者(名)</th> <th>傷者(名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 2年</td> <td>22</td> <td>1</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>R 元年</td> <td>46</td> <td>0</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>増減数</td> <td>△24</td> <td>1</td> <td>△39</td> </tr> </tbody> </table>	街頭啓発	18日/年	春8日、夏5日、秋5日	人波作戦	3日/年	春、夏、秋	交通指導所の開設	1日/年	春	カーブミラー修繕	13箇所	青鬼9、八方口1、通2、飯森1	カーブミラー新設	5箇所	切久保2、飯田1、沢渡1、大出1	交通安全看板(通学路) 新設	12箇所	めいてつ4、みそら野4、八方口3、白馬町1	区分	件数(件)	死者(名)	傷者(名)	R 2年	22	1	28	R 元年	46	0	67	増減数	△24	1	△39
街頭啓発	18日/年	春8日、夏5日、秋5日																																	
人波作戦	3日/年	春、夏、秋																																	
交通指導所の開設	1日/年	春																																	
カーブミラー修繕	13箇所	青鬼9、八方口1、通2、飯森1																																	
カーブミラー新設	5箇所	切久保2、飯田1、沢渡1、大出1																																	
交通安全看板(通学路) 新設	12箇所	めいてつ4、みそら野4、八方口3、白馬町1																																	
区分	件数(件)	死者(名)	傷者(名)																																
R 2年	22	1	28																																
R 元年	46	0	67																																
増減数	△24	1	△39																																

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
480,000	480,000				480,000

2款	総務費	1項	総務管理費	4目	防犯対策費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	防犯対策事業	決算書の頁	P.30
-----	--------	-------	------

事業内容	1. 防犯広報活動の実施(広報誌、行政無線) 2. 白馬村防犯協会への助成 (暴力団啓発活動、防犯パトロール、防犯意識の向上と安全対策の推進を図る。) 3. 交通安全・暴力追放村民大会の実施 4. 大町警察署、白馬村交番等関係機関との連携・協働した安全な地域づくりの推進
------	---

実績・成果	1. 防犯広報活動 防犯速報等行政無線 1回、広報誌掲載 1回 2. 防犯協会への助成 補助金交付金額【400,000円】 (1) 防犯啓発活動 ① 大北防犯協会 指導員研修会・班長会議への参加 ② 防犯ブザーの配布(北・南小学校、中学校) ③ 防犯パトロール車両用マグネットの配布 (2) 防犯パトロールの実施 ① 各地区自主防犯パトロールの実施 ② 青色回転灯装備車による防犯パトロールの実施 3. 交通安全・暴力追放村民大会12月19日 (1) 講師 : 大町警察署刑事課長 (2) 参加者: 来賓7名、主催者6名、事務局2名、一般62名 4. 刑法犯発生数(白馬村内)
-------	--

犯行手口	令和元年度	令和2年度	増減
凶悪犯	0	0	0
粗暴犯	0	4	4
窃盗犯	36	28	△8
知能犯	2	4	2
風俗犯	0	0	0
その他	8	5	△3
合計	46	41	△5

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 ( )	一般財源
400,000	400,000				400,000

2款	総務費	1項	総務管理費	5目	姉妹都市提携費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	姉妹都市提携事業	決算書の頁	P. 30
-----	----------	-------	-------

事業内容	1. 静岡県河津町との交流
	2. 和歌山県太地町との交流
	3. オーストリア レッヒとの交流

実績・成果	1. 静岡県河津町との交流 (1) 白馬南小学校と河津東小学校の交流 5月 中止 河津町訪問:白馬南小学校6年生 1月 中止 スキー交流:河津東小学校5年生 (2) 産業交流 11月中止 白馬村文化祭 (海産物等の販売、振る舞い)
	2. 和歌山県太地町との交流 (1) 白馬北小学校と太地小学校の交流 7月 中止 太地町訪問:白馬北小学校5年生 1月 中止 スキー交流:太地小学校4年生 (2) 産業交流 11月中止 白馬村文化祭 (くじら等の特産品の販売、振る舞い)
	3. オーストリア レッヒとの交流 (1) 派遣 中止 (4月ワインコンテストにおける寿司職人の派遣)  ※全事業新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止 白馬北小学校は次年度へ延期 白馬南小学校は次年度へ延期 お土産交換(16,200円)を実施。

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
17,000	16,200				16,200

2款	総務費	1項	総務管理費	6目	企画費
----	-----	----	-------	----	-----

事業名	企画一般事業	決算書の頁	P.30-32
-----	--------	-------	---------

事業内容	企画一般事業
	1. 各種施策の企画・調整 2. 実施計画ローリング 3. 地区役員懇談会の開催 4. 各省庁団体等への助成金要望申請事務 5. 公拡法届出受付 6. 総務課管理の村有施設等の管理

実績・成果	1. 各種施策の企画・調整 ・第5次総合計画後期計画策定 【 673,200 円】 ・総合計画・総合戦略評価委員会 2 回開催 ・地域公共交通会議の開催 ・テレワークシステム等の構築(PC26 台) 【3,824,590 円】 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使用しテレワーク環境を整備した。 ・作業効率化業務委託料(RPA) 【3,751,000 円】※交付税措置あり(補助金から変更)
	2. 実施計画ローリングの実施 3. 地区役員懇談会の開催 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から希望地区のみ開催(4地区) 4. 元気づくり支援金要望申請 地域発元気づくり支援金(長野県)の申請受付 計画書提出件数: 19 件 採択件数:15 件(うち村 1 件) 5. 公拡法に基づく届出 4件 6. 総務課管理の村有施設等の管理 ・白馬ノルウェービレッジ敷地の借上料 【1,330,000 円】 ・いこいの杜借上料(支出) 【6,900,000 円】 (いこいの杜 5,500,000 円 南村 1,400,000 円) グリーンスポーツの森 利用者数 13,526 名 白馬村社協デイサービスセンター岳の湯 利用者数 3,698 名 7. 北アルプス広域連合への経常経費負担 【14,862,000 円】 8. その他 【461,920 円】

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金 (臨時交付金等)	地 方 債	そ の 他 (土地等貸付料)	一 般 財 源
32,145,000	31,802,710	3,901,000		1,473,832	26,427,878

2款	総務費	1項	総務管理費	6目	企画費
----	-----	----	-------	----	-----

事業名	情報化対策事業	決算書の頁	P. 30-32
-----	---------	-------	----------

事業内容	1. 庁内システム管理 2. 公用パソコン等購入 3. ながの電子申請サービス運用 4. 情報ブロードウェイながの運用 5. 長野県自治体情報セキュリティクラウド運用 6. 電子自治体推進事業
------	---

実績成果	1. 庁内システム管理 村職員共通ウェブシステム(web21)の保守・管理、ウイルス対策ソフト管理、プロバイダー 使用料、ドメイン維持費用 【1,447,380 円】  2-1. 公用パソコン等購入 機器更新に伴う基幹系及び情報系の公用パソコンを購入・設置 購入台数 情報系 PC 1台、プリンタ 3台 【483,700 円】  2-2. クライアント PC リース料 Windows7のサポート終了によるリプレース 情報系 PC 90台 基幹系 PC10台 3月分リース料 【328,636 円】  3. ながの電子申請サービス運用 長野駐車場、ふるさと白馬村を応援する寄付、子育てワンストップサービス等 申請状況 申請件数 110 件 【77,983 円】  4. 情報ブロードウェイながの運用 LGWAN・基幹系回線・情報系回線・住基ネット・後期高齢者医療・広域介護・国保ラインにて 利用 【940,509 円】  5. 長野県自治体情報セキュリティクラウド運用 長野県自治体情報セキュリティクラウド運用負担金 【2,631,025 円】  6. 電子自治体推進事業 電子自治体推進事業市町村負担金・LGWAN 機器広域設置負担金 【293,493 円】
------	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
6,300,000	6,202,726				6,202,726

2款	総務費	1項	総務管理費	6目	企画費
----	-----	----	-------	----	-----

事業名	広報事業	決算書の頁	P. 30-32
-----	------	-------	----------

事業内容	1. 広報はくば発行
------	------------

実績・成果	1. 広報はくば発行 【3,063,060 円】 発行日 毎月第3月曜日 年12回発行（ホームページに電子ファイルを掲載） 発行部数 3,200部 行政区加入世帯に配布														
	2. 日本広報協会負担金 【15,000 円】														
	<p>広報等広告収入内訳</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">公用封筒有料広告掲載</td> <td>3枠(@40,000 円)</td> <td>120,000 円</td> </tr> <tr> <td>2枠(@41,000 円)</td> <td>82,000 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">行政ホームページ広告掲載</td> <td>60,000 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">宝くじ</td> <td>60,000 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>322,000 円</td> </tr> </table>	公用封筒有料広告掲載	3枠(@40,000 円)	120,000 円	2枠(@41,000 円)	82,000 円	行政ホームページ広告掲載		60,000 円	宝くじ		60,000 円	合 計		322,000 円
公用封筒有料広告掲載	3枠(@40,000 円)		120,000 円												
	2枠(@41,000 円)	82,000 円													
行政ホームページ広告掲載		60,000 円													
宝くじ		60,000 円													
合 計		322,000 円													

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (有料広告代)	一 般 財 源
3,183,000	3,078,060			322,000	2,756,060

2款	総務費	1項	総務管理費	6目	企画費
----	-----	----	-------	----	-----

事業名	コミュニティ推進事業	決算書の頁	P.30-32
-----	------------	-------	---------

事業内容	<p>1. 地域づくり事業補助金 地域の特性を生かした地域振興を図り、安全な生活環境を形成するため、地域の実情に即した創意と工夫により、地域の活性化を推進する地域づくり事業を行うために要する経費に対する補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化事業(補助率 2/3)</li> <li>・防犯灯設置事業(補助率 1/2、LED2/3)</li> <li>・病虫害等駆除事業(補助率 2/3、上限 10 万円)</li> </ul>
	<p>2. コミュニティセンター補助金 一般財団法人 自治総合センター事業を活用し、コミュニティセンター建設への補助。</p>

実績・成果	<p>1. 地域づくり事業補助金 補助金交付件数 31 件 補助金総額 【4,955,000 円】<sup>上限 30 万円</sup></p> <p>(1) 地域活性化事業 29 件 4,773,000 円 (道路整備、水路改修、花木植栽、公民館修繕など)</p> <p>(2) 防犯灯設置事業 4 件 182,000 円 (防犯灯 LED 化、新設)</p>
	<p>2. コミュニティセンター補助金 令和2年度実績なし</p> <p>・ 地域づくり事業を活用し、地域コミュニティの形成、環境保全や景観形成、生活環境の向上が図られた。</p>

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金繰入)	一 般 財 源
4,955,000	4,955,000			4,900,000	55,000



2款	総務費	1項	総務管理費	6目	企画費
----	-----	----	-------	----	-----

事業名	ケーブルテレビ白馬管理運営事業	決算書の頁	P. 30-32
-----	-----------------	-------	----------

事業内容	行政運営に関する各種情報を総合的かつ計画的に提供することによって、住民の生活、文化、教育等の向上を図り、もって住民福祉の向上に寄与するため、各種情報の総合的な提供を行う有線テレビジョン放送を管理運営する事業で、株式会社エーアイシーコミュニケーションズを指定管理者としている。
------	---

実績・成果	<p>1. ケーブルテレビ管理・運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加入者数 2,128 世帯 (R3.3.31 現在 前年比 40 世帯増)</li> <li>・番組審議会開催 1回開催</li> <li>・番組制作委託料 【3,960,000 円】</li> <li>・電柱添架料等 【6,744,199 円】</li> <li>・工事請負費 【2,780,800 円】 支障移転による工事</li> <li>・備品購入費 【1,320,000 円】 V-ONU 60 台</li> </ul> <p>その他 【933,205 円】 (負担金、保険料)</p>
-------	---

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (利用料等)	一 般 財 源
15,877,000	15,738,204			6,790,681	8,947,523

2款	総務費	1項	総務管理費	6目	企画費
----	-----	----	-------	----	-----

事業名	ふるさと納税事業	決算書の頁	P. 30-32
-----	----------	-------	----------

**事業内容**

各種事業を推進する財源として「ふるさと白馬村を応援する寄附」を全国から募るために、ポータルサイトやクレジットカード決済を活用するとともに、寄附者に対して、宿泊補助券やリフト券、白馬産米、特産品、アウトドアアクティビティ等の返礼品を贈呈することにより、地域経済の活性化や誘客を図る。

また、ふるさと納税の使い道として村の施策を広く告知することで、事業自体のPRを進めるとともに、白馬ファンの獲得を目指す。

返礼品関係の業務については、白馬ノルウェービレッジの指定管理者として指定されている『しくみ株式会社』に業務委託を行った。

**実績・成果**

**【主な経費】**

1	ふるさと納税返礼品用ステッカー等印刷製本	391,600 円	
2	広告掲載料(雑誌・インスタ)	193,000 円	
3	手数料		
	ふるさと納税クレジットカード決済手数料	7,212,840 円	
	ふるさと納税返礼品発送手数料(宅急便・ゆうパック)	14,433,449 円	
4	委託料	返礼品業務委託料(しくみ株式会社)	108,795,632 円
		返礼品手数料	35,247,600 円
		ふるさとチョイス電子感謝券利用分(白馬村観光局)	11,065,769 円
		ふるさとチョイス電子感謝券発行分	2,248,750 円
		ふるさと納税プロモーション委託料(株式会社トラストバンク)	13,380,377 円
		ふるさと納税プロモーション委託料(楽天株式会社)	6,128,051 円
	管理システム保守委託料(株式会社エッグ)	601,700 円	
5	その他	87,654 円	
合計		199,786,422 円	

**【令和2年度ふるさと白馬村を応援する寄附 実績】**

寄附申請件数 12,668 件 寄附金額 396,968,100 円(前年比 122%)

寄附金の使い道

1	スポーツ振興事業	72,180,800 円
2	環境保全事業	102,424,600 円
3	地域力向上	7,937,600 円
4	地域教育力向上事業	17,427,800 円
5	白馬高校魅力づくり事業	11,331,200 円
6	国際観光地	47,038,500 円
7	子育て支援	40,217,900 円
8	事業者支援	2,934,200 円
9	指定なし	95,475,500 円
合計		396,968,100 円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (特定財源分)	一 般 財 源
199,810,000 円	199,786,422 円			138,465,030	61,321,392 円

2款	総務費	1項	総務管理費	6目	企画費
----	-----	----	-------	----	-----

事業名	移住交流集落支援事業		決算書の頁	P.30-32																	
事業内容	1. 移住相談業務 2. 交流イベント開催 3. 集落支援業務 4. ふるさとテレワーク業務 5. ふるさと人材奨学金返還補助事業 (地域おこし協力隊員 1名 集落支援員 2名)																				
実績成果	1. 移住相談業務 ・11月 白馬村主催 移住体験ツアー開催 参加者8名 ・1月 (一社)移住・交流推進機構主催 JOIN 移住交流&地域おこしフェア参加(オンライン) 2. 交流イベント開催 ・令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 3. 集落支援業務 ・小規模集落支援を主目的に集落支援員を採用(2名)。 ・特産品支援、窓口英語対応、書類作成補助、普請補助等を実施。 4. ふるさとテレワーク業務 ・平成28年度に総務省ふるさとテレワーク推進事業活用しサテライトオフィスとして整備をした。 現在、白馬ノルウェービレッジを、指定管理者である「しくみ(株)」に管理運営を任せている。 5. ふるさと人材奨学金返還補助事業 ・企業版ふるさと納税を活用し、白馬高校を卒業後大学等に進学後帰村し、村内の観光事業所に就職した人に年間最大20万円を最大5年間補助する事業。 令和2年度申請者 1名 令和2年度交付対象者数 4名 (交付決定金額 644,280円) 令和元年度申請者 3名																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>金額</th> <th>科目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬等</td> <td>7,484,443円</td> <td>備品購入費</td> <td>532,765円</td> </tr> <tr> <td>消耗品・燃料費等</td> <td>1,084,248円</td> <td>負担金・補助金</td> <td>1,680,280円</td> </tr> <tr> <td>使用料・賃借料</td> <td>2,305,210円</td> <td>合計</td> <td>13,086,946円</td> </tr> </tbody> </table>					科目	金額	科目	金額	報酬等	7,484,443円	備品購入費	532,765円	消耗品・燃料費等	1,084,248円	負担金・補助金	1,680,280円	使用料・賃借料	2,305,210円	合計	13,086,946円
科目	金額	科目	金額																		
報酬等	7,484,443円	備品購入費	532,765円																		
消耗品・燃料費等	1,084,248円	負担金・補助金	1,680,280円																		
使用料・賃借料	2,305,210円	合計	13,086,946円																		
予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)																			
		国県支出金	地方債	その他 (ふるさと人づくり 基金)	一般財源																
13,359,000	13,086,946	742,000		640,000	11,704,946																

2款	総務費	1項	総務管理費	6目	企画費
----	-----	----	-------	----	-----

事業名	特別定額給付金事業		決算書の頁	P.30-32	
事業内容	1. 特別定額給付金の支給				
実績・成果	1. 特別定額給付金給付事務 【 6,087,794 円】 2. 特別定額給付金給付事業 【863,200,000 円】 ・給付対象世帯:4,061 世帯 ・給付対象者数:8,707 人  ・申請書受付件数:3,990 世帯 ・申請書受付者数:8,636 人(内辞退者 4 人)  ・支給率 99.2%				
予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 ( )	一般財源
869,291,000	869,287,794	869,287,794			0

2款	総務費	1項	総務管理費	6目	企画費
----	-----	----	-------	----	-----

事業名	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	決算書の頁	P. 32
-----	---------------------------	-------	-------

事業内容	<p>白馬山麓事務組合負担金(白馬高校支援事業への負担金)          白馬村、小谷村で連携し白馬高校魅力化づくりに取り組んでおり、実際の事務は一部事務組合である白馬山麓事務組合で行っており、白馬村と小谷村では経費を案分して支出している。          負担金の対象となる、白馬山麓事務組合での事業内容は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全国募集活動とキャリア教育に対する支援</li> <li>2. 公営塾「しろま学舎」の運営</li> <li>3. 学生寮「しろま Pal House」の運営</li> <li>4. 県立白馬高校寮新型コロナウイルス感染防止対策</li> </ol>
------	--

実績・成果	<p><b>【実績】 白馬山麓事務組合負担金 107,288,000円</b></p> <p><b>1. 全国募集活動とキャリア教育に対する支援【2,636,841円】</b></p> <p>①グローバル講演会(新型コロナウイルス感染症により高校生のみ)          ・10月22日 講師 株岩岳リゾート 代表取締役社長 和田 寛氏</p> <p>②全国募集に伴うパンフレット、チラシ等の作成</p> <p>③全国募集説明会は、新型コロナウイルス感染症のためリモートによる個別説明</p> <p>④大都市向けの新聞・雑誌等への広告を掲載</p> <p>国際観光科に入学した県外生は平成30年度12名、令和元年度20名であった。          全校生徒数は、全国募集を始めた平成27年度から29年にかけて増加してきたが、平成30年度からは減少している。(H30:210名、R元:206名、R2:181名)</p>																			
	<p><b>2. 公営塾「しろま学舎」の運営【13,739,873円】</b></p> <p>①地域おこし協力隊制度を活用して講師3名により運営</p> <p>②しろま学舎塾生は平成30年度48名、令和元年度57名、令和2年度27名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>塾生(名)</th> <th>主な合格大学・進学先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年</td> <td>27</td> <td>鳥取大学1名、京都外国語大学2名</td> </tr> <tr> <td>令和元年</td> <td>57</td> <td>京都外国語大学1名、新潟医療福祉大学1名</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>48</td> <td>信州大学1名、長野県立大学1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>卒業生の今後の進路やその先の就職状況により、白馬高校国際観光科の教育方針や特色などが確立されるものと考えている。なお、令和元年度まで行っていた信州大学との連携事業は新型コロナにより中止となった。</p>	年度	塾生(名)	主な合格大学・進学先	令和2年	27	鳥取大学1名、京都外国語大学2名	令和元年	57	京都外国語大学1名、新潟医療福祉大学1名	平成30年	48	信州大学1名、長野県立大学1名							
	年度	塾生(名)	主な合格大学・進学先																	
令和2年	27	鳥取大学1名、京都外国語大学2名																		
令和元年	57	京都外国語大学1名、新潟医療福祉大学1名																		
平成30年	48	信州大学1名、長野県立大学1名																		
<p><b>3. 学生寮「しろま Pal House」の運営【90,911,286円】</b></p> <p>①地域おこし協力隊制度を活用してハウスマスター2名を中心に運営          令和元年度までは男子寮3施設、女子寮1施設の運営を行っていたが、男子寮生の減少により、1寮を下宿へ移行し、残りの男子寮2施設、女子寮1施設での運営となった。尚、給食については、前年同様に専門の業者に委託した。</p> <p>入寮生の推移 (名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入寮生</th> <th>内 県外</th> <th>内 県内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年</td> <td>17</td> <td>12</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>令和元年</td> <td>24</td> <td>21</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>26</td> <td>14</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>平成29年</td> <td>22</td> <td>16</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	年度	入寮生	内 県外	内 県内	令和2年	17	12	5	令和元年	24	21	3	平成30年	26	14	12	平成29年	22	16	6
年度	入寮生	内 県外	内 県内																	
令和2年	17	12	5																	
令和元年	24	21	3																	
平成30年	26	14	12																	
平成29年	22	16	6																	

4. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業(事業費の内数)

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言により入寮日が5月24日にずれ込み、県内生・関西の県外生・関東の県外生・その他地域の県外生ごとに施設を分け、2週間の健康観察期間を設けたのち全員が入寮した。

新型コロナウイルス感染症対策に要した経費は次のとおり。

1. 新型コロナウイルス感染症用マスク・消毒液等消耗品費	2,480,998 円
2. 入寮に係る健康観察期間個室対应用給食費	121,590 円
3. 入寮に係る健康観察期間個室対应用料	2,248,040 円
4. 新型コロナウイルス感染症用自動体温計購入費	361,900 円
合計	5,212,528 円

※上記の対策に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した。

【成果】

「白馬高等学校の経営及び運営に参加する地域案」をもとに事業を展開している。これまで、白馬高校の取り組みは報道等に取り上げられる機会が多く、29年度までは入学者も増えてきたが、全国募集をする高校が全国的に増えたことや、大都市圏では地元志向が強くなってきている影響もあり、県外からの入学する生徒は30年度から減少傾向である。

6年目を迎えた公営塾については、個別指導なども成果を見せ始め国立大学・県立大学及び私立大学など志望校への合格者を出すことができている。

寮運営は、生徒数減少により民間寮を1施設廃止し、男子寮2施設、女子寮1施設での運営を行った。新型コロナウイルス感染症への対策をとるためには全員個室が望ましいが、現施設では対応出来ないことから、民間の宿を借りながら2週間の健康観察期間を設け、朝晩の体温測定など健康観察を行ったのち全員が入寮した。寮内での感染予防対策は、マスク・消毒液の購入、分離用カーテンの設置、感染予防用フェイスガード・ゴム手袋購入、食堂のアクリルスタンド設置、玄関に自動体温測定器と消毒液スタンドの設置などを行っている。これらの対策を施した上で、共有スペースでのマスクの着用、ソーシャルディスタンス、手指消毒など考えられる対策を行ったことにより、一人も感染者を出すことなく寮の運営が行うことができた。

【財源内訳】

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	4,351,000 円
ふるさと白馬村を応援する基金繰入金	65,629,000 円

※下記決算額は6目企画費 19節 負担金、補助及び交付金の内数

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
107,288,000	107,288,000	4,351,000		65,629,000	37,308,000

2款	総務費	1項	総務管理費	7目	会計管理費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	会計管理事業	決算書の頁	P. 33
-----	--------	-------	-------

事業内容	1. 支出関係書類等の迅速で正確な審査及び事務処理		
	2. 村税・補助金・各種使用料等の正確な収納業務		
	3. 資金の安全な運用を行い、資金が不足する場合は一時借入等を行い、確実な支払事務に努める。		
	4. 例月出納検査に関する業務		
	5. 決算書の調製業務		
	6. 所得税の源泉徴収に関する業務		

実績・成果	1. 支払業務	一般支払 議員報酬、給料 その他支払日指定のもの等は随時	毎月5日、20日 毎月16日	報酬等 還付等	毎月10日 毎月16日、月末
	2. 収納業務	金融機関窓口収納業務（郵便局除く） 口座振替（帳票扱分）取扱 公金振込 残高証明発行 取扱手数料 村税等収納業務 会計室窓口収納業務		電算OCR保守委託料 指定金融機関の大北農協に依頼 午前9時～午後3時 職員1名 負担金	31,224件 474件 20件 3件 1,086,470円 475,200円 800,000円
	3. 所得税の源泉徴収票作成業務	電算源泉徴収システム委託料 源泉徴収票・支払調書発行件数 うち税務署提出件数	713件 96件		158,400円
	4. その他	納付書・伝票用紙代等			565,158円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
3,101,000	3,085,228				3,085,228

2款	総務費	1項	総務管理費	8目	電算業務費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	電算事業	決算書の頁	P. 33
-----	------	-------	-------

事業内容	1. 電算総合行政システム業務
	2. 基幹系・情報系システムの広域情報化
	3. 情報端末機器及びネットワークの運用継続
	4. 自治体セキュリティ強靱化対応業務委託
	5. 白馬村公式ウェブサイトサービス提供業務委託
	6. 中間サーバ利用負担金
	7. その他

実績成果	1. 電算総合行政システム業務 【13,184,435 円】	
	1	総合行政情報システム委託料(継続) 10,956,000 円
	2	中間サーバープラットフォーム更改 1,110,835 円
	3	情報セキュリティ強靱化保守 237,600 円
	4	統合型 GIS システム保守業務 880,000 円
	2. 基幹系・情報系システムの広域情報化負担金【10,506,000 円】	
	1	基幹系システム事業 6,924,000 円
	2	情報系システム事業 2,879,000 円
	3	戸籍副本システム 295,000 円
	4	中間サーバーブリッジシステム 408,000 円
	3. 情報端末機器及びネットワークの運用継続 【2,412,715 円】	
	1	情報端末機器及び周辺機器の修繕・消耗品購入等 764,787 円
	2	庁舎及び出先機関のネットワーク通信回線使用料 1,647,928 円
	4. 自治体セキュリティ強化対策保守業務 【879,384 円】 インターネット系ネットワーク装置の保守業務	
	5. 白馬村公式ウェブサイトサービス運用保守業務 【1,386,000 円】	
	6. 中間サーバ利用負担金 【4,183,000 円】	
	7. その他(地方自治情報センター会費等) 【45,000 円】	

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
32,736,000	32,596,534	2,208,000			30,388,534



2款	総務費	1項	総務管理費	9目	環境保全費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	景観形成事業	決算書の頁	P.33
-----	--------	-------	------

事業内容	<p>1. 環境審議会 環境の保全及び景観の形成に関して、基本的事項を調査審議するため、白馬村環境審議会を設置し、白馬村環境基本条例第施行規則第4条に定義される大規模行為の事前協議があった案件について審議会を開催し調査及び審議する。</p> <p>2. 景観行政団体への移行及び景観計画の策定 景観法に基づき、良好な景観の保全・形成を図るなど、景観行政を担う自治体として、本来であれば都道府県や政令市、中核市が景観行政団体に該当するが、これら以外の市町村に関しては、都道府県知事との協議により景観行政団体になることができる。 白馬村では長野県と法定協議を行い、景観計画策定委員会（環境審議会併任）において計画素案を審議し、景観行政団体に移行した後に景観行政団体として景観法に基づいて景観計画の策定及び施行をする予定。</p>
------	--

実績・成果	<p>1. 環境審議会 開催経過 (審:大規模開発審議案件) ①令和2年4月16日(新田地区の従業員寮施設について審) ②令和2年6月22日(白馬リイクセンターについて 太陽光発電施設の規制について①) ③令和2年7月29日(委員改選 太陽光発電施設の規制について②)</p> <p>2. 景観計画策定 平成30年度から建築を専攻する大学生を中心に実施した、村民、白馬ファン、移住希望者、住民協定地区居住者、建築業者、行政関係者等によるワークショップ、フィールドワークを経て、令和2年度は環境審議会と併任する形で景観計画策定委員会を設置し、以下のとおり委員会を開催し、計画素案の審議を進めた。 ①令和2年11月26日(委員委嘱等 景観計画の概要説明 進行管理の確認) ②令和3年3月23日(景観特性に関するグループディスカッション)</p> <p>・景観計画策定委託料 2,508,000円 ③【ふるさと白馬村を応援する基金 1,550,000円繰入】 景観行政団体移行に向けて、白馬村景観計画の草案を作成し、調整支援をする。 └ 上位計画等現況調査/景観要素の抽出・景観特性分析/景観計画策定方針の再検討/景観計画区域の再検討/景観計画策定委員会の運営支援/例規、各法令、県条例との調整支援等 ・その他(環境審議委員報酬等) 417,800円</p>
-------	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
2,926,000	2,925,800	1,250,000		1,550,000	125,800

2款	総務費	1項	総務管理費	10目	環境政策費
----	-----	----	-------	-----	-------

事業名	地球温暖化対策事業	決算書の頁	P.34
-----	-----------	-------	------

事業内容	1. 電気自動車用急速充電器保守管理業務 2. 太陽光発電施設等設置補助金 3. 二酸化炭素排出抑制対策事業 EV(電気自動車)シェア事業等 再生可能エネルギーに関する基本方針等連絡協議会設立準備会開催
------	---

実績・成果	1. 電気自動車用急速充電器保守管理業務 (1) 道の駅白馬 設置個所:道の駅白馬 利用回数 651回/年(月平均54回) (2) 白馬村役場 設置個所:白馬村役場 利用回数 1,049回/年(月平均87回) (3) (1)+(2) ・電気代: 528,952円 ・保守管理委託料: 685,300円(ハセテック、道の駅、エネゲート) 計 <b>【1,214,252円】</b> ・・・(うち補助金 1,036,818円)  2. 太陽光発電施設等設置補助金 電気自動車普通充電設備 4件 <b>【149,000円】</b> 太陽光発電システム 1件 <b>【120,000円】</b>  3. 二酸化炭素排出抑制対策事業 (1)EV(電気自動車)シェア事業等 日本EVクラブと連携し、EVシェアリングサービス(55枠中45枠利用)、クールチョイスイベント、白馬クールチョイス新聞発行事業を実施した。 ・委託料 <b>【5,000,000円】</b> ・・・(うち補助金 5,000,000円)  4. 備品購入費 パワームーバ購入費 <b>【625,900円】</b> ・・・(うち補助金 417,000円)  5. その他 <b>【89,335円】</b> (再エネ委員報酬、消耗品等)
-------	---

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (補助金等)	一 般 財 源
7,575,000	7,198,487	417,000		6,356,818	424,669

2款	総務費	2項	徴税費	2目	賦課徴収費
----	-----	----	-----	----	-------

事業名	賦課徴収事業(コンビニ収納導入)	決算書の頁	P. 35
-----	------------------	-------	-------

事業内容

共働き、生活の夜間化が進むなか、休日や夜間でも身近なコンビニで税金を支払えるコンビニ収納、併せてコンビニ収納用のバーコード付き納付書により、スマホアプリによるキャッシュレス決済を導入するためのシステム改修を行った。

1. コンビニ収納導入業務委託【4,620,000円】(賦課収納業務電算委託料 内)

地銀ネットワークサービス(株)が提供する収納代行サービスを利用し、全国の提携コンビニ店舗での納付及びスマホアプリでのキャッシュレス決済を導入するためのシステム改修、また納付書にバーコードを印字するため次の帳票改修を行った。

- ・改修した帳票: 村県民税(普通徴収)、固定資産税、軽自動車税(種別割)、国民健康保険税の納税通知書、督促状、汎用納付書
- ・コンビニ店: セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート など
- ・スマホアプリ: LINE Pay、PayPay



実績成果

○参考

全納付件数(令和3年4月1日から6月30日まで)	23,190件	
うち、コンビニスマホアプリによる納付件数	8,467件	36.5%
うち、休日及び金融機関窓口業務時間外の納付件数	4,150件	49.0%

これまで金融機関等から納付書が回送され、納付情報のシステムへの反映に数日かかっていたが、コンビニ収納の速報データにより、前日の納付情報が翌日に電子データで回送されるため、窓口対応や滞納整理業務における業務改善にも貢献している。

2. 〈繰越〉コンビニ収納導入業務委託(カク公様式導入業務)【2,640,000円】

令和3年度はマル公様式の納付書を使用しているが、取り扱いが長野県、新潟県の郵便局窓口に限られているため、令和4年度から全国の郵便局・ATMで利用できるカク公様式の導入を図る。

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7,260,000	7,260,000				7,260,000

2款	総務費	2項	徴税费	2目	賦課徴収費
----	-----	----	-----	----	-------

事業名	賦課徴収事業(地番図更新等作成委託)	決算書の頁	P. 35
-----	--------------------	-------	-------

事業内容	<p>平成 26 年度より GIS(地図データを使った情報管理)による固定資産管理システムを導入。地図を介して固定資産情報の見える化と共有が実現した。</p> <p>令和元年度をもって村内全ての土地に関する情報が搭載された。</p> <p>令和 2 年度は、法務局からの登記済通知がオンライン化されたことを機に、受領した電子データを管理・活用する「登記履歴管理システム」も導入し、固定資産税課税における登記との連携を強化した。</p> <p>1. 地番図データ更新 2. 登記履歴管理システム導入</p>
------	--

実績・成果	<p>1. 地番図データ更新【3,388,000 円】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図情報に固定資産税賦課情報(納税義務者、評価単価等)を搭載 (97,115 件)</li> <li>・登記情報(土地分合筆、家屋新築登記等)の更新を反映 (土地 4,150 件、家屋 272 件)</li> <li>・固定資産税の見える化により、資産評価の精度は各段に上がり適正課税に寄与している。</li> </ul> <p>また、利用者毎に操作権限を与えることで目的に応じた利用が可能であり、農政、建設、水道、教育、福祉等、全庁で幅広い業務に活用されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地番図利用状況</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>ログインユーザー数</th> <th>ログイン回数</th> <th>使用延べ日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和 2 年度</td> <td>71 人</td> <td>5,614 回</td> <td>3,374 日</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>67 人</td> <td>4,972 回</td> <td>2,890 日</td> </tr> </tbody> </table>	年度	ログインユーザー数	ログイン回数	使用延べ日数	令和 2 年度	71 人	5,614 回	3,374 日	令和元年度	67 人	4,972 回	2,890 日
	年度	ログインユーザー数	ログイン回数	使用延べ日数									
令和 2 年度	71 人	5,614 回	3,374 日										
令和元年度	67 人	4,972 回	2,890 日										
<p>2. 登記履歴管理システム導入【1,430,000 円】</p> <p>令和 2 年 10 月より、法務局からの登記済通知が文書による送達から LGWAN 回線を利用したオンライン化へ移行した(移行期間中につき、現在は両方を並行利用)。</p> <p>受領した電子データは、固定資産税課税へ反映させた後、電子データの利点を活かし、情報を蓄積することで登記履歴の管理としても利用している。</p> <p>これまでは法務局へ出向き入手していた情報を役場にいながら確認できるようになり、大幅な事務効率の向上を果たしている。また即時、簡易に登記情報が確認できる点は登記を根拠とする固定資産税において、適正課税の飛躍的な向上にも貢献している。</p>													



←土地・家屋の登記履歴が確認可能

←登記簿をイメージした閲覧画面

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
4,818,000	4,818,000				4,818,000

2款	総務費	2項	徴税费	2目	賦課徴収費
----	-----	----	-----	----	-------

事業名	賦課徴収事業(土地評価替え業務委託)	決算書の頁	P. 35
-----	--------------------	-------	-------

事業内容	<p>令和3年度の固定資産税評価替に向けて、平成30年度から3カ年で業務を行った。平成30年度は現状把握と分析、令和元年度は状況類似地区の決定、標準宅地の決定、画地の計測(間口、奥行)を行い、令和2年度は画地の計測結果等これまでの成果を課税へ反映させた。</p>
------	---

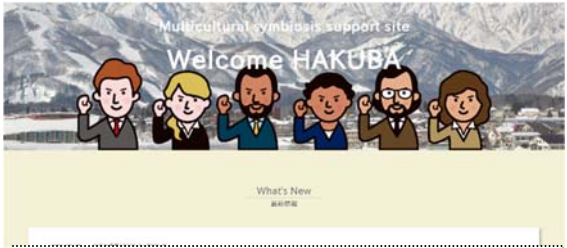

実績・成果	<p>土地評価替業務(債務負担行為に係る長期継続契約)【総額 18,529,400 円】</p> <p>令和2年度【3,135,000 円】(課税システムへの送込データ作成、検証) 令和元年度【6,182,000 円】(画地計測) 平成30年度【9,212,400 円】(状況類似界地図作成、画地認定、状況類似地区見直し)</p> <p>これまでの評価替事業は担当者自らの手作業で行っていたため、課税システムへ入力できる情報量は限られ、対象地区を限定した上で一律の補正をかけるという評価しかできなかった。今回の評価替事業では、GISによる固定資産管理システムの納入業者へ委託し、同システムによる全件一括の集計や分析を行った他、地図データから得られる位置や形状に関する情報を用いて、一筆ごとにきめ細かく土地評価を行うことができた。また、課税システムへのデータ反映についても13,000件を一括で行うことができた。</p>											
	<p>評価替後の土地評価額と税額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度まで</th> <th>令和3年度</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価額</td> <td>28,157,608,752 円</td> <td>31,017,926,503 円</td> <td>2,860,317,751 円</td> </tr> <tr> <td>参考税額</td> <td>225,577,952 円</td> <td>219,199,032 円</td> <td>△6,378,920 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>⇒一筆ごとの評価を行った結果、村全体の土地評価額がこれまでより上昇した。 ⇒みそら野、エコランド、八方、和田野では、評価に関わらず土地需要から地価が上昇したことによる要因もある。 ⇒評価替の結果、評価が下がった土地もあった他、評価替や地価上昇による急激な増税を回避するための「負担調整措置」により税額は下がる結果となった。 ※但し、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済活動の変化を考慮し、「負担調整措置」による増税調整は行われず、減額の要因だけを反映させる特例が適用されており、実際の調定額は 203,197,503 円(当初課税時点)となっている。 ⇒令和4年度以降、通常税額計算が行われた場合は、令和2年度程度の税額になると想定。更に令和5年度以降も調整幅が解消されるまで税額の上昇は続き、土地に係る税収(納税者の視点で言えば税負担)の増加は継続する見込み。</p>		令和2年度まで	令和3年度	差額	評価額	28,157,608,752 円	31,017,926,503 円	2,860,317,751 円	参考税額	225,577,952 円	219,199,032 円
	令和2年度まで	令和3年度	差額									
評価額	28,157,608,752 円	31,017,926,503 円	2,860,317,751 円									
参考税額	225,577,952 円	219,199,032 円	△6,378,920 円									

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
3,135,000	3,135,000				3,135,000

2款	総務費	2項	徴税费	2目	賦課徴収費
----	-----	----	-----	----	-------

事業名	賦課徴収事業(外国人データベースシステム委託)	決算書の頁	P. 36
-----	-------------------------	-------	-------

事業内容	<p>増加する外国籍の移住・定住者や外国人観光客への情報提供に特化した「多文化共生支援サイト」の立上げと、外国人による不動産所有に関する情報を収集する「データベース」の構築を併せて行った。</p> <p>1. 多文化共生支援サイト          防災関連、税情報、公共交通機関情報、暮らしに役立つ情報等を掲載          サイトに持たせた翻訳機能により、英語をはじめ多言語で情報を表示することが可能</p> <p>2. データベース          登記簿等の基本的な情報のほか、不動産所有者の連絡先やメールアドレス等も収集できるようにした。(搭載件数を充実させることで、災害や緊急事態の発生時に安否確認や情報共有を素早く行うことが可能)</p>
------	---

実績・成果	<p>1. 導入事業費【2,939,200 円】</p> <table border="0"> <tr><td>(1)サーバー費用</td><td>42,000 円</td></tr> <tr><td>(2)サイト作成費用</td><td>440,000 円</td></tr> <tr><td>(3)データベース構築</td><td>1,500,000 円</td></tr> <tr><td>(4)セキュリティー対策</td><td>390,000 円</td></tr> <tr><td>(5)保守費</td><td>300,000 円</td></tr> <tr><td>(6)消費税</td><td>267,200 円</td></tr> </table> <p>2. 成果品</p> <p>(1)サイト</p> <p>(2)データベースシステム</p> <p>(3)USB ドングル (セキュリティー機器)</p> <p>(4)マニュアル</p> <p>3. サイト閲覧数(開設～6ヶ月間)</p> <p>約 29,000 件</p> <p>データベース搭載(予定)件数</p> <p>土地:700 筆、家屋:295 棟</p>	(1)サーバー費用	42,000 円	(2)サイト作成費用	440,000 円	(3)データベース構築	1,500,000 円	(4)セキュリティー対策	390,000 円	(5)保守費	300,000 円	(6)消費税	267,200 円	 <p>&lt;多文化共生支援サイト ホーム画面&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害情報・ゴミ・子育て・税金</li> <li>・上下水道・医療・学校教育 等</li> </ul> <p>白馬村での生活に関する情報を掲載</p>  <p>&lt;データベースシステム&gt;</p> <p>土地、家屋に関する登記情報のほか、電話番号やメールアドレスを収集し、緊急時等には情報共有に活用する</p>
(1)サーバー費用	42,000 円													
(2)サイト作成費用	440,000 円													
(3)データベース構築	1,500,000 円													
(4)セキュリティー対策	390,000 円													
(5)保守費	300,000 円													
(6)消費税	267,200 円													

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
3,000,000	2,939,200	2,351,000		550,000	38,200

2款	総務費	3項	戸籍住民基本台帳費	1目	戸籍住民基本台帳費
----	-----	----	-----------	----	-----------

事業名	戸籍住民基本台帳事業	決算書の頁	P. 36-37
-----	------------	-------	----------

事業内容	1. 戸籍事務(戸籍届出受付、戸籍記載、証明発行等) 2. 住民基本台帳事務(住民異動届受付、住民票記載、証明発行等) 3. 印鑑登録証明事務(印鑑登録、証明発行) 4. マイナンバーカード・通知カード及び公的個人認証サービス関連事務 5. 在留関連事務(住居地届出受付、特別永住者証明書交付等)
------	--

実績・成果	1. 戸籍事務																																																														
	(1)本籍及び本籍人口																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年3月31日現在</th> <th>令和3年3月31日現在</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本籍数(戸籍)</td> <td>3,592</td> <td>3,571</td> <td>△21</td> </tr> <tr> <td>本籍人口(人)</td> <td>8,920</td> <td>8,846</td> <td>△74</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年3月31日現在	令和3年3月31日現在	前年比	本籍数(戸籍)	3,592	3,571	△21	本籍人口(人)	8,920	8,846	△74																																																		
		令和2年3月31日現在	令和3年3月31日現在	前年比																																																											
	本籍数(戸籍)	3,592	3,571	△21																																																											
	本籍人口(人)	8,920	8,846	△74																																																											
	(2) 取扱事件数																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th colspan="2">件数</th> <th rowspan="2">合計</th> <th rowspan="2">前年比</th> </tr> <tr> <th>本籍人</th> <th>非本籍人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出生</td> <td>59</td> <td>20</td> <td>79</td> <td>△6</td> </tr> <tr> <td>死亡</td> <td>100</td> <td>19</td> <td>119</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>婚姻</td> <td>82</td> <td>15</td> <td>97</td> <td>△37</td> </tr> <tr> <td>離婚</td> <td>27</td> <td>2</td> <td>29</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>法77条の2(婚氏続称)</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>△2</td> </tr> <tr> <td>養子縁組</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>養子離縁</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>入籍</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>転籍</td> <td>36</td> <td>0</td> <td>36</td> <td>△2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>△10</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>330</td> <td>57</td> <td>387</td> <td>△48</td> </tr> </tbody> </table>	種別	件数		合計	前年比	本籍人	非本籍人	出生	59	20	79	△6	死亡	100	19	119	5	婚姻	82	15	97	△37	離婚	27	2	29	4	法77条の2(婚氏続称)	7	0	7	△2	養子縁組	3	0	3	△1	養子離縁	0	0	0	0	入籍	12	0	12	1	転籍	36	0	36	△2	その他	4	1	5	△10	合計	330	57	387	△48
	種別		件数				合計	前年比																																																							
		本籍人	非本籍人																																																												
	出生	59	20	79	△6																																																										
	死亡	100	19	119	5																																																										
	婚姻	82	15	97	△37																																																										
	離婚	27	2	29	4																																																										
	法77条の2(婚氏続称)	7	0	7	△2																																																										
養子縁組	3	0	3	△1																																																											
養子離縁	0	0	0	0																																																											
入籍	12	0	12	1																																																											
転籍	36	0	36	△2																																																											
その他	4	1	5	△10																																																											
合計	330	57	387	△48																																																											
(内、涉外関係届出:10件、外国人のみの届出:1件)																																																															
(3) 相続税法第58条の規定による税務署への報告 死亡・失踪届出による報告件数 83件(失踪分は無し)																																																															
(4) 埋火葬許可件数																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>死体埋葬</th> <th>死体火葬</th> <th>死胎埋葬</th> <th>死胎火葬</th> <th>胞衣焼却</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>0</td> <td>83</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>	種別	死体埋葬	死体火葬	死胎埋葬	死胎火葬	胞衣焼却	計	件数	0	83	0	2	0	85																																																	
種別	死体埋葬	死体火葬	死胎埋葬	死胎火葬	胞衣焼却	計																																																									
件数	0	83	0	2	0	85																																																									
(5) 人口動態調査票作成件数																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>出生</th> <th>死亡</th> <th>婚姻</th> <th>離婚</th> <th>死産</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>42</td> <td>79</td> <td>36</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>168</td> </tr> </tbody> </table>	区分	出生	死亡	婚姻	離婚	死産	計	件数	42	79	36	9	2	168																																																	
区分	出生	死亡	婚姻	離婚	死産	計																																																									
件数	42	79	36	9	2	168																																																									

(6) 戸籍謄本等交付件数

種別	取扱数		金額(円)	
	令和2年度	前年比	令和2年度	前年比
戸籍	1,307	△311	588,150	△139,950
除籍、改製原	962	△75	721,500	△56,250
受理証明	19	△4	6,650	△1,400
その他戸籍関係証明	14	5	4,900	1,750
公用 戸籍関係証明	822	280	—	—
合計	3,124	△105	1,321,200	△195,850

2. 住民基本台帳事務

(1) 住民基本台帳人口及び世帯数

		令和2年3月31日現在	令和3年3月31日現在	前年比
日本人	男	4,096	4,046	△50
	女	4,185	4,147	△38
外国人	男	306	229	△77
	女	208	130	△78
合計		8,795	8,552	△243
世帯数		4,145	3,994	△151

(2) 住民票記載及び消除数(R2年4月1日～R3年3月31日)

種別	転入・転出	出生・死亡	職権記載・職権消除	計
記載	463	39	16	518
消除	548	107	115	770

(3) 住民基本台帳関係届出処理件数(R2年4月1日～R3年3月31日)

区分	件数	区分	件数
転入	464	世帯変更	46
転出	544	その他	45
転居	214	合計	1,313

(4) 住民票の写し等交付件数

区分	取扱数		金額(円)	
	令和2年度	前年比	令和2年度	前年比
住民票	4,008	△257	1,202,400	△77,100
その他住民票関係証明	73	△85	21,900	△25,500
戸籍附票の写し	225	25	67,500	7,500
その他	140	103	42,000	31,000
公用 住民票関係証明	591	△66	—	—
合計	5,037	△280	1,333,800	△64,100

3. 印鑑登録証明事務

(1) 印鑑登録者数(R3年3月31日現在) 5,867人(前年度比 21人減)

(2) 印鑑登録証明書等交付件数

種別	取扱数		手数料(円)	
	令和2年度	前年比	令和2年度	前年比
印鑑登録証明書	3,446	△561	1,033,800	△168,600
印鑑新規登録	268	△68	—	—
印鑑再登録	95	△40	47,500	△20,000
合計	3,809	△669	1,081,300	△188,600



4. マイナンバーカード・通知カード及び公的個人認証サービス関連事務

(1) マイナンバーカード

- ・初回交付及び追記欄に余白がなくなった場合の再交付については無料となる。
- ・紛失等によりカードを失くしてしまった場合は、1件につき800円の手数料がかかる。

①交付実績

種別	取扱数		手数料(円)	
	令和2年度	前年比	令和2年度	前年比
初回交付	1,199	981	—	—
追記欄余白なしによる再交付	10	7	—	—
紛失等による再交付	27	19	21,600	15,200
合計	1,236	1,007	21,600	15,200

②交付累計

年度	発行数
令和2年度	2,388
令和元年度	1,152
平成30年度	923

(2) マイナンバーカードの平日夜間・休日受取窓口の設置

- マイナンバーカードの普及促進のため、令和3年1月より平日夜間・休日窓口を設置した。
- ・平日夜間窓口 毎週木曜日 午後5時45分から午後8時まで 開設回数 11回/交付件数 10件
  - ・休日窓口 毎月第2土曜日 午前9時から午後5時まで 開設回数 3回/交付件数 16件

(3) 通知カード(平成27年度から交付)

- ・マイナンバーカードと同様で、追記欄に余白がなくなった場合の再交付は無料
- ・紛失等により失くしてしまった場合は、1件につき500円の手数料が必要
- ・交付実績及び累計交付数については、以下のとおり
- ・令和2年5月25日で通知カードが廃止(デジタル手続法の一部改正)となった。ただし、記載事項に変更が無い場合は、個人番号確認のための本人確認書類としてのみ利用可能。

令和2年度交付実績

種別	取扱数		手数料(円)	
	令和2年度	前年比	令和2年度	前年比
追記欄余白なしによる再交付	0	△12	—	—
紛失等による再交付	5	△46	2,500	△23,000
合計	5	△58	2,500	△23,000

(4) 公的個人認証サービス

- ・初回交付で公的認証サービス(電子証明書)を利用申請した場合、手数料は不要
- ・マイナンバーカードの紛失等による再交付と併せて行う公的個人認証サービスの再交付は、1件につき200円の手数料が必要

※前年度までは、初回交付の数に15歳未満の子どもが含まれていなかったが、子どものカードにも「利用者用電子証明」の機能が搭載されているため、今年度より計上する。

①交付実績

種別	取扱数	
	令和2年度	前年比
初回交付	1,199	990
再発行	113	98
合計	1,312	1,088

②交付累計

年度	発行数
令和2年度	2,599
令和元年度	1,287
平成30年度	1,063

実  
績  
・  
成  
果

5. 在留関連事務

(1) 外国人住民数

(単位:人)

在留資格	令和2年3月31日現在	令和3年3月31日現在	前年比
中長期在留者	499	350	△149
特別永住者	15	13	△2

(2) 主な国・地域別人口(上位10の国と地域)

(単位:人)

国籍	令和元年度	令和2年度	国籍	令和元年度	令和2年度
オーストラリア	137	84	フィリピン	19	18
英国	51	41	中国	46	30
台湾	72	41	米国	14	14
カナダ	28	20	フランス	17	9
韓国	23	22	その他	84	70
ニュージーランド	23	14	合計	514	363

(3) 届出等件数

種別	令和元年度	令和2年度	前年比
住居地届出等	1,344	458	△886
特別永住者証明書交付等	0	2	2

(4) その他

外国人住民数及び総人口に占める割合

(単位:人)

令和元年12月31日現在 外国人住民数 (a)	令和2年12月31日現在 外国人住民数 (b)	前年同期比 (b)-(a)
1,113	401	△712

令和2年12月31日現在 総人口 (c)	割合 (b)÷(c)
8,655	4.63%

※長野県下…増減数第1位(減少)・人口割合第3位(第1位は南牧村)

令和2年12月31日現在 長野県国際課調べ

委託料 10,521,500 円  
 ・住基電算委託料 9,201,500 円  
 ・戸籍電算委託料(保守) 1,320,000 円

負担金 7,959,000 円  
 ・北アルプス広域連合負担金 3,894,000 円  
 ・番号カード関連事務交付金 4,065,000 円

その他(人件費等) 10,184,924 円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (事務手数料)	一 般 財 源
28,778,000	28,665,424	13,138,092		3,760,400	11,766,932

2款	総務費	4項	選挙費	1目	選挙管理委員会費
----	-----	----	-----	----	----------

事業名	選挙管理委員会事業		決算書の頁	P.37		
事業内容	<p>選挙に対する理解と関心を深めるとともに、投票率の向上、選挙違反の根絶を図るため、選挙に関し必要と認められる事項を選挙人に周知し、選挙の適正執行管理に関する業務、並びに公職選挙法改正による選挙年齢引き下げに伴う高等学校への主権者教育を実施する。</p> <p>1. 選挙管理委員会の開催 2. 会議等への参加 3. 選挙人名簿定時登録</p>					
実績・成果	1. 選挙管理委員会の開催 定例選挙管理委員会(年4回)		報酬【70,400円】			
	2. 会議・研修会等への参加		報酬【30,600円】			
	①3月4日	郡選挙管理委員会連合会理事会	委員1名、事務局1名 オンライン出席			
	②3月15日	郡選挙管理委員会連合会総会	委員4名、事務局1名 オンライン出席			
	3. 選挙人名簿定時登録(登録日 年4回 6/1、9/1、12/1、3/1) 委託料【44,000円】					
	令和3年3月1日基準日 3月1日登録の選挙人名簿登録者数 (単位:名)					
	投票区	行政区	男	女	計	前年比
	1	深空、八方口、大出、白馬町、蕨平、嶺方	968	988	1,956	6
	2	森上、塩島、通、立の間、青鬼、野平	265	285	550	△9
	5	飯田、飯森、めいてつ	688	736	1,424	△4
6	内山、佐野、沢渡	280	276	556	△7	
7	堀之内、三日市場	125	151	276	6	
8	八方、和田野、山麓	263	260	523	△5	
9	落倉、切久保、新田、どんぐり	305	322	627	△24	
10	瑞穂、エコーランド、みそら野	594	589	1,183	△32	
合計		3,488	3,607	7,095	△69	
4. 郡選挙管理委員会連合会負担金 【2,886円】		管内4町村の選挙管理委員会で構成。 管内有権者への啓発事業の実施、新成人向けの啓発チラシ・啓発物品の配布、選挙出前授業で啓発物品の配布を実施した。 ※連合会解散により、17,000円支払い後、14,114円戻入				
5. その他(選挙関連書籍購入) 【7,518円】						
予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
318,000	155,404				155,404	

2款	総務費	4項	選挙費	2目	明正選挙推進費
----	-----	----	-----	----	---------

事業名	明正選挙推進事業	決算書の頁	P.37
-----	----------	-------	------

事業内容	<p>選挙に対する理解と関心を深めるとともに、投票率の向上、選挙違反の根絶を図るため、あらゆる機会を通じて明るい選挙運動を協力を推進するとともに、明るい選挙の実現を図るため以下の取組みを実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 若年層への啓発</li> <li>2. 選挙時の街頭啓発</li> <li>3. 研修会等への参加</li> </ol>
------	---

実績・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新有権者への啓発 報酬 選挙年齢引き下げにより、白馬高等学校生徒を対象に白馬村選挙管理委員会独自の取組みとして、主権者教育と模擬投票を実施し、新有権者に投票の呼びかけを行った。 令和2年10月21日(水)白馬高等学校3年生 約70人(委員3名、事務局1名) 場所:201・202 会議室</li> <li>2. 研修会等への参加 報酬【31,100円】 令和2年11月19日(木) 長野県選挙管理委員会連合会第70回総会及び明るい選挙推進フォーラム・県大会(須坂市 委員4名、事務局1名出席) 事例発表:松本市長選挙におけるコロナ対策の取組事例(松本市選管)</li> </ol> <p>(参考)</p> <p>選挙時にそれぞれの選挙事業の中で白馬村明るい選挙推進委員会により街頭啓発を実施。</p> <p>白馬村明るい選挙推進委員会委員構成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委員名</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>選挙管理委員</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>選挙管理委員補充員</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>公民館長</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>シニアクラブ</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>しろうま女性会</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>青年層代表</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>選挙管理委員会事務局</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20名</td> </tr> </tbody> </table>	委員名	人数	選挙管理委員	4名	選挙管理委員補充員	2名	公民館長	1名	シニアクラブ	5名	しろうま女性会	3名	青年層代表	2名	選挙管理委員会事務局	3名	合計	20名
委員名	人数																		
選挙管理委員	4名																		
選挙管理委員補充員	2名																		
公民館長	1名																		
シニアクラブ	5名																		
しろうま女性会	3名																		
青年層代表	2名																		
選挙管理委員会事務局	3名																		
合計	20名																		

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
105,000	31,100				31,100

2款	総務費	5項	統計調査費	1目	統計調査総務費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	国勢調査事業	決算書の頁	P. 37
-----	--------	-------	-------

事業内容	<p>国内の人口・世帯の実態を明らかにし、各種行政施策などの基礎資料を得ること目的とした調査であり、国のもっとも基本的な統計調査である。国勢調査により作成される国勢統計は人口統計の一つであり、統計法上の基幹統計に位置づけられている。総務省統計局が5年ごとに実施しており、2020年(令和2)10月1日実施の調査で開始から100年になる。</p>
------	--

実績・成果	<p>1. 調査員報酬等 【3,605,871円】</p> <p>2. 需用費・役務費 【545,692円】</p> <p>3. 調査票提出枚数 調査票:1,805枚</p> <p>4. 速報値 ※( )内は平成27年の数値 世帯数 3,691世帯(3,477世帯) 人口総数 8,585名 (8,929名)</p>
-------	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 ( )	一般財源
4,299,000	4,151,563	4,151,563			0

2款	総務費	6項	監査委員費	1目	監査委員費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	監査事業	決算書の頁	P. 38
-----	------	-------	-------

事業内容	<p>1. 地方自治法第199条の規定による、財務に関する事務の執行、及び経営に関する事業の管理を監査(審査、検査)</p> <p>(1) 例月現金出納検査 ・一般会計、3特別会計、2事業会計を対象に毎月、前月の出入金伝票を検査</p> <p>(2) 審査 ・一般会計、3特別会計、2事業会計の決算審査、基金運用状況審査、財政健全化審査</p> <p>(3) 定期監査 ・一般会計、3特別会計、2事業会計の前期分(4月～9月末)の工事・補助金等の事業の執行等を確認</p> <p>(4) 財政援助団体等監査 ・補助金、交付金、負担金、貸付金、その他の財政援助が適正に行われているか等を確認。一般会計、3特別会計、2事業会計を対象。</p> <p>2. 監査委員 ・学識経験者1名、議会選出1名 計2名</p>
	<p>1. 監査の実施状況</p> <p>以下の監査について、事前書類審査を含めそれぞれ実施し、監査報告書等を作成して提出した。例月現金出納検査以外の監査については結果を公表した。</p> <p>(1) 例月現金出納検査 12回</p> <p>(2) 決算審査(8月3日～7日) 5日間</p> <p>(3) 定期監査(11月11日、12日) 2日間 ・11課の31事務事業、9工事、現場4か所を実施</p> <p>(4) 財政援助団体等監査(2月8日、9日) 2日間 ・11課の39の補助等</p> <p>2. 監査委員</p> <p>(1) 研修会 ・全国の研修会は、新型コロナウイルス感染症の関係から動画配信による研修に参加 ・県の研修会は、開催中止</p> <p>(2) 監査委員報酬 493,000円 ・学識経験者 293,000円/年 議会選出 200,000円/年</p> <p>(3) その他 11,373円 ・消耗品費、負担金</p>

実績成果	<p>1. 監査の実施状況</p> <p>以下の監査について、事前書類審査を含めそれぞれ実施し、監査報告書等を作成して提出した。例月現金出納検査以外の監査については結果を公表した。</p> <p>(1) 例月現金出納検査 12回</p> <p>(2) 決算審査(8月3日～7日) 5日間</p> <p>(3) 定期監査(11月11日、12日) 2日間 ・11課の31事務事業、9工事、現場4か所を実施</p> <p>(4) 財政援助団体等監査(2月8日、9日) 2日間 ・11課の39の補助等</p> <p>2. 監査委員</p> <p>(1) 研修会 ・全国の研修会は、新型コロナウイルス感染症の関係から動画配信による研修に参加 ・県の研修会は、開催中止</p> <p>(2) 監査委員報酬 493,000円 ・学識経験者 293,000円/年 議会選出 200,000円/年</p> <p>(3) その他 11,373円 ・消耗品費、負担金</p>
	<p>1. 監査の実施状況</p> <p>以下の監査について、事前書類審査を含めそれぞれ実施し、監査報告書等を作成して提出した。例月現金出納検査以外の監査については結果を公表した。</p> <p>(1) 例月現金出納検査 12回</p> <p>(2) 決算審査(8月3日～7日) 5日間</p> <p>(3) 定期監査(11月11日、12日) 2日間 ・11課の31事務事業、9工事、現場4か所を実施</p> <p>(4) 財政援助団体等監査(2月8日、9日) 2日間 ・11課の39の補助等</p> <p>2. 監査委員</p> <p>(1) 研修会 ・全国の研修会は、新型コロナウイルス感染症の関係から動画配信による研修に参加 ・県の研修会は、開催中止</p> <p>(2) 監査委員報酬 493,000円 ・学識経験者 293,000円/年 議会選出 200,000円/年</p> <p>(3) その他 11,373円 ・消耗品費、負担金</p>

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
505,000	504,373				504,373

2款	総務費	7項	スポーツ事業費	2目	施設管理費
----	-----	----	---------	----	-------

事業名	スノーハープ維持管理事業	決算書の頁	P.38-39
-----	--------------	-------	---------

事業内容	1. 夏期・冬期の利用に関する受付 2. スノーハープ施設の維持管理及び修繕の実施 3. 各種大会開催のための会場提供 4. 施設維持管理に係る備品購入
------	---

実績成果	1. 使用状況 ※NTC 利用者は除く																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">利用者数</th> <th colspan="3">利用者数 (名)</th> <th colspan="3">収入金額 (円)</th> </tr> <tr> <th>R 元</th> <th>R2</th> <th>比較</th> <th>R 元</th> <th>R2</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全 体</td> <td>10,241</td> <td>6,888</td> <td>△3,353</td> <td>1,309,150</td> <td>881,700</td> <td>△427,450</td> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>9,766</td> <td>2,794</td> <td>△6,972</td> <td>1,264,450</td> <td>476,400</td> <td>△788,050</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>475</td> <td>4,094</td> <td>3,619</td> <td>44,700</td> <td>405,300</td> <td>360,600</td> </tr> </tbody> </table>	利用者数	利用者数 (名)			収入金額 (円)			R 元	R2	比較	R 元	R2	比較	全 体	10,241	6,888	△3,353	1,309,150	881,700	△427,450	夏 期	9,766	2,794	△6,972	1,264,450	476,400	△788,050	冬 期	475	4,094	3,619	44,700	405,300	360,600
	利用者数		利用者数 (名)			収入金額 (円)																													
		R 元	R2	比較	R 元	R2	比較																												
	全 体	10,241	6,888	△3,353	1,309,150	881,700	△427,450																												
	夏 期	9,766	2,794	△6,972	1,264,450	476,400	△788,050																												
	冬 期	475	4,094	3,619	44,700	405,300	360,600																												
	2. 施設の維持管理及び修繕																																		
	(1) 主な委託業務・・・芝生維持管理業務(5回) 1,390,422円 管理業務委託(受付・圧雪業務・施設維持等) 9,155,300円 浄化槽保守点検委託業務 198,000円 ESP 業務委託料 290,400円、電気保安管理業務 200,640円 圧雪車点検業務(PB400) 241,978円 【11,476,740円】																																		
	(2) 主 な 修 繕・・・管理棟1階トイレ換気扇 89,100円、管理棟軒出雨漏修繕 324,500円 管理棟煙感知器取替 29,700円、その他修繕 162,178円 【605,478円】																																		
(3) 光熱水費等・・・上下水道(246 m <sup>3</sup> ) 128,070円 電気(177,320kWh) 1,349,187円、燃料(灯油 7,145L) 1,556,294円、 その他光燃料費等 124,523円 【3,158,074円】																																			
(4) 車両借上料等・・・バックホーリース 132,000円、コピー機リース料 108,284円 AEDリース料 62,040円、その他使用料 24,642円 【326,966円】																																			
3. 各種大会開催のための会場提供																																			
(1) 夏期 少年サッカー大会、ランニング記録会(2回) ※スノーハープクロスカントリー大会等、例年開催大会は新型コロナウイルスにより中止 (2) 冬期 中日杯争奪第57回白馬少年 第44回白馬五竜とおみクロスカントリー大会																																			
4. 備品購入 刈払機 44,000円 芝用4輪ラインカー 38,500円 噴霧器 31,680円 【114,180円】																																			
5. その他 (消耗品費、原材料費(駐車場用砕石)等) 【871,342円】																																			

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (競技場使用料等)	一 般 財 源
16,912,000	16,552,780	1,059,932		2,389,863	13,102,985

2款	総務費	7項	スポーツ事業費	2目	施設管理費
----	-----	----	---------	----	-------

事業名	白馬ジャンプ競技場維持管理事業	決算書の頁	P.38-39
-----	-----------------	-------	---------

事業内容	1. リフトの運行 2. ジャンプ競技場施設の維持管理及び修繕の実施 3. 各種大会開催のため会場提供 4. 来場者増を図るための改修工事
------	--

実績・成果	1. 使用状況 リフト営業日数 (R元 317日・R2 258日) ※NTC利用者は除く																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">利用者数 (名)</th> <th colspan="3">収入金額 (円)</th> </tr> <tr> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>比較</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>55,660</td> <td>29,254</td> <td>△26,406</td> <td>23,539,880</td> <td>12,343,548</td> <td>△11,196,332</td> </tr> <tr> <td>夏期</td> <td>52,718</td> <td>27,176</td> <td>△25,542</td> <td>22,238,520</td> <td>11,315,200</td> <td>△10,923,320</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>2,942</td> <td>2,078</td> <td>△864</td> <td>1,301,360</td> <td>1,028,348</td> <td>△273,012</td> </tr> </tbody> </table>		利用者数 (名)			収入金額 (円)			R元	R2	比較	R元	R2	比較	全体	55,660	29,254	△26,406	23,539,880	12,343,548	△11,196,332	夏期	52,718	27,176	△25,542	22,238,520	11,315,200	△10,923,320	冬期	2,942	2,078	△864	1,301,360	1,028,348	△273,012
			利用者数 (名)			収入金額 (円)																													
		R元	R2	比較	R元	R2	比較																												
	全体	55,660	29,254	△26,406	23,539,880	12,343,548	△11,196,332																												
	夏期	52,718	27,176	△25,542	22,238,520	11,315,200	△10,923,320																												
	冬期	2,942	2,078	△864	1,301,360	1,028,348	△273,012																												
	2. 施設の維持管理及び修繕																																		
	(1) 主な委託業務・・・競技場管理運営業務 49,802,000円、電気保安全管理業務 465,960円、雪止めネット着脱業務 7,700,000円、圧雪車点検業務 1,704,791円、散水切替業務 176,000円、エレベーター保守点検業務 290,400円、消防点検(全施設)220,000円、人工降雪機保守点検 1,650,000円、アイストラック点検・整備業務 2,530,000円、ESP業務委託料 686,400円、電気設備動作確認 660,000円、掲示計算システム保守点検 418,000円、その他委託業務 163,900円 【66,467,451円】																																		
	(2) 主な修繕・・・ボールバルブ交換 693,000円、リフト改修工事 6,114,000円、防風ネット補修工事 1,155,000円、駐車場入口水路修繕 143,000円、エネルギー棟上部U字溝漏水修繕 489,500円、放送塔スピーカー修繕 108,900円、その他修繕 820,382円 【9,523,782円】																																		
(3) 光熱水費等・・・上下水道(1,752㎡)802,240円、電気(326,422kwh)4,788,296円、燃料(灯油 9,010L)1,167,819円、その他燃料 179,458円 【6,937,813円】																																			
(4) 車両借上料等・・・除雪機借上料 690,250円、コピー機借上料 242,725円、降雪機借上料 330,000円、その他借上料 297,288円 【1,560,263円】																																			
(5) 備品購入費・・・AI体温測定デバイス 【495,000円】																																			
(6) 施設改修工事・・・ワイヤレスマイク設備改修工事 1,760,000円、防犯カメラシステム設置工事 385,000円 【2,145,000円】																																			
(7) その他(消耗品費、通信運搬費、北陸信越索道協会会費等) 【2,260,510円】																																			
3. 各種大会開催のため会場提供																																			
(1) 夏期 全日本スキー選手権白馬大会ジャンプ競技																																			
(2) 冬期 ※全日本スキー選手権コンバインド競技を予定していましたが、新型コロナウイルスにより中止。代替大会を北海道で開催。																																			

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 (リフト使用料等)	一般財源
89,725,000	89,389,819	61,854,250		14,014,674	13,520,895



2款	総務費	7項	スポーツ事業費	3目	スポーツ事業振興費
----	-----	----	---------	----	-----------

事業名	スポーツ振興事業	決算書の頁	P.39-40
-----	----------	-------	---------

事業内容	1. 各種スポーツイベント、事業への助成 (1)スノーハーブクロスカントリー大会負担金 (2)白馬村スキークラブ補助金 (3)白馬高校スキー部補助金 (4)白馬村スキー選手育成事業補助金 (5)各種スキー大会への助成
	2. スキースポーツ・スポーツ育成振興奨励金の授与
	3. 東京 2020 オリンピック聖火リレー運営に係る事業

実績・成果	1. 各種スポーツイベント、事業への助成 負担金・補助金 (1)スノーハーブクロスカントリー大会負担金 198,000 円 (2)白馬村スキークラブ補助金 2,462,000 円 (3)白馬高校スキー部補助金 1,000,000 円 (4)白馬村スキー選手育成事業補助金 10,000,000 円 (5)①白馬少年スキー大会負担金 3,800,000 円 ②各種スキー大会負担金等 2,595,175 円 (全日本スキー選手権スペシャルジャンプ 1,695,175 円、 サマーノルディックフェスティバル 900,000 円) 【20,055,175 円】														
	2. スキースポーツ・スポーツ育成振興奨励金 【130,000 円】														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>人数 (名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クロスカントリー</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>スペシャルジャンプ</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ジャンプコンバインド</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>スノーボード</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>フリースタイル</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	種 目	人数 (名)	クロスカントリー	1	スペシャルジャンプ	1	ジャンプコンバインド	1	スノーボード	1	フリースタイル	1	合 計	5
	種 目	人数 (名)													
クロスカントリー	1														
スペシャルジャンプ	1														
ジャンプコンバインド	1														
スノーボード	1														
フリースタイル	1														
合 計	5														
3. 東京 2020 オリンピック聖火リレー白馬村準備・運営にかかる業務委託 ※令和 3 年 4 月 1 日実施 【1,320,000 円】															
4. その他(需用費、SAJ公認料、聖火リレー開催にかかる消耗品等) 【127,360 円】															

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金等)	一 般 財 源
25,381,000	21,632,535			16,723,696	4,908,839

2款	総務費	7項	スポーツ事業費	4目	ナショナルトレーニングセンター費
----	-----	----	---------	----	------------------

事業名	ナショナルトレーニングセンター(NTC)事業	決算書の頁	P. 40
-----	------------------------	-------	-------

事業内容	<p>NTC競技別強化拠点(ノルディック複合)の指定を受けている白馬ジャンプ競技場及び白馬クロスカントリー競技場において、国の委託を受けて強化指定選手が合宿及び個人練習を円滑かつ効果的に行うことができるよう施設管理者と連携して施設を運営した。</p> <p>また、中央競技団体(全日本スキー連盟)及び関係団体等と協議のうえ、競技力強化のために指定施設の機能強化を図った。</p>
------	---

実績・成果	1. 中央競技団体(全日本スキー連盟)強化指定選手の施設利用実績等																																										
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">ジャンプ競技場</th> <th colspan="2">クロスカントリー競技場</th> </tr> <tr> <th>日数</th> <th>延人数</th> <th>日数</th> <th>延人数</th> </tr> <tr> <td>185日</td> <td>2,262名</td> <td>219日</td> <td>1,168名</td> </tr> </table>	ジャンプ競技場		クロスカントリー競技場		日数	延人数	日数	延人数	185日	2,262名	219日	1,168名																														
	ジャンプ競技場		クロスカントリー競技場																																								
	日数	延人数	日数	延人数																																							
	185日	2,262名	219日	1,168名																																							
	2. 機能強化協議会の開催 2回(参加者:SAJ、JOC、施設管理者、機能強化ディレクター等)																																										
	3. 国庫委託金(25,728,911円)の内訳																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>マネジメントスタッフ、エリートアカデミー講師謝金</td> <td>2,153,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>機能強化ディレクター、エリートアカデミー講師旅費</td> <td>218,140円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>消毒用アルコール、血中酸素測定キット等</td> <td>165,722円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>動作解析映像システム等通信料</td> <td>118,800円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">委託料</td> <td>クロスカントリー競技場施設整備費</td> <td>890,000円</td> </tr> <tr> <td>医科学データ収集分析委託料</td> <td>285,120円</td> </tr> <tr> <td>機能強化ディレクター委託料</td> <td>800,000円</td> </tr> <tr> <td>LHフォースプレート設置設計監理業務委託料</td> <td>1,056,000円</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>LHフォースプレート(床反力板)設置工事</td> <td>11,550,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">NTC事業計</td> <td>17,236,782円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ジャンプ競技場維持管理事業(施設使用料・施設整備費・燃料費等)</td> <td>5,510,250円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">クロスカントリー競技場維持管理事業(施設使用料・燃料費)</td> <td>1,059,932円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">委託事業確定額</td> <td>23,806,964円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">精算額(令和3年度返金)</td> <td>1,921,947円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	内容	金額	報償費	マネジメントスタッフ、エリートアカデミー講師謝金	2,153,000円	旅費	機能強化ディレクター、エリートアカデミー講師旅費	218,140円	消耗品費	消毒用アルコール、血中酸素測定キット等	165,722円	通信運搬費	動作解析映像システム等通信料	118,800円	委託料	クロスカントリー競技場施設整備費	890,000円	医科学データ収集分析委託料	285,120円	機能強化ディレクター委託料	800,000円	LHフォースプレート設置設計監理業務委託料	1,056,000円	工事費	LHフォースプレート(床反力板)設置工事	11,550,000円	NTC事業計		17,236,782円	ジャンプ競技場維持管理事業(施設使用料・施設整備費・燃料費等)		5,510,250円	クロスカントリー競技場維持管理事業(施設使用料・燃料費)		1,059,932円	委託事業確定額		23,806,964円	精算額(令和3年度返金)		1,921,947円
	区分	内容	金額																																								
	報償費	マネジメントスタッフ、エリートアカデミー講師謝金	2,153,000円																																								
旅費	機能強化ディレクター、エリートアカデミー講師旅費	218,140円																																									
消耗品費	消毒用アルコール、血中酸素測定キット等	165,722円																																									
通信運搬費	動作解析映像システム等通信料	118,800円																																									
委託料	クロスカントリー競技場施設整備費	890,000円																																									
	医科学データ収集分析委託料	285,120円																																									
	機能強化ディレクター委託料	800,000円																																									
	LHフォースプレート設置設計監理業務委託料	1,056,000円																																									
工事費	LHフォースプレート(床反力板)設置工事	11,550,000円																																									
NTC事業計		17,236,782円																																									
ジャンプ競技場維持管理事業(施設使用料・施設整備費・燃料費等)		5,510,250円																																									
クロスカントリー競技場維持管理事業(施設使用料・燃料費)		1,059,932円																																									
委託事業確定額		23,806,964円																																									
精算額(令和3年度返金)		1,921,947円																																									

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
19,533,000	17,236,782	17,236,782			

3款	民生費	1項	社会福祉費	1目	社会福祉総務費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	社会福祉総務事業	決算書の頁	P. 40-41
-----	----------	-------	----------

事業内容	<p>1. 民生児童委員活動          民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの担当地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めており、児童福祉法に規定する児童委員及び村の福祉委員を兼ねている。          委員数 21名(うち2名は主任児童委員)          任期 令和元年12月1日から令和4年11月30日まで</p> <p>2. 補助金交付等          社会福祉活動の中核的な役割を担う白馬村社会福祉協議会と、高齢者の生きがいと地域社会の活性化に貢献する北アルプス広域シルバー人材センターの事業推進に対して補助することで、法人の円滑な運営と地域福祉活動の充実を図る。</p>
------	---

実績成果	<p>1. 民生児童委員活動 /3,592,100円/          ・担当区域の住民の実態を把握するとともに、日常的な見守り活動を実施した          ・社会福祉の制度やサービスについて、その情報や内容を住民に的確に提供した          ・特別豪雪地帯住宅除雪支援事業では、対象者の把握、実施状況の確認、就労証明を行った          ・災害時住民支え合いマップづくりへ協力した          ・デイサービスセンター等のボランティア活動に従事した          ・ひとり暮らし・高齢者世帯の実態把握へ協力した          ・定例会(毎月1回開催)では、関係機関との連携、委員相互の情報交換を行った          ・小中学校との懇談会を実施し、情報交換を行った          ・小学校にて毎月いいあいさつ運動を実施した</p> <p>民生児童委員の活動状況(年間件数)</p> <table border="1"> <tr> <td>○分野別・相談支援件数</td> <td>199件</td> </tr> <tr> <td>高齢者に関すること</td> <td>130件</td> </tr> <tr> <td>障がい者に関すること</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td>子どもに関すること</td> <td>32件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>○調査・実態把握、証明等</td> <td>780件</td> </tr> <tr> <td>○訪問回数</td> <td>1,721回</td> </tr> <tr> <td>○活動日数</td> <td>1,540日</td> </tr> </table>	○分野別・相談支援件数	199件	高齢者に関すること	130件	障がい者に関すること	15件	子どもに関すること	32件	その他	22件	○調査・実態把握、証明等	780件	○訪問回数	1,721回	○活動日数	1,540日
	○分野別・相談支援件数	199件															
高齢者に関すること	130件																
障がい者に関すること	15件																
子どもに関すること	32件																
その他	22件																
○調査・実態把握、証明等	780件																
○訪問回数	1,721回																
○活動日数	1,540日																

実績・成果

2. 補助金交付等／22,835,578 円／

(1) 白馬村社会福祉協議会運営費補助金 /21,086,578 円(前年度 23,499,563 円)

白馬村社会福祉協議会の円滑な運営、福祉有償運送事業や日常生活自立支援事業などに要する費用に対する補助のほか、ボランティア活動の推進、障がい者・高齢者等に対する支援活動を支援した。

事業名	事業費
総務企画員	7,352,015 円
臨時給与	5,864,716 円
コーディネーター給与	4,726,722 円
ボランティア育成事業	841,310 円
社会福祉大会	228,347 円
身体障害者対策事業	100,000 円
母子会活動費	3,810 円
知的障害者活動費(手親の会)	80,000 円
戦没者遺族支援事業	332,716 円
日常生活自立支援事業	221,700 円
福祉有償運送事業	1,148,242 円
事務局経費	187,000 円
計	21,086,578 円

(2) 北アルプス広域シルバー人材センター補助金等 /1,749,000 円／

高齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献する活動を支援した。

	広域全体	うち白馬村
会員数	605 名(△18)	114 名(△5)
受託件数	3,208 件(△389)	417 件(△48)

※( )は対前年度比

3. その他／30,371,338 円／(職員給与等)

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	その他(地域支援 事業受託金)	一 般 財 源
57,067,000	56,799,016	2,770,300		2,180,500	51,848,216

3款	民生費	1項	社会福祉費	2目	老人福祉費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	老人福祉事業	決算書の頁	P. 41-43
-----	--------	-------	----------

事業内容	<p>1. 特別豪雪地帯住宅除雪支援員派遣事業          自己の資力及び労力で除排雪できない高齢者等の世帯に対し、住宅除雪支援員の派遣を仲介するとともに、除雪に要する費用の一部を補助する。          (1)派遣対象世帯 60歳以上の高齢者世帯、母子世帯、障がい者世帯等で、村民税所得割非課税世帯(近隣市町村に協力を得られる親族がいる場合は対象外)          (2)補助額 1,625円(屋根雪の除排雪)、1,000円(玄関前除雪)／時</p>
	<p>2. 老人福祉保護措置          65歳以上の高齢者で、身体、精神、環境、経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な者の福祉の向上を図るため、養護老人ホームへの入所を措置する。</p>
	<p>3. 生活管理指導短期宿泊事業          社会適応が困難な在宅生活の高齢者に対し、一時的に老人福祉施設に宿泊させ、生活習慣等の指導及び体調調整を行うことで自立生活の助長及び要介護状態への進行を予防する。</p>
	<p>4. 高齢者祝金事業          年度中に100歳を迎える高齢者に対し祝金(1人につき3万円)を支給し、敬老の意を表するとともにその福祉の増進を図る。</p>
	<p>5. 白馬村敬老会事業          白馬村敬老会を開催し、70歳以上の高齢者を招待して長寿を祝う。</p>

実績成果	<p>1. 特別豪雪地帯住宅除雪支援員派遣事業 /516,155円/</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>世帯区分</th> <th>派遣世帯数</th> <th>延べ派遣時間数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者世帯</td> <td>22世帯</td> <td>261時間35分</td> <td>376,661円</td> </tr> <tr> <td>障がい者世帯</td> <td>0世帯</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>母子世帯</td> <td>1世帯</td> <td>7時間45分</td> <td>12,594円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23世帯</td> <td>269時間20分</td> <td>389,255円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">傷害保険料 126,900円</p>	世帯区分	派遣世帯数	延べ派遣時間数	事業費	高齢者世帯	22世帯	261時間35分	376,661円	障がい者世帯	0世帯	-	-	母子世帯	1世帯	7時間45分	12,594円	計	23世帯	269時間20分	389,255円
	世帯区分	派遣世帯数	延べ派遣時間数	事業費																	
	高齢者世帯	22世帯	261時間35分	376,661円																	
	障がい者世帯	0世帯	-	-																	
	母子世帯	1世帯	7時間45分	12,594円																	
	計	23世帯	269時間20分	389,255円																	
	<p>2. 老人福祉保護措置 /19,872,639円/</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>被措置者数</th> <th>措置費</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鹿島荘</td> <td>7名</td> <td>17,710,415円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>光の園</td> <td>1名</td> <td>2,162,224円</td> <td>下伊那郡下條村</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8名</td> <td>19,872,639円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施設名	被措置者数	措置費	備考	鹿島荘	7名	17,710,415円		光の園	1名	2,162,224円	下伊那郡下條村	計	8名	19,872,639円					
	施設名	被措置者数	措置費	備考																	
	鹿島荘	7名	17,710,415円																		
	光の園	1名	2,162,224円	下伊那郡下條村																	
計	8名	19,872,639円																			
<p>3. 生活管理指導短期宿泊事業 /428,130円/</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>被措置者数</th> <th>措置費</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鹿島荘</td> <td>1名</td> <td>428,130円</td> <td>71日間</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	被措置者数	措置費	備考	鹿島荘	1名	428,130円	71日間													
施設名	被措置者数	措置費	備考																		
鹿島荘	1名	428,130円	71日間																		

実 績 ・ 成 果	4. 高齢者祝金事業 /150,000 円/ 年度中に 100 歳を迎える高齢者5名に高齢祝金(3万円/名)を支給した。  5. 白馬村敬老会事業 /0 円/ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。  6. その他 /74,676 円/(謝礼、口座振替手数料)				
	予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)		
		国 県 支 出 金	地 方 債	その他(施設入所 者負担金)	一 般 財 源
21,081,000	21,041,600	194,611		3,266,754	17,580,235

3款	民生費	1項	社会福祉費	2目	老人福祉費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	介護予防・地域支え合い事業	決算書の頁	P. 41-43
-----	---------------	-------	----------

事業内容	1. 介護予防・地域支え合い事業 白馬村高齢者福祉計画(平成30年度～令和2年度)の基本目標である「住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるしくみ」「健康で生きがいをもって暮らせるしくみ」を実現するため、高齢者の健康づくりや生きがいづくりを推進するとともに、在宅生活支援サービスの給付を行う。
	2. 白馬村デイサービスセンター管理事業 指定管理協定及び業務計画書に基づき、指定管理者である白馬村社会福祉協議会が施設の管理を行う。
	3. 要援護者台帳システム事業 災害時要援護者台帳システムを用いて、台帳の登録及び管理を行う。

実績・成果	1. 介護予防・地域支え合い事業 /7,923,503 円/		
	事業名	内容及び実績	事業費
	相談支援事業 (白馬村社協委託事業)	心配ごと相談、弁護士による無料法律相談など計10回実施(相談件数28件)	211,760 円
	シニアクラブ助成事業 (県費補助)	健康増進事業、環境美化活動を実施する白馬村シニアクラブに対して助成	985,000 円
	配食サービス事業 (白馬メディア委託事業)	サービス利用者は20名 年間配食数は3,887食	3,483,108 円
	福祉理美容サービス事業 (白馬村社協委託事業)	利用券交付5名(1人4枚交付)のうち4名が利用、利用回数は6回(1回3千円の補助)	18,000 円
	温泉施設利用高齢者等助成事業	交付者数:874名、交付枚数:10,227枚 利用枚数:4,217枚	1,686,800 円
	緊急通報装置貸与事業	ひとり暮らし老人世帯において緊急通報装置を設置、利用者8名	395,835 円
	高齢者にやさしい住宅改良事業	実績2件、浴室改修等	1,143,000 円
	合計		7,923,503 円
2. 白馬村デイサービスセンター管理事業 /1,706,918 円/			
	令和元年度	令和2年度	
開設日数	258 日	257 日	
延べ利用者数	3,813 名	3,698 名	
日平均利用者数	14.8 名	14.4 名	
3. 要援護者台帳システム事業 / 580,800 円/システム使用料			

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	その他(利用者負担金等)	一 般 財 源
10,797,000	10,211,221	971,000		1,670,374	7,569,847

3款	民生費	1項	社会福祉費	2目	老人福祉費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	乗合タクシー運行事業	決算書の頁	P. 41-43
-----	------------	-------	----------

事業内容	<p>1. 乗合タクシー運行事業  移動手段を持たない高齢者等の買い物や通院に対する交通支援と社会参加を図るため、デマンド型乗合タクシーを運行する。  (1)運行方法 戸口から戸口までの乗合運行  (2)利用対象者 50歳以上、妊婦、母子家庭等、生活保護世帯、障害者手帳保持者、障害年金受給者、要介護又は要支援認定者、付添人  (3)利用料 300円/回</p>
	<p>2. 運転免許証自主返納支援事業  高齢者等の交通事故を防止するための対策として、運転免許証を自主返納した者を対象に、乗合タクシーの利用券33枚(11枚綴りの回数券×3冊)を交付する。</p>
	<p>3. 新型コロナウイルス感染症予防対策事業  乗合タクシー運行事業を委託している事業者に対し、運行に係る感染予防対策費用を1事業者につき5万円の補助を行う。(※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業)</p>

実績・成果	1. 乗合タクシー運行事業 /12,538,659円/												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行日数</td> <td>295日</td> <td>243日</td> </tr> <tr> <td>延べ乗客数</td> <td>8,676名</td> <td>6,659名</td> </tr> <tr> <td>年度末登録者数</td> <td>761名</td> <td>744名</td> </tr> </tbody> </table>		令和元年度	令和2年度	運行日数	295日	243日	延べ乗客数	8,676名	6,659名	年度末登録者数	761名	744名
		令和元年度	令和2年度										
	運行日数	295日	243日										
	延べ乗客数	8,676名	6,659名										
	年度末登録者数	761名	744名										
	※令和元年度は実証運行期間あり												
	【運行経費内訳】												
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>運行委託料</td> <td>10,393,295円</td> </tr> <tr> <td>車両燃料費</td> <td>1,281,391円</td> </tr> <tr> <td>予約センター委託料</td> <td>600,750円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>263,223円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12,538,659円</td> </tr> </tbody> </table>	運行委託料	10,393,295円	車両燃料費	1,281,391円	予約センター委託料	600,750円	その他	263,223円	合計	12,538,659円		
	運行委託料	10,393,295円											
車両燃料費	1,281,391円												
予約センター委託料	600,750円												
その他	263,223円												
合計	12,538,659円												
2. 運転免許証自主返納支援事業 利用券交付者数													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18名</td> <td>24名</td> <td>23名</td> <td>36名</td> <td>23名</td> <td>124名</td> </tr> </tbody> </table>	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計	18名	24名	23名	36名	23名	124名	
平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計								
18名	24名	23名	36名	23名	124名								
3. 新型コロナウイルス感染症予防対策事業/150,000円/													
運行車両に係る感染予防のためのマスクや飛沫防止シート等の購入費に対する補助を行ったことにより、事業者の感染予防経費負担を軽減し、また感染の拡大を防止することができた。													

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他(デマンドタクシー使用料)	一般財源
12,841,000	12,688,659	150,000		1,497,600	11,041,059



3款	民生費	1項	社会福祉費	2目	老人福祉費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	権利擁護事業	決算書の頁	P. 41-43
-----	--------	-------	----------

事業内容	1. 成年後見制度等の利用促進 認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力の不十分な者を保護し、支援するため、成年後見制度等の理解を深め、その制度の利用を促進する。これらは、北アルプス連携自立圏の取り組みとして平成 28 年3月に設立された北アルプス成年後見支援センターが中核となって実施する。また、北アルプス成年後見支援センターでは、親族や専門職等による支援が困難な者の法人後見等も受任する。
	2. 市町村長による後見開始の審判の申立て 成年後見制度を利用するにあたり、親族等による後見開始の審判の申立てが困難で、本人の保護を図るために審判の請求を行うことが必要な状況にある場合は、市町村長による審判の申立てを行う。

実績・成果	1. 成年後見制度等の利用促進 /885,000 円/成年後見支援センター運営負担金 (1)制度の利用に関する相談・支援 常設相談員による相談・支援を実施…延べ 89 件 (2)制度の普及・啓発 制度の普及・啓発を目的とした研修会(1回)を実施した。 (3)法人後見等の受任								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2年度新規受任件数</td> <td>1件</td> <td>後見1件</td> </tr> <tr> <td>2年度未受任件数</td> <td>14件</td> <td>後見 11 件、保佐3件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(平成 28 年度からの累計) 後見 20 件(うち白馬村1件)、保佐4件</p>		件数	内訳	2年度新規受任件数	1件	後見1件	2年度未受任件数	14件
	件数	内訳							
2年度新規受任件数	1件	後見1件							
2年度未受任件数	14件	後見 11 件、保佐3件							
	2. 市町村長による後見開始の審判の申し立て 該当なし								

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
885,000	885,000	443,000			442,000

3款	民生費	1項	社会福祉費	2目	老人福祉費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	高齢者移動支援事業	決算書の頁	P. 41-43
-----	-----------	-------	----------

事業内容	<p>1. 高齢者移動支援事業（※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業）          中国武漢市から発生されたといわれる新型コロナウイルスは世界各地に蔓延し、日本でも大勢の感染が報告されている。特に高齢者の感染は重症化しやすいため、外出を控える傾向が増え、引きこもりによる健康面の不安も増加している。          そんな中、外出手段を持たない高齢者にとっては乗合タクシーしか外出する手段がないが、相乗りによる感染の不安があり買物や通院を控える傾向にある。          このようなことから、この事業は外出機会の少ない高齢者に対してタクシー乗車券を配布して、外出の機会を確保するとともに、コロナ禍において観光事業の低迷による影響を受けているタクシー事業者に対するの支援を行うことを目的とする。</p>		
	利用対象者	75歳以上のみの高齢者世帯（令和2年9月1日現在）	
	乗車券交付枚数	1世帯につき500円分×40枚（2万円相当）	
	使用期間	令和2年9月16日から令和3年2月28日まで	
	タクシー事業者	アルプス第一交通、アルピコタクシー、白馬観光タクシー	

実績・成果	1. 高齢者移動支援事業／2,203,370円／		
	利用対象世帯数	456世帯	
	利用世帯数	169世帯	
	利用率	37.1%	
	平均利用枚数	24.4枚	
	※平均利用枚数…利用総枚数/利用世帯数		
	【経費内訳】		
	タクシー使用料	2,000,190円	
	印刷製本費	94,600円	
	通信運搬費	108,580円	
計	2,023,370円		
<p>主に外出の手段を持たない高齢者が個人でタクシーを利用することにより、コロナウイルスの感染から身を守りながら買物や通院することができた。          また、新型コロナウイルス感染症の影響により景気が低迷しているタクシー事業者への支援にも繋がった。</p>			

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
2,205,000	2,203,370	2,203,000			370

3款	民生費	1項	社会福祉費	3目	障害福祉費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	心身障害福祉事業	決算書の頁	P. 43-44
-----	----------	-------	----------

事業内容	障害者総合支援法、児童福祉法に基づく障害福祉サービス費、障害者医療費、身体障がい者の補装具購入・修理等の給付等により、障がい者及び障がい児を支援する。	
	1. 介護給付費 2. 訓練等給付費 3. 特定障害者特別給付費 4. 計画相談支援給付費 5. 療養介護医療給付費 6. 更生・育成医療給付費 7. 補装具給付費	8. 障害児通所給付費 9. 障害児相談支援給付費 10. 村外施設利用料 11. 軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業 12. 障がい者にやさしい住宅改良促進事業補助金 13. 障がい者支援施設等通所交通費補助金

実績・成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名等</th> <th>事業内容・実績等</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 介護給付</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護(自宅で入浴・排泄・食事介助)／延べ17名</li> <li>・行動援護(行動が困難な人に、外出時の移動等危険回避等支援)／延べ11名</li> <li>・生活介護(常に介護を必要とする人に、昼間介助を行い、創作的活動・生産活動の場を提供)／延べ180名</li> <li>・施設入所支援(介護が必要な人や通所が困難な人に居住の場を提供)／延べ57名</li> <li>・短期入所(介護者の疾病等により、施設等に一時的に預け居住の場を提供)／延べ48名</li> <li>・療養介護(病院に入所し、治療や訓練及び生活指導)／延べ24名</li> </ul> </td> <td>57,828,916 円</td> </tr> <tr> <td>2. 訓練給付</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同生活援助(夜間や休日、共同生活する住居で、相談や日常生活上の援助を行う)／延べ100名</li> <li>・就労移行支援(一般就労に必要な知識や能力の向上等の訓練を行う)／延べ25名</li> <li>・就労継続支援(生産活動場所の提供、継続的な就労の訓練を行う)／延べ237名</li> </ul> </td> <td>44,932,057 円</td> </tr> <tr> <td>3. 特定障害者特別給付</td> <td>施設入所者やグループホーム等に入所している低所得者の食事の負担、家賃の実費負担額の軽減を行う／延べ149名</td> <td>1,425,475 円</td> </tr> <tr> <td>4. 計画相談支援給付</td> <td>サービス等利用計画を指定特定相談支援事業所が作成した場合に支給／延べ147名</td> <td>2,277,928 円</td> </tr> <tr> <td>5. 療養介護医療給付</td> <td>療養介護給付の医療に係わる費用を支給／延べ24名</td> <td>2,024,821 円</td> </tr> <tr> <td>6. 更生・育成医療給付</td> <td>障がいの除去、若しくは程度を軽くするために必要な医療／4名</td> <td>1,267,829 円</td> </tr> <tr> <td>7. 補装具給付</td> <td>失われた身体機能や損傷のある身体機能を補うための「補装具」の購入・修理費用の支給／17名</td> <td>1,530,545 円</td> </tr> </tbody> </table>			事業名等	事業内容・実績等	事業費	1. 介護給付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護(自宅で入浴・排泄・食事介助)／延べ17名</li> <li>・行動援護(行動が困難な人に、外出時の移動等危険回避等支援)／延べ11名</li> <li>・生活介護(常に介護を必要とする人に、昼間介助を行い、創作的活動・生産活動の場を提供)／延べ180名</li> <li>・施設入所支援(介護が必要な人や通所が困難な人に居住の場を提供)／延べ57名</li> <li>・短期入所(介護者の疾病等により、施設等に一時的に預け居住の場を提供)／延べ48名</li> <li>・療養介護(病院に入所し、治療や訓練及び生活指導)／延べ24名</li> </ul>	57,828,916 円	2. 訓練給付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同生活援助(夜間や休日、共同生活する住居で、相談や日常生活上の援助を行う)／延べ100名</li> <li>・就労移行支援(一般就労に必要な知識や能力の向上等の訓練を行う)／延べ25名</li> <li>・就労継続支援(生産活動場所の提供、継続的な就労の訓練を行う)／延べ237名</li> </ul>	44,932,057 円	3. 特定障害者特別給付	施設入所者やグループホーム等に入所している低所得者の食事の負担、家賃の実費負担額の軽減を行う／延べ149名	1,425,475 円	4. 計画相談支援給付	サービス等利用計画を指定特定相談支援事業所が作成した場合に支給／延べ147名	2,277,928 円	5. 療養介護医療給付	療養介護給付の医療に係わる費用を支給／延べ24名	2,024,821 円	6. 更生・育成医療給付	障がいの除去、若しくは程度を軽くするために必要な医療／4名	1,267,829 円	7. 補装具給付	失われた身体機能や損傷のある身体機能を補うための「補装具」の購入・修理費用の支給／17名	1,530,545 円
	事業名等	事業内容・実績等	事業費																								
	1. 介護給付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護(自宅で入浴・排泄・食事介助)／延べ17名</li> <li>・行動援護(行動が困難な人に、外出時の移動等危険回避等支援)／延べ11名</li> <li>・生活介護(常に介護を必要とする人に、昼間介助を行い、創作的活動・生産活動の場を提供)／延べ180名</li> <li>・施設入所支援(介護が必要な人や通所が困難な人に居住の場を提供)／延べ57名</li> <li>・短期入所(介護者の疾病等により、施設等に一時的に預け居住の場を提供)／延べ48名</li> <li>・療養介護(病院に入所し、治療や訓練及び生活指導)／延べ24名</li> </ul>	57,828,916 円																								
	2. 訓練給付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同生活援助(夜間や休日、共同生活する住居で、相談や日常生活上の援助を行う)／延べ100名</li> <li>・就労移行支援(一般就労に必要な知識や能力の向上等の訓練を行う)／延べ25名</li> <li>・就労継続支援(生産活動場所の提供、継続的な就労の訓練を行う)／延べ237名</li> </ul>	44,932,057 円																								
	3. 特定障害者特別給付	施設入所者やグループホーム等に入所している低所得者の食事の負担、家賃の実費負担額の軽減を行う／延べ149名	1,425,475 円																								
	4. 計画相談支援給付	サービス等利用計画を指定特定相談支援事業所が作成した場合に支給／延べ147名	2,277,928 円																								
	5. 療養介護医療給付	療養介護給付の医療に係わる費用を支給／延べ24名	2,024,821 円																								
	6. 更生・育成医療給付	障がいの除去、若しくは程度を軽くするために必要な医療／4名	1,267,829 円																								
7. 補装具給付	失われた身体機能や損傷のある身体機能を補うための「補装具」の購入・修理費用の支給／17名	1,530,545 円																									

実 績 成 果	障害児通所給付等	8. 障害児通所給付等	日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練／延べ415名	16,082,513 円	
		9. 障害児相談支援給付	サービス等利用計画を指定特定相談支援事業所が作成した場合に支給／延べ166名	3,006,300 円	
		10. 村外施設利用料	大町市心身障害児母子通園訓練施設「あゆみ園」の通所費用を支給／3名	397,500 円	
		11. 軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業	軽度・中等度難聴児の補聴器購入又は修理に要する経費を助成／1名	58,000 円	
		12. 障がい者にやさしい住宅改良促進事業補助金	身体障がい者の住宅等の整備改善に要する経費を補助／1名	57,649 円	
		13. 障がい者支援施設等通所交通費補助金	障がい者支援施設等に通所している者に対して、交通費(実費)を補助／4名	208,600 円	
	小計				／131,098,133 円／
<p>謝礼(障害福祉計画・障害児福祉計画の策定) /53,200 円/          社会福祉推進委員会(14人)において令和3年度から令和5年度を計画期間とする障害福祉計画・障害児福祉計画を策定した。策定した計画は、令和3年3月末にHPで公表した。</p> <p>保険機関手数料 /234,562 円/          国民健康保険団体連合会、社会保険診療報酬支払基金に対する審査・支払委託に係る手数料</p> <p>診断書作成料 /44,000 円/          障害支援区分認定に係る診断書作成料</p> <p>国庫負担金返還金 /5,740,352 円/          令和元年度国庫負担金の返還金</p> <p>電算委託料 /638,000 円/          障がい福祉に係るシステム、報酬改定等に伴うシステム改修を株式会社電算に委託</p> <p>その他給付費 /47,667 円/          高額障害福祉サービス等給付費、特別支援学校等の臨時休業に伴う利用者負担額増額分</p> <p>その他負担金 /205,000 円/          障害支援区分認定審査会費負担金</p> <p>その他需用費 /76,000 円／</p>					
予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
138,611,000	138,136,914	100,576,278			37,560,636

3款	民生費	1項	社会福祉費	3目	障害福祉費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	地域生活支援事業	決算書の頁	P. 43-44
-----	----------	-------	----------

事業内容	障がい者及び障がい児が地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう地域の状況に応じた事業を実施し、地域の障がい者福祉の増進を図る。
	1. 要約筆記奉仕員等派遣事業 2. 声の広報作成 3. スポーツ教室開催 4. 移動支援事業 5. 日常生活用具給付 6. ストマ用装具等助成金 7. 障害者余暇活動支援事業 8. 日中一時支援事業 9. 巡回支援専門員 10. 身体障害者用自動車改造助成事業補助金 11. 地域活動支援センター運営事業 12. 障がい者相談支援事業運営負担金

実績・成果	事業名	事業内容・実績等	事業費
	1. 要約筆記奉仕員等派遣	聴覚障がい者等の日常生活の情報保障として要約筆記奉仕員等を派遣／6回	166,480円
	2. 声の広報作成 (白馬村社協委託事業)	広報「はくば」等の音声吹き替えを社協に委託して視覚障がい者等に提供／21回	18,622円
	3. スポーツ教室開催 (白馬村社協委託事業)	障がい者スポーツ教室等の開催／3回	18,210円
	4. 移動支援事業	移動が困難な障がい者の外出支援／2名	124,150円
	5. 日常生活用具給付	日常生活を支援する用具の給付／185件	1,785,111円
	6. ストマ用装具等助成金	ストマ用装具の自己負担分補助／33件	27,100円
	7. 障害者余暇活動支援事業 (白馬村社協委託事業)	障がい者の余暇活動を提供／17名	34,635円
	8. 日中一時支援事業	障がい者(児)の一時預かり／324回	820,720円
	9. 巡回支援専門員	専門スタッフが保育所等を巡回して、障がいの早期発見を行う	631,366円
	10. 身体障害者用自動車改造助成事業補助金	自動車の改造に要する費用を助成／1件	100,000円
	11. 地域活動支援センター運営事業 (白馬村社協委託事業)	地域活動支援センター(せみとんぼ)の運営	431,861円
	12. 障がい者相談支援事業運営負担金 (北アルプス連携自立圏事業)	障がい者相談支援について、大町市を中心とした体制により、運営を大町市社会福祉協議会に委託	1,987,000円
合計			／6,145,255円／

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
6,167,000	6,145,255	2,820,000			3,325,255

3款	民生費	1項	社会福祉費	4目	社会福祉施設費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	保健福祉ふれあいセンター維持管理事業	決算書の頁	P. 44-45
-----	--------------------	-------	----------

事業内容	1. 保健福祉ふれあいセンター維持管理事業 白馬村保健福祉ふれあいセンターの施設・設備の維持管理を行う。

実績・成果	1. 保健福祉ふれあいセンター維持管理事業／7,700,461円／		
	業務名等	内容及び実績	事業費
	エレベータ保守点検業務	定期保守、建築基準法に定める定期検査	264,000円
	警備業務	防犯サービス、火災監視サービス	191,400円
	消防設備保守点検業務	消防用設備の機能保全のための点検	176,000円
	地下貯蔵タンク漏洩検査	地下タンクの定期検査	33,000円
	清掃業務	年2回実施	330,000円
	施設・設備の修繕	トイレ換気扇、小便器センサー、暖房機等	517,880円
	燃料費	LPガス、灯油代	220,499円
	光熱水費	電気代、水道代	1,742,661円
	LED照明リース料	LED照明器具リース料(H30.6～R7.5)	1,587,600円
	工事請負費	1階エアコン設置工事	1,968,391円
	備品購入費	消火栓ホース取替え他	278,300円
	その他	消耗品・床マットレンタル料等	390,730円
計		7,700,461円	

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	その他(福祉基金 繰入金等)	一 般 財 源
7,747,000	7,700,461			2,244,720	5,455,741

3款	民生費	1項	社会福祉費	4目	社会福祉施設費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	社会福祉施設事業	決算書の頁	P. 44-45
-----	----------	-------	----------

事業内容	1. 広域社会福祉施設建設費等の負担

実績・成果	1. 広域社会福祉施設建設費等の負担 (1)北アルプス広域連合負担金 /5,486,000 円/							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鹿島荘運営費負担金</td> <td>877,000 円</td> </tr> <tr> <td>鹿島荘改築事業負担金</td> <td>4,609,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,486,000 円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	負担金	鹿島荘運営費負担金	877,000 円	鹿島荘改築事業負担金	4,609,000 円	計
項目	負担金							
鹿島荘運営費負担金	877,000 円							
鹿島荘改築事業負担金	4,609,000 円							
計	5,486,000 円							

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,486,000	5,486,000				5,486,000

3款	民生費	1項	社会福祉費	5目	介護保険費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	介護保険事業	決算書の頁	P. 45-46
-----	--------	-------	----------

事業内容

介護保険法に基づき、北アルプス広域連合を保険者として介護保険事業を実施する。要介護、要支援認定を受けた被保険者に対して、介護サービス事業者が在宅及び施設の介護保険サービスを提供する。  
 介護保険に関する事務の事務委託に関する規約(平成12年2月1日告示第2号)に基づき、北アルプス広域連合より事務を受託し、身近な相談、申請事務などを実施する。

実績・成果

1. 要介護認定状況(令和3年3月末日時点)  
 1号被保険者数 2,747人(前年比 25人増)

認定区分	認定者数(人)	前年比(人)	構成比(%)	前年度構成比(%)	
軽度	要支援1	28	△1	41.6	41.7
	要支援2	40	5		
	要介護1	90	△5		
中度	要介護2	65	△6	34.5	32.8
	要介護3	66	12		
重度	要介護4	57	△5	23.9	25.5
	要介護5	34	△1		
総数	380	△1	100.0	100.0	

2. 介護保険サービスの給付状況 (単位:件)

介護保険サービス	要支援	要介護	合計	前年比
居宅(介護予防)サービス	839	4,498	5,337	△66
地域密着型(介護予防)サービス	8	1,484	1,492	△26
施設介護サービス	0	1,196	1,196	△77
介護老人福祉施設※	0	611	611	△39
介護老人保健施設	0	548	548	△31
介護療養型医療施設	0	37	37	△7
合計	847	8,374	9,221	△246

※介護老人福祉施設の入居状況

白嶺	33人	ライフ松川	1人
カトレヤ	1人	長野市内	1人
高瀬荘	3人	リーベおおまち	3人
銀松苑	2人		
		計	44人

3. 負担金

北アルプス広域連合負担金 159,491,000円 国保連合会負担金 13,620円

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他( )	一般財源
159,505,000	159,504,620				159,504,620



3款	民生費	1項	社会福祉費	5目	介護保険費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	地域包括支援センター・地域支援事業	決算書の頁	P. 45-46
-----	-------------------	-------	----------

**事業内容**  
 地域支援事業は、被保険者が要介護・要支援状態となる事を予防するとともに、要介護状態となった場合でも、可能な限り地域で自立した日常生活を営むことが出来るよう支援する事を目的として、地域包括支援センターの運営、介護予防事業等を実施している。  
 介護保険制度改正により、平成29年4月より、「介護予防・日常生活支援総合事業」が開始され、地域での介護予防や生きがいに通じる活動や、「支えあい・助け合い」活動の推進にむけ、事業を実施している。

事業名	事業内容・実績等	事業費(円)
1. 介護予防事業		
通所型サービス(神城醫院)	「まめった講座」トレーニング機械を使った運動等 37回 延べ173人	1,120,000
一般介護予防事業(健學塾)	「体操」「歌声」など4講座148回 延べ1,191人 コロナで休止中、電話での安否確認実施	2,891,130
地域介護予防活動支援事業	介護予防自主グループ活動費の助成(地区健茶会、サロン等) 18か所 317回 2,376人	260,600
2. 包括的支援事業		
地域包括支援センターの運営(社会福祉協議会負担金)	保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の配置 総合相談824件(介護保険・医療等) 虐待・権利擁護に関する相談5件 地域ケア会議6回、ケアマネ連絡会6回 介護サービス事業所会議12回	15,045,967
認知症施策推進事業	認知症地域支援推進員の配置 認知症カフェ8回 認知症サポーター養成講座5回 白馬村見守りネットワーク事業(登録73)	2,875,376
生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーターの配置 白馬村生活支援・介護予防サービス協議体の開催 買い物サービスモデル事業 20人登録	4,970,589
3. 任意事業		
介護用品支給事業	在宅で要介護4、5の者を介護する非課税世帯の方に、おむつ用品等の購入費用(上限75,000円)を助成10人	332,592
地域自立生活事業	「安心コール」独居高齢者に定期的に電話をし、孤立の解消、安否確認4人 259回	104,225
4. その他	認知症初期集中支援チーム運営負担金、正職員人件費など	12,630,382
合計		40,230,861

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他(地域支援事業受託金等)	一般財源
40,468,000	40,230,861			39,683,050	547,811

3款	民生費	1項	社会福祉費	5目	介護保険費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	新型コロナウイルス自主検査費用補助事業	決算書の頁	P. 45-46
-----	---------------------	-------	----------

事業内容	<p>新型コロナウイルス感染症に感染した場合、重症化リスクが高い高齢者の感染拡大を防止するため、高齢者施設における従業員を対象とした自主検査費用に要する経費を県の間接補助を受けて全額補助する。</p> <p>補助率 県 2/3 (上限 15,000 円) 村 1/3 (村の補助は、昨年度末で終了)</p>
------	---

実績・成果	No.	施設名	検査人数	検査費用	県補助額	村補助額
	1	デイサービスセンター 一岳の湯	17人	252,450円	168,000円	84,450円
	2	白馬村社協ヘルパー ステーション	8人	118,800円	79,000円	399,800円
	3	デイサービスセンター おらの家	10人	148,500円	99,000円	49,500円
	4	訪問看護ステーション はくば	4人	59,400円	39,000円	20,400円
	5	白馬メディア	80人	1,188,000円	792,000円	396,000円
	6	神城醫院	15人	222,750円	148,000円	74,750円
	7	かたくりの郷	10人	148,500円	99,000円	49,500円
	8	北アルプス訪問介護 ステーション	7人	103,950円	69,000円	34,950円
	9	白馬メディア通所リ ハビリテーション	8人	118,800円	79,000円	39,800円
	10	健學塾	8人	118,800円	79,000円	39,800円
合計額			※167人	2,479,950円	1,651,000円	828,950円
※全員陰性						

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付)	一 般 財 源
2,480,000	2,479,950	1,651,000		828,000	950

3款	民生費	1項	社会福祉費	6目	住民総務費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	住民総務事業	決算書の頁	P. 46-47
-----	--------	-------	----------

事業内容	1. 保護司・関係団体を支援し更生保護活動を推進 2. 人権教育の啓発推進 ○「第70回社会を明るくする運動」推進大会は中止 ○人権教室の開催(会場:子育て支援ルーム) 3. 行路人等の扶助
	1. 保護司・関係団体の支援 212,000円 ・白馬村保護司会活動事業補助金 80,000円 ・大北地区保護司会活動補助金 20,000円 ・大町人権擁護委員協議会白馬地区委員活動事業補助金 60,000円 ・大町人権擁護委員協議会助成金 52,000円 2. 人権教育の啓発推進 ・「第70回社会を明るくする運動推進大会」は新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止(会場:白馬村予定) ・人権教室 推進月間の10月に開催。令和2年度は子育て支援ルームで開催。 3. 行路人等の扶助 12,500円 行路人等に対し、運賃相当額を支給 ・500円×25人=12,500円 4. その他 10,806,153円(職員人件費)

実績・成果	1. 保護司・関係団体の支援 212,000円 ・白馬村保護司会活動事業補助金 80,000円 ・大北地区保護司会活動補助金 20,000円 ・大町人権擁護委員協議会白馬地区委員活動事業補助金 60,000円 ・大町人権擁護委員協議会助成金 52,000円 2. 人権教育の啓発推進 ・「第70回社会を明るくする運動推進大会」は新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止(会場:白馬村予定) ・人権教室 推進月間の10月に開催。令和2年度は子育て支援ルームで開催。 3. 行路人等の扶助 12,500円 行路人等に対し、運賃相当額を支給 ・500円×25人=12,500円 4. その他 10,806,153円(職員人件費)
	1. 保護司・関係団体の支援 212,000円 ・白馬村保護司会活動事業補助金 80,000円 ・大北地区保護司会活動補助金 20,000円 ・大町人権擁護委員協議会白馬地区委員活動事業補助金 60,000円 ・大町人権擁護委員協議会助成金 52,000円 2. 人権教育の啓発推進 ・「第70回社会を明るくする運動推進大会」は新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止(会場:白馬村予定) ・人権教室 推進月間の10月に開催。令和2年度は子育て支援ルームで開催。 3. 行路人等の扶助 12,500円 行路人等に対し、運賃相当額を支給 ・500円×25人=12,500円 4. その他 10,806,153円(職員人件費)

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 ( )	一般財源
11,282,000	11,030,653				11,030,653

3款	民生費	1項	社会福祉費	6目	住民総務費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	住民国保事業	決算書の頁	P. 47
-----	--------	-------	-------

事業内容	<p>1. 国民健康保険事業勘定特別会計への繰出</p> <p>国民健康保険事業は、構造的に国民健康保険税(以下「国保税」と記載)負担能力の低い低所得者の加入割合が高いため、他の被保険者の国保税の負担が相対的に重いものとなっている。</p> <p>また、保険者の責めに帰さない事情による医療費増等影響を考慮し、国民健康保険事業の運営を安定させるために繰入を実施することとされている。</p>
------	---

実績・成果	<b>【繰出金の内容】</b>		
	保険基盤安定繰出金	71,531,390円	保険税軽減等に係る繰出し 保険税軽減分：46,278,440円 (県3/4、村1/4負担) 保険者支援分：25,252,950円 (国1/2、県・村1/4ずつ負担)
	財政安定化支援事業繰出金	5,800,000円	保険財政の安定・健全化に係る繰出し
	地方単独事業減額措置繰出金	414,837円	地方単独事業(公費給付調整額)に係る繰出し
	助産費繰出金	2,509,333円	出産育児一時金(費用の2/3を繰出し)
	人件費繰出金	17,334,260円	職員人件費(2名分)に係る繰出し
	事務費繰出金	6,883,188円	事務費に係る繰出し
	計	104,473,008円	
<p>※国民健康保険事業特別会計への繰出金</p> <p>令和2年度の繰出額は、前年度比 2,210,365 円の減となった。保険基盤安定及び助産費繰出金の減額が主な要因である。</p> <p>保険基盤安定制度により、国保税軽減分(低所得者に対する保険税軽減相当額の繰出し)及び保険者支援分(保険税軽減の対象となる低所得者数に応じた財政支援としての繰出し)については、国県の補助がある。</p> <p>また、交付税措置のある費用については、村の負担分と合わせ国民健康保険事業勘定特別会計へ繰出しを実施した。保険者の責めに帰さない事情(低所得者数・年齢構成差)による保険給付費の増を勘案した財政安定化支援事業、及び出産育児一時金、職員給与等に係る人件費の繰出し、事業運営に係る事務費の所要額の繰出しを実施した。</p>			

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
104,474,000	104,473,008	53,648,542			50,824,466

3款	民生費	1項	社会福祉費	6目	住民総務費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	後期高齢者医療事業	決算書の頁	P. 47
-----	-----------	-------	-------

事業内容	1. 長野県後期高齢者医療広域連合への負担金の支払い
	2. 後期高齢者医療特別会計への繰出し
	3. 長野県後期高齢者医療広域連合への派遣職員

実績・成果	1. 長野県後期高齢者医療広域連合への負担金																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>内 容</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>療養給付費負担金</td> <td>71,569,517 円</td> <td>療養給付費に係る負担金</td> <td>△1,627,371 円</td> </tr> <tr> <td>事務費負担金</td> <td>3,634,018 円</td> <td>事務費に係る負担金</td> <td>243,622 円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>75,203,535 円</td> <td></td> <td>△1,383,749</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	令和2年度	内 容	前年比	療養給付費負担金	71,569,517 円	療養給付費に係る負担金	△1,627,371 円	事務費負担金	3,634,018 円	事務費に係る負担金	243,622 円	合 計	75,203,535 円		△1,383,749
	区 分	令和2年度	内 容	前年比													
	療養給付費負担金	71,569,517 円	療養給付費に係る負担金	△1,627,371 円													
	事務費負担金	3,634,018 円	事務費に係る負担金	243,622 円													
	合 計	75,203,535 円		△1,383,749													
	2. 後期高齢者医療特別会計への繰出金																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>内 容</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務費繰出金</td> <td>2,234,322 円</td> <td>事務費に係る繰出し</td> <td>719,322 円</td> </tr> <tr> <td>保険基盤安定繰出金</td> <td>21,326,059 円</td> <td>保険料軽減分に係る繰出し</td> <td>56,103 円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>23,560,381 円</td> <td></td> <td>775,425 円</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	令和2年度	内 容	前年比	事務費繰出金	2,234,322 円	事務費に係る繰出し	719,322 円	保険基盤安定繰出金	21,326,059 円	保険料軽減分に係る繰出し	56,103 円	合 計	23,560,381 円		775,425 円
	区 分	令和2年度	内 容	前年比													
	事務費繰出金	2,234,322 円	事務費に係る繰出し	719,322 円													
保険基盤安定繰出金	21,326,059 円	保険料軽減分に係る繰出し	56,103 円														
合 計	23,560,381 円		775,425 円														
3. 長野県後期高齢者医療広域連合への派遣職員 主査級職員 1 名を派遣 派遣期間:平成 31 年(令和元年)4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日 人件費については、白馬村が派遣職員に支給し、広域連合が負担金として白馬村に納付																	
4. その他 6,915,204 円																	

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (県負担金、広域 連合負担金等)	一 般 財 源
105,904,000	105,679,120	16,101,544		7,357,483	82,220,093

3款	民生費	1項	社会福祉費	7目	福祉医療費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	福祉医療費給付事業	決算書の頁	P. 47-48
-----	-----------	-------	----------

事業内容	受給者に対し、保険給付に係る自己負担分から1レセプトあたり500円の自己負担額を控除し、福祉医療給付費として支給
------	--

実績・成果	1. 受給者数					
	区 分				令和3年3月31日現在	
					世帯数	受給者数
	子ども(0～18歳到達の年度末まで)				699世帯	1,183名
	障がい者 (身体障がい者1～4級、療育手帳A1～B2、精神手帳1～3級、 国民年金別表該当者、特別児童扶養手当該当者)				288世帯	307名
	母子家庭・父子家庭・父母のいない子				50世帯	118名
	計				1,037世帯	1,608名
	2. 給付実績					
	区 分	診療等件数 (レセプト件数)	総医療費	支給該当件数 (レセプト件数)	支 給 額	
						うち県補助金
子ども	7,432件	104,756,443円	7,376件	16,569,561円	2,672,000円	
障がい者	3,740件	275,741,718円	2,076件	16,943,779円	7,366,000円	
母子等	776件	36,916,245円	615件	1,554,124円	791,000円	
計	11,948件	417,414,406円	10,067件	35,067,464円	10,829,000円	
福祉医療費の支給により、受給者の医療費負担の軽減を図った。						
3. その他 2,130,181円						
○事務費補助金〔歳入〕 福祉医療に関する事務費として長野県から補助金が交付 補助率:補助基準額の1/2=483,000円						

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
37,317,000	37,197,645	11,312,000			25,885,645

3款	民生費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	児童福祉総務事業	決算書の頁	P. 48
-----	----------	-------	-------

事業  
内  
容

1. 白馬村就学支援委員会  
 支援を必要とする児童生徒等の就学相談や教育支援に係る事項について、教育委員会の諮問に応じ調査、審議を行い、教育委員会に報告する。

実  
績  
・  
成  
果

1. 白馬村就学支援委員会  
 児童・生徒と保護者、学校、教育委員会が円滑に合意形成を図るため、医療・保健の関係部局等と連携を図りながら、就学支援に関して下記のとおり実施した。  
 (1) 会議開催回数 … 就学支援委員会 3回  
                                 就学支援委員会小委員会 2回  
 (2) 委 員 数 … 15名 (内 報酬支払対象者 4名)  
 (3) 就学相談や教育支援に関する調査、審議

児童生徒 14名について、就学先又は学びの場(特別支援学級・通級指導教室等)の審議し、保護者及び関係機関との合意形成に向け調整を行い、今後の支援についても確認した。

事業費内訳

区分	金額	内 容
人件費	21,844,029円	職員3名、就学支援委員
事業費	38,810円	地域子育て支援補償保険料
合 計	21,882,839円	

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
22,247,000	21,882,839				21,882,839

3款	民生費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	放課後子どもプラン事業(放課後児童クラブ)		決算書の頁	P. 48																																																																																						
事業内容	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、放課後等に適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。 1. 名称 白馬北小放課後児童クラブ(白馬村保健福祉ふれあいセンター内) 白馬南小放課後児童クラブ(白馬南小学校体育館内) 2. 開設日と開設時間 日曜日・祝日・12月29日～1月3日を除く日 学校の授業日:下校時～午後6時 学校の休業日:午前8時～午後6時 3. 利用料 2,300円/人・月																																																																																									
	1. 登録者数(実数) (単位:名) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北小児童クラブ</td> <td>73</td> <td>61</td> <td>59</td> <td>59</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>南小児童クラブ</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>93</td> <td>81</td> <td>83</td> <td>84</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table>						年	H28	H29	H30	R1	R2	北小児童クラブ	73	61	59	59	37	南小児童クラブ	20	20	24	25	12	合計	93	81	83	84	49																																																												
年	H28	H29	H30	R1	R2																																																																																					
北小児童クラブ	73	61	59	59	37																																																																																					
南小児童クラブ	20	20	24	25	12																																																																																					
合計	93	81	83	84	49																																																																																					
実績	2.利用者 (単位:名) <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開設日数(日)</td> <td>25</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>23</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>22</td> <td>26</td> <td>291</td> </tr> <tr> <td>北小放課後児童クラブ</td> <td>167</td> <td>147</td> <td>266</td> <td>272</td> <td>259</td> <td>242</td> <td>237</td> <td>197</td> <td>222</td> <td>157</td> <td>176</td> <td>223</td> <td>2,565</td> </tr> <tr> <td>南小放課後児童クラブ</td> <td>64</td> <td>69</td> <td>93</td> <td>96</td> <td>72</td> <td>76</td> <td>78</td> <td>55</td> <td>65</td> <td>62</td> <td>67</td> <td>75</td> <td>872</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>231</td> <td>216</td> <td>359</td> <td>368</td> <td>331</td> <td>318</td> <td>315</td> <td>252</td> <td>287</td> <td>219</td> <td>243</td> <td>298</td> <td>3,437</td> </tr> <tr> <td>前年度増減</td> <td>△214</td> <td>△231</td> <td>△92</td> <td>△182</td> <td>△270</td> <td>△79</td> <td>△97</td> <td>△189</td> <td>△216</td> <td>△221</td> <td>△245</td> <td>△96</td> <td>△2,132</td> </tr> </tbody> </table>						月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	開設日数(日)	25	23	26	25	24	23	27	23	24	23	22	26	291	北小放課後児童クラブ	167	147	266	272	259	242	237	197	222	157	176	223	2,565	南小放課後児童クラブ	64	69	93	96	72	76	78	55	65	62	67	75	872	合計	231	216	359	368	331	318	315	252	287	219	243	298	3,437	前年度増減	△214	△231	△92	△182	△270	△79	△97	△189	△216	△221	△245	△96	△2,132
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計																																																																												
	開設日数(日)	25	23	26	25	24	23	27	23	24	23	22	26	291																																																																												
	北小放課後児童クラブ	167	147	266	272	259	242	237	197	222	157	176	223	2,565																																																																												
	南小放課後児童クラブ	64	69	93	96	72	76	78	55	65	62	67	75	872																																																																												
	合計	231	216	359	368	331	318	315	252	287	219	243	298	3,437																																																																												
前年度増減	△214	△231	△92	△182	△270	△79	△97	△189	△216	△221	△245	△96	△2,132																																																																													
成果	事業費内訳 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td>7,738,210円</td> <td>常勤指導員4名(各児童クラブ2名) 代替指導員2名 計6名</td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td>19,789円</td> <td>灯油</td> </tr> <tr> <td>管理費</td> <td>1,841,001円</td> <td>通信費、機器借上料、工事請負費、備品購入</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>436,047円</td> <td>消耗品費、保険料、口座振替手数料</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,035,047円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						区分	金額	内容	人件費	7,738,210円	常勤指導員4名(各児童クラブ2名) 代替指導員2名 計6名	燃料費	19,789円	灯油	管理費	1,841,001円	通信費、機器借上料、工事請負費、備品購入	事業費	436,047円	消耗品費、保険料、口座振替手数料	合計	10,035,047円																																																																			
	区分	金額	内容																																																																																							
	人件費	7,738,210円	常勤指導員4名(各児童クラブ2名) 代替指導員2名 計6名																																																																																							
	燃料費	19,789円	灯油																																																																																							
	管理費	1,841,001円	通信費、機器借上料、工事請負費、備品購入																																																																																							
事業費	436,047円	消耗品費、保険料、口座振替手数料																																																																																								
合計	10,035,047円																																																																																									
◎新型コロナウイルス感染症対策関係 国県補助事業(再掲) 子ども・子育て支援事業交付金 1,004,734円 ・消耗品 … 128,459円(消毒液、体温計、マスク、授乳室段ボール等) ・備品購入費… 385,895円(アンプセット、机、空気清浄機) ・工事請負費… 490,380円(空調機器設置工事) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業 856,083円 ・消耗品 … 64,908円(消毒液、体温計、マスク等) ・備品購入費… 791,175円(紫外線除菌庫、空気清浄機、机)																																																																																										
予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)																																																																																								
		国県支出金	地方債	その他(負担金)	一般財源																																																																																					
10,141,000	10,035,047	6,926,000		761,300	2,347,747																																																																																					



3款	民生費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	放課後子どもプラン事業(放課後子ども教室)		決算書の頁	P. 48				
事業内容	放課後等に適切な遊び及び生活の場を提供し、異年齢間の交流の促進と、地域の人との関わりを求めて、児童も大人も共に生き、共に育ちあう場の創造を図る。							
	1. 名称 北小放課後子ども教室(白馬村役場多目的研修集会施設内) 2. 開設日と開設時間 学校開校日の毎週月・水曜日 学校の授業日:下校時～午後5時							
実績・成果	1. 利用登録者数 (単位:名)							
			令和2年					
	北小放課後子ども教室		12					
	2. 利用者数 (単位:名)							
	月	10	11	12	1	2	3	合計
	開設日数(日)	8	8	7	3	8	5	39
	延べ人数	67	76	69	28	80	51	371
	事業費内訳							
	区分	金額	内容					
	人件費	249,528円	指導員2名					
	管理費	17,979円	通信費					
	事業費	53,595円	消耗品費					
	合計	321,102円						
予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)						
		国県支出金	地方債	その他 (ふるさと基金)	一般財源			
330,000	321,102			300,000	21,102			

3款	民生費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	児童手当給付事業	決算書の頁	P. 48
-----	----------	-------	-------

事業内容

児童を養育している家庭等の生活の安定に寄与すること及び次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的に、中学校修了までの児童の保護者等に児童手当を年3回(6月、10月、2月)支給する。

児童手当月額支給額(1人当たり)

3歳未満 … 一律 15,000 円

3歳以上小学校修了前 … 10,000 円(第3子以降※は 15,000 円)

中学生 … 一律 10,000 円

児童の保護者等の所得が所得制限限度額以上の場合 … 一律 5,000 円

※第3子以降とは、高校卒業までの養育している児童のうち、3番目以降の児童のことをいう。

実績・成果

1. 児童手当の支給 121,620,000 円

月	6月 (2~5月)	10月 (6~9月)	2月 (10~1月)	合計
対象児童数	3,693名	3,611名	3,723名	11,027名
(内3歳未満)	589名	578名	593名	1,760名
(内小学校修了前)	2,313名	2,212名	2,299名	6,824名
(内中学校修了前)	791名	821名	831名	2,443名
支給金額	40,925,000円	39,755,000円	40,940,000円	121,620,000円

前年比 延対象児童数: △107名 支給金額 : △1,400,000円

2. その他の支出 225,637円

消耗品(目隠しシール等) 33,181円、印刷製本費(封筒、支払通知書)76,956円  
電算委託料 115,500円(財源:子ども・子育て支援事業費国庫補助金 77,000円)

特定財源内訳 (単位:円)

	被用者	非被用者	特例給付	合計
国庫交付金	59,156,333	23,466,666	1,136,666	83,759,665
県費負担金	12,722,666	5,866,666	284,166	18,873,498
合計	71,878,999	29,333,332	1,420,832	102,633,163

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
121,862,000	121,845,637	102,710,163			19,135,474

3款	民生費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	児童手当等給付事業(その他)	決算書の頁	P. 48												
事業内容	<p>1. 施設型給付費委託料</p> <p>2. 地域型保育給付費委託料 子ども・子育て支援新制度に基づき、認定こども園等を利用する子どもがいる場合、公定価格により算出された給付費を利用施設に支出。</p> <p>3. 施設等利用給付費 令和元年10月より開始された幼児教育・保育無償化により、幼稚園等を利用する子どもの利用料(保育料)について、3歳以上児は、月額25,700円まで。3歳未満児は、月額42,000円まで、保育料等が無償となる。 ※3歳以上児で、保育の必要性の認定を受けた場合には、預かり保育等が月額最大11,300円まで無償となる。 ※3歳未満児は、保育の必要性の認定があり、住民税非課税世帯のみ対象となる。</p> <p>4. 幼稚園等補足給付費補助金(副食費補助) 令和元年10月より開始された幼児教育・保育無償化により、幼稚園を利用する3歳以上児の副食費(おかず等が対象、光熱水費、運搬費等を除く)については、月額4,500円(国の補助)を上限に無償となる。 対象は年収360万円未満相当世帯の子ども及び小学校第3学年修了前の子どもから数えて、第3子以降の子どもについて無償となる。</p>														
	実績成果	<p>1. 施設型給付費委託料 824,680円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用施設</th> <th>年齢</th> <th>対象人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こまくさ幼稚園</td> <td>4歳児</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 地域型保育給付費委託料 1,183,400円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用施設</th> <th>年齢</th> <th>対象人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Familia Hakuba</td> <td>未満児</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table>			利用施設	年齢	対象人数	こまくさ幼稚園	4歳児	1名	利用施設	年齢	対象人数	Familia Hakuba	未満児
利用施設		年齢	対象人数												
こまくさ幼稚園	4歳児	1名													
利用施設	年齢	対象人数													
Familia Hakuba	未満児	3名													

3. 施設等利用給付費 22,641,350 円

対象施設	種別	対象人数(名)	給付額(円)
白馬幼稚園	幼稚園	844	21,558,800
白馬幼稚園	預かり保育	259	733,200
子育て支援ルーム	一時預かり	42	38,250
野外保育風の森	認可外保育施設	12	311,100
合計		1,157	22,641,350

本事業により、幼稚園を初めとした保育施設利用の金銭的な負担は軽減されている。

- ・白馬幼稚園の授業料については、幼稚園による法定代理受領により幼稚園への支出。
- ・一時預かり、幼稚園預かり保育、認可外保育施設利用料は、償還払いにより利用者に支出。

実  
績  
・  
成  
果

4. 幼稚園等補足給付費補助金(副食費補助) 1,085,876 円

幼稚園の副食費を、年収 360 万円未満相当世帯及び小学校第 3 学年修了前の子どもから数えて第 3 子以降となる子どもに対して、補助を行うもの。

	人数(名)		補助額(円)
	延べ人数	内第3子	
白馬幼稚園	399	0	1,085,876

5. その他事業 7,484,475 円

○幼保無償化例規整備委託事業:2,475,000 円

- ・令和元年 10 月からの幼児教育・保育無償化を円滑に実施するため、関係例規整備を委託し、例規の確認並びに受付マニュアルの作成を行った。補助事業となっており、国より 10 割の補助を受け実施

○令和元年度子育てのための施設等利用給付交付金返納金:5,009,475 円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
33,862,000	33,219,781	27,788,520		610,000	4,821,261

3款	民生費	2項	児童福祉費	1目	児童福祉総務費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	子育て世帯への臨時給付金事業		決算書の頁	P. 48																										
事業内容	1. 子育て世帯臨時特別給付金事業(全額国庫補助事業) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取り組みの一つとして、児童手当を受給する世帯に対し、臨時特別給付金を支給する																													
	2. 子育て支援金給付事業(白馬村単独事業)(全額地方創生臨時交付金事業) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する白馬村独自の取り組みとして、0歳から大学生等がいる世帯に対し、給付金を支給する。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して事業を実施																													
実績成果	3. ひとり親世帯特別臨時給付金事務事業(全額国庫補助事業) 新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯に特に大きな困難が心身に生じていることを踏まえ、ひとり親世帯に臨時特別給付金を支給する																													
	1. 子育て世帯臨時特別給付金事業 (1) 支給金額 … 10,000 円(児童1名) (2) 事業費 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬・職員手当</td> <td>89,996 円</td> <td>会計年度任用職員報酬</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>914,079 円</td> <td>消耗品・印刷製本費・通信運搬費・電算委託</td> </tr> <tr> <td>臨時特別給付金</td> <td>9,950,000 円</td> <td>995 名</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>10,954,075 円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※令和3年度で国庫補助金 614,000 円返還</p> 2. 子育て支援金給付事業(白馬村単独事業) (1) 支給金額 … 10,000 円/人(ひとり親世帯は、20,000 円加算) (2) 支給対象者 … 令和2年5月1日に住民登録がある、対象児童がいる世帯の父母等 (3) 支給対象児童 … 0歳から大学生等(24歳までの学生) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役務費</td> <td>24,000 円</td> <td>通信運搬費</td> </tr> <tr> <td>子育て支援金</td> <td>16,340,000 円</td> <td>大学生・児童等 1,428 名 ひとり親 103 名</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>16,364,000 円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 3. ひとり親世帯特別臨時給付金 (1) 支給金額 … 50,000 円/世帯 (第2子以降1人につき30,000円) (2) 支給対象者 … 令和2年6月分の児童扶養手当受給者・公的年金等受給しており、児扶の手当てが全額停止されている方・収入が激減している方 (3) 事業費 … 276,730 円(職員手当・消耗品・通信運搬費) (4) その他 … 給付金の支払いは、長野県が実施し、申請受付等の事務のみを行った				区分	金額	内 容	報酬・職員手当	89,996 円	会計年度任用職員報酬	事務費	914,079 円	消耗品・印刷製本費・通信運搬費・電算委託	臨時特別給付金	9,950,000 円	995 名	合 計	10,954,075 円		区分	金額	内 容	役務費	24,000 円	通信運搬費	子育て支援金	16,340,000 円	大学生・児童等 1,428 名 ひとり親 103 名	合 計	16,364,000 円
区分	金額	内 容																												
報酬・職員手当	89,996 円	会計年度任用職員報酬																												
事務費	914,079 円	消耗品・印刷製本費・通信運搬費・電算委託																												
臨時特別給付金	9,950,000 円	995 名																												
合 計	10,954,075 円																													
区分	金額	内 容																												
役務費	24,000 円	通信運搬費																												
子育て支援金	16,340,000 円	大学生・児童等 1,428 名 ひとり親 103 名																												
合 計	16,364,000 円																													
予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)																												
		国県支出金	地方債	そ の 他 ( )	一 般 財 源																									
27,960,000	27,594,805	28,208,000			△613,195																									

3款	民生費	2項	児童福祉費	2目	子育て支援費
----	-----	----	-------	----	--------

事業名	子育て支援事業	決算書の頁	P. 49																																										
事業内容	1. 子育て世代包括支援センターの運営 (1) 個別相談・発達検査 (2) 関係機関との連携 2. 療育教室の実施 3. 保護者向けガイダンス・勉強会・講座の実施 4. 健診等への協力 5. 病児病後児事業 6. その他の子育て支援に関する事業 (1) 子育てガイドブックの作成 (2) 子育て支援アプリの活用																																												
	実績・成果	1. 子育て世代包括支援センターの運営 子育て世代包括支援センターでは、妊娠期から18歳までの子育て家庭について、一人ひとりの状況に寄り添い、切れ目なくサポートを行っている。 (1) 個別相談・発達検査 ① 相談件数 400件(面談・電話) → 前年度比 △235件 ② 相談内容 妊娠期・子育て・家庭・園生活・学校生活・その他 * 学校生活の相談が最多。学校の学習支援・支援体制・集団生活の難しさの相談が多い。 * 継続して相談を受ける事があり、必要に応じて関係機関へつなげる事ができた。 ③ 各種検査 <table border="1" data-bbox="325 1115 1257 1348"> <thead> <tr> <th>検査</th> <th>令和元年度(件)</th> <th>令和2年度(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WISC IV知能検査</td> <td>27</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>ASA社会適応検査</td> <td>14</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>新版K式発達検査</td> <td>8</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>Vineland-II適応行動尺度</td> <td>(令和2年度より)</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> * 小さい時期からの相談、療育事業所への参加が増え、子どもへの支援ができるようになる。就学・就園前の検査ある。 (2) 関係機関との連携 ① 保育園、幼稚園、南・北小学校、中学校、高校を訪問し、園児・児童・生徒の参観、支援会議へ参加 ② 情報提供引継ぎシートの作成 <table border="1" data-bbox="333 1563 1134 1989"> <thead> <tr> <th>情報提供元</th> <th>情報提供先</th> <th>作成数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て支援課</td> <td>白馬幼稚園</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>子育て支援課</td> <td>しろうま保育園</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>しろうま保育園</td> <td>白馬南小学校</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>白馬南小学校</td> <td>白馬中学校</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>白馬北小学校</td> <td>白馬中学校</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>白馬中学校</td> <td>村内高校</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>白馬中学校</td> <td>村外高校</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>			検査	令和元年度(件)	令和2年度(件)	WISC IV知能検査	27	19	ASA社会適応検査	14	2	新版K式発達検査	8	11	Vineland-II適応行動尺度	(令和2年度より)	2	情報提供元	情報提供先	作成数(件)	子育て支援課	白馬幼稚園	2	子育て支援課	しろうま保育園	2	しろうま保育園	白馬南小学校	1	白馬南小学校	白馬中学校	3	白馬北小学校	白馬中学校	6	白馬中学校	村内高校	1	白馬中学校	村外高校	1	合計	
検査		令和元年度(件)	令和2年度(件)																																										
WISC IV知能検査	27	19																																											
ASA社会適応検査	14	2																																											
新版K式発達検査	8	11																																											
Vineland-II適応行動尺度	(令和2年度より)	2																																											
情報提供元	情報提供先	作成数(件)																																											
子育て支援課	白馬幼稚園	2																																											
子育て支援課	しろうま保育園	2																																											
しろうま保育園	白馬南小学校	1																																											
白馬南小学校	白馬中学校	3																																											
白馬北小学校	白馬中学校	6																																											
白馬中学校	村内高校	1																																											
白馬中学校	村外高校	1																																											
合計		16																																											

③特別支援教育コーディネーター連絡会の開催

本村の特別支援教育の支援体制の課題、幼・保・小・中学校の連携体制、情報交換を目的として設置し開催。(開催日: R2.4.28)

参加者:各小・中学校特別支援教育コーディネーター・幼稚園・保育園・子育て支援課

\*村の特別支援教育を考える上で、各機関との連携・情報共有の大切さを感じ、今後も定期的に開催をする。

2.療育教室の実施

(1)あそびの教室 ほっぷ (母子保健事業で実施)

(2)あそびの教室 すてっぷ

対 象	未就園児(2歳児対象) あそびの教室ほっぷ終了後、さらに小集団活動を継続希望する親子
実 績	6月～3月 約月1回 実施回数:20回 参加延べ人数:112名(前年度 31名)

冬季間、入園に向けて母子分離コースを行った。

(3)あそびの教室 じゃんぷ

対 象	就園児で、集団生活に困り感を感じる親子を対象に小集団で活動			
実 績	前年度『すてっぷ』『じゃんぷ』に参加した児童を対象に実施していたが、幼稚園保育園児全員にお知らせし、申し込みいただき行う。			
	区分	登録者数	実施回数	参加延べ人数
	年長児	19名(前年13名)	14回(前年20回)	88名(前年84名)
	年中児	20名(前年10名)	12回(前年8回)	96名(前年84名)
	年少児	7名(前年9名)	7回(前年8回)	52名(前年29名)

実  
績  
・  
成  
果

3.保護者向けガイダンス・勉強会・講座

(1)就学ガイダンスの開催

小学校に入学するにあたり、すべての子どもが持てる力を最大限に発揮し、共に学び合える教育を受けられる「学びの場」について説明。

対象者:白馬幼稚園としろうま保育園の年中・年長児の保護者

区分	白馬幼稚園	しろうま保育園
開催日	中止	11月11日、12日

\*新型コロナウイルス感染対策のため幼稚園は資料配布のみ。

(2)その他の勉強会・講座

勉強会・講座名	参加延べ人数
ペアレントトレーニング(全5回)	70名(前年58名)
親の会(発達障がい等の診断のある児童の保護者)全7回	7名(前年13名)

\*ペアレントトレーニングの夜の部を開催。夜の部は19名参加。

4.健診等への協力

乳児健診、2歳相談(集団活動の実施)、3歳健診、5歳発達相談等に協力

5. 病児病後児事業

令和2年10月より市立大町総合病院にて、病児・病後児保育が開始され、病後児保育を必要としている、保護者の利便性向上が図られた。

・登録者数 10名 利用者数 0名

6. その他の子育て支援に関する事業

(1)子育てガイドブックの作成 262,350円

妊娠・出産・子育ての情報を集めたガイドブックを作成し、母子保健手帳交付時、並びに転入時に18歳までのお子さんがある家庭に配布。

A5版 60ページ(表紙4P+本文56P)表紙、フルカラー 本文、2色刷り 制作部数 300部

(2)子育て支援アプリ 244,080円

子育て支援アプリにより、妊娠中の健康記録から子どもの成長記録、子育て情報を提供する。また、健診やイベント情報をタイムリーに周知することにより、受診忘れを未然に防ぐ。

(単位:名)

実績  
成果

区分	登録者数	男性	女性	設定なし
4月1日	172	15	140	17
3月31日	203	16	167	20

事業費内訳

区分	金額	内容
人件費	18,729,169円	職員2名、相談員2名、臨時保育士
管理費	72,367円	通信費、電算委託料
事業費	1,895,137円	負担金、備品購入、消耗品費、印刷製本費、講師謝礼等
合計	20,696,673円	

◎新型コロナウイルス感染症対策関係 国県補助事業 (再掲)

子ども・子育て支援事業交付金

・消耗品 … 238,678円 (消毒液、体温計、マスク、授乳室段ボール等)

新型コロナウイルス感染緊急包括支援事業

・備品購入費 … 402,200円 (テーブル、空気清浄機)

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 (ふるさと基金)	一般財源
21,089,000	20,696,673	7,920,000		500,000	12,276,673



3款	民生費	2項	児童福祉費	3目	保育所費
----	-----	----	-------	----	------

事業名	しろうま保育園運営事業	決算書の頁	P. 50																													
事業内容	1. 保育事業 生後 10 カ月児～就学前児までの保育を実施 開園時間 7:30～18:30 2. 特別保育事業 (1) 障がい児保育 加配保育士を配置し保育を実施 (2) 延長保育 延長保育士を配置し保育を実施 朝 7:30～8:00 夕方 16:30～18:30 (3) 希望保育 職員が当番制で保育を実施 土曜日・お盆休み・春休み																															
	1. 保育事業 子ども・子育て支援新制度に基づき、保育の必要性の認定した上で入所とし、1 ヶ月の就労時間により、保育の必要量の区分を保育標準時間利用(1 日最大 11 時間までの利用)と、保育短時間利用(1 日最大 8 時間までの利用)として、朝 7:30～夕方 18:30 まで保育を提供する。 (単位:名) <table border="1" data-bbox="349 891 1203 1352"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>園児数</th> <th>保育士数</th> <th>標準時間 利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 歳児</td> <td>35</td> <td>2</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>4 歳児</td> <td>33</td> <td>2(1)</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>3 歳児</td> <td>35</td> <td>2(1)</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>2 歳児</td> <td>26</td> <td rowspan="3">11</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>1 歳児</td> <td>23</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>0 歳児</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>159</td> <td>17(2)</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table> ( ) 障がい児加配保育士 令和 3 年 3 月 31 日現在			年齢	園児数	保育士数	標準時間 利用人数	5 歳児	35	2	13	4 歳児	33	2(1)	13	3 歳児	35	2(1)	13	2 歳児	26	11	7	1 歳児	23	4	0 歳児	7	3	合計	159	17(2)
年齢	園児数	保育士数	標準時間 利用人数																													
5 歳児	35	2	13																													
4 歳児	33	2(1)	13																													
3 歳児	35	2(1)	13																													
2 歳児	26	11	7																													
1 歳児	23		4																													
0 歳児	7		3																													
合計	159	17(2)	53																													
実績・成果	2. 特別保育事業 (1)障がい児保育 ① 家族の希望・意向の聞き取り等をもとに、前期・後期の個別支援計画を作成し保育した。 ② 病院の診察やリハビリに同行し、保育園での様子を伝えたり、アドバイスいただいたり、保護者との情報共有や園児の状況確認を行い保育した。 ③ 障がいの診断の有無に関わらず、5 歳発達相談で支援や経過観察が必要とされた園児、保護者・保育士からの相談があった園児に対しては、スクラムネットの協力のもと相談や発達検査を行い、必要に応じて、こども病院や大町病院の発達外来・リハビリ、子育て相談支援センターのあそびの教室、大町市のキッズウィル、小谷村のそらいろなどにつなげ、園児の育ちを保護者と共通理解し発達を促す支援を行った。また、そらいろとは定期的にモニタリングを実施した。 ④ 就学前、入学に不安を抱えている園児とその保護者に対して、就学前に小学校へ見学に行き不安を解消する機会を作った。 (2)延長保育 ① 通常の登降園時間に送迎できない保護者のお子さんを、延長保育室(2 部屋)で延長保育担当保育士(4～5 人)が保育した。 ② 保育無償化後から保育標準時間契約者が増えているため、保育士資格を持つ 4 名に加え、保育士資格を持たない保育補助 4 名(うち 3 名は保育関係への進学を希望している白馬高校生)を採用して保育した。																															

- ③ 利用人数の増加により、下駄箱に靴が入りきらなくなった。(特に冬期) 玄関も狭いため、より多く収納できる形状の下駄箱を設置した。

(単位:名)

利用区分	利用者数 *延べ人数	月平均	対前年比
保育標準時間	568	48.8	76
月契約	137	11.4	△41
緊急利用	253	21.0	△20

(3)希望保育

- ① 事前に申し込みがあった園児を保育した。  
② 混合保育を行ったが、未満児の割合が多いため、保育士数が多く必要であった。

(単位:名)

種類(実施日数)	利用者数 *延べ人数	日平均 (最多人数)	対前年比
土曜日 (50)	1,078	21.56 (36)	226
お盆休み (2)	86	43.00 (44)	△36
春休み (6)	295	49.16 (62)	37

\*お盆休み、前年実施日数は4日

3. 職員研修

(1)研修回数4回

大北地区保育所保育士等研修会、大北地区保育所給食担当者研修会、園内研修会(さくらさくらんぼのリズム)、ペアレントトレーニング  
社会福祉施設等における感染症・食中毒等の発生およびまん延防止等に係る研修会

(2)参加者数 延べ50人

園長 3、主任保育士 5、保育士 35、栄養士 2、給食調理員 5

\*新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、ほとんどが延期・中止となった。

事業費内訳

区分	金額	内 容
人件費	112,179,206 円	職員 11人、臨時的任用職員 2 人、会計年度任用職員(保育士・延長保育士・栄養士・給食調理員) 23 人、嘱託医 2 人等
燃料・光熱水費	4,804,082 円	電気・水道・灯油・ガス料金
管理費	4,500,380 円	施設管理委託料、工事請負費、修繕費、通信費、原材料費、OA機器借上料、ピアノ調律等手数料
事業費	13,186,204 円	給食賄材料費、消耗品費、備品購入費、保険料、口座振替手数料、印刷製本費、広域入所委託料、負担金
土地購入関係	5,605,000 円	土地購入費、印紙代
合計	140,274,872 円	

・主な工事請負費

- ① FF 暖房機入替(3 台) 664,510 円  
② 延長保育室下駄箱設置 124, 025 円  
③ 生ごみ処理機移設 371,580 円

④ 警備用回線変更 52,800 円

・主な修繕費

- ① 石油給湯器交換 307,450 円
- ② 除雪機 93,500 円
- ③ 生ごみ処理機 74,800 円
- ④ 水回りの修繕(便座交換・トイレや水道の部品交換等複数か所) 141,000 円

・主な施設管理委託料

- ① 電算業務委託 554,400 円 … 保育料システム
- ② 衛生検査業務 317,911 円 … 保菌検査、拭き取り検査
- ③ 防犯業務委託 240,900 円 … 防犯システム、絆メール
- ④ 電気保安業務委託 189,060 円 … 電気設備の保安点検
- ⑤ 消防施設点検委託業務 117,700 円 … 消防設備・防火シャッターの点検
- ⑥ 地下タンク点検委託業務 41,800 円

・主な備品購入費

- ① 未満児(1～2歳児)用手すり付き椅子 220,000 円
- ② 避難用カート 125,000 円
- ③ 放送設備用マイク・ピンマイク 74,800 円
- ④ ベビーカー 44,000 円
- ⑤ 未満児(0歳児)用テーブル付き椅子 13,464 円

・給食賄材料費 9,413,213 円

・広域入所負担金(大町市) 423,840 円

・白馬村多子世帯保育料軽減事業 0 円

保育料の軽減	3 世帯	3 名	165,000 円
第3子	2 世帯	2 名	102,000 円
第4子	1 世帯	1 名	63,000 円

しろうま保育園 3 世帯 3 名の児童が対象。補助金としての支出は、有りませんが、該当者の保育料は、軽減分を差し引いて請求を行っています。

・保育料の減免(還付) 734,190 円

全国一律の緊急事態宣言に伴い4～5月の間、新型コロナウイルス感染症を理由とした自主的な欠席については、減免扱いとしました。

副食費:238,240 円 保育料:495,950 円

◎新型コロナウイルス感染症対策関係 県補助事業(再掲)

長野県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金 540,067 円

- ・消耗品… 260,603 円(体温計、消毒液等)
- ・備品購入…279,464 円(本棚、避難車、ベビーカー)

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 (保育料・延長保育料・ 給食費、ふるさと基金)	一般財源
140,876,000	140,274,872	572,000	0	19,248,874	120,453,998

3款	民生費	2項	児童福祉費	3目	保育所費
----	-----	----	-------	----	------

事業名	子育て支援ルーム運営事業	決算書の頁	P. 50																																									
事業内容	<p>1. 地域子育て支援拠点事業(ひろば型)として、乳幼児及びその保護者が相互の交流を行い、子育てについての相談、情報提供、助言、援助を行う。</p> <p>(1)なかよし広場…木曜日 9:30～12:00 ・友だちとの関わりや遊ぶ場の提供。</p> <p>(2)自由利用…月曜日・金曜日 9:30～12:00 日曜日～金曜日 13:30～16:00 日曜日 9:30～12:00 13:30～16:00 ・園庭は常時開放。</p> <p>(3)その他…食育活動、人形劇鑑賞会、音楽コンサート、親子体操等開催。</p> <p>2. 一時預かり事業(地域密着型)として就労、冠婚葬祭、その他の理由で家庭での保育を受けることが困難な生後10ヶ月児～就学前の児童の預かり保育を行う。</p> <p>(1)一時保育…月曜日～土曜日 7:30～18:30 料金 3歳未満児 300円/1h 3歳以上児 150円/1h 一週間利用(6日間) 6,000円/1w</p> <p>(2)休日保育…日曜日・祝日 8:30～17:00 料金 3歳未満児 300円/1h 3歳以上児 150円/1h</p>																																											
	<p>1. 地域子育て拠点事業 月別利用者数 (単位:名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なかよし広場</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>43</td> <td>76</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>自由利用</td> <td>20</td> <td>42</td> <td>101</td> <td>117</td> <td>148</td> <td>223</td> <td>164</td> <td>124</td> <td>92</td> <td>25</td> <td>22</td> <td>147</td> <td>1,225</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1)なかよし広場 9回開催 参加者数 119名(対前年 △885名) 利用者減少傾向にあり、広場の回数を減らした為。</p> <p>(2)自由利用(庭遊具利用者除く) 利用者 1,225名(対前年 +75名) 利用日の拡大により、増加。</p> <p>(3)その他</p> <p>①食育活動 ・栄養士による「おいしいもの食べよ」 2回開催 参加者数 51名</p> <p>②育児講座等 ・「音楽コンサート」「人形劇鑑賞会」「パフォーマンスショー」など子育てに関するテーマに沿った講座等 4回開催 参加者数 70名</p> <p>③ボランティア ・てぶくろの会による「おはなし会」 1回開催 参加者数 6名 ・白馬村体育協会スポーツクラブによる親子体操 2回開催 参加者数 20名</p>			区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	なかよし広場							43	76					119	自由利用	20	42	101	117	148	223	164	124	92	25	22	147
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																															
なかよし広場							43	76					119																															
自由利用	20	42	101	117	148	223	164	124	92	25	22	147	1,225																															
実績成果																																												

2. 一時預かり事業

月別利用者数

(単位:名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一時保育	57	41	78	130	146	166	149	123	117	41	48	92	1,188
休日保育	3	8	6	36	45	54	22	27	12	25	11	30	279

一時保育 利用者 1,188 名(対前年△239 名) 新型コロナ感染症拡大の為減少。

休日保育 利用者 279 名(対前年△196 名) 新型コロナ感染症拡大の為減少。

事業費内訳

区分	金額	内容
人件費	16,386,947 円	職員 2 名、会計年度任用職員 1 名
燃料・光熱水費	850,761 円	電気、水道、灯油、ガス料金
管理費	1,488,746 円	施設管理委託料、修繕費、原材料費、通信費、OA 機器借上料、ピアノ調律手数料、NHK 受信料
事業費	2,789,337 円	講師謝礼、消耗品費、賄材料費、保険料、工事請負費、備品購入費
合計	21,515,791 円	

・工事請負費…1,069,259 円

支援ルーム外回り補修工事、支援ルーム空調設備工事

・修繕費…272,738 円

主な修繕 ストープガード取付工事 カーテンレール、カーテン点検及び修理

・備品購入費…1,246,510 円

主な備品 はいはいスクエアマット、折り畳みマット テント天幕

・主な施設管理委託料

防犯業務 175,560 円、消防設備点検業務 34,100 円

◎新型コロナウイルス感染症対策関係 国県補助事業 (再掲)

子ども・子育て支援事業補助金 1,009,558 円 (10 割国庫補助)

・備品購入…492,200 円 (ワイアレスアンプ 241,120 円、テーブル等 136,080 円)

・工事費… 463,100 円 (一時保育室エアコン)

・消耗品… 54,258 円 (感染に係る消毒用品等)

長野県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業 1,002,798 円 (10 割国庫補助)

・検査委託料…660,000 円 (支援ルーム消毒委託料)

・備品購入… 326,650 円 (オゾン除菌消臭器 201,850 円、幼児用椅子マット 120,100 円等)

・消耗品… 16,148 円 (消毒用品等)

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 (一時保育料・休日 保育料、おやつ 代、ふるさと基金)	一般財源
22,020,000	21,515,791	10,433,000	0	2,591,300	8,491,491

3款	民生費	3項	国民年金費	1目	年金総務費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	国民年金業務事業	決算書の頁	P. 52
-----	----------	-------	-------

事業内容	1. 国民年金の資格取得・異動届の受理、及び資格の取得喪失の異動処理
	2. 国民年金保険料免除申請の受領と進達
	3. 未支給年金、障害年金等の支給に関する手続
	4. 国民年金事務委託金等の交付申請手続き等

実績・成果	令和2年度白馬村国民年金事業の概況									
	1. 被保険者の状況					令和3年3月31日現在				
	第1号	任意	第3号	計	前年比					
	1,412人	11人	394人	1,817人	△98人					
	2. 保険料免除の状況					令和3年3月31日現在				
	法定免除	全額申請免除	3/4申請免除	半額申請免除	1/4申請免除	学生納付特例	若年者納付猶予			
	57人	280人	24人	21人	8人	76人	43人			
	3. 年金給付状況									
	老齢		障害		遺族		老齢福祉		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	
2,680	1,840,491	128	109,026	17	13,778	0	0	2,825	1,963,295	
4. 国民年金事務委託金等 (収入) 2,890,020円										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員人件費等の補助 2,802,422円</li> <li>・年金生活者支援給付金支給業務市町村事務取扱交付金 87,598円</li> </ul>										
5. その他 4,030,019円										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料 電算システム委託料 200,200円</li> <li>・返還金 元年度分年金生活者支援給付金支給業務市町村事務取扱交付金確定に伴う返還金 138,567円</li> <li>・その他(人件費等) 3,691,252円</li> </ul>										

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 ( )	一般財源
4,159,000	4,030,019	2,890,020			1,139,999

4款	衛生費	1項	保健衛生費	1目	環境衛生費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	環境衛生事業	決算書の頁	P.52-54
-----	--------	-------	---------

事業内容	1. 村内の環境美化推進 2. 村内の空間放射線量を測定 3. 雑排水汚泥の収集処理 4. その他環境衛生に係る補助金・負担金を交付
------	---

実績・成果	1. 村内の環境美化の推進 (1) 環境衛生委員会議の資料配布 新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から会議を中止し、資料を配布(4/10、10/28) 環境衛生委員報酬 728,400円(30名) (2) 衛生週間の実施(春:4/12~19、秋:11/8~15)、各区において清掃活動を実施 (3) 不法投棄(20件)・野外焼却(6件)などの禁止啓発と違反行為への対応 2. 村内の空間放射線量の測定実施 ・村内の公共施設(学校・公園等8箇所)における空間放射線量測定(3回:4月・7月10月)、 結果はホームページで公表(基準値0.19マイクロシーベルト)を超えた箇所はなし 3. 雑排水汚泥の収集処理業務の委託 2,596,891円 ・収集(南山田商会(8円/ℓ))税抜 ・処理(株南信サービス(11円/ℓ))税抜 ■年度別の実績 (単位:リットル)																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>汲取量</td> <td>142,650</td> <td>101,140</td> <td>153,480</td> <td>116,390</td> <td>141,390</td> <td>138,480</td> <td>129,070</td> </tr> <tr> <td>処理量</td> <td>139,750</td> <td>110,500</td> <td>147,900</td> <td>100,670</td> <td>138,350</td> <td>150,720</td> <td>120,750</td> </tr> </tbody> </table>		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	汲取量	142,650	101,140	153,480	116,390	141,390	138,480	129,070	処理量	139,750	110,500	147,900	100,670	138,350	150,720
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度																	
汲取量	142,650	101,140	153,480	116,390	141,390	138,480	129,070																	
処理量	139,750	110,500	147,900	100,670	138,350	150,720	120,750																	
	4. 環境衛生事業に係る補助金・負担金 8,056,263円 (1) 北アルプス広域連合負担金 3,730,000円〔内容 火葬場運営費負担金〕 (2) 水道事業会計補助金 973,866円 〔内容 落倉、嶺方簡易水道事業償還利子に対する補助、職員児童手当分補助〕 (3) 水道事業会計出資金 3,247,397円 〔内容 落倉、嶺方簡易水道事業償還元金に対する補助〕 ※(2)、(3)は、令和7年度で償還が終了するため、同年度で利子補助・出資は終了となる。 (4) 豊かな環境づくり大北地域会議負担金 55,000円 (5) 姫川上流漁業協同組合補助金 50,000円〔内容 河川清掃活動補助金〕 5. その他 17,279,409円(職員人件費等)																							

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 (雑排水汲取手数料・広域連合派遣職員負担金等)	一般財源
28,694,000	28,660,963			9,442,561	19,218,402

4款	衛生費	1項	保健衛生費	1目	環境衛生費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	狂犬病予防対策事業	決算書の頁	P.53
-----	-----------	-------	------

事業内容	1. 村内の飼犬の狂犬病予防 2. 村内の飼犬の登録事務
------	---------------------------------

実績・成果	1. 村内の飼犬の狂犬病予防対策の実施 150,095 円 ・狂犬病予防注射事業委託料 138,105 円 集合・訪問注射を春(4/27、28、5/20、6/7)、秋(10/5)の5回実施 狂犬病予防注射実施頭数: 471 頭(R1年度:487 頭) ・注射済票、登録鑑札購入に係る消耗品費 11,990 円  2. 村内の飼犬の登録事務等の実施 ・新規登録数:34 頭(R1年度:35 頭) ・迷い犬の保護:6 頭(R1年度:7 頭) ・大北地区飼犬管理対策協議会負担金 20,000 円
-------	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 (犬の登録手数料・ 注射済票交付手数料)	一般財源
177,000	170,095			170,095	



4款	衛生費	1項	保健衛生費	1目	環境衛生費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	公衆トイレ管理事業	決算書の頁	P.53
-----	-----------	-------	------

事業内容	1. 村内の公衆トイレ(16施設)の維持管理		
------	------------------------	--	--

実績成果	1. 公衆トイレ管理事業 7,599,987円										
	■施設別経費内訳 (単位:円)										
	No.	公衆トイレ名	管理委託料	電気料	上下水道料	浄化槽点検・汲取料	修繕費	消耗品費	土地借上げ料	計	
	①	佐野坂	255,960	198,674	43,320		305,360	774,935	2,000	805,314	
	②	平川	171,720	94,364	27,350	340,776					634,210
	③	通待避所	210,600	長野県負担	45,010	261,236					516,846
	4	JR南神城駅		107,864	38,700						146,564
	5	サンサンパーク	250,000	長野県負担	294,010		172,502				716,512
	⑥	大出公園	181,440	108,127	75,450						365,017
	⑦	新田バスセンター	213,000	129,997	39,600					2,000	384,597
	8	落倉自然園	30,000	56,904	10,160	45,669					142,733
	9	JR神城駅		10,639	40,970						51,609
	10	JR白馬駅		11,974	55,620						67,594
	⑪	道の駅	591,300	637,100	841,680		116,050				2,186,130
	12	木流公園	100,500	4,488	27,360						132,348
	13	南部トイレ外便所	42,000								42,000
	⑭	北部グラウンド	78,000	9,000	23,100						110,100
15	JR飯森駅	10,000	131,502	39,600						181,102	
16	JR森上駅	100,000	166,476	39,600		36,300				342,376	
合計		2,234,520	1,667,109	1,641,530	647,681	630,212	774,935		4,000	7,599,987	
○数字はシルバー人材センター、□数字はクロスロード白馬に清掃業務を委託。他は地区、個人・団体等へ委託									消耗品費(774,935円)の内訳 ・トイレトーパー 596,161円 ・便座クリーナー 70,180円 ・尿石除去剤 17,600円 ・洗剤・清掃用具等 90,994円		

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
7,715,000	7,599,987				7,599,987

4款	衛生費	1項	保健衛生費	1目	環境衛生費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	合併処理浄化槽整備事業	決算書の頁	P.53
-----	-------------	-------	------

事業内容	1. 下水道区域外地域における合併処理浄化槽設置整備に対する費用補助事業。			
	2. 平成10年度から施行。			
	3. 設置する浄化槽の処理規模・国費補助の有無により補助額が異なる。			
	4. 令和2年度から、より一般住宅に行き渡るように補助金額を変更。			
	令和2年度補助額(国費補助有)			
	5人槽	(352)348千円	6～7人槽	(441)432千円
	8～10人槽	(588)522千円	11～20人槽	(1,002)618千円
	21～30人槽	(1,545)726千円	31～50人槽	(2,129)834千円
	51人槽以上	(2,429)948千円	※()内は令和元年度までの金額	
	令和2年度補助額(国費補助無 ※村負担額は国費補助有と同額)			
5人槽	174千円	6～7人槽	216千円	
8～10人槽	261千円	11～20人槽	309千円	
21～30人槽	363千円	31～50人槽	417千円	
51人槽以上	474千円			

実績成果	1. 年度別実績 (単位:基)					
		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
	5人槽	18	19	21	15	21
	6～7人槽	7	10	6	5	7
	8～10人槽	0	1	3	4	3
	11～20人槽	0	1	0	5	2
	21～30人槽	0	0	0	0	1
	31～50人槽	0	1	0	0	1
	51人槽以上	2	0	1	0	0
	計	27	32	31	29	35
2. 使用(予定)用途: 令和2年度 (単位:基)						
住宅	店舗併設住宅	季節利用型(別荘等)	店舗・事務所等	その他	計	
16	1	11	6	1	35	
3. 設置地区: 令和2年度 (単位:基)						
みそら野	めいてつ	佐野・八方	白馬町・落倉	計		
20	9	各2	各1	35		

予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他(ふるさと基金)	一般財源
12,696,000	12,696,000	7,798,000		4,800,000	98,000

4款	衛生費	1項	保健衛生費	2目	保健予防費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	A.保健予防事業	決算書の頁	P. 54
-----	----------	-------	-------

事業内容	1. 予防接種事業(成人・高齢者)
	2. 健康増進事業 (1) 各種がん検診 (2) その他の検診 (3) その他の健康増進事業
	3. その他の保健事業 (1) 精神保健活動(自殺予防含む) (2) 感染症予防事業等 (3) 地区組織活動 (4) 献血推進
	4. 新型コロナウイルスワクチン接種体制整備事業
	5. 新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金事業

実績・成果	単位(円)					
	事業名	決算額	国県支出金	地方債	その他 (※)	一般財源
	1. 予防接種事業	9,178,170	1,100,000	0	0	8,078,170
	2. 健康増進事業	14,000,399	562,000	0	4,954,900	8,483,499
	3. その他保健事業	206,669	14,000	0	0	192,669
	4. コロナワクチン 接種体制整備事業	13,679,454	13,679,000	0	0	454
	5. 地方創生臨時交付金	4,054,110	4,054,000	0	0	110
	職員給与等	16,391,815	0	0	0	16,391,815
	計	57,510,617	19,409,000	0	4,954,900	33,146,717
※ その他収入:後期高齢者健康診査事業補助金 1,331,000 円 検診手数料 3,623,900 円						

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 (上記明細の通り)	一般財源
58,329,000	57,510,617	19,409,000	0	4,954,900	33,146,717

事業名	A.保健予防事業 1 予防接種事業(成人・高齢者)	決算書の頁	P.54
-----	------------------------------	-------	------

事業内容	<p>予防接種法に基づく、定期接種(B類疾病)として、高齢者インフルエンザ予防接種・高齢者肺炎球菌予防接種事業を実施。接種費用を補助している。</p> <p>また、風疹追加対策事業は、3か年の2年目であり、風しん抗体保有率の低い世代への風しん抗体検査及び第5期風しん予防接種を村内医療機関の協力を得て実施した。</p>
------	---

種類	対象者	接種者数	接種率	事業費(円)
高齢者インフルエンザ*	65歳以上	1,995名	71.60%	6,926,422
高齢者肺炎球菌	65・70・75・80・85 90・95・100歳	219名	38.80%	1,041,245
風しん抗体検査	昭和41～46年度 生の男性	123名	31.30%	847,829
風しん予防接種	十分な量の抗体 が無い者	21名	48.80%	362,674
計				9,178,170

実績・成果	<p>① 高齢者インフルエンザ予防接種は、65歳以上の高齢者で希望者に実施。医療機関において個別接種を行っている。(自己負担は1,200円) 高齢者の優先接種期間が設けられたことで、制度の周知にもつながり、348名の増、接種率も13.8%アップした。</p>
	<p>② 高齢者肺炎球菌予防接種は、65歳の者に実施するが、特例措置として平成26年度から令和5年度までの間、65・70・75・80・85・90・95・100歳の方へ、接種費用の一部を助成するもの。(自己負担額2,000円)</p>
	<p>③ 風しん抗体検査・予防接種は、昭和41年から46年度生まれの男性に無料クーポン券を送付。抗体検査を実施し、十分な量の抗体が無かった者に対して予防接種を実施。</p>

【事業費内訳】

単位(円)

科目	金額
委託料	9,003,145
印刷製本費	69,245
電算委託料	49,500
他	56,280
計	9,178,170

4款	衛生費	1項	保健衛生費	2目	保健予防費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	A.保健予防事業 2 健康増進事業	決算書の頁	P.54																								
事業内容	健康増進法・健康増進計画に基づき、各種健診・健康相談・健康教育等を実施																										
	(1) がん検診																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>対象者</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮がん</td> <td>20歳以上(隔年)の女性</td> <td>問診・内診・子宮頸部細胞診</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>40～74歳(隔年)の女性</td> <td>問診・マンモグラフィ(2方向)</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>40歳以上</td> <td>問診・胸部レントゲン撮影(二重読影)</td> </tr> <tr> <td>喀痰検査</td> <td>50歳以上ハイリスク者</td> <td>喀痰細胞診</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>40歳以上</td> <td>問診・胃バリウム造影検査</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>40歳以上</td> <td>問診・便潜血反応検査(2日法)</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td>50歳以上の男性</td> <td>問診・PSA特異抗原血液検査</td> </tr> </tbody> </table>			種類	対象者	実施内容	子宮がん	20歳以上(隔年)の女性	問診・内診・子宮頸部細胞診	乳がん	40～74歳(隔年)の女性	問診・マンモグラフィ(2方向)	肺がん	40歳以上	問診・胸部レントゲン撮影(二重読影)	喀痰検査	50歳以上ハイリスク者	喀痰細胞診	胃がん	40歳以上	問診・胃バリウム造影検査	大腸がん	40歳以上	問診・便潜血反応検査(2日法)	前立腺がん	50歳以上の男性	問診・PSA特異抗原血液検査
	種類	対象者	実施内容																								
	子宮がん	20歳以上(隔年)の女性	問診・内診・子宮頸部細胞診																								
	乳がん	40～74歳(隔年)の女性	問診・マンモグラフィ(2方向)																								
	肺がん	40歳以上	問診・胸部レントゲン撮影(二重読影)																								
	喀痰検査	50歳以上ハイリスク者	喀痰細胞診																								
	胃がん	40歳以上	問診・胃バリウム造影検査																								
	大腸がん	40歳以上	問診・便潜血反応検査(2日法)																								
前立腺がん	50歳以上の男性	問診・PSA特異抗原血液検査																									
(2) その他の検診																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>対象者</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肝炎検査</td> <td>40歳以上</td> <td>問診・HBs抗原・HCV抗体検査</td> </tr> <tr> <td>歯周病検診</td> <td>40・50・60・70歳</td> <td>問診・歯科健診・保健指導(医療機関委託)</td> </tr> <tr> <td>20歳の歯科健診</td> <td>20歳</td> <td>問診・歯科健診・保健指導(医療機関委託)</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者健診</td> <td>75歳以上</td> <td>問診・身体測定・尿・血液検査・心電図・眼底</td> </tr> <tr> <td>若年健診</td> <td>30～39歳</td> <td>問診・身体測定・尿・血液検査・心電図</td> </tr> </tbody> </table>			種類	対象者	実施内容	肝炎検査	40歳以上	問診・HBs抗原・HCV抗体検査	歯周病検診	40・50・60・70歳	問診・歯科健診・保健指導(医療機関委託)	20歳の歯科健診	20歳	問診・歯科健診・保健指導(医療機関委託)	後期高齢者健診	75歳以上	問診・身体測定・尿・血液検査・心電図・眼底	若年健診	30～39歳	問診・身体測定・尿・血液検査・心電図							
種類	対象者	実施内容																									
肝炎検査	40歳以上	問診・HBs抗原・HCV抗体検査																									
歯周病検診	40・50・60・70歳	問診・歯科健診・保健指導(医療機関委託)																									
20歳の歯科健診	20歳	問診・歯科健診・保健指導(医療機関委託)																									
後期高齢者健診	75歳以上	問診・身体測定・尿・血液検査・心電図・眼底																									
若年健診	30～39歳	問診・身体測定・尿・血液検査・心電図																									
(3) その他の健康増進事業																											
① 健康相談事業																											
② 健康教育事業																											
○ 健康づくり推進員等による地区健康相談・健康教育																											
○ 健診結果相談会																											
○ 普及啓発事業																											

(1) がん検診 9,434,378 円 単位(円)

種類	受診者数	精検者数	がん発見者	総事業費	個人負担金等	一般財源
子宮	204名	9名	0名	1,114,849	408,000	706,849
乳房	207名	15名	2名	1,381,653	414,000	967,653
肺	991名	66名	2名	2,572,636	792,800	1,779,836
喀痰	7名	0名	0名	17,402	3,500	13,902
胃	390名	22名	1名	2,080,650	585,000	1,495,650
大腸	905名	43名	1名	1,625,668	452,500	1,173,168
前立腺	324名	19名	0名	641,520	583,200	58,320
計				9,434,378	3,239,000	6,195,378

① がん検診実施のための指針に基づいて実施。委託先:長野県健康づくり事業団。  
 セット検診・休日健診、相互乗入れ制度を活用した個別検診体制を確保。  
 新型コロナウイルス感染症予防に配慮し、6月～9月は多目的ホールを使用。  
 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全体的に受診者は減少した。

② 令和2年度は6名の発見があった。精検率を向上し、早期発見に努めたい。

(2) その他の検診 3,482,409 円 単位(円)

種類	受診者数	検診結果	総事業費	個人負担金等	国・県負担金	一般財源
肝炎	261名	B型陽性0名 C型陽性1名	553,540	5,000	364,000	184,540
歯周病	87名	異常なし20名 要指導14名 要医療53名	299,544	0	198,000	101,544
20歳 歯科	12名	異常なし6名 要指導4名 要精検2名	60,000	0	0	60,000
後期 高齢	243名	異常なし0名 要指導39名 要医療46名 治療継続158名	2,235,200	1,331,000	0	904,200
若年	45名	異常なし18名 要指導15名 要医療12名 治療継続0名	334,125	90,000	0	244,125
計			3,482,409	1,426,000	562,000	1,494,409

後期高齢者健診・若年健診受診者全員に心電図検査を導入した。

(3) その他の健康増進事業 1,083,612 円

事業名	利用実績等
健康学習会	地区健康教室 19回 345名
地区健康相談	全19回 延べ参加数 345名
健診結果返却	20日 486名
広報活動	広報はくば掲載(健診受診勧奨・糖尿病・心の健康など)
個別相談	個別相談・栄養相談 随時
健康づくり講演会	中止

- ① 地区組織と連携し、地区健康教室や健康相談会を実施。  
令和2年度は共通テーマ「災害に備える」についての普及活動を重点的に実施。
- ② 北アルプス連携自立圏の共同事業である健康づくり講演会は新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。

【事業費内訳】

健康管理システム委託料 1,083,612 円

【健康増進事業全体の事業費内訳】

単位(円)

科 目		金 額
健診等委託料	健康づくり事業団・医療機関等	10,829,663
電算委託料	システム委託料(株)電算)	1,083,612
その他	印刷代・消耗品等	94,819
計		14,000,399

4款	衛生費	1項	保健衛生費	2目	保健予防費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	A.保健予防事業 3 その他の保健事業	決算書の頁	P. 54
-----	------------------------	-------	-------

事業内容	(1) 精神保健活動 精神保健福祉法に基づき、正しい知識の普及及び相談指導と精神保健福祉事業と自殺予防対策事業を実施した。
	(2) 感染症予防事業等 新型コロナウイルス感染症対策として新型インフルエンザ行動計画に基づき、情報の収集・まん延防止のための啓発等、感染拡大防止対策を実施した。
	(3) 地区組織活動 白馬村健康づくり推進委員会及び白馬村食育ボランティアの地区組織活動支援を行った。
	(4) 献血推進 長野県赤十字血液センターが実施する献血事業の啓発・宣伝広報及び動員事務への協力

実績・成果	(1) 精神保健活動	単位(円)

事業名	実績	事業費
啓発事業	広報はくば掲載	0
こころの相談会	相談会 6回 相談者 7名	94,000
相談指導事業	来所 117件・電話 272件・訪問 95件	0
ひきこもり等相談会	年2回(9/17・3/18) 相談者 各1名	0
大北圏域何でも相談会	弁護士・医師等によるワンストップ相談会 相談者数 22名(うち、白馬村3名)	47,000
計		141,000

① 令和2年度は市立大町総合病院よりカウンセラー(臨床心理士)を派遣いただき、個別相談を実施した。

② ひきこもり等相談会は大北圏域障害者総合支援センター「スクラムネット」と大町市生活就労支援センター「まいさぼ」の専門相談員により開催した。

③ 広域連携事業として、大北圏域合同でワンストップ相談会を実施。  
複合的に悩みを抱える住民からの相談に、各分野の専門家が連携して対応できる。



(2) 感染症予防事業等

単位(円)

事業名	実績	事業費
新型コロナ等対策事業	感染拡大防止の啓発(広報・ポスター掲示等)相談・衛生材料の備蓄、関係機関との連携	※0

① 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、行政無線・HP・全戸配布等による啓発活動を実施。国や県の基本的な方針に基づきながら、事業を実施するとともに、村民への周知を行った。

② 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、公共機関や事業実施に必要な感染症対策に必要な用品を購入すると共に、環境整備を行った。

③ マスク・アルコール等の備蓄を行った。

※ 詳細は新型コロナウイルス感染症地方再生臨時交付金として別途報告

(3) 地区組織活動

単位(円)

事業名	人数	利用実績等	事業費
健康づくり推進員活動	46名	学習会等 年3回 53名 地区活動 19回×5000円の助成	65,669
食育ボランティア活動	25名	委託事業(子育て3回・弁当作り6回)	0

① 委員への健康学習会を実施し、健康への理解と意識を高めた。

② 『災害に備える』白馬村共通のテーマとして、各地区において健康教室や健康相談を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響で、集団で集うことが難しい状況だった。

(4) 献血推進

献血実施月	5月	10月	計
受付	41名	27名	68名
実施	34名	26名	60名

① 新型コロナウイルス感染症の流行により、全国的に血液の確保がしにくい状況が生じたため、感染症対策を実施して献血機会を確保した。※チラシ全戸配布

② 延60名の方にご協力いただき、輸血医療に寄与した。令和元年度比12名増。

実績・成果

4款	衛生費	1項	保健衛生費	2目	保健予防費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	B. がん検診推進事業	決算書の頁	P. 54
-----	-------------	-------	-------

内容	一定年齢の者にクーポン券等を送付して受診勧奨することで、健診受診の動機づけを行い、がん検診の受診を促進し、がんの早期発見につなげる。
----	--

実績	【結果】	<table border="1"> <tr> <th>子宮がん</th> <th>対象者</th> <th>受診者</th> <th>受診率</th> <th>乳がん</th> <th>対象者</th> <th>受診者</th> <th>受診率</th> </tr> <tr> <td>20歳</td> <td>33名</td> <td>1名</td> <td>3.0%</td> <td>40歳</td> <td>69名</td> <td>24名</td> <td>34.8%</td> </tr> </table>	子宮がん	対象者	受診者	受診率	乳がん	対象者	受診者	受診率	20歳	33名	1名	3.0%	40歳	69名	24名	34.8%
	子宮がん	対象者	受診者	受診率	乳がん	対象者	受診者	受診率										
	20歳	33名	1名	3.0%	40歳	69名	24名	34.8%										
① 子宮がん20歳・乳がん40歳の新規対象者に受診勧奨と無料クーポン券の配布、12月に再受診勧奨を実施した。																		
② 子宮頸がん受診者は1名のみであった。対象者年齢の検討もしていきたい。																		
成果	【事業費内訳】	単位(円)																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>支払先</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検診委託料</td> <td>各医療機関等</td> <td>161,148</td> </tr> <tr> <td>電算委託料</td> <td>(株)電算</td> <td>69,410</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>12,564</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>243,122</td> </tr> </tbody> </table>	科目	支払先	金額	検診委託料	各医療機関等	161,148	電算委託料	(株)電算	69,410	その他		12,564	計		243,122	
	科目	支払先	金額															
	検診委託料	各医療機関等	161,148															
	電算委託料	(株)電算	69,410															
その他		12,564																
計		243,122																

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
335,000	243,122	25,000			218,122

4款	衛生費	1項	保健衛生費	2目	保健予防費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	C. 骨髄バンクドナー助成事業	決算書の頁	P. 54
-----	-----------------	-------	-------

内容	骨髄等の提供に係るドナーの負担を軽減し、必要な方が骨髄等の移植を受けられるよう支援するための助成事業。(2万円×10日間×2名)
----	--

実績	利用実績なし
----	--------

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
400,000	0	0			0

4款	衛生費	1項	保健予防費	4目	保健予防費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	新型コロナワクチン接種体制整備事業	決算書の頁	P. 54
-----	-------------------	-------	-------

事業内容	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保の事業を行うことにより、新型コロナウイルスワクチンの接種のために必要な体制を、実際の接種より前に着実に整備することを目的とするもの。	
	事業項目	事業内容
	① 人的体制の整備	会計年度任用職員の雇用
	② 予防接種台帳システム等のシステム改修	健康管理システムのシステム改修
	③ 印刷・郵送準備	接種券・通知の印刷及び郵送
	④ 接種の実施体制の確保	個別接種協力支援、集団接種会場準備
⑤ 相談体制の確保	相談センター（コールセンター兼）の設置。専用電話の配置。	

実績・成果	<p>大北医師会・村内医療機関の協力をいただき、白馬村新型コロナワクチン接種計画を策定し、接種体制の準備を行った。</p> <p>○個別接種と集団接種の併用により、短期間で接種完了を目指す</p> <p>○集団接種会場は、白馬村多目的研修集会施設に設定</p> <p>○個別接種は村内5医療機関で平日時間内に設定</p> <p>○役場庁内にコールセンターを設置し、相談体制を確保。</p>	
	【事業費内訳】	
	単位（円）	
	科目	金額
	備品購入費	10,102,574
	電算委託料	1,917,080
	消耗品費	689,613
	個別予防接種補助金	500,000
	その他	470,187
	計	13,679,454

予算額 （円）	決算額 （円）	財源内訳（円）			
		国県支出金	地方債	その他 （ ）	一般財源
14,906,000	13,679,454	13,679,000	0	0	454

4 款	衛生費	1 項	保健予防費	4 目	保健予防費
-----	-----	-----	-------	-----	-------

事業名	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	決算書の頁	P. 54
-----	-------------------------	-------	-------

事業内容	1. インフルエンザワクチン予防接種補助事業 インフルエンザ予防接種率を高め、罹患者・重症者を減らし、感染リスクの高い検体採取を行う機会を減らすことでコロナ感染者に備え医療機関の負担を軽減する。インフルエンザ予防接種の助成対象となっていない者に対し、1回あたり1,000円の接種費用補助を行う。
	2. 感染症予防対策事業① 役場及び公共機関の感染症予防対策を実施するための衛生材料等の購入費用
	3. 感染症予防対策事業② 災害時の感染症発生を想定し、感染症の疑いのある住民と接触する役場職員の予防対策機能付ウエアを購入した

実績・成果	1. インフルエンザワクチン予防接種補助事業 インフルエンザ予防接種の補助 1,678名
	2. 感染症予防対策事業① 役場関係庁舎の環境整備、村主催の事業のための貸し出し等に必要な衛生材料・備品の購入。
	3. 感染症予防対策事業② 感染症対策機能付きウエア 10セット購入 PCR検査実施時、アルコールを提供する飲食店に対する訪問指導時に活用。
	【事業費内訳】 単位(円)

科 目	金 額
1. インフルエンザ予防接種費用補助	1,678,000
2. 衛生材料・備品購入	1,738,110
3. 感染症対策機能付きウエア購入	638,000
計	4,054,110

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,269,000	4,054,110	4,054,000			110

4款	衛生費	1項	保健衛生費	4目	母子健康費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	母子健康事業	決算書の頁	P. 54
-----	--------	-------	-------

事業内容	<p>母子保健事業 母子保健法に基づき、乳幼児健診・育児支援・発達支援等を実施する。</p> <p>予防接種事業 予防接種法に基づき、定期接種を実施する。村内医療機関の協力により集団接種を行う。多種類ワクチン同時接種、疾患等のある児および高校生は、医療機関に委託する。 小児インフルエンザ予防接種は、費用負担の一部助成を行う。</p>
------	---

実績成果	母子保健事業:妊娠期から18歳まで切れ目ない支援の、妊娠期から乳幼児期において、子どもと保護者への支援を、コロナウイルス感染予防に配慮し実施した。		
	事業名	内容	実績
	<p><b>育児支援等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子健康手帳の交付</li> <li>・もぐもぐ教室</li> <li>・2ヶ月育児相談</li> <li>・赤ちゃんマッサージ</li> <li>・ブックスタート</li> <li>・2歳相談</li> <li>・あそびの教室「ほっぷ」</li> <li>・家庭訪問</li> <li>・母乳相談等助成事業</li> <li>・眼科検査</li> <li>・PT相談</li> <li>・5歳発達相談</li> <li>・園児食育・歯科指導</li> </ul>	<p>面談・セルフプランの作成</p> <p>離乳食指導、離乳食展示、発達相談</p> <p>発達チェック、栄養・育児相談</p> <p>助産師によるベビーマッサージ指導</p> <p>絵本贈呈、趣旨説明</p> <p>発達チェック、育児相談</p> <p>小集団親子遊び</p> <p>新生児等</p> <p>母乳相談、乳房マッサージ等の費用を助成</p> <p>保育園・幼稚園年中児の視力、屈折、眼位検査</p> <p>理学療法士による発達相談・指導</p> <p>保育園・幼稚園年中児の発達相談、就学に向けての相談</p> <p>う歯予防、歯磨き指導、食育指導</p>	<p>交付数 48件</p> <p>39名 (73.6%) 5回</p> <p>42名 (85.7%) 12回</p> <p>延べ26名 4回</p> <p>4ヶ月児 48名 12回</p> <p>52名 (86.7%) 6回</p> <p>3回×6コース 延べ66名</p> <p>35名</p> <p>産婦延べ8名</p> <p>園児 83名</p> <p>延べ63名 11回</p> <p>63名 (95.5%)</p> <p>保育園、幼稚園各1回</p>
	<p><b>乳幼児健診</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦・妊婦歯科・乳児一般健康診査(医療機関委託)</li> </ul>	<p>妊婦健診 14回・妊婦超音波 4回・妊婦血液検査等 4回、妊婦歯科健診1回、乳児健診1回の健診料金を助成</p>	<p>妊婦 48名、妊婦歯科 12名、乳児 7名 圏域外補助 13名</p>

実績・成果

・前期乳児健診 (4～5 か月)	内科診察、育児・栄養相談、発達チェック	48 名(100%) 12 回
・後期乳児健診 (10～11 か月)	内科診察、育児・栄養相談、歯科指導、発達チェック	51 名(98.1%) 12 回
・1 歳 6 ヶ月健診	内科・歯科診察、発達チェック、育児・栄養相談、歯科指導	40 名(93.0%) 5 回
・2 歳歯科健診	歯科診察、栄養相談、歯科指導、	37 名(56.9%) 3 回
・3 歳健診	内科・歯科診察、尿・聴力・視力検査、発達チェック、育児・栄養相談、歯科指導	53 名(94.6%) 5 回

・遠隔健康医療相談サービス「小児科オンライン」登録者 225 人、相談者 155 件	1,584,000 円
・健診等委託料	9,335,371 円
・不妊・不育症治療費助成 5 名	558,559 円
・妊婦健診補助金等	311,525 円

予防接種事業:個別に計画表を作成し連絡・相談を丁寧実施、安全、円滑な接種に努めた。

集団接種 (ふれあいセンター)	ワクチン名／接種人数		接種率
		ロタウイルス	19 名
	B 型肝炎	155 名	92.0%
	ヒブ	192 名	90.9%
	小児肺炎球菌	190 名	92.6%
	4 種混合	199 名	93.4%
	2 種混合	60 名	90.9%
	BCG	54 名	93.1%
	麻疹風疹	113 名	94.1%
	水痘	90 名	88.2%
	日本脳炎	259 名	89.3%
個別接種 (医療機関委託)	乳幼児	43 名 (延べ242回)	
	HPV(子宮頸がん)	4 名 9 回	
	高校生日本脳炎	62 名 68 回	
小児インフルエンザ (医療機関委託)	延べ 808 名 (幼児 318 回、小学生 385 回、中学性 105 回)		

・医薬材料費(ワクチン代、注射器具、消毒薬等)	6,279,987 円
・予診票印刷製本費	168,850 円
・予防接種補助金	333,165 円

事業費内訳

区 分	金 額	内 容
人件費	17,412,098 円	職員 2 名 会計年度任用職員 1 名 医師、歯科医師等
管理費	10,919,371 円	健診等委託料(妊婦・妊婦歯科健診・乳児一般健康診査、母乳相談、予防接種等)、遠隔健康医療相談サービス利用料
事業費	6,991,182 円	消耗品、展示用食材、ワクチン等医薬品材料、予防接種予診票印刷製本
補助金等	1,213,249 円	妊婦健診等、不妊治療補助金、予防接種補助金、北アルプス連携自立圏事業負担金
合 計	36,535,900 円	

◎新型コロナウイルス感染症対策関係 国庫補助事業（再掲）

子ども・子育て支援事業交付金

・ 消耗品 … 254,501 円（消毒液、体温計、フェイスシールド、マスク等）

予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
37,275,000	36,535,900	7,439,000	0	1,580,000	27,516,900

4款	衛生費	1項	保健衛生費	4目	母子健康費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	母子保健衛生事業		決算書の頁	P. 54																
事業内容	未熟児養育医療事業(国1/2 県1/4 村1/4) 出生体重が2,000g以下等で医師が入院療育を必要と認めた児の医療費を助成する。 母子保健医療対策事業(国1/2) 妊娠から出産1年を経過しない母親と乳児に対し、子育ての始まり期を集中的に支援する。																			
実績・成果	未熟児養育医療事業 利用した児 2名 給付金 378,529円 母子保健医療対策事業 ・育児相談・マタニティ相談(産前産後サポート事業) 助産師報酬等 93,000円 利用者延べ104名(妊婦21名、産婦6名、乳児69名、幼児8名、) コロナ感染予防対策のため、予約制で個別相談対応とした。母乳指導、乳房ケア、育児、発育・発達、離乳食相談等を行った。 ・産後ケア事業 委託料 44,000円 利用した母子 1組 産後、育児不安の強い産婦と乳児を医療機関に宿泊させ、自宅での育児に必要な指導等を提供した。 ・産婦健診事業 委託料 361,584円 受診した産婦 延べ41名 産後うつの早期発見、介入等を目的に、医療機関と連携を行い産後健診費用を助成した。																			
	事業費内訳																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td>93,000円</td> <td>会計年度任用職員(助産師)</td> </tr> <tr> <td>管理費</td> <td>405,584円</td> <td>産後ケア事業等委託料、産後健診委託料</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>746,529円</td> <td>未熟児養育医療費給付金、R1国庫負担金返還金</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,245,113円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区分	金額	内容	人件費	93,000円	会計年度任用職員(助産師)	管理費	405,584円	産後ケア事業等委託料、産後健診委託料	事業費	746,529円	未熟児養育医療費給付金、R1国庫負担金返還金	合計	1,245,113円	
区分	金額	内容																		
人件費	93,000円	会計年度任用職員(助産師)																		
管理費	405,584円	産後ケア事業等委託料、産後健診委託料																		
事業費	746,529円	未熟児養育医療費給付金、R1国庫負担金返還金																		
合計	1,245,113円																			
予算額(円)	決算額(円)	財源内訳(円)																		
		国県支出金	地方債	その他(未熟児養育医療負担金)	一般財源															
1,364,000	1,245,113	589,487	0	54,440	601,186															



4款	衛生費	1項	保健衛生費	4目	医療対策費																										
事業名		医療対策事業		決算書の頁	P. 55																										
事業内容	<p>1. 休日・祝日緊急当番医制実施          白馬、小谷両村医療機関7施設の当番制により休日の診療体制を確保している。          新聞折り込みにより、住民に周知している。          歯科緊急当番医は北アルプス広域の在宅歯科当番医事業により、休日の午前中実施。</p> <p>2. 北アルプス広域連合負担金          ①平日夜間救急医療事業:北アルプス平日夜間小児科・内科急病センター開設          ②病院群輪番制運営事業:休日・夜間の入院を要する医療の確保(該当医療機関への助成)          ③在宅当番医制事業:休・祝日の緊急医療の確保(大町市・南部・北部3ブロック)          ④在宅歯科当番医事業:休・祝日の緊急歯科医療の確保(1か所)</p> <p>3. 大北地域包括医療協議会負担金・分担金</p>																														
	<p style="text-align: right;">単位(円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>利用実績等</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>休日・祝日緊急当番医事業</td> <td>当番医表作成・新聞折り込み 年4回 等</td> <td>266,496</td> </tr> <tr> <td>北アルプス広域連合負担金 平日夜間救急医療事業(※)</td> <td>実施日数 16日 患者数 2名</td> <td>390,000</td> </tr> <tr> <td>病院群輪番制運営事業</td> <td>延べ実施日数 214日 延べ患者数 2,576名</td> <td>4,752,000</td> </tr> <tr> <td>在宅当番医制事業</td> <td></td> <td>645,000</td> </tr> <tr> <td>在宅歯科当番医事業</td> <td>延べ実施日数 72日</td> <td>183,000</td> </tr> <tr> <td>大北地域包括医療協議会負担金・分担金</td> <td>災害医療救護対策事業負担金(人口割) 構成団体分担金(定額+人口割)</td> <td>15,700 89,600</td> </tr> <tr> <td>AED借上料</td> <td></td> <td>40,548</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>6,382,344</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	利用実績等	事業費	休日・祝日緊急当番医事業	当番医表作成・新聞折り込み 年4回 等	266,496	北アルプス広域連合負担金 平日夜間救急医療事業(※)	実施日数 16日 患者数 2名	390,000	病院群輪番制運営事業	延べ実施日数 214日 延べ患者数 2,576名	4,752,000	在宅当番医制事業		645,000	在宅歯科当番医事業	延べ実施日数 72日	183,000	大北地域包括医療協議会負担金・分担金	災害医療救護対策事業負担金(人口割) 構成団体分担金(定額+人口割)	15,700 89,600	AED借上料		40,548	計	
事業名	利用実績等	事業費																													
休日・祝日緊急当番医事業	当番医表作成・新聞折り込み 年4回 等	266,496																													
北アルプス広域連合負担金 平日夜間救急医療事業(※)	実施日数 16日 患者数 2名	390,000																													
病院群輪番制運営事業	延べ実施日数 214日 延べ患者数 2,576名	4,752,000																													
在宅当番医制事業		645,000																													
在宅歯科当番医事業	延べ実施日数 72日	183,000																													
大北地域包括医療協議会負担金・分担金	災害医療救護対策事業負担金(人口割) 構成団体分担金(定額+人口割)	15,700 89,600																													
AED借上料		40,548																													
計		6,382,344																													
実績成果	<p>1. 当番医表を作成・配布し、周知を図った。外国人対応のため、英語版も作成。</p> <p>2. 祝日・休日・平日夜間の救急医療体制を整備し、医療体制の充実を図った。</p> <p>※北アルプス平日夜間小児科・内科急病センターは新型コロナウイルス感染症拡大のため、4月20日より休止となった。</p>																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額 (円)</th> <th rowspan="2">決算額 (円)</th> <th colspan="4">財 源 内 訳 (円)</th> </tr> <tr> <th>国県支出金</th> <th>地 方 債</th> <th>そ の 他</th> <th>一 般 財 源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,413,000</td> <td>6,382,344</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6,382,344</td> </tr> </tbody> </table>					予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)				国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	6,413,000	6,382,344				6,382,344										
予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)																													
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源																										
6,413,000	6,382,344				6,382,344																										

4款	衛生費	1項	保健衛生費	4目	医療対策費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	スキー傷害診療事業		決算書の頁	P. 55													
事業内容	冬期間のスキー傷害に対応するため、スキー傷害診療の開設を実施する。																
	<p>スキー傷害診療を開設し、冬期間におけるスキー傷害の対応を行う。  令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、シーズン中を通じて患者数が大きく減少した。  看護師等スタッフの確保が大きな課題である。</p> <p>開設期間 12月19日から3月28日までの土、日、祝日、年末年始 37日  場所 しんたにクリニック 診療受付時間:13:00~17:00  患者数 468名</p>																
実績・成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開設日</th> <th>患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>37日</td> <td>468名</td> </tr> <tr> <td>平成元年度</td> <td>43日</td> <td>1,184名</td> </tr> <tr> <td>前年比</td> <td></td> <td>△716名</td> </tr> </tbody> </table>					年度	開設日	患者数	令和2年度	37日	468名	平成元年度	43日	1,184名	前年比		△716名
	年度	開設日	患者数														
令和2年度	37日	468名															
平成元年度	43日	1,184名															
前年比		△716名															
<p>【事業費内訳】 単位(円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>支払先</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金・補助金</td> <td>白馬村索道事業者協議会</td> <td>2,000,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>2,000,000</td> </tr> </tbody> </table>						科目	支払先	金額	負担金・補助金	白馬村索道事業者協議会	2,000,000	計		2,000,000			
科目	支払先	金額															
負担金・補助金	白馬村索道事業者協議会	2,000,000															
計		2,000,000															
予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)															
		国県支出金	地方債	その他	一般財源												
2,000,000	2,000,000				2,000,000												

4款	衛生費	2項	清掃費	1目	塵芥処理費
----	-----	----	-----	----	-------

事業名	塵芥処理事業	決算書の頁	P. 56-57
-----	--------	-------	----------

事業内容	1. 白馬リサイクルセンター建設に伴う関連事業
	2. 北アルプス広域連合負担金
	3. 村内で排出される一般廃棄物の収集運搬、処理業務委託
	4. 不法投棄の防止対策事業
	5. ごみの減量化対策(生ごみ処理機設置補助等)
	6. ごみの分別・リサイクルの推進

実績成果	1. 白馬リサイクルセンター建設に伴う関連事業 1,600,720 円						
	・ふれあいの杜公園石彫仮移設工事 748,000 円						
	・進入路暗渠原材料(フリューム横断ボックスカルバート) 852,720 円						
	2. 北アルプス広域連合負担金 135,786,000 円						
	・ごみ処理広域化推進費 60,202,000 円						
	広域ごみ処理のための施設整備に係る負担金(白馬リサイクルセンター建設等に要した費用含む)						
	[負担割合 大町市 67.2%、白馬村 22.5%、小谷村 10.3%]						
	・廃棄物処理費 61,223,000 円						
	北アルプスエコパークの運転・維持管理に係る負担金						
	[負担割合 大町市 67.1%、白馬村 25.9%、小谷村 7.0%]						
※前年(暦年)の3市村毎の焼却ごみ排出量の比率による							
・リサイクル推進費 14,361,000 円							
リサイクル施設の運転、維持管理に係る負担金							
大町リサイクルパークの運転・維持管理費用、及び白馬山麓清掃センターにおけるリサイクル物収受に要した費用							
[負担割合 大町市 67.1%、白馬村 25.9%、小谷村 7.0%]							
※前年(暦年)の3市村毎の焼却ごみ排出量の比率による							
3. 一般廃棄物の収集・運搬、処理業務を委託 60,165,088 円							
(1) ごみ収集業務 20,571,100 円							
・地区集積場(77 か所)及び公共施設等(11 か所)のごみを民間業者に収集を委託							
・収集日は、毎週 月・水・金曜日							
・村内の地区集積場・公共施設から収集したごみは、北アルプスエコパークまで運搬							
■年度別収集・運搬実績(地区集積場・公共施設分) ※直接搬入分を除く (単位:t)							
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
可燃ごみ	1,112	1,029	910	994	974	948	902
不燃ごみ	123	115	96	93	46	39	47
計	1,235	1,144	1,006	1,087	1,020	987	949

(2) 容器包装リサイクル物 18,251,948 円

収集業務 13,552,000 円

中間処理業務 4,699,948 円

・容器包装リサイクル法に基づき分別収集を実施

・地区集積場の収集日は、毎週火・木曜日

・集積場の無い地区では、白馬山麓清掃センター及び松川端粗大ごみ・リサイクル物集積場の開設時に収集

■年度別収集実績(地区集積場・松川端粗大ごみリサイクル物集積場分) (単位:t)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
ペットボトル	21	22	23	25	19	16	12
びん類	21	19	21	38	52	49	39
段ボール	226	278	270	207	98	71	60
新聞紙	150	156	144	124	89	76	61
雑誌	158	164	141	130	98	88	76
プラスチック製容器包装	22	25	31	43	42	40	38
紙製容器包装	14	17	19	25	24	23	21
合計	612	681	649	592	422	363	307

[ 歳入 ]

・リサイクル物売払金収入 1,248,503 円

段ボール、新聞紙、雑誌、アルミ缶等の売払金と日本容器包装リサイクル協会からの入金

(3) 粗大ごみ・家電4品目(不法投棄等)処理事業 606,724 円

(収集・処理:317,512 円、埋立処分:289,212 円)

・収集場所 松川端粗大ごみリサイクル物集積場

・開設期間 4~11月までに 計9回開催

・收受した粗大ごみの内、埋立ごみ(陶磁器、ガラスくずなど)は、中野市に所在する最終処分場で処分

・行政区、行政、行政関係機関の排出分を予算で支払い。

(4) 其他のごみ処理等委託料 57,138 円(日本容器包装リサイクル協会等)

■粗大ごみの年度別收受実績 (単位:t)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
収受量	213	264	289	178	206	147	110

■家電リサイクル法に基づく製品の年度別回収実績 (単位:台)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
テレビ	105	122	134	103	128	114	90
冷蔵庫 冷凍庫	55	60	67	76	74	75	54
洗濯機 衣類乾燥機	37	40	51	43	56	50	48
エアコン	3	0	2	0	2	3	5

※テレビはブラウン管式、液晶、プラズマ式を含む

実  
績  
・  
成  
果

■フロン回収破壊法に基づく製品の年度別回収実績

(単位:台)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
業務用冷蔵庫・冷凍庫	3	6	8	12	23	19	14
業務用空調機	0	0	0	0	0	0	0
自動販売機	0	0	0	0	1	0	0

※主なごみ:鉄:30t、タイヤ:3t、埋立ごみ:9t、可燃性粗大ごみ:51t、その他:17t

(5) 有害ごみ処理事業 187,022 円

- ・役場村民ホール、地区集積場、松川端粗大ごみリサイクル物集積場で回収した使用済乾電池と、松川端粗大ごみリサイクル物集積場で回収した廃蛍光灯は、民間業者へ処理を委託

■有害ごみの年度別回収実績

(単位:t)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
使用済み乾電池	1.66	1.75	1.76	1.78	2.47	2.23	2.14
廃蛍光灯	0.51	0.86	0.93	0.70	0.77	0.69	0.22

(6) 白馬山麓事務組合負担金(清掃センター分) 7,648,000 円

- ・算定方式 建設費分[均等割 20%、人口割 80%]、維持運営費分[均等割 30%、利用割 70%]

(7) 白馬山麓清掃センター土地使用料 5,307,156 円

- ・対象地 北城 9305 番 1 外6筆、面積 21,250.24 m<sup>2</sup>、地権者 11 人、賃貸借契約期間 昭和 58 年 7 月 1 日から清掃センターが解体撤去される年度まで(予定では令和3年度まで)

(8) 一般廃棄物処理手数料(最終処分費分) 7,536,000 円

- ・北アルプスエコパークで焼却した、可燃ごみの焼却灰と、ガラスくず・陶磁器くずを、大町市グリーンパーク(最終処分場)に埋立処理した費用 [R2年度 埋立量:314.0t 単価:24,000 円/t]

【参考】

■北アルプスエコパーク焼却ごみ受入実績 (単位:t)

	30年度	元年度	2年度
白馬村	2,903	2,931	2,385
3市村	11,216	11,260	10,176

\*平成 30 年 8 月 1 日よりエコパークへ搬入。平成 30 年度は 4 月から 7 月までの白馬山麓清掃センター受入分 843t を含む。

実  
績  
・  
成  
果

4. 不法投棄防止対策事業

(1) 不法投棄監視パトロール事業 587,520 円

不法投棄防止と、不法投棄物収集を目的として、H13年度から継続して実施している。  
パトロールはシルバー人材センターに委託し、週1回(原則月曜日)、2名体制で実施

(2) 不法投棄防止看板設置事業

- ・村内の不法投棄常習箇所(禁止警告看板を設置)
- ・設置箇所 立の間の待避所(国道沿い)へ設置

5. 生ごみ処理機設置等に対する補助 6,635,428 円

(1) 家庭用電気式・木枠コンポスト型生ごみ処理機購入補助 334,600 円

- ・家庭用電気式 [補助率:購入額の2/3以内、限度額:4万円]
- ・コンポスト型 [補助率:購入額の2/3以内、限度額:1万5千円]

■年度別補助の実績 (単位:件)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
家庭用電気式	14	40	6	16	9	5	9
コンポスト型	0	2	1	1	1	12	12

(2) 生ごみ堆肥化基材購入補助 58,828 円 [補助額:382円/袋]

■年度別実績(ぱっくん) (単位:個)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
補助数量	255	273	206	224	162	152	154
購入者数	158	160	130	137	109	96	108

(3) 地区ごみ集積場設置事業補助金 6,242,000 円

- ・実施地区 森上区、深空区、切久保区、落倉区(更新4箇所)  
めいてつ区(小規模ステーション新設1箇所)
- ・補助率 事業費の3/4以内(限度額3,000,000円)

■年度別実績 (単位:千円)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
地区数	1	1	7	6	5	2	5
補助金額	3,000	3,000	9,890	5,998	5,070	1,128	6,242

実績・成果	<p>6. ごみの分別・リサイクルの推進 952,110 円</p> <p>(1) 広報 709,566 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ごみ・リサイクル物の分け方・出し方ガイドブック」、「ごみ・リサイクル物の分け方・出し方早見表」</li> <li>※早見表は行政区未加入世帯も含め周知するため、タウンプラスにより全世帯へ配布</li> <li>※アパート居住世帯へは、アパートの家主を通じて配布(ガイドブック、早見表)</li> <li>・「ごみの出し方講座」</li> <li>ごみの分別の徹底を図るため、新聞折込みにより配布(1回)</li> </ul> <p>(2) 資源回収の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北小学校、中学校、南小ジュニアによる資源回収</li> <li>※回収量:アルミ缶:2.6t、紙パック:0.8t</li> <li>・しろうま女性会による資源回収(11/9)</li> <li>※回収量:雑紙等の紙類:5.1t</li> </ul> <p>(3) ごみの減量活動 242,544 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機密文書の回収(年2回 132,000 円) 回収量:6.3t 焼却ごみの削減</li> <li>・不用食器の回収(10月4日 110,554 円) 回収量:2.4t 埋め立てごみの削減</li> </ul> <p>(4) 講習会、学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別・減量化講習会</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地区での講習会は中止</li> <li>・ごみの分別・減量化学習会(環境学習の一環として県主催 ISO プロジェクトと併せて実施)</li> <li>実施学校:白馬北小学校4年生(10/1)、白馬南小学校4年生(10/28)</li> </ul> <p>(5) 清掃活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政区の春と秋の衛生週間、各種団体等の河川・道路清掃活動のための、ごみ袋の提供</li> </ul> <p>7. その他 963,261 円</p>															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">予算額 (円)</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">決算額 (円)</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">財 源 内 訳 (円)</th> </tr> <tr> <th style="width: 20%;">国県支出金</th> <th style="width: 20%;">地 方 債</th> <th style="width: 20%;">そ の 他 (基金繰入金・ 資源ごみ売却代等)</th> <th style="width: 25%;">一 般 財 源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">207,101,000</td> <td style="text-align: center;">206,690,127</td> <td></td> <td style="text-align: center;">45,000,000</td> <td style="text-align: center;">86,806,503</td> <td style="text-align: center;">74,883,624</td> </tr> </tbody> </table>	予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)				国県支出金	地 方 債	そ の 他 (基金繰入金・ 資源ごみ売却代等)	一 般 財 源	207,101,000	206,690,127		45,000,000	86,806,503
予算額 (円)	決算額 (円)			財 源 内 訳 (円)												
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (基金繰入金・ 資源ごみ売却代等)	一 般 財 源											
207,101,000	206,690,127		45,000,000	86,806,503	74,883,624											

4款	衛生費	2項	清掃費	2目	し尿処理費
----	-----	----	-----	----	-------

事業名	し尿処理事業	決算書の頁	P.57
-----	--------	-------	------

事業内容	1. し尿、浄化槽汚泥処理の円滑な運営

実績・成果	1. 白馬山麓事務組合負担金（クリーンコスモ姫川分） 82,985,000 円 ・前年度比：7,773 千円の増 ・算定方式：建設費分〔均等割 20%、人口割 80%〕、 維持運営費分〔均等割 30%、利用割 70%〕																															
	■クリーンコスモ姫川受入実績 (単位:kℓ) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> <th>30 年度</th> <th>元年度</th> <th>2 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>搬入量</td> <td>2,721</td> <td>2,833</td> <td>2,740</td> <td>2,625</td> <td>2,661</td> <td>2,848</td> <td>2,450</td> </tr> <tr> <td>うち生し尿</td> <td>1,302</td> <td>1,233</td> <td>1,133</td> <td>1,056</td> <td>1,030</td> <td>1,102</td> <td>887</td> </tr> <tr> <td>増減量</td> <td>79</td> <td>112</td> <td>△ 93</td> <td>△ 115</td> <td>36</td> <td>187</td> <td>△398</td> </tr> </tbody> </table>		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	搬入量	2,721	2,833	2,740	2,625	2,661	2,848	2,450	うち生し尿	1,302	1,233	1,133	1,056	1,030	1,102	887	増減量	79	112	△ 93	△ 115	36	187
	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	2 年度																									
搬入量	2,721	2,833	2,740	2,625	2,661	2,848	2,450																									
うち生し尿	1,302	1,233	1,133	1,056	1,030	1,102	887																									
増減量	79	112	△ 93	△ 115	36	187	△398																									

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
82,985,000	82,985,000				82,985,000



5款	農林業費	1項	農業費	1目	農業委員会費
----	------	----	-----	----	--------

事業名	農業委員会事業(農業委員会補助事業・同一般事業・農業者年金業務受託事業)	決算書の頁	P57-58
-----	--------------------------------------	-------	--------

事業内容	<p>1. 農業委員会補助事業</p> <p>(1) 農業委員会総会の開催</p> <p>①農地法許可申請に係る審議 ②経営基盤強化促進法に係る審議</p> <p>(2) 全村農地パトロールの実施 (3) 農家基本台帳の整備</p> <p>(4) その他(職員人件費、農業委員会業務研修への参加、農業者年金制度啓発等)</p> <p>2. 農業委員会一般事業 北安曇地区農業委員会協議会への参加</p> <p>3. 農業者年金業務受託事業 農業者年金窓口業務等の受託</p>
------	---

実績成果	<p>1. 農業委員会補助事業 <u>9,179,058 円</u></p> <p>(1) 農業委員会総会開催 毎月1回、年12回</p> <p>①農地法許可申請に係る審議</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>件</th> <th>面積(a)</th> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>件</th> <th>面積(a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">第3条許可</td> <td>R 2</td> <td>17</td> <td>22</td> <td rowspan="3">第4条許可</td> <td>R 2</td> <td>5</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>R 元</td> <td>26</td> <td>89</td> <td>R 元</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>△9</td> <td>△67</td> <td>比較</td> <td></td> <td>△9</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">第5条許可</td> <td>R 2</td> <td>26</td> <td>324</td> <td rowspan="3">第18条届出 (合意解約)</td> <td>R 2</td> <td>140</td> <td>8,204</td> </tr> <tr> <td>R 元</td> <td>22</td> <td>281</td> <td>R 元</td> <td>8</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>4</td> <td>43</td> <td>比較</td> <td>132</td> <td>8,010</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">非農地証明願届出</td> <td>R 2</td> <td>10</td> <td>83</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 元</td> <td>11</td> <td>48</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>△1</td> <td>35</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>②経営基盤強化促進法に係る審議</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>件</th> <th>面積(a)</th> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>件</th> <th>面積(a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">利用権の設定</td> <td>R 2</td> <td>911</td> <td>9,150</td> <td rowspan="3">農地中間管理事業 (集積計画)</td> <td>R 2</td> <td>338</td> <td>2,332</td> </tr> <tr> <td>R 元</td> <td>499</td> <td>5,278</td> <td>R 元</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>412</td> <td>3,872</td> <td>比較</td> <td>338</td> <td>2,332</td> </tr> </tbody> </table> <p>○農業委員会 委員内訳・報酬</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業委員 12名 ・農地利用最適化推進委員 2名</li> <li>・報酬－支出額 2,618,452円(年額;会長 293千円 職務代理 208千円 委員 181千円)</li> </ul> <p>(2) 全村農地パトローラーR2.9月実施、耕作放棄地を把握。 A分類(再生利用可能)－約9ha B分類(再生利用困難)－約24.2ha</p> <p>(3) 農家基本台帳の整備－対象農家戸数約3000戸の台帳整備。 農家台帳システム使用料 559,680円、農政地図情報システム使用料 369,600円</p> <p>(4) その他経費(職員人件費等) 5,631,326円</p>	区分	年度	件	面積(a)	区分	年度	件	面積(a)	第3条許可	R 2	17	22	第4条許可	R 2	5	21	R 元	26	89	R 元	5	30	比較	△9	△67	比較		△9	第5条許可	R 2	26	324	第18条届出 (合意解約)	R 2	140	8,204	R 元	22	281	R 元	8	194	比較	4	43	比較	132	8,010	非農地証明願届出	R 2	10	83					R 元	11	48					比較	△1	35					区分	年度	件	面積(a)	区分	年度	件	面積(a)	利用権の設定	R 2	911	9,150	農地中間管理事業 (集積計画)	R 2	338	2,332	R 元	499	5,278	R 元	0	0	比較	412	3,872	比較	338	2,332
区分	年度	件	面積(a)	区分	年度	件	面積(a)																																																																																												
第3条許可	R 2	17	22	第4条許可	R 2	5	21																																																																																												
	R 元	26	89		R 元	5	30																																																																																												
	比較	△9	△67		比較		△9																																																																																												
第5条許可	R 2	26	324	第18条届出 (合意解約)	R 2	140	8,204																																																																																												
	R 元	22	281		R 元	8	194																																																																																												
	比較	4	43		比較	132	8,010																																																																																												
非農地証明願届出	R 2	10	83																																																																																																
	R 元	11	48																																																																																																
	比較	△1	35																																																																																																
区分	年度	件	面積(a)	区分	年度	件	面積(a)																																																																																												
利用権の設定	R 2	911	9,150	農地中間管理事業 (集積計画)	R 2	338	2,332																																																																																												
	R 元	499	5,278		R 元	0	0																																																																																												
	比較	412	3,872		比較	338	2,332																																																																																												

2. 農業委員会一般事業 512,509 円

北安曇地区農委協議会負担金 420,000 円（協議会一研修会開催、国会議員要請活動  
県との意見交換会開催 等）

その他経費（消耗品費等） 92,509 円

3. 農業者年金業務受託事業 61,712 円

令和2年度の新規加入者は0

その他経費（消耗品費等） 61,712 円

予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (負担金・手数料)	一 般 財 源
9,892,000	9,753,279	2,425,000		1,836,257	5,492,022

5款	農林業費	1項	農業費	2目	農業総務費
----	------	----	-----	----	-------

事業名	農業総務事業	決算書の頁	P. 58
-----	--------	-------	-------

事業内容	1. 大北地区農業振興推進協議会負担金、大北農業協同組合職員派遣負担金 ほか 2. 農政課使用公用車に係る経費 3. 職員人件費(職員6名)
	1. 大北地区農業振興推進協議会負担金 <u>102,000 円</u> 協議会－農業パワーアップ研修会、北アルプス山麓ブランド事業推進等 大北農業協同組合職員派遣負担金 農業再生協議会へ 1名 <u>2,000,000 円</u> 白馬村営農支援センターへ 1名 <u>350,000 円</u> 姫川上流漁業共同組合への負担金 <u>150,000 円</u> 神城断層地震の影響による漁場の回復・維持、また、稚魚の放流や環境整備等の組合運営 に対する負担金。

実績・成果	2. 農政課使用公用車に係る経費 <u>143,832 円</u> 公用車 (ランクル) 内訳 燃料費 66,402 円 保 険 37,830 円 リース代 39,600 円 ※公用車はR3.4にリース終了
	3. その他経費(人件費ほか) <u>38,063,499 円</u>

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
41,157,000	40,809,331				40,809,331

5款	農林業費	1項	農業費	3目	農業振興費
----	------	----	-----	----	-------

事業名	農業振興事業	決算書の頁	P. 58-60
-----	--------	-------	----------

事業内容	<p>1. 農政施設(農業体験実習館・神城多目的施設)の維持管理</p> <p>2. 認定農業者への農業機械導入等に対する支援(補助金の交付)</p> <p>3. 経営所得安定対策制度の推進</p> <p>4. 経営体育成支援事業補助金交付</p>												
実績・成果	<p>1. 農政施設(農業体験実習館・神城多目的集会施設)の維持管理</p> <p>(1)利用状況 (件数 使用料収入額)</p> <p>・農業体験実習館(45件 28,050円) ・神城多目的(加工施設)(1件 30,000円)</p> <p>(2)維持管理費 <u>1,120,353円</u></p> <table border="1"> <tr> <td>ガス代</td> <td>96,463円</td> <td>電気代</td> <td>615,861円</td> <td>修繕費</td> <td>45,639円</td> </tr> <tr> <td>上下水道料</td> <td>260,370円</td> <td>管理委託料</td> <td>54,500円</td> <td>点検委託料</td> <td>47,520円</td> </tr> </table> <p>・体験実習館土地使用料 5名 <u>326,713円</u></p> <p>・施設修繕費 農業体験実習館 ガス給湯器修繕 他</p> <p>2. 村単農業機械導入支援補助金の交付</p> <p>認定農業者向けの補助金(補助率1/2 上限50万円)</p> <p>【実績】 交付件数6件 交付金額 <u>2,717,000円</u></p> <p>導入機械：ビニールハウス・トラクター・コンバイン・代掻き機・管理機等</p> <p>3. 経営所得安定対策制度の推進</p> <p>経営所得安定対策等推進事業補助金 <u>2,418,000円</u>を白馬村農業再生協議会へ交付し、経営所得安定対策交付金に係る加入推進活動や要件設定を実施。(全額国庫財源)</p> <p>【実績】(令和2年度白馬村農業再生協議会総会資料より)</p> <p>白馬村農業水田ビジョン(白馬村農業再生協議会水田フル活用ビジョン)に関する事項</p> <p>(1)生産の状況</p> <p>作付面積 水稻:417ha 生産量 2,280t 作況は中信で99</p> <p>ソバ:113.91ha 収穫量 52.72t 豊作、コロナ禍の消費減退で価格は暴落</p> <p>ダイズ:25.8ha 収穫量 5.7t 生育期間全般の天候不順による減収</p> <p>園芸作物:地域園芸作物、業務用野菜の作付けが増加した。また、育苗ハウスを利用したミニトマトは定植後の不順天候により出荷時期が後退し、収量が大幅に減収し、所得も減収</p> <p>(2)担い手の状況</p> <p>総数で37の担い手が農業生産活動を行っている。令和2年度に新たに個人8名を認定し内訳としては、個人:32名、法人:5法人。これらの担い手には421haの農地が利用集積されている。</p> <p>(3)経営所得安定対策交付金制度</p> <p>①水田活用の直接支払交付金・畑作物の直接支払交付金</p> <p>そば面積113.91ha、大豆25.8ha、園芸品目6.63ha</p> <p>②産地交付金</p> <p>*産地推進品目生産性向上支援(土地利用集積・3作業受託等)</p> <p>・そば113.91ha ・大豆25.8ha</p> <p>*そばの作付け取組に支援113.91ha</p> <p>*重点作物振興事業 アスパラガス1.631ha</p> <p>*地域園芸振興(野菜・花卉)4.0973ha</p> <p>*出荷契約による業務用野菜1.4725ha</p> <p>(4)人・農地プランに関する事</p>	ガス代	96,463円	電気代	615,861円	修繕費	45,639円	上下水道料	260,370円	管理委託料	54,500円	点検委託料	47,520円
ガス代	96,463円	電気代	615,861円	修繕費	45,639円								
上下水道料	260,370円	管理委託料	54,500円	点検委託料	47,520円								

農業者の高齢化、後継者不足による「人と農地の問題」を解決していくため、関係機関と連携しプラン実質化を進めた。

(5) 米の受給に関すること

- ・生産数量目標及び水稲作付け目標面積の配分  
確定数量:2,256t 作付面積:417.0ha
- ・白馬村基準単収設定 541kg/10a

4. 経営体育成支援事業補助金交付(前年度からの繰越、全額国庫財源)  
国庫の農業機械補助金 (補助率:税抜事業費の 1/2)  
【実績】 交付件数1件 交付金額 6,777,000 円  
導入機械 : トラクター・ドローン・プラウ

5. その他

- ・公用車借上料(集落支援軽トラック) 243,648 円
- ・公用車燃料費 71,468 円
- ・その他負担金 野菜共済制度負担金 85,096 円 家畜診療所負担金 50,000 円
- ・その他経費(消耗品、会計年度任用職員賃金・社会保険料(集落支援員1名)ほか)  
1,247,385 円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 庫 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (使用料・基金繰入)	一 般 財 源
15,614,000	15,056,663	9,195,000		2,758,050	3,103,613

5款	農林業費	1項	農業費	3目	農業振興費
----	------	----	-----	----	-------

事業名	産地づくり対策事業	決算書の頁	P. 59
-----	-----------	-------	-------

事業内容	1. 水田農業経営確立推進指導事業 (1)転作体制維持推進 2. 白馬村農業再生協議会への補助による村の重点作物の産地化推進 3. 農作物損害防止事業

実績成果	1. 水田農業経営確立推進指導事業 (1)転作体制維持推進 コピー使用料、消耗品等事務費  2. 白馬村農業再生協議会への補助による村の重点作物の産地化推進 産地づくり対策事業補助金 <u>1,000,000 円</u> を白馬村農業再生協議会へ交付し、村水田農業ビジョンに基づき、苗助成等を実施。 【実績】(令和2年度白馬村農業再生協議会会計簿より) ・トマト、ミニトマト農家(JA大北園芸部会)への助成 250,000 円 ・そば生産担い手農家への助成 533,496 円(3名) ・共同防除負担金(JA大北北部営農センター) 200,000 円  3. 農作物損害防止事業 長野県農業共済組合へ負担金支出 ・水稻病虫害防除 <u>224,954 円</u> ・水稻無人へり防除 <u>37,200 円</u>  その他経費 <u>37,960 円</u>

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (基金繰入)	一 般 財 源
1,527,000	1,300,114			670,000	630,114

5款	農林業費	1項	農業費	3目	農業振興費
----	------	----	-----	----	-------

事業名	中山間地域等直接支払事業	決算書の頁	P. 59
-----	--------------	-------	-------

事業内容	1. 中山間地域の農業生産条件の不利を補正、耕作放棄の防止や多面的機能を確保するため、中山間地域等直接支払交付金を交付。平成12年度から開始、令和2年度は第5期対策初年度。(1期:5年) 2. 事業の趣旨の徹底、対象行為の確認。 3. 令和2年度より、棚田地域振興法に関して、棚田地域振興計画を策定し、棚田(急傾斜地)への補助を拡充。
------	---

実績・成果	1. 中山間地域等直接支払交付金交付 <u>8,765,518 円</u> 交付実績－6団体 <table border="1" data-bbox="300 833 1141 1182"> <thead> <tr> <th>交付対象団体</th> <th>交付対象面積(m<sup>2</sup>)</th> <th>交付金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青鬼集落</td> <td>47,878</td> <td>1,438,458</td> </tr> <tr> <td>立の間集落</td> <td>39,658</td> <td>1,229,398</td> </tr> <tr> <td>野平集落</td> <td>19,722</td> <td>611,382</td> </tr> <tr> <td>八方尾根牧野組合</td> <td>832,956</td> <td>727,538</td> </tr> <tr> <td>内山集落</td> <td>114,010</td> <td>1,328,886</td> </tr> <tr> <td>堀之内 飯田集落</td> <td>212,601</td> <td>3,429,856</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,266,825</td> <td>8,765,518</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同活動の主な内容－ラジヘリ共同防除、鳥獣害防止対策、水路農道維持管理 等</li> <li>・牧野組合は傾斜地採草放牧地での酪農経営経費</li> </ul>	交付対象団体	交付対象面積(m <sup>2</sup> )	交付金額(円)	青鬼集落	47,878	1,438,458	立の間集落	39,658	1,229,398	野平集落	19,722	611,382	八方尾根牧野組合	832,956	727,538	内山集落	114,010	1,328,886	堀之内 飯田集落	212,601	3,429,856	計	1,266,825	8,765,518
交付対象団体	交付対象面積(m <sup>2</sup> )	交付金額(円)																							
青鬼集落	47,878	1,438,458																							
立の間集落	39,658	1,229,398																							
野平集落	19,722	611,382																							
八方尾根牧野組合	832,956	727,538																							
内山集落	114,010	1,328,886																							
堀之内 飯田集落	212,601	3,429,856																							
計	1,266,825	8,765,518																							
実績・成果	2. 事業の趣旨の徹底、対象行為の確認 <table border="1" data-bbox="300 1328 1066 1451"> <thead> <tr> <th>推進事務</th> <th colspan="2">確認事務</th> <th>交付事務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集落説明会</td> <td>書類審査</td> <td>現地確認</td> <td rowspan="2">6件</td> </tr> <tr> <td>6集落</td> <td>6件</td> <td>9月～10月</td> </tr> </tbody> </table>	推進事務	確認事務		交付事務	集落説明会	書類審査	現地確認	6件	6集落	6件	9月～10月													
推進事務	確認事務		交付事務																						
集落説明会	書類審査	現地確認	6件																						
6集落	6件	9月～10月																							

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,766,000	8,765,518	6,574,136			2,191,382

5款	農林業費	1項	農業費	3目	農業振興費
----	------	----	-----	----	-------

事業名	特産品事業	決算書の頁	P. 59
-----	-------	-------	-------

事業内容	1. 特産品開発団体に補助金交付 2. 地産地消の推進

実績	1. 特産品開発団体に補助金交付 ・交付実績－1団体(交付額－事業費の2/3 上限50万円) <u>244,000円</u>											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>特産品名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費(円)</th> <th>補助金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食用ホオズキ</td> <td>真空包装機等の導入</td> <td>366,425</td> <td>244,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>366,425</td> <td>244,000</td> </tr> </tbody> </table>	特産品名	事業内容	事業費(円)	補助金額(円)	食用ホオズキ	真空包装機等の導入	366,425	244,000	計		366,425
特産品名	事業内容	事業費(円)	補助金額(円)									
食用ホオズキ	真空包装機等の導入	366,425	244,000									
計		366,425	244,000									
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お米日本一コンテスト IN しずおか エントリー負担金 <u>50,000円</u></li> <li>・北アルプス山麓育ち in 首都圏実行委員会負担金 <u>20,191円</u>(活動自体は中止)</li> </ul>											
	<p>2. 地産地消の推進</p> <p>(1) 白馬産米のPRを主に「秋の食味フェア」を白馬村文化祭会場で開催(中止)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者提供による新米の試食、同時に白馬味噌玉仕込み味噌による豚汁振舞い、農産品直売等(中止)</li> <li>(2) 白馬地場産推進会活動支援(事務局として各種事業推進)</li> <li>・直売所への地場産野菜等の供給、学校給食への供給、アグリスクール(中止)</li> <li>(3) みそ加工 手作り味噌推進のため味噌加工場を開設 一般貸出 39名</li> </ul> <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青鬼地区紫米専用コンバイン修繕費 <u>91,740円</u></li> </ul> <p>その他経費 <u>296,320円</u></p>											

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 (使用料・基金繰入)	一般財源
994,000	702,251			281,600	420,651



5款	農林業費	1項	農業費	3目	農業振興費
----	------	----	-----	----	-------

事業名	農地集積協力金交付事業	決算書の頁	P. 59
-----	-------------	-------	-------

事業内容	<p>1. 農地集積協力金交付事業</p> <p>農地中間管理機構(長野県農業開発公社)の行う農地中間管理事業における農地の出し手への支援事業「機構集積協力金」</p> <p>(1) 地域集積協力金－村内の一定区域であり、同一の人農地プラン地域内で、機構への貸付面積が一定割合を超えた場合、地域に協力金を交付</p> <p>(2) 経営転換協力金－機構へ 10 年以上貸付し、リタイア又は経営転換した場合、農地の所有者に協力金を交付</p>
	<p>1. 農地集積協力金交付事業</p> <p>機構集積協力金</p> <p>(1) 地域集積協力金－ 交付面積:2,115a 交付額:5,922,000 円 ※北城南部ほ場整備事業1工区分</p> <p>基盤整備事業(北城南部地区)の実施に合わせて機構を活用した担い手への農地集積・集約化。交付金は北城南部地区ほ場整備に係る地域に交付</p> <p>(2) 経営転換協力金－ 交付実績なし</p>

実績・成果	<p>1. 農地集積協力金交付事業</p> <p>機構集積協力金</p> <p>(1) 地域集積協力金－ 交付面積:2,115a 交付額:5,922,000 円 ※北城南部ほ場整備事業1工区分</p> <p>基盤整備事業(北城南部地区)の実施に合わせて機構を活用した担い手への農地集積・集約化。交付金は北城南部地区ほ場整備に係る地域に交付</p> <p>(2) 経営転換協力金－ 交付実績なし</p>
	<p>1. 農地集積協力金交付事業</p> <p>機構集積協力金</p> <p>(1) 地域集積協力金－ 交付面積:2,115a 交付額:5,922,000 円 ※北城南部ほ場整備事業1工区分</p> <p>基盤整備事業(北城南部地区)の実施に合わせて機構を活用した担い手への農地集積・集約化。交付金は北城南部地区ほ場整備に係る地域に交付</p> <p>(2) 経営転換協力金－ 交付実績なし</p>

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,922,000	5,922,000	5,922,000			

5款	農林業費	1項	農業費	3目	農業振興費
----	------	----	-----	----	-------

事業名	農業次世代人材投資事業 (青年就農給付金事業)	決算書の頁	P. 59
-----	----------------------------	-------	-------

事業内容	<p>1. 農業次世代人材投資事業(旧青年就農給付金)(経営開始型)給付 新規就農者に経営開始から最長5年間、年間最高1,500千円を給付。(農林水産省の新規就農者支援制度) ※給付対象者の前年の総所得が350万円以上であった場合は給付を停止する。 (その後、350万円を下回った場合は、翌年から給付を再開することができる)</p>
------	--

実績・成果	<p>1. 農業次世代人材投資事業 (旧青年就農給付金)(経営開始型)給付 給付金額 <u>6,000,000円</u></p> <p>(1) 給付対象者 4名(今年度終了1名、継続3名)</p> <p>①経営開始型給付5年目就農者 給付額 1,500,000円 ・2年度経営農地実績－田(14,893㎡)、畑(1,206㎡) →計画の目標を達成している。</p> <p>②経営開始型給付2年目就農者 給付額 1,500,000円 ・2年度経営農地実績－田(24,012㎡)、畑(401㎡) →概ね計画どおりに進んでいる。</p> <p>③経営開始型給付2年目就農者 給付額 1,500,000円 ・2年度経営農地実績－田(3,566㎡)、畑(0㎡) →概ね計画どおりに進んでいる。</p> <p>④経営開始型給付2年目就農者 給付額 1,500,000円 ・2年度経営農地実績－田(829㎡)、畑(2,151㎡) →概ね計画どおりに進んでいる。</p> <p>各就農者に対し年1回就農状況、販路等の聞取りの会を実施。 (県普及センターと共同実施)</p>
-------	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
6,000,000	6,000,000	6,000,000			

5款	農林業費	1項	農業費	4目	農地費
----	------	----	-----	----	-----

事業名	多面的機能支払交付金事業	決算書の頁	P. 60
-----	--------------	-------	-------

事業内容

○多面的機能支払交付金制度  
平成26年度に創設された農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動を支援する制度で、①農地維持支払 ②資源向上支払(共同活動) ③資源向上支払(長寿命化)の支援メニューがある。  
交付金の負担割合は、国 1/2・県 1/4・村 1/4 で、村が事業主体となり、村から実施主体である各活動組織へ支出を行う。

1. 多面的機能支払交付金交付業務

① 農地維持支払…水路の泥上げや草刈りなどの活動を支援  
② 資源向上支払(共同活動)…地域資源(農地、水路、農道等)の軽微な補修を行う活動を支援  
③ 資源向上支払(長寿命化)…施設の長寿命化のための活動を支援

実績・成果

1. 多面的機能支払交付金交付業務 31,860,548 円  
○交付実績

区分	対象農地面積 (ha)	交付金額(円)	内白馬村負担 (円)
①農地維持支払	426.18	12,624,000	3,156,000
②資源向上支払(共同活動)	303.25	5,356,548	1,339,137
③資源向上支払(長寿命化)	399.31	13,880,000	3,470,000
計	1,128.74	31,860,548	7,965,137

※資源向上支払(長寿命化)は国予算の調整割当により基準単価よりも減額

○活動組織 ①農地維持支払 ②資源向上支払(共同活動) ③資源向上支払(長寿命化)

組織名	①			対象農地面積(ha)	組織名	②			対象農地面積(ha)
	①	②	③			①	②	③	
内山農地水保全会	○	○	○	11.25	深空農地水保全会	○	○	○	16.16
飯田農地水保全会	○	○	○	32.86	野平農地水保全会	○	○		7.21
飯森農地水保全会	○	○	○	38.12	青鬼農地水保全会	○	○	○	4.52
堀之内農地水保全会	○	○	○	17.93	新田農地水保全会	○	○	○	21.01
神城姫川地区保全会	○	○	○	63.80	北城地区農地水保全会	○		○	122.93
神城農地水保全会	○	○	○	70.73					
三日市場保全会	○	○		19.66					
12 組織 計									426.18

○活動組織向け説明会の開催 … 2 回開催(8月・11月)予定であったがコロナのため中止  
○全組織に対して中間確認指導を実施

2. その他経費(会計年度任用職員人件費等) 319,587 円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (基金繰入・基金利子)	一 般 財 源
32,182,000	32,180,135	24,185,411		7,674,000	320,724

5款	農林業費	1項	農業費	4目	農地費
----	------	----	-----	----	-----

事業名	村単土地改良事業		決算書の頁	P. 60-61	
事業内容	1. 農地、農業施設(頭首工、取水口、水路、農道)の機能維持業務 2. 農業集落排水事業特別会計への繰出				
実績・成果	1. 農地、農業施設(頭首工、取水口、水路、農道)の機能維持業務 <u>8,823,850 円</u> ①委託料 4,661,217 円 ・木流用水取水口等維持管理委託料、支線水利調査業務(長寿命化)等 ②工事請負費 2,293,640 円 ・農地・農業用水路補修等(北大出、飯田、堀之内、野平、新田、三日市場等) ③重機使用料 981,480 円 ・取水口・堰・堆積土砂の除去等(切久保堰、西山堰、深空下河原、青鬼堰、松川新堰、日向大左右等) ④原材料費 887,513 円 ・水路・農道補修用材料(縞鋼板水路蓋、コンクリート水路蓋等) 2. 農業集落排水事業特別会計への繰出金 <u>3,096,000 円</u> 3. その他経費 ・人件費(会計年度任用職員3名)等 <u>5,661,839 円</u>				
予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( 負 担 金 )	一 般 財 源
17,686,000	17,581,689			6,380,851	11,200,838

5款	農林業費	1項	農業費	4目	農地費
----	------	----	-----	----	-----

事業名	農業基盤整備促進事業	決算書の頁	P. 60-61
-----	------------	-------	----------

事業内容	1. 農地耕作条件改善事業【白馬(3)地区】 農地の区画拡大等を行うことにより、農作業の効率化や担い手への農地集積を促進するとともに地域の営農体制の確立を図る目的の事業。 財源:国庫補助事業(定額制)

実績・成果	1. 農地耕作条件改善事業【白馬(3)地区】  (1)担い手による田の改良事業 2,190,000 円(国庫補助) 田の区画拡大(高低差 10 cm以下) 219a  (2)測量設計業務(農政課で実施)

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 ( )	一般財源
2,190,000	2,190,000	2,190,000			

5款	農林業費	1項	農業費	4目	農地費
----	------	----	-----	----	-----

事業名	奈良井湿原保全事業	決算書の頁	P. 60
-----	-----------	-------	-------

事業内容	1. 奈良井湿原の維持管理
------	---------------

実績・成果	<p>1. 奈良井湿原の維持管理</p> <p>(1) 草刈り等業務委託料 <u>1,188,000 円</u></p> <p>■業務委託の目的          周辺環境との調和及び迷惑防止を図るため以下を実施</p> <p>① 美観の維持と環境悪化の防止          ② 樹木などの生育阻害の防止          ③ 病虫害発生防止          ④ 火災の防止 等</p> <p>■業務委託の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草刈り(年3回)</li> <li>・景観作物整備(年1回)</li> <li>・カメムシ防除(年1回)</li> </ul>
-------	---

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (基金繰入)	一 般 財 源
1,208,000	1,188,000			1,180,000	8,000

5款	農林事業	1項	農業費	4目	農地費
----	------	----	-----	----	-----

事業名	地域用水機能増進事業	決算書の頁	P. 60
-----	------------	-------	-------

事業内容	1. 木流親水公園維持管理業務 2. 木流親水公園利用促進		
------	----------------------------------	--	--

実績・成果	1. 木流親水公園維持管理業務 <u>707,160 円</u> ・保全活動委託(木流川と親しむ会) 30,000 円 ・樹木及び施設管理 399,300 円 ・木製橋修繕 277,860 円  2. 木流親水公園利用促進 ・木流川と親しむ会による四季ごとの観察会、保護活動への協力		
-------	---	--	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (基金繰入)	一 般 財 源
708,000	707,160			270,000	437,160

5款	農林業費	1項	農業費	4目	農地費
----	------	----	-----	----	-----

事業名	ほ場整備事業	決算書の頁	P. 61
-----	--------	-------	-------

事業内容	1. 県営北城南部地区土地改良事業(ほ場整備事業)に対する地元負担
	2. 北城南部地区ほ場整備実行委員会役員会への日当負担

実績・成果	1. 県営北城南部地区土地改良事業(ほ場整備事業)に対する地元負担
	<p>■負担金 令和2年度事業額 300,000,000 円に対して、地元負担 17.5%の負担 <u>52,500,000 円</u></p> <p>① 白馬村負担額 15,000,000 円(事業費の 5%) ※90%は公共事業等債</p> <p>② 受益者負担額 37,500,000 円(事業費の 12.5%) ※白馬村土地改良区から入金</p> <p>2. 北城南部地区ほ場整備実行委員会役員会への日当負担 <u>239,000 円</u></p> <p>3. 事業内容</p> <p>①基盤整備工事(第1工区) ※信学会白馬幼稚園～オリンピック道路をまたぐ南側 (令和3年7月末完了)</p> <p>②基盤整備工事(第2工区) ※クロネコヤマト～塩の道までの東側 (令和3年4月県発注)</p> <p>③設計業務(第3・4工区) ※クロネコヤマト～オリンピック道路西側 (令和3年9月県発注予定)</p>

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (負担金・基金繰入)	一 般 財 源
52,872,000	52,739,000		13,500,000	39,000,000	239,000



5款	農林業費	2項	林業費	1目	林業振興費
----	------	----	-----	----	-------

事業名	林業振興・林道維持補修事業	決算書の頁	P. 61-62
-----	---------------	-------	----------

事業内容	1. 林道維持管理業務
	2. 林業振興業務
実績	3. ペレットストーブ用ペレット販売
	4. その他経費

実績	1. 林道維持管理業務 <u>689,200 円</u> ・修繕費 420,200 円(白馬小谷東山線:路面修繕等、細野線側溝修繕) ・委託料 170,000 円(白馬小谷東山線・青鬼線 草刈り作業委託(林業経営者協会)) ・重機使用料 99,000 円(白馬小谷東山線:路面修繕)
	2. 林業振興業務 <u>318,200 円</u> ・原材料 87,560 円(緑化事業:桜苗木代) ・国有林山菜払下負担金 132,840 円 ・治山林道協会負担金等 97,800 円
成果	3. ペレットストーブ用ペレット販売 <u>648,450 円</u> ・村内で販売店がないため、村が森林組合から購入し、同価格で販売。 購入額 1,310 袋×@495 円(10k・袋) 648,450 円 販売額 1,313 袋×@495 円(10k・袋) 649,935 円(在庫分3袋含む)
	4. その他経費 ・旅費、消耗品費 <u>127,007 円</u>

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (ペレット販売料)	一 般 財 源
1,889,000	1,782,857			649,935	1,132,922

5款	農林業費	2項	林業費	1目	林業振興費
----	------	----	-----	----	-------

事業名	森林整備事業	決算書の頁	P. 61-62
-----	--------	-------	----------

事業内容	<p>1. 森林造成事業</p> <p>(1) 間伐等促進事業補助金－間伐等を施業した事業体への嵩上げ補助</p> <p>(2) 森林整備事業－村有林の下草刈等を施業した事業体へ補助金を交付</p> <p>2. 森林づくり推進支援事業－県の森林税(森林づくり推進支援金)活用事業。緩衝帯整備を実施。</p> <p>3. 森林の里親事業－H22 から長野トヨペットと協定締結し、岩岳地区と森林整備作業等を通じて交流してきたが、新型コロナウイルス感染拡大により事業を中止した。</p>
	<p>1. 森林造成事業 526,000 円</p> <p>(1) 事業体を実施した間伐事業への嵩上げ補助 飯田地区(搬出間伐 7.99ha) 426,000 円(山仕事創造舎)</p> <p>(2) 村有林の下草刈りの委託 100,000 円(白馬村林業経営者協会)</p> <p>2. 森林づくり推進支援金事業 880,000 円(大北森林組合)</p> <p>・緩衝帯整備業務委託 深空・白馬町 2.12ha</p> <p>3. 森林の里親事業</p> <p>・長野トヨペット(株)と協議し新型コロナウイルス感染拡大のため令和2年度の事業を中止。</p> <p>4. その他</p> <p>・森林整備事業補助金返還金 336,000 円(長野県北アルプス地域振興局長)</p>

実績・成果	<p>1. 森林造成事業 526,000 円</p> <p>(1) 事業体を実施した間伐事業への嵩上げ補助 飯田地区(搬出間伐 7.99ha) 426,000 円(山仕事創造舎)</p> <p>(2) 村有林の下草刈りの委託 100,000 円(白馬村林業経営者協会)</p> <p>2. 森林づくり推進支援金事業 880,000 円(大北森林組合)</p> <p>・緩衝帯整備業務委託 深空・白馬町 2.12ha</p> <p>3. 森林の里親事業</p> <p>・長野トヨペット(株)と協議し新型コロナウイルス感染拡大のため令和2年度の事業を中止。</p> <p>4. その他</p> <p>・森林整備事業補助金返還金 336,000 円(長野県北アルプス地域振興局長)</p>
	<p>1. 森林造成事業 526,000 円</p> <p>(1) 事業体を実施した間伐事業への嵩上げ補助 飯田地区(搬出間伐 7.99ha) 426,000 円(山仕事創造舎)</p> <p>(2) 村有林の下草刈りの委託 100,000 円(白馬村林業経営者協会)</p> <p>2. 森林づくり推進支援金事業 880,000 円(大北森林組合)</p> <p>・緩衝帯整備業務委託 深空・白馬町 2.12ha</p> <p>3. 森林の里親事業</p> <p>・長野トヨペット(株)と協議し新型コロナウイルス感染拡大のため令和2年度の事業を中止。</p> <p>4. その他</p> <p>・森林整備事業補助金返還金 336,000 円(長野県北アルプス地域振興局長)</p>

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (基金繰入・返還金)	一 般 財 源
1,761,000	1,742,000	878,000		756,000	108,000

5款	農林業費	2項	林業費	1目	林業振興費
----	------	----	-----	----	-------

事業名	森のエネルギー推進事業	決算書の頁	P. 62
-----	-------------	-------	-------

事業内容	1. ペレットストーブ購入に対する補助金交付 自然環境の中に新たに二酸化炭素を排出しない木質バイオマス資源の活用を推進し、地球温暖化防止や、地域資源循環システムの構築に寄与するため、ペレットストーブを設置する者に対し補助金を交付。1台あたり上限10万円。県補助金3/4

実績・成果	1. ペレットストーブ購入に対する補助金 <u>200,000円</u> ・実績 100,000円×2台

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 ( )	一般財源
200,000	200,000	150,000			50,000

5款	農林業費	2項	林業費	1目	林業振興費
----	------	----	-----	----	-------

事業名	有害鳥獣被害対策事業	決算書の頁	P. 61-62
-----	------------	-------	----------

事業内容	1. 白馬村鳥獣被害対策実施隊の活動支援
	(1) 報酬支給
	(2) 有害鳥獣捕獲者の支援(狩猟登録経費の1/2補助)
	(3) 新規狩猟者の確保(狩猟免許取得経費の全額補助・上限10万円)
事業内容	(4) 狩猟免許等更新者の支援(狩猟免許等更新経費の全額補助)
	2. 電気柵設置事業
	(1) 個人設置者向け補助(補助率1/2 上限9万円)
	(2) 農作物被害防止用電気柵貸出
事業内容	3. 野生イノシシ豚熱対策事業
	4. 備品等購入(トレイルカメラ等)

実績成果	1. 白馬村鳥獣被害対策実施隊の活動支援 4,486,000円																																
	(1) 報酬支給 隊員25名に支給。4,020,000円(前年度2,673,000円)																																
	① 駆除実績																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>クマ</th> <th>イノシシ</th> <th>カモシカ</th> <th>ニホンジカ</th> <th>ニホンザル</th> <th>タヌキ</th> <th>カラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>9</td> <td>21</td> <td>3</td> <td>27</td> <td>19</td> <td>5</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>13</td> <td>48</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>△4</td> <td>△27</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>11</td> <td>△4</td> <td>△8</td> </tr> </tbody> </table>		クマ	イノシシ	カモシカ	ニホンジカ	ニホンザル	タヌキ	カラス	R2	9	21	3	27	19	5	17	R元	13	48	3	10	8	9	25	比較	△4	△27	0	17	11	△4	△8
		クマ	イノシシ	カモシカ	ニホンジカ	ニホンザル	タヌキ	カラス																									
	R2	9	21	3	27	19	5	17																									
	R元	13	48	3	10	8	9	25																									
	比較	△4	△27	0	17	11	△4	△8																									
	② クマ目撃情報件数																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>133</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>△95</td> </tr> </tbody> </table>		件数	R2	38	R元	133	比較	△95																								
	件数																																
R2	38																																
R元	133																																
比較	△95																																
(2) 有害鳥獣捕獲者支援事業(狩猟登録補助) 25名 260,000円																																	
(3) 新規狩猟者確保事業(狩猟免許新規取得補助) 2名 94,000円																																	
(4) 狩猟免許等更新者支援事業 11名 112,000円																																	
2. 電気柵設置事業 1,183,555円																																	
(1) 個人設置者向け補助 10件 496,000円																																	
(2) 電気柵貸出 10カ所 設置・撤去委託料 687,555円																																	
3. 野生イノシシ豚熱対策事業																																	
・豚熱感染イノシシの埋設処理委託料 99,000円																																	
4. 備品等購入 709,569円																																	
・野生動物調査用トレイルカメラ購入費(10台) 373,230円																																	
・貸出用電気柵資材購入費(バッテリー等) 336,339円																																	
5. その他経費																																	
・有害鳥獣捕獲報償費、消耗品費、通信運搬費、有害鳥獣駆除保険料等 1,436,780円																																	

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 (基金繰入)	一般財源
8,011,000	7,914,904	332,500		370,000	7,212,404

5款	農林業費	2項	林業費	1目	林業振興費
----	------	----	-----	----	-------

事業名	森林経営管理制度推進事業 (新たな森林管理システム事業)	決算書の頁	P. 61-62
-----	---------------------------------	-------	----------

事業内容	<p>国から交付される森林環境譲与税を、令和2年度に実施する森林経営管理制度に係る事業の財源に充てる。</p> <p>1. 林地台帳システム改修事業 森林経営管理制度の中で森林所有者の意向調査を実施するに当たり、元となる林地台帳システムの不備な点を改修する。</p> <p>2. 北アルプス連携自立圏事業負担金 森林経営管理制度のモデル地区を選定するために北アルプス連携自立圏で各市町村の森林基本情報を整備する。</p> <p>3. 森林整備基金積立 令和2年度の森林環境譲与税を上記の事業に充当し余剰金を森林整備基金に積み立てる。</p>
------	--

実績・成果	<p>1. 林地台帳システム改修事業 ・林地台帳システム改修委託料 <u>1,287,000円</u> (株式会社パスコ長野支店)</p> <p>2. 北アルプス連携自立圏事業負担金 ・北アルプス連携自立圏森林基本情報整備事業負担金 <u>452,000円</u> (代表大町市)</p> <p>3. 森林整備基金積立 ・積立金 <u>4,065,000円</u></p>
-------	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 ( )	一般財源
5,804,000	5,804,000	5,804,000			

5款	農林業費	3項	地籍調査費	1目	地籍調査事業費
----	------	----	-------	----	---------

事業名	地籍調査事業	決算書の頁	P. 62-63
-----	--------	-------	----------

事業内容	1. 地籍調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>■新規調査について令和2年度は休止とした。</li> <li>■継続調査区域 北城21区、北城22区、北城23区（全て八方の一部）</li> </ul> <b>【作業内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○数値測量業務委託：補測、復元等に係る測量、数値情報化支援、図面作成等</li> <li>○調査成果の閲覧作業、県への認証申請</li> </ul>
	2. 地籍調査支援用の新システム導入 法務局が推進する調査成果の電子データ化に対応した新調査支援システムの導入
	3. 職員人件費（職員2名、会計年度任用職員1名）

実績・成果	1. 地籍調査の実績 令和2年度については新規調査を休止し、既に着手済みの八方地区の調査を継続して実施した。また、北城21区（八方集落の南部）については閲覧・認証を、北城22区（八方集落の中部）については閲覧を完了した。 <b>【調査区域ごとの事業実施内容】</b>																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区域名</th> <th style="width: 15%;">新規・継続</th> <th style="width: 10%;">筆数</th> <th style="width: 10%;">面積 (km<sup>2</sup>)</th> <th style="width: 50%;">実施内容 (工程分類)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北城23区</td> <td>継続</td> <td>254</td> <td>0.06</td> <td>地籍図・地籍簿の作成(H)</td> </tr> <tr> <td>北城22区</td> <td>継続</td> <td>409</td> <td>0.10</td> <td>閲覧</td> </tr> <tr> <td>北城21区</td> <td>継続</td> <td>597</td> <td>0.20</td> <td>閲覧・認証</td> </tr> </tbody> </table>	区域名	新規・継続	筆数	面積 (km <sup>2</sup> )	実施内容 (工程分類)	北城23区	継続	254	0.06	地籍図・地籍簿の作成(H)	北城22区	継続	409	0.10	閲覧	北城21区	継続	597	0.20
区域名	新規・継続	筆数	面積 (km <sup>2</sup> )	実施内容 (工程分類)																
北城23区	継続	254	0.06	地籍図・地籍簿の作成(H)																
北城22区	継続	409	0.10	閲覧																
北城21区	継続	597	0.20	閲覧・認証																
2. 調査支援用新システム導入の実績・成果 法務局が推進する調査成果(地籍図・地籍簿)の電子データ化に対応した新調査支援システムを導入した。(令和2年12月から5年間のリース契約(保守料込み)。総額4,415,400円) データ化により、通常1ヶ月以上かかっていた登記事項の更新が2週間程度に短縮され、利便性が向上した。																				
3. 事業費	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">数値測量業務委託料</td> <td style="text-align: right;">3,349,500円</td> </tr> <tr> <td>新調査支援システムリース料</td> <td style="text-align: right;">294,360円 (R2.12~R3.3の4ヶ月分)</td> </tr> <tr> <td>新支援システム用OA機器購入</td> <td style="text-align: right;">259,600円</td> </tr> <tr> <td>その他経費(人件費等)</td> <td style="text-align: right;">12,987,661円</td> </tr> </table>	数値測量業務委託料	3,349,500円	新調査支援システムリース料	294,360円 (R2.12~R3.3の4ヶ月分)	新支援システム用OA機器購入	259,600円	その他経費(人件費等)	12,987,661円											
数値測量業務委託料	3,349,500円																			
新調査支援システムリース料	294,360円 (R2.12~R3.3の4ヶ月分)																			
新支援システム用OA機器購入	259,600円																			
その他経費(人件費等)	12,987,661円																			

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17,228,000	16,891,121				16,891,121

6款	観光商工費	1項	観光費	1目	観光総務費
----	-------	----	-----	----	-------

事業名	観光総務事業	決算書の頁	P. 63
-----	--------	-------	-------

事業内容	1. 職員人件費
	2. 関係機関との連携費等

実績	<p>1. 職員人件費／34,949,996 円  (1)観光課職員3名、県等派遣職員2名及び会計年度任用職員1名分</p> <p>2. 関係機関との連携費／1,091,000 円  (1)大北温泉協会負担金:46,000 円  温泉の保護と安全で衛生的な温泉利用の促進及び温泉地の活性化を支援  (2)北アルプス登山案内人組合連合会負担金:30,000 円  単組山案内人組合の上部団体組織  (3)白馬山案内人組合負担金:225,000 円  山案内人の指導育成、登山者への安全対策指導及び登山道の保全整備活動の実施  (4)八方駐車場管理組合負担金:500,000 円  夏山登山客の八方第5駐車場の利用に係る負担金支出  (5)白馬連峰遭難者慰霊祭実行委員会負担金:130,000 円  実施日:令和2年10月11日  会 場:八方文化会館  参加者数:遺族6名、来賓24名  (6)長野県日中友好協会負担金:10,000 円  経済・文化・スポーツ・医療・青少年・農業技術など幅広い分野における友好交流活動支援  (7)長野県日中スキー交流委員会負担金:150,000 円  中国スキー協会等との連携による訓練隊の受入、県スキー交流団の派遣等交流支援</p> <p>3. その他／977,900 円</p>
	成果

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
37,240,000	37,018,896				37,018,896

6款	観光商工費	1項	観光費	1目	観光総務費
----	-------	----	-----	----	-------

事業名	長野県観光協会事業	決算書の頁	P. 64
-----	-----------	-------	-------

事業内容	<p>1. 観光施設整備費の年賦金 観光施設の大規模な整備や改築等を(一社)信州・長野県観光協会(現長野県観光機構)が主体となって実施し、整備した施設を年賦売買契約により村が購入し、その費用を契約に基づいて年賦により償還するもの。対象事業は以下のとおり。</p> <p>(1)白馬岳頂上宿舎外3施設改修事業 実施年度:平成24年度 実施内容:八方池山荘と頂上宿舎の地下タンク改良、天狗山荘と頂上宿舎の自家発電機更新 償還金合計:18,396,920円 償還期間:平成25年度から令和3年度まで 年利:2.5%</p> <p>(2)白馬尻荘基礎撤去外整備事業 実施年度:平成24年度 実施内容:御殿場から白馬尻付近までの登山道整備、白馬尻荘の基礎等の撤去 償還金合計:29,603,810円 償還期間:平成25年度から令和3年度まで 年利:2.0%</p> <p>(3)親海湿原遊歩道改修事業 実施年度:平成27年度 実施内容:親海湿原内にある遊歩道の内、木道部分について敷板を擬木へ張り替え 償還金合計:31,193,124円 償還期間:平成28年度から令和6年度まで 年利:2.0%</p>
------	--

実績・成果	<p>1. 観光施設整備費の年賦金 / 7,644,294円 令和2年度の償還金及び年度末残高は以下のとおり</p> <p>(1)白馬岳頂上宿舎外3施設改修 償還金:1,722,224円 年度末残高:1,681,000円</p> <p>(2)白馬尻荘基礎撤去外 償還金:2,808,295円 年度末残高:2,754,000円</p> <p>(3)親海湿原遊歩道改修 償還金:3,113,775円 年度末残高:11,886,465円</p>
-------	---

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
7,646,000	7,644,294				7,644,294



6款	観光商工費	1項	観光費	2目	観光施設整備費
----	-------	----	-----	----	---------

事業名	平地観光施設管理事業	決算書の頁	P. 64
-----	------------	-------	-------

事業内容	1. 平地観光施設の管理 姫川源流・親海湿原、塩の道、遊歩道など平地に位置する観光施設のほか、各種案内標識・看板等の維持管理の実施。加えて、白馬駅前における観光案内業務の実施。 (1)白馬駅前観光案内業務委託 (2)白馬駅前無料休憩所運營業務委託 (3)塩の道、遊歩道等施設管理業務委託 該当地区及び観光協会への維持管理委託費 (4)公衆無線LANサービスの提供 (5)観光施設修繕工事の実施
------	---

実績成果	1. 平地観光施設の管理 / 18,804,420 円 (1)白馬駅前観光案内業務委託費 ・北アルプス総合案内所における観光案内業務(通年)・(株)白馬館:3,035,340 円 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用者数</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R02</td> <td>225</td> <td>213</td> <td>254</td> <td>625</td> <td>1,086</td> <td>1,960</td> <td>2,145</td> <td>1,230</td> <td>654</td> <td>656</td> <td>680</td> <td>743</td> <td>10,471</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>945</td> <td>2,020</td> <td>870</td> <td>1,980</td> <td>2,670</td> <td>2,010</td> <td>1,360</td> <td>870</td> <td>1,530</td> <td>4,090</td> <td>1,960</td> <td>760</td> <td>21,065</td> </tr> </tbody> </table>	利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R02	225	213	254	625	1,086	1,960	2,145	1,230	654	656	680	743	10,471	R01	945	2,020	870	1,980	2,670	2,010	1,360	870	1,530	4,090	1,960	760	21,065
	利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																													
R02	225	213	254	625	1,086	1,960	2,145	1,230	654	656	680	743	10,471																														
R01	945	2,020	870	1,980	2,670	2,010	1,360	870	1,530	4,090	1,960	760	21,065																														
(2)白馬駅前無料休憩所運營業務委託費 ・ちょっとヨツテカシ無料休憩所運營業務(通年)・アルプスの会:1,410,000 円 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用者数</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>休憩所</td> <td>139</td> <td>205</td> <td>470</td> <td>665</td> <td>966</td> <td>839</td> <td>857</td> <td>765</td> <td>712</td> <td>725</td> <td>520</td> <td>641</td> <td>7,504</td> </tr> <tr> <td>足湯</td> <td>95</td> <td>147</td> <td>407</td> <td>565</td> <td>731</td> <td>603</td> <td>685</td> <td>591</td> <td>561</td> <td>579</td> <td>408</td> <td>505</td> <td>5,877</td> </tr> </tbody> </table> 前年合計(比較):休憩所・10,553(△3,049)、足湯・7,271(△1,394)	利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	休憩所	139	205	470	665	966	839	857	765	712	725	520	641	7,504	足湯	95	147	407	565	731	603	685	591	561	579	408	505	5,877	
利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																														
休憩所	139	205	470	665	966	839	857	765	712	725	520	641	7,504																														
足湯	95	147	407	565	731	603	685	591	561	579	408	505	5,877																														
(3)塩の道、遊歩道等施設管理業務委託費 ・11 地区・観光協会への施設管理整備委託費:375,000 円 ・落倉自然園木道改修工事設計監理業務費:297,000 円 (4) 公衆無線LAN関係経費(村内7か所) ・公衆 Wi-Fi 認証クラウドシステム使用料:616,000 円 ・無線LAN通信費・プロバイダー料:784,080 円 ・認証ログ解析:8,293(前年・R01:20,728(△12,435)) (5)観光施設工事費関係 ・落倉自然園木道改修工事費:12,287,000 円 ・木道改修(ピンファンデーション工法)L=25.2m 2. その他 / 1,210,940 円																																											

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (基金・建物貸)	一 般 財 源
20,363,000	20,015,360		12,500,000	1,290,000	6,225,360

6款	観光商工費	1項	観光費	2目	観光施設整備費
----	-------	----	-----	----	---------

事業名	山岳観光施設維持補修事業	決算書の頁	P. 64
-----	--------------	-------	-------

事業内容	1. 山岳観光施設の維持管理
	村営山小屋(頂上宿舎、天狗山荘、猿倉荘、八方池山荘)、登山道、トイレ等の維持管理及び修繕を実施する。 (1)山岳施設の維持管理 (2)登山道安全整備業務委託

実績成果	1. 山岳観光施設の維持管理 / 5,947,182 円
	(1)山岳施設の補修修繕、施設の保守点検整備費:2,509,135 円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・頂上宿舎雪害復旧修繕工事費:1,045,000 円</li> <li>・猿倉公衆トイレ浄化槽漏水修繕工事費:277,200 円</li> <li>・猿倉公衆トイレ浄化槽清掃管理費:521,282 円</li> <li>・八方池山荘地下タンク埋設配管漏洩点検費等:287,980 円</li> <li>・その他軽微修繕、施設需用費、消耗品費等:377,673 円</li> </ul> (2)登山道の維持管理業務委託費:3,438,047 円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・白馬山案内人組合登山道等整備業務委託費:979,027 円</li> <li>・登山道維持管理整備業務委託費(猿倉～白馬鎗温泉ルート):200,000 円 委託先:(株)白馬館</li> <li>・小遠見登山道整備業務委託費(県補助事業):1,100,000 円 登山道階段改修 90 段(64m) 委託先:白馬五竜観光協会</li> <li>・猿倉駐車場誘導業務委託費:834,020 円 委託先:北アルプス広域シルバー人材センター</li> <li>・その他白馬大雪渓調査委託料等:325,000 円</li> </ul>
	2. その他 (土地借上料、山岳観光関係負担金ほか) / 743,700 円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (保険料・土地賃)	一 般 財 源
7,205,000	6,690,882	550,000		1,046,350	5,094,532

6款	観光商工費	1項	観光費	2目	観光施設整備費
----	-------	----	-----	----	---------

事業名	山岳感染対策支援事業	決算書の頁	P. 64
-----	------------	-------	-------

事業内容	1. 山岳関係者向け感染症対策の推進及び事業継続支援 安全登山を支える公益的な機能を担っている山小屋事業者と山案内人組合に対して、山小屋等緊急支援金を交付し、その機能の維持と感染拡大防止対策を支援する。

実績・成果	1. 山岳感染対策支援交付金／2,500,000 円  【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当:2,500,000 円】  ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う山小屋等緊急支援金交付要綱に基づく交付 (1)山小屋運営事業継続支援金:500,000 円×3事業者(㈱白馬館、㈱からまつ、白馬村振興公社)=1,500,000 円 (2)山案内人組合支援金:1組合・1,000,000 円(白馬山案内人組合)

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
2,500,000	2,500,000	2,500,000			

6款	観光商工費	1項	観光費	3目	観光宣伝振興費
----	-------	----	-----	----	---------

事業名	21観光戦略事業	決算書の頁	P. 65
事業内容	1. 白馬村観光地経営会議の開催及び宿泊事業者実態調査の実施 2. 白馬村宿泊産業イノベーション研修実践事業の実施 3. 白馬村観光局への負担金 4. 関係機関・団体との連携		

実 績 ・ 成 果	<p><u>1. 白馬村観光地経営会議運営支援業務・宿泊事業者実態調査委託業務／2,736,700 円</u></p> <p>(1)概要 計画中期2年目にあたる令和2年度は、前期の取り組みの評価結果及び計画策定当時の外部・内部環境の変化を踏まえて、後期の5年間に取り組む方針や施策を決定した。また、宿泊事業者実態調査は、観光地経営計画に基づいて観光地の競争力を高めるための現状把握と分析の基礎調査として実施した。</p> <p>(2)経営会議の開催(3回) ・7月16日、10月23日、2月26日</p> <p>(3)経営会議委員14名(委員報酬:91,200円) 運営支援業務委託先・公益財団法人日本交通公社:995,500円</p> <p>(4)宿泊事業者実態調査実施内容 ・宿泊事業者向けアンケート調査、調査を補足するためのヒアリング調査、実態と課題の分析 調査業務委託先・公益財団法人日本交通公社:1,650,000円</p>
	<p><u>2. 宿泊産業イノベーション研修実践事業(専門家派遣等委託業務)／3,509,000 円</u></p> <p>(1)ねらい 観光地経営計画の戦略的重点プロジェクトに位置付ける宿泊施設の戦略的な活性化の実現と、村内宿泊施設の個々の経営力・質の向上及び他産業、他地区、他施設との連携により宿泊を伴う白馬村の滞在魅力を高めること</p> <p>(2)対象・受講者 村内の宿泊施設の経営・運営に携わる者で、宿泊産業活性化に関心のある方・受講者:22名</p> <p>(3)研修会の開催(3回) ・9月23日、11月18日、2月15日 専門家派遣業務等委託先:財団法人日本交通公社</p>
	<p><u>3. 白馬村観光局負担金(第17期)／40,503,607 円</u></p> <p>(1)事業費負担額:2,819,363円 ・主催イベント費、オフィシャルパンフ等制作物・宣伝販売促進費</p> <p>(2)職員費負担額:37,684,244円 ・事務局長、プロパー職員、契約社員及び臨時職員人件費</p>
	<p><u>4. 関係機関・団体との事業連携負担金／14,319,154 円</u></p> <p>(1)大糸線ゆう浪漫委員会:2,382,654円 ・JR東日本との連携による誘客促進事業の実施等 ・うち、信州まつもと空港シャトル便の乗車実績等による分担金支出:1,451,654円 空港発着便に対応するシャトルバス通年運行(予約制・拇池高原～白馬～大町～松川・池田～穂高駅～空港)運行実績(人)※カッコは前年実績:①拇池高原発便:324(564)、②空港発便:376(752)</p> <p>(2)大糸線活性化協議会:50,000円 ・広域連携をいかした「乗り」につながる事業の展開等</p> <p>(3)北アルプス連携自立圏(広域観光専門部会):152,000円 ・観光による経済波及状況調査事業の実施</p> <p>(4)HAKUBAVALLEY TOURISM:8,000,000円 ・広域DMOへの会費 ・うち、HAKUBAVALLEY シャトルバス運行負担金:1,000,000円 大町線、小谷線・こなゆき号、白馬線の3路線運行(八方BT～白馬駅間の通行負担金助成) 運行期間:12月25日～3月14日、運行実績(3路線合計・人※カッコは前年):4,751(90,025)、 運行主体:アルピコ交通株</p> <p>(5)北アルプス三市村観光連絡会:2,550,000円 ・うち、アルペンライナー事業(小谷・白馬～大町市扇沢間):810,000円 運行期間:4月15日～10月10日、乗車実績(人)※カッコは前年:694(1,602)、運行主体:ア</p>

ルピコ交通㈱

・うち、北陸新幹線シャトルバス事業(糸魚川駅～北アルプスエリア間):1,440,000 円  
 運行期間:12月19日～令和3年3月31日、乗車実績(人)※カッコは前年:1,030(1,768)、運  
 行主体:(有)白馬交通

(6)白馬・小谷新型コロナ受診支援対策協議会:536,000 円

感染が疑われる旅行者の搬送体制の構築・運営事業負担金、搬送実績:8件

(7)その他の関係団体への負担金支出:648,500 円

団体名等	金額(単位:円)
全国山の日協議会	30,000
信州まつもと空港地元利用促進協議会	21,000
大糸線利用促進輸送強化期成同盟会	30,000
関東道の駅連絡会	50,000
(一社)長野県観光機構(学習旅行誘致推進事業)	100,000
日本海ひすいライン等利用促進協議会	5,000
長野県国際観光推進協議会	100,000
安曇野アートライン推進協議会	150,000
中央東線高速化促進広域期成同盟会	5,000
北アルプス日本海広域観光連携会議	137,500
全国道の駅連絡会	20,000

5. その他/7,760 円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (基金繰入)	一 般 財 源
61,261,000	61,076,221	2,711,000		10,470,000	47,895,221

6款	観光商工費	1項	観光費	3目	観光宣伝振興費
----	-------	----	-----	----	---------

事業名	海外観光客受皿整備事業	決算書の頁	P. 65
-----	-------------	-------	-------

事業内容	1. ナイトシャトルバス運行業務
	2. 多言語観光案内標識設置工事

実績・成果	<p>1. ナイトシャトルバス運行業務費／8,733,360 円</p> <p>(1)公共交通会議・観光システム部会の開催(2回):(委員報酬)34,200 円          ・5月13日、10月21日</p> <p>(2)時刻表チラシ等製作物:634,260 円          ・ポケットブルチラシの制作(仕上りサイズ:B4×1/8)×20,000 枚          ・バス停看板の製作</p> <p>(3)ナイトシャトルバス運行業務委託費等:8,064,900 円          運行期間:12月19日～3月20日まで(R3.1.22～2.11 まで21日間全線全便運休(感染警戒レベル5・特別警報Ⅱの発出のため))          運行主体:(有)白馬交通          運行ルート:3路線(レッド・みそら野～和田野、ブルー・岩岳、グリーン・五竜)          運行実績:以下のとおり</p> <p style="text-align: right;">(単位:人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>ルート</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レッド</td> <td style="text-align: center;">46</td> <td style="text-align: center;">96</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">208</td> </tr> <tr> <td>ブルー</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">36</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">87</td> </tr> <tr> <td>グリーン</td> <td style="text-align: center;">62</td> <td style="text-align: center;">95</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">188</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">140</td> <td style="text-align: center;">227</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">46</td> <td style="text-align: center;">483</td> </tr> </tbody> </table> <p>・前年実績:11,846 人</p>	ルート	12月	1月	2月	3月	合計	レッド	46	96	50	16	208	ブルー	32	36	9	10	87	グリーン	62	95	11	20	188	合計	140	227	70	46	483
	ルート	12月	1月	2月	3月	合計																									
レッド	46	96	50	16	208																										
ブルー	32	36	9	10	87																										
グリーン	62	95	11	20	188																										
合計	140	227	70	46	483																										
<p>2. 多言語観光案内標識設置工事費／7,755,000 円</p> <p>HAKUBAVALLEY デザインコードに基づき、JR 白馬駅と八方バスターミナルに多言語観光案内標識を設置</p> <p>(1)実施設計委託業務費:3,080,000 円          委託先:(株)ジイケイ設計</p> <p>(2)案内標識設置工事費:4,675,000 円          請負者:矢木コーポレーション(株)松本支店</p>																															

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (基金・利用料)	一 般 財 源
16,794,000	16,488,360	5,815,500		9,908,500	764,360

6款	観光商工費	1項	観光費	3目	観光宣伝振興費
----	-------	----	-----	----	---------

事業名	ゆるきゃら活用事業	決算書の頁	P. 65
-----	-----------	-------	-------

事業内容	<p>1. 白馬村キャラクターの管理活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆるキャラ誕生から8年目。各種イベントへの参加や観光宣伝活動を実施。また、パンフレットなど各種制作物やパッケージなどのイラストデザインに使用する際の管理監督を実施</li> <li>・特徴あるキャラクターのネーミング、風貌、存在感は、これまでの活動や露出度によって全国的にも認知度が高まっている</li> </ul>

実績・成果	<p>1. <u>キャラクター維持管理事業費</u> / 1,771,440 円</p> <p>(1)キャラクター活用・デザイン監修委託料:1,100,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新デザインの構築、ホームページ・Facebook 管理と情報発信</li> <li>・新バリエーションデザイン</li> </ul> <p>マスク、手洗い、換気、反省、座っておじぎ、立っておじぎ、読書、勉強&amp;事務作業、交通安全、2021年版年賀状 委託先:㈱リアルホールディングス</p> <p>(2)その他感染防止啓発ステッカー等消耗品費:671,440 円</p> <p>上記「新バリエーション」の内、感染防止対策に係るデザイン(距離を保とう、手を洗おう、換気をしよう、マスクをしよう)のステッカーの作成、配布ほか</p>

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
1,854,000	1,771,440				1,771,440



6款	観光商工費	1項	観光費	3目	観光宣伝振興費
----	-------	----	-----	----	---------

事業名	サイクルツーリズム事業	決算書の頁	P. 65
-----	-------------	-------	-------

事業内容	<p>グリーン期の主要なアクティビティの一つと位置付ける、サイクルツーリズムの取り組みを強化するため、地域おこし協力隊を配置して事業を実施。</p> <p>1. 地域おこし協力隊による事業推進</p> <p>2. 白馬サイクルマップ更新・サイクリングウェブサイトイベント再構築事業</p> <p>3. 姫川サイクリングロード改修工事</p>
------	--

実績・成果	<p>1. <u>地域おこし協力隊人件費(2名分) / 5,296,595 円</u></p> <p>2. <u>白馬サイクルマップ更新・サイクリングウェブサイト再構築事業費 / 4,507,800 円</u>  (1) サイクルマップ日本語版の更新と英語版制作: 2,420,000 円  ・インバウンド対応とプロモーションコンテンツの強化を図る  委託先: パシフィックコンサルタンツ(株)</p> <p>(2) ウェブサイトの開設 (Hakuba Cycling): 2,087,800 円  ・観光、宿泊、飲食、体験、アクセス情報などを網羅し、一般的な観光客からサイクリストまでが必要とする総合情報サイトを開設  ・<a href="https://www.vill.hakuba.nagano.jp/hakuba-cycling/">https://www.vill.hakuba.nagano.jp/hakuba-cycling/</a>  ・英語版サイクルマップでは、レンタルバイクを借りるところから、様々なコースを実際に走行した体験レポートを紹介  委託先: Qetic(株)  ・サイクリストの認識度は、前年比 10%増加(推計)、ウェブアクセス閲覧数は、年間 10,000 アクセス、英語版情報記事閲覧数は、年間 30,000 アクセス</p> <div data-bbox="491 1263 1198 1496" data-label="Image"> </div> <p>3. <u>姫川サイクリングロード(右岸)路面改修工事費 / 2,321,000 円</u>  ・改修工(L:120.9m、W:2.0m(一部 5.0m)、舗装工(A:250 m<sup>2</sup>)  ・箇所: 大字神城 5437 番地2先～(沢渡・南沖橋～田工田橋の間)  請負者: (株)白馬三津野</p> <p>4. <u>その他(地域おこし協力隊活動経費等) / 815,760 円</u></p>
-------	---

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
13,248,000	12,941,155	3,262,000	1,700,000		7,979,155

6款	観光商工費	1項	観光費	3目	観光宣伝振興費
----	-------	----	-----	----	---------

事業名	地方創生推進交付金事業(観光)	決算書の頁	P. 66
事業内容	<p>1. 『Hakuba Valley』世界に冠たる通年型マウンテンリゾートの実現に向けた、グランピング等によるアクティビティ強化・魅力増強事業</p> <p>2. 世界級通年型マウンテンリゾート・白馬バレーの実現に向けた、ドローンを活用した次世代型山岳観光創造事業</p>		

1. 通称:グランピング事業(事業年度:H30~R04・5年間) / 127,220,754 円

(1)概要

- ・ベース拠点を軸としたグランピング等の体験とアクティビティ、イベントの充実強化を図る
- ・富裕層向けアクティビティの追加開発支援と顧客満足度向上のためのテストマーケティング、プロモーション素材の充実を図る

(2)ソフト事業:127,220,754 円

- ・モバイル空間統計調査分析(KPI指標分析)費:7,150,000 円(委託先:NTTドコモ)
- ・白馬マルシェ構築・運営支援負担金:30,000,000 円(株スノーピーク白馬)
- ・焚火テラス、ヒーリングヴィレッジ、スノーパーク外アクティビティ追加開発費負担金:8,943,349 円(株スノーピーク白馬)
- ・インフルエンサー招聘、CM映像撮影制作・宣伝、ウェブ広告外プロモーション費負担金:18,150,000 円(株スノーピーク白馬)
- ・公式ポスター・パンフ制作、HAKUBA シャトル運行、Green Work Hakuba、OTA広告外プロモーション費負担金:58,047,314 円(白馬村観光局)
- ・グランピング雑誌媒体、ウェブ広告外プロモーション費負担金:4,930,091 円(八方尾根開発(株))

(3)KPI指標

- ①新たに開始するサービス(ベース拠点での体験、イベント・アクティビティ予約、グランピング宿泊等)の利用人数:人
- ②新たに開始するサービス(ベース拠点、グランピング宿泊施設)全体の売上高:千円
- ③白馬村のグリーンシーズン観光入込数:千人
- ④新たに開始するサービスにおける新規雇用者数:人

	開始前 時点	1年目増加 分(H30)	2年目増加 分(H31)	3年目増加 分(R02)	4年目増加 分(R03)	5年目増加 分(R04)	KPI増加 分の累計
KPI①	0	1,000 (400)	200,000 (882)	350,000	450,000	500,000	1,501,000
KPI②	0	60,000 (15,738)	270,000 (30,571)	430,000	530,000	550,000	1,840,000
KPI③	1,130	2 (14)	27 (141)	42	62	67	200
KPI④	0	10 (8)	10 (0)	1	1	0	22

※上段は事業年度毎の増加目標数値、下段( )内数値は実績値

2. 通称:ドローン事業(事業年度:H31~R03・3年間) / 31,407,029 円

(1)概要

- ・ドローンを活用した山小屋への物資輸送の効率化による山小屋滞在環境の向上と登山の快適化と、関連する山岳アクティビティ事業の創造に取り組む

(2)ソフト事業:31,407,029 円

- ・山小屋への物資輸送効率化事業負担金:17,500,000 円(白馬村山岳ドローン物流実用化協議会(以下「協議会」という))
- ・アウトドアアクティビティの体験記録コンテンツの制作と活用事業負担金:800,000 円(協議会)
- ・安全登山の環境づくり事業負担金:1,300,000 円(協議会)
- ・自然環境保護活動事業負担金:1,300,000 円(協議会)
- ・グリーン期山岳アウトドアアクティビティ(サイクリング、登山、トレッキング外)プロモーション費負担金:10,507,029(白馬村観光局)

(3)KPI指標

①新たな山小屋滞在メニュー利用者数:人

②ドローンを用いた既存アクティビティとの連携メニュー利用者数:人

③ドローンを用いたパトロール、環境保全活動出動件数:件

④白馬村のグリーンシーズン観光入込客数:千人

	開始前時点	1年目増加分 (H31)	2年目増加分 (R02)	3年目増加分 (R03)	KPI増加分の 累計
KPI①	0	60 (0)	200	480	740
KPI②	0	63 (47)	162	243	468
KPI③	0	6 (9)	12	24	42
KPI④	1,082	3 (141)	30	45	78

※上段は事業年度毎の増加目標数値、下段( )内数値は実績値

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
158,628,000	158,627,783	79,313,890			79,313,893

6款	観光商工費	1項	観光費	3目	観光宣伝振興費
----	-------	----	-----	----	---------

事業名	観光割引クーポン発行支援事業	決算書の頁	P. 65
事業内容	1. 宿泊事業者向け観光需要喚起事業 2. 観光事業者向け観光需要喚起事業 3. 新たな観光需要喚起支援事業		

実績・成果	<p><u>1. 宿泊クーポン発行事業負担金／35,000,000 円</u>  <b>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当：35,000,000 円】</b>  (1)制度設計  ・国内旅行の取り組みを図るための宿泊クーポンの発行  ・3千円分の宿泊クーポン×11,500 泊分のクーポン原資と事務経費(実施者：白馬村観光局)  (2)概要  ・参加する宿泊施設へクーポン原資額を事前に配分することで、経営方針の異なる施設それぞれが独自の戦略で誘客に取り組める企画として展開  ・参加宿泊施設：438 施設、クーポン原資配分額：30,390,000 円、精算額：24,064,275 円(執行率：79.2%)  (3)実績・効果  ・延べ宿泊総数は約 8,000 泊、8,000 万円、宿泊に伴う経済波及効果の推計：2,400 万円</p> <p><u>2. 観光アクティビティクーポン発行事業負担金／5,000,000 円</u>  <b>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当：5,000,000 円】</b>  (1)制度設計  ・宿泊事業者を除く観光事業者(アクティビティ、土産、飲食、交通事業者等)施設の割引クーポンの発行  ・3千円分の割引クーポン×3,200 枚分のクーポン原資と事務経費(実施者：白馬村観光局)  ※総事業費を 1,000 万円とし、不足額は白馬村観光局独自財源を充当  (2)概要  ・グリーンシーズンのブランディングと観光需要の喚起を図るため、3,000 円で 6,000 円分のアクティビティや土産店等で使えるクーポン券を発行。販売は、一般販売と宿販売の2つの方法で実施  ・参加施設：43 施設(索道、アクティビティ、土産店等)、販売数：3,311 枚(一般販売分：725、宿・村内旅行会社分：2,586)、販売クーポン換金精算額：19,384,500 円  (3)実績・効果  ・宿泊への経済波及 4,000 万円、その他生産誘発効果 480 万円(いずれも推計)</p> <p><u>3. 「泊まって滑ろう！リフト券 10,000 枚大盤振る舞いキャンペーン！」／21,000,000 円</u>  <b>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当：21,000,000 円】</b>  (1)制度設計  ・冬の平日アクティビティ利用へのインセンティブを見込む(休日集中から平日分散型へ混雑の回避)  ・3千円分の割引クーポン×7,000 枚分のクーポン原資(実施者：白馬村観光局)  (2)概要  ・スキーシーズンの観光需要喚起策として、当初計画では1～3月の平日の宿泊客獲得とスキー場の利用促進策として計画したが、村内での感染拡大により3～5月の春スキーの時期へ実施時期を変更した  ・応募者から抽選で1万人にリフト券を進呈。ただし、村内対象宿泊施設に宿泊することを条件  (3)実績・効果  ・応募総数：11,175 名、当選者数：10,642 名、着券数(3月末)：2,940 名、精算額(3月末時点)：10,320,000 円  ・宿泊者数及びスキー場利用者数：2,940 名、経済波及効果：4,704 万円(推計)</p>					
	予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
	61,000,000	61,000,000	61,000,000			

6款	観光商工費	1項	観光費	4目	観光安全浄化対策費
----	-------	----	-----	----	-----------

事業名	観光安全浄化対策事業	決算書の頁	P. 68
-----	------------	-------	-------

事業内容	<p>1. グリーンパトロール隊活動 登山者が増加する7～8月の2か月間、グリーンパトロール隊を組織し白馬連峰一帯の環境保全活動、山岳美化活動を実施。</p> <p>2. 八方尾根グリーンパトロール事業 八方尾根自然研究路における山岳環境保全・美化活動及び第2ケルン公衆トイレ清掃の実施</p> <p>3. その他の負担金・使用料等</p>
------	--

実績・成果	<p>1. <u>グリーンパトロール隊・高山植物保護等山岳環境保全活動費負担金</u>／2,300,000 円 ・グリーンロープによる植生保護規制、美化・清掃活動の実施(隊員5名) 活動主体:白馬村振興公社</p> <p>2. <u>八方尾根グリーンパトロール事業分担金</u>／1,950,000 円 ・自然研究路の高山植物保護、美化・清掃、登山道修繕、2ケル公衆トイレの清掃活動 活動主体:八方尾根安全管理協議会(高山植物等保護指導員)</p> <p>3. <u>その他負担金、施設使用料等</u>／1,936,666 円 ・兎平浄化槽・排水管使用料:800,000 円(白馬観光開発(株)) ・八方尾根自然環境保全協議会・植生回復負担金:500,000 円 ・白馬岳小雪溪避難小屋管理委託料:275,000 円(委託先:白馬村振興公社) ・その他負担金ほか:361,666 円</p>
-------	---

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (基金・協力金)	一 般 財 源
6,314,000	6,186,666			5,431,697	754,969

6款	観光商工費	1項	観光費	5目	観光特産費
----	-------	----	-----	----	-------

事業名	道の駅白馬振興事業	決算書の頁	P. 68
-----	-----------	-------	-------

事業内容	1. 道の駅白馬の施設管理等

実績・成果	1. 道の駅施設管理費／2,419,828 円
	(1)店内壁紙修繕工事費:1,203,900 円 請負者:(有)池田建設  (2)敷地借上料:1,069,228 円 ・神城 21462 番 1 宅地 1,237.16 m <sup>2</sup> 649,509 円/年 ・神城 21466 番 1 宅地 1,081.75 m <sup>2</sup> 419,719 円/年  (3)その他軽微修繕費:146,700 円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
2,421,000	2,419,828				2,419,828



6款	観光商工費	1項	観光費	6目	遭難対策費
----	-------	----	-----	----	-------

事業名	遭難対策事業	決算書の頁	P. 68
-----	--------	-------	-------

事業内容	1. 遭難防止対策事業の実施 登山シーズン中の、猿倉、八方及び五竜に登山相談所を開設し、登山者カードの受付、登山道・気象情報等の提供を行い安全登山に関する注意喚起を実施。
	2. 関係機関との連携

実績成果	1. 遭難防止対策事業費／1,476,696 円 (1)登山相談所開設費:1,290,000 円(委託先:白馬村山岳遭難防止対策協会・登山補導員) ・春山相談所:4月 29 日～5月 5 日 ・夏山相談所:7月 17 日～8月 22 日 ・秋山相談所:9月 19 日～22・26 日 ・冬山相談所:12月 28 日～31 日  (2)遭難対策センター管理費:136,696 円 ・燃料費、水道光熱費、通信運搬費等  (3)その他借上料等:50,000 円
	2. 関係団体負担金／1,253,000 円 ・北アルプス北部地区山岳遭難防止対策協会分担金:569,000 円 ・白馬村山岳遭難防止対策協会負担金:684,000 円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( 助 成 金 )	一 般 財 源
2,756,000	2,729,696			666,900	2,062,796

6款	観光商工費	2項	商工費	1目	商工振興費
----	-------	----	-----	----	-------

事業名	商工振興事業	決算書の頁	P. 69
-----	--------	-------	-------

事業内容	1. 長野県中小企業融資制度の保証料補給負担金補助 2. 白馬村商工業振興条例に基づき白馬商工会が実施する事業への補助金及び負担金 3. マル経資金融資利子補給補助金 4. 創業支援事業補助金 5. 白馬村商工振興資金預託金 6. 労政関係機関との連携
------	---

実績成果	<p>1. <u>長野県制度資金融資等・保証料補給負担金</u>／24,345,939 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業の事業活動に必要な資金の適正供給を確保するため、金融機関及び長野県信用保証協会が協調して融資実行した借入金に対する保証料補助。(対象資金:長野県中小企業融資制度、白馬村商工業活性化資金、白馬村商工業活性化季節資金)</li> <li>・48 件分:24,345,939 円(補給割合は原則5分の2負担(県負担割合と同額))</li> <li>・前年実績:3,998,773 円</li> </ul> <p>2. <u>白馬商工会への補助金・負担金支出</u>／10,240,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白馬村商工業振興条例に基づく補助金等</li> <li>(1)経営改善普及事業補助金:6,540,000 円</li> <li>(2)地域総合振興事業補助金:950,000 円</li> <li>(3)県補助対象外職員人件費負担金:2,450,000 円</li> <li>(4)融資事務経費負担金:300,000 円</li> </ul> <p>3. <u>マル経資金融資利子補給補助金</u>／971,100 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付申請額:971,100 円(39 件)</li> <li>・交付決定額:971,100 円(39 件) 前年:1,237,000 円(50 件)</li> </ul> <p>4. <u>創業支援事業補助金</u>／3,726,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者:4名、補助金総額:3,726,000 円</li> <li>・個人・法人区分(個人:4、法人:0)</li> <li>・業種(飲食:1、製造:2、宿泊:1)</li> </ul> <p>5. <u>白馬村商工振興資金預託金</u>／20,000,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村制度資金預託金、村内4金融機関:20,000,000 円</li> </ul> <p>6. <u>労政関係負担金</u>／258,557 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大北勤労者互助会負担金:114,000 円</li> <li>・北アルプス連携自立圏・新規学卒者等支援事業負担金(大北地域企業説明会):76,000 円</li> <li>・その他大町職業安定協会負担金等:68,557 円</li> </ul>
------	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (基金・回収金等)	一 般 財 源
59,622,000	59,541,596	38,000		22,316,567	37,187,029

6款	観光商工費	2項	商工費	1目	商工振興費
----	-------	----	-----	----	-------

事業名	新型コロナウイルス感染対策事業	決算書の頁	P. 69
事業内容	1. 県・市町村連携新型コロナウイルス拡大協力企業等特別支援事業		
	2. 商工業者向け事業継続緊急支援事業		
	3. 新しい生活様式に対応促進支援事業		
	4. 感染症対策融資利子補給事業(基金積立含む)		
	5. 特別警報Ⅱ※発出市町村飲食業等支援交付金事業・感染予防対策取組支援金		
	6. 特別警報Ⅱ※発出市町村飲食業等支援交付金事業・拡大防止特別支援金		
	※白馬村に特別警報Ⅱが発出された期間:2021/1/20~2/12		

実 績 ・ 成 果	<p>1. <u>県・市町村連携新型コロナウイルス拡大協力企業等特別支援金</u>／65,900,000 円  <b>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当:65,900,000 円】</b>  ・長野県と市町村が連携して実施する時短営業や休業要請等に応じた事業者への協力金・支援金の給付(1事業者あたり300千円(負担割合は、県:200千円、市町村:100千円))  ・休業等協力要請期間:2020/4/24～5/6、対象事業者数:659件(ホテル・旅館:325、簡易宿所・山小屋:193、飲食店・居酒屋・バー・スナック等:108、体験施設:17、その他:16)</p> <p>2. <u>商工業者向け事業継続緊急支援交付金事業費</u>／47,445,098 円  <b>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当:47,444,000 円】</b>  ・厳しい経営環境を強いられる村内商工業者を緊急的に支援するため、交付要綱に基づき商工会を經由し1事業者あたり5万円を支給  (1)第1次分(商工会会員)  ・支給実績:564会員分・28,200,000円(交付対象事務経費:633,938円)  (2)第2次分(第1次分対象者以外の事業者を対象)  ・支給実績:342事業者・17,100,000円(交付対象事務経費:551,160円)  (3)一般乗用旅客自動車運送業の事業継続緊急支援交付金:960,000円  ・均等割:1タクシー事業者あたり100千円×3事業者(白馬観光タクシー(株)、アルピコタクシー(株)、アルプス第一交通(株))、車両台数割:1台あたり30千円×22台分</p> <p>3. <u>新たな事業分野へ進出する交通事業者への支援金</u>／500,000 円  <b>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当:500,000 円】</b>  ・交付要綱に基づく新たな事業分野への展開に該当する一般貸切旅客自動車運送業への交付金(尙白馬交通)  ・宿泊施設と飲食店の感染リスク軽減と、デリバリーの普及による泊食分離形態を構築するための一括受発注管理システムの構築</p> <p>4. <u>感染症対策融資利子補給事業費</u>／30,000,000 円  <b>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当:30,000,000 円】</b>  (1)感染症対応融資利子補給補助金  ・県制度資金及びマル経資金融資の24回分の利子全額を補助  ・確定額:6,079,625円(60件分)  (2)基金条例に基づく基金積立金  ・次年度以降の利子補給積立額:23,920,375円</p> <p>5. <u>感染予防対策取組支援金</u>／14,280,000 円  <b>【特別警報Ⅱ発出市町村飲食業等支援交付金充当:10,200,000 円】</b>  ・感染予防に取組む村内事業者へ一律2万円を支給(※関連する交付金の支給を受けた事業者を除く)、交付決定対象施設数:714、支給総額:14,280,000円</p> <p>6. <u>感染拡大防止特別支援金</u>／19,960,000 円  <b>【特別警報Ⅱ発出市町村飲食業等支援交付金充当:19,400,000 円】</b>  ・長野県の休業・時短要請の指定区域外で、自主的に休業又は時短営業した飲食業等事業者へ支援金を支給(対象期間:2021/1/29～2/11)  ・1店舗につき4万円×対象日数(最大56万円)  ・交付決定対象施設数:36、支給総額:19,960,000円</p>					
	予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
	178,087,000	178,085,098	173,444,000			4,641,098

6款	観光商工費	2項	商工費	1目	商工振興費
----	-------	----	-----	----	-------

事業名	地域支えあいプラスワン消費促進事業	決算書の頁	P. 69
-----	-------------------	-------	-------

事業内容	<p>1. 白馬村・小谷村地域支えあいプレミアム付商品券事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・域内事業者ができるだけ早く元気を取り戻せるよう、地域一丸となって消費を喚起・下支えすることを目的に、額面1万円の商品券を5千円で販売(プレミアム率100%)</li> <li>・白馬村の一次販売は、子育て世帯は5冊まで、その他世帯は3冊まで(未購入残余分は、希望者の申し込みによる二次販売を実施)</li> <li>・本事業は、白馬村と小谷村の広域事業として実施、そのため、白馬村と小谷村の間で事務事業の実施、経費の負担割合、経費の精算等に関する協定を締結</li> </ul>
------	--

実績	<p>1. 白馬村・小谷村共通商品券事業費/98,323,193円</p> <p>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当:22,867,000円】</p> <p>【地域支えあいプラスワン消費促進事業補助金充当:44,906,000円】</p> <p>(1)販売実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終販売冊数:13,504冊(購入率:99.77%)(子育て:3,216冊、その他:7,594冊、二次販売:2,694冊)</li> <li>・参加登録事業者数:412(白馬村:324、小谷村:88)</li> </ul> <p>(2)事業実績等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2村における消費需要喚起額(=換金額):176,406千円(換金率:99.29%)、域内への生産誘発額:55,160千円(推計)</li> <li>・大型店舗(大規模小売店舗)換金割合:37.2%/換金合計額</li> </ul> <p>(3)事業経費内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象事業補助金(プレミアム分+事務経費分):97,627,496円(補助事業者:白馬商工会)</li> <li>・その他直接経費:695,697円</li> </ul>
----	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( 分 担 金 )	一 般 財 源
98,338,000	98,323,193	67,773,000		30,371,914	178,279

7款	土木費	1項	土木管理費	1目	土木総務費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	土木総務事業	決算書の頁	P. 70
-----	--------	-------	-------

事業内容	1. 上部機関や各種団体との連絡調整により道路の整備促進に努める。 2. 道路等の工事設計書作成業務 3. 各種許可申請及び意見書交付
------	---

実績・成果	1. 道路関係の各種団体負担金 6,779,520 円 ①【ふるさと白馬村を応援する基金 6,600,000 円繰入(白馬駅前無電柱化工事負担金)】 広域連合土木振興事業負担金 174,000 円 2. 設計業務システム 借上料 447,600 円 3. 各種許可申請受理及び意見書交付件数 砂利・砂防・河川関係申請 22 件 特殊車両・道路関係申請 33 件 行政財産使用許可申請 5 件 道路・公共物占用許可申請(新規) 68 件 道路・公共物占用許可申請(変更・継続) 137 件 道路・公共物自営工事申請 15 件 4. その他支出額(人件費等) 34,971,388 円
-------	---

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
42,571,000	42,372,508			6,600,000	35,772,508

7款	土木費	2項	道路橋梁費	1目	道路橋梁総務費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	道路橋梁総務事業	決算書の頁	P. 71
-----	----------	-------	-------

事業内容	1. 道路台帳補正業務 現況測定による、村道の管理台帳の更新。交付税算定基礎にも用いる。

実績	1. 道路台帳補正業務 2,893,000 円 総延長                  328,415.59m 路線数                  557 線 橋梁数                  111 橋 鉄道との交差数          23 箇所 トンネル数              1 基
	【主要な補正(異動)】 ・三日市場地区 村道 1126 号線 路線新規認定 (レストラン樵周辺) ・三日市場地区 村道 1107 号線 路線区域変更 (村道反田橋部分)  ・【成果物】 ・調書ファイル・電子帳票 正副各 1 冊(電子帳票 DVD1 枚) ・補正対象図面数 15 面 ・道路台帳図製本 3 冊×1 部 ・GIS システム構築  2. その他支出額(公用車経費等) 618,014 円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,524,000	3,511,014				3,511,014

7款	土木費	2項	道路橋梁費	2目	道路維持費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	道路維持補修事業	決算書の頁	P. 71
-----	----------	-------	-------

事業内容	<p>1. 村道の老朽化などに伴う損傷個所の修繕(道路穴埋め、水路補修等)を行う。</p> <p>2. 各行政区の村普請等に係る原材料支給(U字溝、砕石等)を行う。</p> <p>3. 直営作業が困難な、道路維持に係る作業委託(風、雪等による倒木処理等)を行う。</p> <p>4. 直営管理が困難な、道路施設管理委託(サンサンパーク芝生地、平川河川公園、松川河川公園)を行う。</p>
------	---

実績 ・ 成 果	<p>1. 維持補修工事費 <span style="float:right">38,243,920 円</span></p> <p>・緊急性が高いと判断できるもの、規模の比較的大きいもの、道路・水路機能として村民生活に支障をきたす可能性が高いと考えられる事案について下記のとおり補修を行った。</p> <table border="1" style="width:100%"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>主たる実施内容</th> <th>件数</th> <th>執行額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路維持に関わるもの</td> <td>村道陥没箇所の穴埋め 等</td> <td>24 件</td> <td>17,855,200 円</td> </tr> <tr> <td>水路維持に関わるもの</td> <td>U字溝のVS側溝化 等</td> <td>21 件</td> <td>17,173,200 円</td> </tr> <tr> <td>道路保安施設に関わるもの</td> <td>破損した縁石の補修 等</td> <td>9 件</td> <td>2,235,420 円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>無散水融雪設備の補修 等</td> <td>10 件</td> <td>980,100 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>64 件</td> <td>38,243,920 円</td> </tr> </tbody> </table>	種別	主たる実施内容	件数	執行額	道路維持に関わるもの	村道陥没箇所の穴埋め 等	24 件	17,855,200 円	水路維持に関わるもの	U字溝のVS側溝化 等	21 件	17,173,200 円	道路保安施設に関わるもの	破損した縁石の補修 等	9 件	2,235,420 円	その他	無散水融雪設備の補修 等	10 件	980,100 円	計		64 件	38,243,920 円
	種別	主たる実施内容	件数	執行額																					
	道路維持に関わるもの	村道陥没箇所の穴埋め 等	24 件	17,855,200 円																					
	水路維持に関わるもの	U字溝のVS側溝化 等	21 件	17,173,200 円																					
	道路保安施設に関わるもの	破損した縁石の補修 等	9 件	2,235,420 円																					
	その他	無散水融雪設備の補修 等	10 件	980,100 円																					
	計		64 件	38,243,920 円																					
	<p>2. 原材料支給費 <span style="float:right">5,917,431 円</span></p> <p>・村直営では予算や優先順位等の事情から早急に工事対応着手が困難な箇所について、各行政区の普請等により対応していただく箇所について下記のとおり材料支給を行った。</p> <p>・小規模な道路欠損(穴等)について村職員で対応するための資材(常温合材)を購入し、直営にて対応した。</p> <table border="1" style="width:100%"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>執行額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区作業により未舗装道等の不陸整正に利用する砕石、生コン 等</td> <td>1,341,271 円</td> </tr> <tr> <td>地区作業により土側溝の構造物化(U字溝、BF)、水路狭窄を防止する縞鋼板、Co蓋 等</td> <td>3,392,560 円</td> </tr> <tr> <td>村職員が直接対応する小規模な道路欠損に用いる常温合材</td> <td>1,183,600 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,917,431 円</td> </tr> </tbody> </table>	種別	執行額	地区作業により未舗装道等の不陸整正に利用する砕石、生コン 等	1,341,271 円	地区作業により土側溝の構造物化(U字溝、BF)、水路狭窄を防止する縞鋼板、Co蓋 等	3,392,560 円	村職員が直接対応する小規模な道路欠損に用いる常温合材	1,183,600 円	計	5,917,431 円														
	種別	執行額																							
	地区作業により未舗装道等の不陸整正に利用する砕石、生コン 等	1,341,271 円																							
地区作業により土側溝の構造物化(U字溝、BF)、水路狭窄を防止する縞鋼板、Co蓋 等	3,392,560 円																								
村職員が直接対応する小規模な道路欠損に用いる常温合材	1,183,600 円																								
計	5,917,431 円																								
<p>3. 村道維持作業委託費 <span style="float:right">1,350,389 円</span></p> <p>・風や雪による倒木処理(村道の通行に支障をきたすもの)で、村職員では対応が難しい作業等を委託した。</p>																									
<p>4. 道路施設管理委託費 <span style="float:right">698,000 円</span></p> <p>・道路、河川に付帯する施設の環境保全を目的に、主に草刈りを主体とした施設の管理を委託した。(サンサンパーク芝生地・平川河川公園・松川河川公園 等)</p>																									
<p>5. その他 会計年度任用職員報酬、光熱水費、消耗品費 ほか <span style="float:right">5,573,583 円</span></p>																									
<p>6. 備考 令和元年度からの繰越工事費 20,000,000 円を含む</p>																									

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (道路占用料)	一 般 財 源
51,942,000	51,783,323			7,687,164	44,096,159



7款	土木費	2項	道路橋梁費	2目	道路維持費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	除雪事業	決算書の頁	P. 71
-----	------	-------	-------

豪雪地帯である白馬村において、村民の安全な道路交通環境の確保、建物への損壊防止など冬季の円滑で良好な社会活動を目的として以下の除雪に関わる業務を実施する。

1. 村道除雪業務及び凍結防止剤散布業務を実施する。  
(備考)除雪業者の選定は、平成18年度から競争入札により決定。  
令和2年度除雪延長(車道)157.5km(歩道)22.2km 合計179.7km
2. 村道凍結防止施設(道路無散水消雪施設)管理に係る業務を行う。
3. 村道の凍結防止剤散布業務に用いる融雪剤を購入する。

実 績 ・ 成 果	1. 村道除雪業務及び凍結防止剤散布業務				
	① 委託費			256,062,230 円	
		路線・業務種別	延稼働時間	執行額	R1 比較
		一般路線除雪業務委託	8,363 時間	223,170,970 円	150,770 千円
		凍結防止剤散布業務	1,427 時間	24,492,050 円	2,586 千円
		歩道除雪業務委託	366 時間	4,279,880 円	2,988 千円
		残雪対策業務	452 時間	3,788,730 円	3,789 千円
		その他業務(構造物復旧 等)	—	330,600 円	△672 千円
		計	10,608 時間	256,062,230 円	159,461 千円
		※除雪業務の出動基準:15cm以上(天候により圧雪剥ぎや排雪作業の場合あり)			
	② 直営除雪費(路線外公共敷地等の除雪)			3,717,931 円	
	└ 主な実施対象箇所:役場駐車場、学校敷地内、社会体育施設駐車場 等				
			執行額	R1 比較	
			オペレーター報酬	1,378,626 円	503 千円
			除雪機燃料費	2,339,305 円	1,420 千円
			計	3,717,931 円	1,923 千円
	2. 凍結防止施設管理				
	① 機材借上料			3,286,800 円	
	定置式凍結防止剤散布機の賃借 6基(山麓区2基、青鬼区1基、岩岳トンネル3基)				
	② 無散水施設に係る電気料金	(R1 比較 △1,300,444 円)		5,633,694 円	
	3. 原材料購入費	(R1 比較 △2,928,013 円)		6,913,027 円	
	└ 消雪剤 ・環境配慮型エコフィールド(塩化ナトリウム+塩化マグネシウム) 90t				
	・塩化カルシウム 15t				
	4. その他			8,477,335 円	
	消耗品費、修繕費、除雪車両車検料 ほか				

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
284,202,000	284,091,017	40,505,106			243,585,911

7款	土木費	2項	道路橋梁費	3目	道路新設改良費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	村道改良国庫補助事業	決算書の頁	P. 72
-----	------------	-------	-------

事業内容	国土交通省道路局所管の国庫補助事業 社会資本整備総合交付金 補助率 0.505 改良・修繕ほか 道路メンテナンス補助金 補助率 0.5555 橋梁修繕・橋梁点検ほか 起債 公共事業等債 充当率:90% 交付税算入率:20%		
------	---	--	--

実績	1. 無散水消雪施設点検修繕 八方・和田野・ウイング 21 点検委託費・工事請負費	支出額 2,640,000 円
	2. 踏切改良 大和出踏切 踏切改良設計業務委託	支出額 0 円 繰越額 8,910,000 円
	3. 橋梁・トンネル修繕工事 (1) 姫川通橋 修繕工事 延長 65.1m 幅員 4.0m 工事請負費・設計監督委託費	支出額 52,602,000 円 繰越額 77,100,000 円
	(2) 木流2号橋 橋梁修繕工事 延長 2.9m 幅員 4.1m 工事請負費・設計監督委託費	支出額 1,270,000 円 繰越額 2,100,000 円
	(3) 中込橋 橋梁修繕工事 延長 13.5m 幅員 5.0m 工事請負費・設計監督委託費	支出額 5,000,000 円 繰越額 10,202,000 円
(4) その他(修繕・消耗品費等)	支出額 753,022 円	
		*予算額-決算額 102,311,978 円のうち 令和3年度への繰越額 102,300,000 円 (うち契約済額 98,312,000 円) (うち未契約額 3,988,000 円)

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
164,577,000	62,265,022	32,308,000	23,500,000		6,457,022

7款	土木費	2項	道路橋梁費	3目	道路新設改良費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	村道改良国庫補助事業（繰越）	決算書の頁	P. 72
-----	----------------	-------	-------

事業内容	国土交通省道路局所管の国庫補助事業		
	社会資本整備総合交付金	補助率	0.505
事業内容	舗装修繕		
	社会資本整備総合交付金(防災安全交付金)	補助率	0.5555
事業内容	橋梁修繕・トンネル修繕・ボックスカルバート修繕・橋梁点検等		
	起債		
事業内容	公共事業等債 充当率:90% 交付税算入率:20%		

実績 成果	1. 橋梁修繕工事		
	(1) 橋梁点検(18橋)		
	点検委託料	支出額	4,810,000円
	(2) 上小田原橋 橋梁修繕工事		
	延長72m 幅員7.0m	支出額	14,566,000円
実績 成果	(3) 橋梁修繕のための設計業務委託		
	姫川通橋ほか6橋	支出額	16,289,000円
実績 成果	(4) その他橋梁修繕費		
		支出額	220,000円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
36,147,000	35,885,000	19,093,000	11,800,000		4,992,000

7款	土木費	2項	道路橋梁費	3目	道路新設改良費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	村道改良起債事業	決算書の頁	P. 72
-----	----------	-------	-------

事業内容	地区の要望や舗装の個別施設計画により実施する事業 主な支出・・・工事請負費、設計等業務委託費、公有財産購入費、補償費		
	辺地債	充当率 100%	交付税算入率 80%
	防災対策事業債	充当率 100%	交付税算入率 28.5-57.0%
	公共施設等適正管理推進事業債	充当率 90%	交付税措置率 50%
	地方道路等整備事業債	充当率 90%	交付税措置 なし

実績・成果	道路改良	
	村道 0105 号線(八方)用地費	<u>6,261,972 円</u>
	④【ふるさと白馬村を応援する基金 6,100,000 円繰入】	
	道路災害防止 (防災対策事業債)	
	村道 3067 号線 どんぐり 落石・雪崩防護柵 L=35m W=5m	
	工事請負費・設計委託費	<u>39,701,000 円</u>
	舗装修繕 (公共施設等適正管理推進事業債)	
	村道 0105 号線 飯森～八方 L=498m A=4,766m <sup>2</sup>	
	舗装修繕工事請負費	32,780,000 円
	村道 2026 号線 飯田 L=300m A=2,530m <sup>2</sup>	
舗装修繕工事請負費	16,401,000 円	
村道 0107 号線 飯森 L=450m A=2,472m <sup>2</sup>		
舗装修繕工事請負費	10,945,000 円	
村道 0109 号線 和田野 L=390m A=2,164m <sup>2</sup>		
舗装修繕工事請負費	13,211,000 円	
	合計	<u>73,337,000 円</u>
その他(消耗品費等)		<u>66,000 円</u>

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
119,366,000	119,365,972		105,400,000	6,100,000	7,865,972

7款	土木費	2項	道路橋梁費	3目	道路新設改良費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	村道改良単独事業	決算書の頁	P. 72
-----	----------	-------	-------

事業内容	1. 南神城駅前整備期成同盟会負担金の償還 2. 村道確定事業(村道 0109・2159 号線(和田野線))に伴う用地測量 3. 村道確定事業に伴う臨時職員賃金・消耗品費ほか 4. 道路、水路等に関わる小規模工事請負費・実施設計委託料		
------	--	--	--

実績・成果	1. 南神城駅前整備期成同盟会負担金 令和4年で事業完了予定	4,911,683 円
	2. 測量委託業務委託料(境界杭設置等)	350,000 円
	3. 姫川サイクリングロード転落防護柵設置工事 深空～飯森 姫川右岸	946,000 円
	4. その他支出額(会計年度任用職員報酬等)	1,871,563 円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,091,000	8,079,246				8,079,246

7款	土木費	2項	道路橋梁費	4目	交通安全施設整備費
----	-----	----	-------	----	-----------

事業名	交通安全施設整備事業	決算書の頁	P. 73
-----	------------	-------	-------

事業内容	道路の安全な通行を確保するために、カーブミラー及びガードレール等の設置・修繕、路側線等の引き直し等による安全施設の視認性向上対策を行う。また、危険な場所を知らせるための注意看板設置等についても対応する。
------	---

実績・成果	1. 路側線等設置(引き直し含む) <span style="float: right;">1,023,000 円</span> 道路パトロール時の確認や交通量、地区や学校からの要望等を総合的に判断し、優先度を決めて路側線等の引き直し(補修)を行う。 └ 八方口区～白馬町区 村道 0106 号線(塩の道)ほか 路側線 八方区～瑞穂区 村道 0105 号線(オリンピック道路) 路側線 等主要村道、通学路を中心に修繕を実施。
	2. ガードレール等の設置・修繕 <span style="float: right;">1,060,400 円</span> ガードレールやガードポスト等の設置や破損箇所の修繕を行う └ 新田区～八方区 村道 0105 号線(山麓線)全線 ガードレール・ガードパイプ
	3. カーブミラーの設置・修繕 <span style="float: right;">401,500 円</span> 交通安全協会事務局(総務課)や学校、教育委員会と調整しながら、必要な箇所にカーブミラーを設置し、また曲がりやゆがみ等の状況に応じて修繕を実施する。 └ 青鬼区内7か所において修繕や角度調整等を実施。

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,500,000	2,484,900				2,484,900

7款	土木費	3項	河川費	1目	河川総務費
----	-----	----	-----	----	-------

事業名	河川総務事業	決算書の頁	P. 73
-----	--------	-------	-------

事業内容	<p>1. 上部機関や各種団体との連絡調整により河川・砂防の整備促進に努める。</p> <p>2. 小姫川河川修繕工事 地区要望により、平成 23 年度より修繕を実施している</p> <p>3. 県単河畔林整備事業 菅沢 県の補助事業 補助率 90%</p>
------	---

実績・成果	<p>1. 河川関係の各種団体負担金 <span style="float: right;">1,541,000 円</span></p> <p>2. 小姫川河川修繕工事 <span style="float: right;">492,800 円</span>        ↳ 平成 23 年度より、地区要望において地区作業での河川草刈り時に足場の安全確保と護岸保全が必要であるとの要望があったため、複数年計画の単独事業で河川保全工事を実施。令和2年度については南小学校道－国道交差点部から北側へ護岸保全のための組立柵渠改修工事(L=10.0m)および犬走り埋立て改修工事(L=25.0m)を実施。</p> <p>3. 県単河畔林整備事業 <span style="float: right;">6,018,000 円</span>        ↳ 神城断層地震により菅沢下流部の斜面が崩れ立木等が河川内に堆積しているため県の補助事業により伐採処分等を行うもの。令和 2 年から 3 か年を予定している。        令和 2 年度 設計委託料 <span style="float: right;">232,000 円</span>        仮設道路工 伐採工 <span style="float: right;">5,786,000 円</span>        (県補助金 5,400,000 円充当)</p> <p>◎【ふるさと白馬村を応援する基金 800,000 円繰入】</p>
-------	---

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
8,061,000	8,051,800	5,400,000		800,000	1,851,800

7款	土木費	4項	都市計画費	1目	都市計画総務費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	都市計画事業	決算書の頁	P. 73
-----	--------	-------	-------

事業内容	1. 都市計画法第29条第1項に規定する開発行為申請 非線引き都市計画区域内での 3,000 m <sup>2</sup> を超える開発についての協議・意見書の交付。
	2. 国土利用計画法第23条第1項に規定する届出 都市計画区域内 5,000 m <sup>2</sup> 、都市計画区域外 10,000 m <sup>2</sup> を超える土地の売買等届出の庁内意見集約と進達。
	3. 建築基準法第6条に規定する申請(建築確認申請) 都市計画法第53条に基づいて都市計画区域内に建築物を建築する際の申請について、庁内意見集約を行い、協議書を付する。

実績・成果	1. 開発行為(都市計画法第29条第1項)許可申請 2件 <input type="checkbox"/> 新田地区従業員寮施設 R2. 5. 13 29条変更意見書交付(H30. 11. 28当初交付) <input type="checkbox"/> 開発区域の面積: 5,969.00 m <sup>2</sup> 予定建築物用途: 従業員寮 <input type="checkbox"/> 和田野地区宿泊・分譲施設 R2. 8. 4 29条変更意見書交付(R1. 6. 6当初交付) <input type="checkbox"/> 開発区域の面積: 5,853.31 m <sup>2</sup> 予定建築物用途: 住宅分譲 (環境審議会は R1. 3. 27)
	2. 土地取引届出(国土利用計画法第23条第1項)に係る届出
	令和2年 6件 新田6件
	令和元年 4件 みそら野1件、落倉1件、瑞穂1件、新田1件
	平成30年 3件 和田野2件、落倉1件
	3. 建築確認(建築基準法第6条)申請件数(長野県提出分のみ)
	令和2年 65件 住宅等36件、営業施設19件、倉庫等10件
	令和元年 103件 住宅等46件、営業施設39件、倉庫等8件
	平成30年 99件 住宅等51件、営業施設36件、倉庫等12件
	4. 都市計画審議会報酬、都市施設協会負担金等 88,700円

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
133,000	88,700				88,700



7款	土木費	4項	都市計画費	1目	都市計画総務費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	立地適正化計画策定事業	決算書の頁	P. 73
-----	-------------	-------	-------

**事業内容**

近年、白馬村でも人口減少や少子高齢社会の到来、公共施設等の老朽化や大規模災害への備えなど、まちづくりに求められる課題は多様化している。また、人口減少は村の活力の低下を招き、結果として白馬村の財政を圧迫することとなる。

こうした多様かつ、複合的な課題に対応するため、今後のまちづくりには総合計画等に示された施策に加え、居住機能や医療・福祉・商業等の都市機能の立地、公共交通の充実に関する包括的なマスタープランを作成するとともに、民間の都市機能への投資や居住を効果的に誘導するための土俵づくり(多極ネットワーク型コンパクトシティ)が求められている。

立地適正化計画は、「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の考え方を推進するとともに、行政・村民・民間事業者が一体となって、コンパクトなまちづくりに取り組み、持続可能な地域社会を形成していくための土台となる計画として位置づけられる。

(R1-2 2カ年事業2年目)

**実績成果**

- 白馬村立地適正化計画庁内検討委員会の設置及び開催
  - 白馬村立地適正化計画庁内検討委員会設置要綱により関係各課の係長級を横断的に参集し、複数視点から計画の方向性、各課施策との整合について検討を実施。
    - └ R 2 開催状況 2回(各課施策との整合調整、計画原々案の提示 等)
- 白馬村立地適正化計画策定委員会の設置及び開催
  - 白馬村立地適正化計画策定委員会設置要綱により専門的知見から計画内容を協議していただくため設置。委員構成は15人以内で組織。任期は計画策定完了まで。
    - ・第2回 6/24 計画の前提条件整理、策定スケジュール 等
    - ・第3回 8/28 計画の方向性、区域の設定について
    - ・第4回 11/18 区域の修正、具体的施策と進行管理
    - ・第5回 2/16 パブコメ結果報告、原案の取りまとめ
- 関連諸業務
  - ①白馬村都市計画審議会：進行状況報告、原案の検討、意見聴取
  - ②白馬村議会：進行状況報告、計画案の協議
  - ③住民広報：広報紙での情報提供、パブリックコメントの実施
- 白馬村立地適正化計画策定基礎調査等業務委託等 8,043,000円
  - 白馬村都市計画区域全域を対象に白馬村第5次総合計画、白馬村都市計画マスタープラン等の上位関連計画に即し、都市計画基礎調査結果を踏まえて、白馬村立地適正化計画について調査検討、とりまとめを行い、計画素案作成を支援する。
  - ・【業務成果物】白馬村立地適正化計画策定基礎調査等業務委託報告書 3部  
(長野県、国土交通省関東地方整備局に1部ずつ提出)
- 立地適正化計画を策定することによるメリット
  - 都市構造再編集中支援事業において都市機能や居住環境の向上に資する公共公益施設の誘導・整備、防災力強化の取組等に対し集中的な支援と補助率の嵩上げ。
  - 景観計画の策定に関わる国庫補助(景観改善推進交付金)の採択条件 等。

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,043,000	8,043,000	4,004,000			4,039,000

7款	土木費	4項	都市計画費	2目	都市公園費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	都市公園維持管理事業	決算書の頁	P.74
-----	------------	-------	------

事業内容	1. 大出公園の維持管理事業		
------	----------------	--	--

実績・成果	実績・成果	
	(1) 維持管理業務の委託	620,712 円
	① 大出公園、地域生活基盤施設大出センター(かっぱの館) 55,000 円	
	大出区に委託している大出公園全般及び地域生活基盤施設大出センターの維持管理は、契約が適切に履行されていることから、今後も継続予定。	
	② 大出公園駐車場誘導業務 535,572 円	
	公益財団法人北アルプスシルバー人材センターに委託している駐車場誘導業務に関しても、契約が適切に履行されたことから、今後も継続して委託する予定。	
	③ 地域生活基盤施設大出センター 消防設備設置・点検 30,140 円	
	北部消防署の指導により、かっぱの館に消火器を2本設置及び点検を行った。3年に1回点検が必要となり、次回点検はR5年度。	
	(2) 修繕等	1,338,755 円
	① 大出公園内古径庵 外部腰壁張替工事 449,955 円	
古径庵の外部腰壁の腐食が激しかったため、張替を行い景観の保全を図った。		
② 大出公園駐車場整備工事 346,500 円		
大出公園駐車場の白線を新たに引き直し、障がい者専用駐車スペースの設置を行い駐車場の利便性の向上を図った。		
③ 大出吊橋補修工事 110,000 円		
大出吊橋の橋台部及びアンカーレッジ部に破損がみられたため、修繕を行い来園者の安全性の向上を図った。		
④ かっぱの館床の間修繕工事 93,500 円		
床の間部分の床が破損したため、修繕を行い利用者の安全性の向上を図った。		
⑤ 大出公園内高木枝打業務 287,100 円		
公園内支障木の枝打ちを行い、景観整備及び利用者の安全性の向上を図った。		
⑥ 大出公園誘導看板作製 51,700 円		
駐車場誘導看板を作成し、繁忙期の渋滞、事故の防止を図った。		
(3) 光熱水費及び燃料費等	171,356 円	
公園内施設の光熱水費及び燃料費並びに消耗品費を支出し、都市公園を適正に維持管理に努めた。		

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,216,000	2,130,823				2,130,823

7款	土木費	5項	住宅費	1目	住宅管理費
----	-----	----	-----	----	-------

事業名	村営住宅管理事業	決算書の頁	P.74
-----	----------	-------	------

事業内容	1. 村営住宅の維持管理を行う。 2. 長寿命化計画に基づく住宅の長寿命化(維持管理)事業を実施する。 ・白馬団地 2棟6戸(6戸空室) S53建設 PC造 ※令和3年度解体予定 ・森上団地 3棟6戸 S53建設 PC造 ・堀之内東団地 4棟8戸 H28建設 木造 ・堀之内西団地 3棟6戸 H28建設 木造 ・三日市場団地 2棟3戸 H28建設 木造 ・中学校西住宅 1棟1戸 H28建設 木造				
					計 30 戸

実績	1. 実績・成果	
	(1)修繕等	345,301 円
成果	住宅の破損、故障について、入居者の生活に支障がないよう、適切な修繕対応を行った	
	① 白馬団地53-14 漏水修理 11,000 円	
	② 堀之内西団地 B-2 畳表替え 27,401 円	
	③ 森上団地 53-5 トイレ取替 68,200 円	
	④ 森上団地防犯街路灯設備工事 238,700 円	
	(2)維持管理委託	209,800 円
	①白馬団地 石綿含有調査業務 129,800 円	
	村営住宅白馬団地の解体に係り、石綿含有調査を行った。結果は含有無しであった。	
	②堀之内東部農村広場区域 維持管理業務 80,000 円	
	堀之内東団地に隣接する堀之内東部農村広場区域について、草刈り等の作業を堀之内区に委託し適切に維持管理を行った。	
	(3)敷金等還付金	162,000 円
	・村営住宅を退去する者4名に対して、それぞれ敷金の還付を行った。	
	(4)移転補償費	400,000 円
	解体を予定している村営住宅白馬団地から他の住居へ移転する者に対し、引越等の費用として1世帯当たり100,000円の移転補償を行った。	
	(5)管理人謝礼	50,000 円
	各村営住宅入居者の中から管理人を任命し、修繕すべき箇所の報告等の入居者との連絡の集約を委任し、事務の円滑化を図った。	
	(6)その他	21,989 円
	消耗品費や空室における凍結防止帯に係る光熱水費を支出し、適正な維持管理に努めた。	
	2. 家賃収入	
	令和2年度 村営住宅貸付収入ほか 3,172,606 円	
	(参考)R2→R3に繰越	
	令和3年度への繰越工事費(村営住宅白馬団地解体工事) 8,000,000 円(→R3.6.30 竣工)	
	(地方債(公共施設等適正管理推進事業債) 充当率 90% 8,000*0.9=7,200 千円 共繰越)	

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9,263,000	1,189,090				1,189,090

7款	土木費	5項	住宅費	2目	住宅費
----	-----	----	-----	----	-----

事業名	克雪住宅普及促進事業	決算書の頁	P.74
-----	------------	-------	------

事業内容	克雪住宅(屋根の雪下ろし作業の必要のない住宅)の普及促進のため、住宅の新築、増築及び改築し住宅の克雪化を行う者に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。		
	対象住宅		
	融雪型 (新築、増改築、改修)	熱エネルギー(電気、ガス、灯油等)の利用により屋根融雪する方式	
	自然落雪型 (改修のみ)	屋根雪を人力によらず落下させる屋根構造により自然に落雪させる方式	
	雪下ろし型 (改修のみ)	命綱固定アンカー、雪止め金物の設置等、雪下ろし作業の安全性を確保するための措置を講じる方式	
事業内容	助成額		
		補助率	補助上限額
	融雪型	対象工事費の1/5 【高齢者世帯等は1/4】	60万円 【高齢者世帯は75万円】
	自然落雪型		45万円 【高齢者世帯は55万円】
	雪下ろし型	対象工事費の1/2	8万円

実績・成果	1. 実績 令和2年度は、下記1件の克雪化工事に対して補助金を交付。 自然落雪型 1件 450,000円(うち県補助金 300,000円) ※工事費 3,092,870円  融雪型、雪下ろし型の申請はなかった。  補助金の支出割合は、融雪型及び自然落雪型 県3分の2以下、村3分の1 雪下ろし型 県2分の1以下、村2分の1		
-------	---	--	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
450,000	450,000	300,000			150,000

8款	消防費	1項	消防費	1目	非常備消防費
----	-----	----	-----	----	--------

事業名	非常備消防事業	決算書の頁	P.75
-----	---------	-------	------

事業内容	1. 予防消防の推進と大規模災害への対応 2. 訓練・研修の充実と、消防協会による消防団員の資質向上、救護班の活動充実 3. 組織機能の充実と災害対応力の向上に向けた調査・研究 4. 消防団活動のPRによる地域住民・事業所の理解と協力促進
------	--

実績・成果	白馬村消防団員数 247 名			
	団員報酬	7,541,500 円	22,831,608 円	
	消防団員等公務災害補償等共済基金	5,306,251 円		
	退職報償金	5,371,000 円		
	その他事業費	4,612,857 円		
	1. 会議の開催・出席			
	(1) 正副分団長会議 年3回開催	(3) 大北消防協会		
	(2) 大北北部消防連絡協議会	(4) 本部員会議		
	2. 式典 白馬村消防団出初式(4月 中止)			
	3. 訓練の実施			
		実施訓練	実施時期	備考
		(1) 新入団員辞令交付式・規律訓練	4月	中止
		(2) 消防学校操法科入校	4月	中止
		(3) 非常呼集訓練	4月	中止
		(4) 大北消防協会 幹部・救護・ラッパ訓練、ポンプ操法講習会	6月	中止
	(5) 白馬村消防ポンプ操法大会	6月	中止	
	(6) 大北地区消防ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会	7月	中止	
	(7) 白馬村消防団中継訓練	10月	中止	
	(8) 秋季火災予防運動消防総合訓練	10月	中止	
	(9) 消防学校ラッパ科入校	12月	中止	
	(10) 大北北部消防連絡協議会冬季災害救助訓練	2月	中止	
	(11) 無線交信訓練	毎月7日	実施	
4. 災害出動				
	出動内容	出動日	出動人員	
	(1) 切久保建物火災	4月12日	94名	
	(2) 佐野林野火災	4月30日	91名	
	(3) 内山林野火災	5月13日	76名	
	(4) 和田野建物火災	3月20日	97名	
5. 啓発・警戒				
	(1) 春の火災予防運動	(3) 年末年始特別警戒		
	(2) 秋の火災予防運動	(4) 火災予防警戒(毎月7日)		

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (消防団員退職 報償金等)	一 般 財 源
23,018,000	22,831,608			5,547,000	17,284,608

8款	消防費	1項	消防費	2目	広域常備消防費
----	-----	----	-----	----	---------

事業名	常備消防事業	決算書の頁	P. 75-76
-----	--------	-------	----------

事業内容	1. 北アルプス広域連合への負担金
	2. 長野県消防防災ヘリコプター運行協議会への負担金 県内消防本部より派遣された消防吏員(8人)の人件費等

実績・成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北アルプス広域連合負担金</td> <td>146,655,000</td> </tr> <tr> <td>長野県消防防災ヘリコプター運行協議会市町村負担金</td> <td>303,200</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>146,958,200</td> </tr> </tbody> </table>		科目	金額(円)	北アルプス広域連合負担金	146,655,000	長野県消防防災ヘリコプター運行協議会市町村負担金	303,200	合計	146,958,200										
	科目	金額(円)																		
	北アルプス広域連合負担金	146,655,000																		
	長野県消防防災ヘリコプター運行協議会市町村負担金	303,200																		
	合計	146,958,200																		
	1. 白馬村における災害時の連携 2. 白馬村における訓練実施時の連携																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施訓練</th> <th>実施時期</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 白馬村消防団出初式</td> <td>4月</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>(2) 白馬村消防ポンプ操法大会</td> <td>6月</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>(3) 大北地区消防ポンプ操法大会に向けた指導会</td> <td>6月</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>(4) 少年少女消防フェスティバル</td> <td>8月</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>(5) 秋季火災予防運動消防総合訓練</td> <td>10月</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table>		実施訓練	実施時期	備考	(1) 白馬村消防団出初式	4月	中止	(2) 白馬村消防ポンプ操法大会	6月	中止	(3) 大北地区消防ポンプ操法大会に向けた指導会	6月	中止	(4) 少年少女消防フェスティバル	8月	中止	(5) 秋季火災予防運動消防総合訓練	10月	中止
	実施訓練	実施時期	備考																	
	(1) 白馬村消防団出初式	4月	中止																	
	(2) 白馬村消防ポンプ操法大会	6月	中止																	
(3) 大北地区消防ポンプ操法大会に向けた指導会	6月	中止																		
(4) 少年少女消防フェスティバル	8月	中止																		
(5) 秋季火災予防運動消防総合訓練	10月	中止																		
白馬村における出動件数【令和2年度】																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>出動</th> <th>分類</th> <th>件数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">北アルプス広域消防本部</td> <td>火災</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>救急</td> <td>616</td> <td>搬送人員 601名</td> </tr> </tbody> </table>		出動	分類	件数	備考	北アルプス広域消防本部	火災	2		救急	616	搬送人員 601名								
出動	分類	件数	備考																	
北アルプス広域消防本部	火災	2																		
	救急	616	搬送人員 601名																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>出動</th> <th>分類</th> <th>件数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長野県消防防災航空隊</td> <td>救急</td> <td>1</td> <td>長野県内 全17件</td> </tr> </tbody> </table>		出動	分類	件数	備考	長野県消防防災航空隊	救急	1	長野県内 全17件											
出動	分類	件数	備考																	
長野県消防防災航空隊	救急	1	長野県内 全17件																	

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 ( )	一般財源
146,978,000	146,958,200	241,000			146,717,200

8款	消防費	1項	消防費	3目	消防施設費
----	-----	----	-----	----	-------

事業名	消防施設管理事業	決算書の頁	P. 76
-----	----------	-------	-------

事業内容	1. 消防施設(消火栓・防火水槽等)の維持管理

実績・成果	内 容		金 額(円)
	1. 消火栓の維持管理		1,500,000
	2. 消防施設設置事業補助(沢渡区 防火水槽修繕)		319,000
	3. 消火栓設置		2,827,000
		瑞穂区 新設	935,000
		沢渡区 修繕	748,000
		みそら野区 修繕	1,144,000
	4. その他事業		1,155,000
		オゾンガス空間除菌装置購入	385,000
		立の間区避難路転落防止柵設置工事費	770,000
	合 計		5,801,000

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
5,816,000	5,801,000				5,801,000

8款	消防費	1項	消防費	4目	防災費
----	-----	----	-----	----	-----

事業名	防災事業	決算書の頁	P. 76-77
-----	------	-------	----------

事業内容	1. 災害用機器(防災行政無線、衛星携帯電話、震度計ネットワーク等)の整備及び維持管理 2. 非常用備蓄の購入 3. 防災に関する啓発活動 4. 自主防災組織に対する活動補助
------	--

実績・成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科 目</th> <th>金 額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 債務負担行為新防災情報配信システム整備工事 (全体契約額 278,300,000 円のうち 令和元年分 106,440,000 円)</td> <td>171,860,000</td> </tr> <tr> <td>2. 防災倉庫設置工事</td> <td>2,629,000</td> </tr> <tr> <td>3. 自主防災組織防災資機材購入補助 災害用テント購入(蕨平区)</td> <td>72,000</td> </tr> <tr> <td>4. 非常用備蓄購入 五目ごはん 1,000 食</td> <td>324,000</td> </tr> <tr> <td>5. 光熱水費 防災無線屋外子局 光熱費</td> <td>159,524</td> </tr> <tr> <td>6. 通信運搬費 地震計通信費等災害用機器通信費</td> <td>571,927</td> </tr> <tr> <td>7. 使用料及び賃借料 中継局敷地借上料 非常用電源設備リース料</td> <td>251,760</td> </tr> <tr> <td>8. その他</td> <td>319,143</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>176,187,354</td> </tr> </tbody> </table>		科 目	金 額(円)	1. 債務負担行為新防災情報配信システム整備工事 (全体契約額 278,300,000 円のうち 令和元年分 106,440,000 円)	171,860,000	2. 防災倉庫設置工事	2,629,000	3. 自主防災組織防災資機材購入補助 災害用テント購入(蕨平区)	72,000	4. 非常用備蓄購入 五目ごはん 1,000 食	324,000	5. 光熱水費 防災無線屋外子局 光熱費	159,524	6. 通信運搬費 地震計通信費等災害用機器通信費	571,927	7. 使用料及び賃借料 中継局敷地借上料 非常用電源設備リース料	251,760	8. その他	319,143	合 計	176,187,354
	科 目	金 額(円)																				
	1. 債務負担行為新防災情報配信システム整備工事 (全体契約額 278,300,000 円のうち 令和元年分 106,440,000 円)	171,860,000																				
	2. 防災倉庫設置工事	2,629,000																				
	3. 自主防災組織防災資機材購入補助 災害用テント購入(蕨平区)	72,000																				
	4. 非常用備蓄購入 五目ごはん 1,000 食	324,000																				
	5. 光熱水費 防災無線屋外子局 光熱費	159,524																				
	6. 通信運搬費 地震計通信費等災害用機器通信費	571,927																				
	7. 使用料及び賃借料 中継局敷地借上料 非常用電源設備リース料	251,760																				
	8. その他	319,143																				
合 計	176,187,354																					

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	その他(地方創生 臨時交付金)	一 般 財 源
176,531,000	176,187,354	48,250	136,300,000	2,629,000	37,210,104



9款	教育費	1項	教育総務費	1目	教育委員会費
----	-----	----	-------	----	--------

事業名	教育委員会総務事業	決算書の頁	P. 77
-----	-----------	-------	-------

事業内容	教育委員会の運営及び教育委員に関する事務について執行した。
	1. 教育委員活動 2. 大北市町村教育委員会連絡協議会等負担金の支出

実績・成果	1. 教育委員の活動 定例会と臨時会の開催を行うほか、教育に関わる各種会議や行事等に出席し、関係団体と連携を図り、本村の教育に関する事務を管理執行した。  (1) 定例教育委員会年12回（毎月） (2) 臨時教育委員会年 1回（4月4日） (3) 総合教育会議 年 2回（5月12日、2月18日） (4) 学校訪問 年 1回（北小 6月4日 南小、中学 6月5日）  その他、県教育委員会との会議等関係機関との会議、行事及び研修会等へ出席。  教育委員報酬（4名） 836,000 円 交際費 10,000 円
	2. 大北市町村教育委員会連絡協議会等負担金 関係団体への負担金及び会議参加負担金 426,400 円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
1,313,000	1,272,400				1,272,400

9款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費
----	-----	----	-------	----	------

事業名	教育委員会事務局一般事業	決算書の頁	P. 77 - 79
-----	--------------	-------	------------

事業内容	1. 就学時健康診断の実施 2. 教育長・一般職職員及び会計年度任用職員に係る人件費 3. 小中学校教職員福利厚生に係る事業 4. 私立高等学校等奨学補助事業 5. 義務教育施設整備基金積立 6. 事務局業務に係る諸経費 7. 学校のあり方検討委員報酬
------	--

実績成果	内 容		金額(円)	内 容	
	1	就学時健康診断(11/12 実施)	90,000	南北小学校合同開催 健診医 4名の報酬 (内科医2名・歯科医1名・耳鼻科医1名)	
2	特別職(教育長)・一般職及び会計年度任用職員に係る人件費	51,054,252	給料・手当・共済・退職手当負担金・報酬・費用弁償(6名分)		
3	小中学校教職員福利厚生費	1,130,000	教職員 12名		
4	私立高等学校等奨学補助金	560,000	1人 2万円 28名に補助		
5	義務教育施設整備基金積立金	40,000,582			
6	事務局事業に係る諸経費等				
	携帯メール学校連絡網利用料	128,700	絆ネット利用料 3校分		
	校務支援システム使用料	1,423,800	3校分 月額39,550円×12月×3校		
	教職員ストレスチェック等	162,891			
7	その他、公用車管理費用、消耗品等	1,844,595			
	学校のあり方検討委員報酬	64,600			
	合 計	96,459,420			

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと白馬基金1,400 教員住宅貸付ほか)	一 般 財 源
97,216,000	96,459,420			1,619,496	94,839,924

9款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費
----	-----	----	-------	----	------

事業名	教育相談事業	決算書の頁	P. 77-78
-----	--------	-------	----------

事業内容	<p>教育体制の指導強化のために平成 26 年度から教育相談事業を実施している。いじめや不登校、学力向上等の課題に対する相談と支援事業を行っている。</p> <p>1. 教育相談員の配置</p> <p>2. 学校心理士等による相談の実施</p>

実績・成果	<p>1. 教育相談員による相談・指導事業          教育相談員を事務局に置き、児童生徒とその保護者を対象とした教育相談に対応するとともに、福祉・子育て相談支援部門と連携を図り、学校サイドからの相談への対応・指導を行った。</p> <p>教育相談員 1 名 報酬は子育て支援課で支出</p> <p>2. 学校心理士等による相談事業          各校児童生徒・保護者へのカウンセリングを行うとともに教職員へのアドバイスを実施した。</p> <p>相談員2名 報償及び旅費 578,608 円</p>
	<p>特別な支援を必要とする児童・生徒への適切な対応や、家庭の養育力にかかわる問題、不登校への対応等、相談事業により詳細な実態の把握ができた。また、それらに係る学校への指導を円滑に実施できた。</p>

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
722,000	578,608				578,608

9款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費
----	-----	----	-------	----	------

事業名	学校環境整備事業	決算書の頁	P.78
-----	----------	-------	------

内容	小中学校の施設及び設備等の整備・改修のうち、比較的規模の大きなものや各校に共通する工事を計画的に実施した。また突発的修繕も本事業で対応している。
----	--

		工事・業務	金額(円)	内 容	
実 績 ・ 成 果	1	工 事	白馬南・北小学校情報通信ネットワーク環境整備 ※1	19,250,000	端末1人1台導入に合わせて、校内LAN、インターネット通信環境を整備する。
	2		白馬南・北小学校電話設備更新	2,343,000	校内電話設備一式の更新
	3		白馬北小学校北校舎トイレ改修	1,716,000	北校舎1階男子トイレの内装改修と洋式化。
	4		白馬北小学校 中校舎外壁改修ほか	1,715,120	北小:外壁修理・電動水抜栓交換工事ほか 南小:ランチルーム白アリ被害処理 中学:床修理・雪害屋根復旧ほか
	5	賃 借 料	小学校パソコン教室等リプレース 業務(情報機器リース料)	6,454,080	平成29年度に更新した機器リース料(4年目) 教師用PC48台(南18・北30) 教師用タブレット2台(南1・北1) 児童用タブレット90台(南22・北68)
	6	備 品 購 入	白馬南・北小学校 情報端末購入※1	25,623,400	端末一人1台導入を目的として整備 児童用タブレット425台(南110・北315) 教師用タブレット50台(南19・北31)
	7		電子黒板購入※2	1,111,000	北小:1台495,000円 中学:1台616,000円
	8		白馬北小学校 児童用机購入ほか ※2	1,109,900	北小:児童用机67台 845,900円 南小:実物投影機5台 264,000円
	9	修 繕	白馬中学校 FF暖房機修繕工 事(修繕)ほか	1,497,386	白馬中:FF暖房機3台の撤去交換・電気温水器 交換・オイルポンプ更新・排水防護蓋交換
	10	消耗品 ※1		206,500	オンライン授業用ヘッドセット等
繰 越 事	工 事	白馬中学校情報通信ネットワーク 環境整備工事・事務費 ※1	8,291,000	中学校の校内ネットワークを大容量高速化に 対応するための改修工事	
		合計	69,317,386		

※1 国庫補助事業 ※2ふるさと白馬村を応援する基金活用事業  
 国県支出金の内訳  
 学校施設環境改善補助金 26,789,000円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 22,537,000円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと白馬を 応援する基金)	一 般 財 源
69,775,000	69,317,386	49,326,000	4,100,000	2,200,000	13,691,386

9款	教育費	2項	小学校費	1目	学校管理費
----	-----	----	------	----	-------

事業名	南小・北小 学校管理事業	決算書の頁	P. 79
-----	--------------	-------	-------

事業内容	白馬南・白馬北小学校の維持管理のための経常的な経費が主なものであるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策に国庫補助事業を活用して消耗品や備品を整備した。		
		白馬南小学校	白馬北小学校
	クラス数	8 クラス	15 クラス
	児童数	103 名	313 名
	家庭数	79 世帯	227 世帯
	教職員数	17 名	33 名

実績・成果	維持管理に係る主な実績 義務教育施設における児童の安全を確保するための管理保全に係る業務として、経常的な業務を行うとともに、修繕等優先順位を決めて実施した。			
	(円)			
	科目	白馬南小学校	白馬北小学校	計
	給料・手当・費用弁償	2,497,450	2,387,446	4,884,896
	燃料費・光熱水費	3,314,370	5,652,582	8,966,952
	ガス代	153,276	54,052	207,328
	灯油代	1,541,401	1,603,521	3,144,922
	電気代	1,165,783	1,852,329	3,018,112
	上下水道料	453,910	2,142,680	2,596,590
	修繕費	2,421,782	1,693,232	4,115,014
	委託料	991,012	1,175,262	2,166,274
	備品購入費	526,300	1,270,115	1,796,415
	その他(消耗品・原材料)	1,130,867	855,398	1,986,265
	合計	10,881,781	13,034,035	23,915,816
	上記修繕費のうち主な修繕箇所			
区分	内 容			
白馬南小学校	グラウンド亀裂補修工事、プール更衣室等建具修繕工事、黒板修繕、除雪機修繕、北校舎灯油配管修繕、蓄圧式消火器入替 他			
白馬北小学校	3年1組児童用ロッカー入替、地下タンク用検知管頭部取替、教室・被服室・調理室網戸取付、5年教室FF暖房機修理 他			

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (体育館使用料)	一 般 財 源
24,214,000	23,915,816	2,512,000		4,400	21,399,416

9款	教育費	2項	小学校費	2目	教育振興費
----	-----	----	------	----	-------

事業名	南小学校教育振興事業	決算書の	P. 79 - 81
-----	------------	------	------------

事業内容	白馬南小学校の教材・備品等の適切な整備と教育振興に必要な事業を行う。 令和2年度 学校基本調査 (単位:名)													
	教職員	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	支援講師	栄養職員	務 務	図書館事	用務員	小計	合計
	県費	1	1	8	1	1	1						13	17
	村費							3			1	4		

実績・成果	白馬南小学校教育活動を支える教育振興事業				
	<p>県費教職員の配置だけでは対応が難しい特別な支援を必要とする児童への教育支援員や、英語指導をフォローするALTを村費で配置し、学習活動を円滑に行えるよう配慮している。また、各健診等を実施し学校医による児童・教員の健康管理を行い、学校関係者評価を導入して学校運営の改善に努めている。必要とする教具備品や学校図書についても活動に支障のないように配備した。また指導書の購入にふるさと白馬村を応援する基金を繰り入れた。</p>				
	内 容		金 額(円)	内 容	金 額(円)
	報 酬	学校医(5名)	490,000	スキー教室コーチ委託料	270,000
		ALT賃金(1名)等	872,570	事務OA機器等借上料	73,752
		会計年度任用職員給料・手当(3名)	9,518,580	土地借上料(畑)	3,400
	報 償	外部講師謝礼	95,845	コピー使用料	206,923
		学校関係者評価委員(11名)	79,800	パソコンソフト使用料	424,600
		記念品	35,800	図書購入費	500,000
		消耗品費	4,167,556	教具備品購入費	531,544
		印刷製本費	189,568	校長会負担金等	57,010
		修繕費	57,750	PTA 教育環境増進活動事業補助金	150,000
		通信運搬費等	499,611	課外活動補助金	50,000
		ピアノ調律手数料	85,900	遠距離通学補助金(29名)	385,400
		学校災害共済保険料	96,305	準要保護児童援助費(12名)	209,160
		クリーニング料	17,600	特別支援教育就学奨励費(4名)	32,113
		PC保守委託料	591,800	その他(旅費・テレビ受信料)	38,843
	児童検診、教員健康診断等	386,457	合計	20,117,887	
国県支出金の内訳 子ども・子育て支援交付金等 122,000円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 264,000円					

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地方債	そ の 他 (ふるさと基金)	一般財源
20,602,000	20,117,887	386,000		1,700,000	18,031,887

9款	教育費	2項	小学校費	2目	教育振興費
----	-----	----	------	----	-------

事業名	北小学校教育振興事業	決算	P. 79 - 81
-----	------------	----	------------

事業内容	白馬北小学校の教材・備品等の適切な整備と教育振興に必要な事業を行う。 令和2年度 学校基本調査 (単位:名)													
	教職員	校長	教頭	教諭	諭養護教	諭栄養教	講師	員事務職	師支援講	事務	図書館	用務員	小計	合計
	県費	1	1	16	1		5	1					25	33
村費						1		5	1	1		8		

実績・成果	白馬北小学校教育活動を支える教育振興事業				
	<p>県費教職員の配置だけでは対応が難しい特別な支援を必要とする児童に、きめ細やかな指導を可能とする支援員と英語指導をフォローするALTを村費で配置し、学習を円滑に行えるように配慮した。また、各健診等を実施し、学校医による児童・教員の健康管理を行った。また、学校関係者評価を導入し、学校運営の改善に努めている。必要とする教具備品や学校図書についても適切に整備した。指導書の購入と日本語指導講師の報酬にふるさと白馬村を応援する基金を繰り入れた。</p>				
	内 容		金 額(円)	内 容	金 額(円)
	報 酬	学校医報酬(5人)	618,000	スキー教室コーチ委託料	855,000
		ALT・日本語指導講師(2名)等	2,181,565	自動車等借上料	104,500
	会計年度任用職員給料・手当(6名)		18,289,595	事務OA機器等借上料	237,888
	報 償	学校関係者評価委員報酬(9名)	79,800	コピー使用料	271,369
		外部講師謝礼	113,291	パソコンソフト使用料	508,200
		記念品	96,117	図書購入費	1,263,766
	消耗品費		5,146,998	教具備品購入費	1,442,523
	印刷製本費		111,635	校長会負担金等	58,025
	修繕費		271,810	PTA 教育環境増進活動事業補助金	150,000
	通信運搬費等		501,684	課外活動補助金	100,000
	ピアノ調律手数料		50,132	遠距離通学補助金(49名)	628,600
	学校災害共済保険料		289,850	準要保護児童援助費(34名)	673,090
	クリーニング料		14,080	特別支援教育就学奨励費(12名)	106,065
	PC保守委託料		750,200	その他(旅費・テレビ受信料・飼料費・土地借上料)	51,512
児童検診、教員健康診断等		1,193,966	合計	36,159,261	
国県支出金の内訳 子ども子育て支援交付金等 266,000円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 522,000円					

予算額(円)	決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地方債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
36,589,000	36,159,261	788,000		2,700,000	32,671,261

9款	教育費	2項	小学校費	2目	教育振興費
----	-----	----	------	----	-------

事業名	スクールバス運行事業	決算書の頁	P. 80
-----	------------	-------	-------

事業内容

白馬村内小学校の児童のうち、通学が遠距離となる地区の児童が安全に通学できる交通手段を検証するために、スクールバスを運行した。  
乗車対象者は、通学距離が概ね片道 3.5km 以上の地区に自宅がある児童とし、熊出没時期及び積雪時期にあたる 11 月から 2 月までの約 4 か月間の運行を行った。

実績・成果

1. 乗車対象地区（運行車両）  
白馬南小学校（大型バス1台）  
めいてつ、飯森の一部、堀之内、三日市場  
※堀之内、三日市場は通学路の状況を鑑み2月の1週間程度運行
- 白馬北小学校（マイクロバス1台、大型バス2台、ジャンボタクシー1台）  
落倉、切久保、どんぐり、山麓、和田野、みそら野、エコーランド、野平、嶺方  
※野平、嶺方はタクシー対応

2. 月毎乗車率 (%)

	登校	下校
11月	72.8	62.8
12月	70.6	59.9
1月	68.2	61.7
2月	69.3	60.5

3. 支出内訳 (円)

	バス	タクシー	小計
11月	3,272,500	438,957	3,711,457
12月	3,272,500	438,957	3,711,457
1月	3,272,500	94,378	3,366,878
2月	3,272,500	36,108	3,308,608
合計	13,090,000	1,008,400	14,098,400

※タクシーについて、運行ルート変更等により、委託料に減額が生じたため1、2月に支出額の変更があります。

試験運行という事で、予算編成時点においては夏2か月、冬2か月の運行を計画していたが、3月以降は新型コロナウイルス感染症に伴う学校休業や感染予防の観点及び準備期間不足という事もあり、夏の期間はスクールバスを運行することができず、夏期の運行は11月からに変更した。雪のない2か月、雪の降る2か月の試験運行を通じて、それぞれの時期の課題を探ることができた。



予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 ( )	一般財源
14,099,000	14,098,400				14,098,400



9款	教育費	3項	中学校費	1目	学校管理費
----	-----	----	------	----	-------

事業名	中学校管理事業	決算書の頁	P. 81 - 82
-----	---------	-------	------------

事業内容	白馬中学校の維持管理のための経常的な経費が主なものであるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策に国庫補助事業を活用して備品や消耗品を整備した。			
		白馬中学校		
	クラス数	9クラス		
	生徒数	203名		
	家庭数	185家庭		
	教職員数	28名		

実績・成果	1. 維持管理に係る主な実績 義務教育施設における生徒の安全を確保するための管理保全に係る業務として、経常的な業務を行うとともに、修繕等優先順位を決めて実施した。			
	科目	金額(円)		
	会計年度任用職員(給料・手当等)	2,545,551	燃料費・光熱水費	4,450,428
	消耗品	630,216	ガス代	24,779
	修繕費	681,406	灯油代	1,722,210
	委託料	570,272	電気代	2,244,169
	備品購入費	991,210	上下水道料	459,270
	合計			9,869,083
	2. 上記修繕費の内訳(単位:円)			
地下タンク修繕	215,226	カーテン交換	139,700	
FF暖房機修繕	135,520	除雪機修繕	88,050	
その他	102,910	合計	681,406	
3. 上記備品購入費の内訳(単位:円)				
電子黒板	602,800	加湿空気清浄機4台	198,000	
ソファベッド	122,650	掃除機2台	67,760	
合計			991,210	
国県支出金の内訳 学校保健特別対策事業補助金 500,000円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 509,000円				

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳(円)			
		国県支出金	地方債	その他 (雑入)	一般財源
10,026,000	9,869,083	1,009,000		13,380	8,846,703

9款	教育費	3項	中学校費	2目	教育振興費
----	-----	----	------	----	-------

事業名	中学校教育振興事業	決算書の頁	P. 82 - 83
-----	-----------	-------	------------

事業内容	白馬中学校の教材・備品等の適切な整備と教育振興に必要な事業を行う。 令和2年度 学校基本調査 (単位:名)													
	教職員	校長	教頭	教諭	論養護教	諭栄養教	講師	員事務職	師支援講	事務	図書館	用務員	小計	合計
	県費	1	1	13	1	1	2	1					20	28
	村費								6	1	1	8		

実績成果	白馬中学校教育活動を支える教育振興事業					
	<p>県費教職員の配置だけでは対応が難しい特別な支援を必要とする生徒への教育支援員やICT支援員、英語指導をフォローする ALT を村費で配置し、学習活動を円滑に行えるよう配慮している。また、各健診等を実施し学校医による生徒・教員の健康管理を行い、学校関係者評価を導入して学校運営の改善に努めている。必要とする教具備品や学校図書についても活動に支障のないよう配備した。</p>					
	内 容		金 額(円)	内 容		金 額(円)
	報 酬	学校医等(5名)	554,000	PC保守委託料	2,002,000	
		ALT・ICT・講師等	6,386,743	生徒検診、教員健康診断等	526,865	
		部活動指導員(3名)	352,400	スキー教室コーチ委託料	135,000	
	会計年度任用職員給料等(4名)		12,594,899	事務OA機器等借上料	379,328	
	報 償	学校関係者評価委員(7名)	117,800	情報教育環境整備リース料	14,856,780	
		登山案内人・外部講師	147,000	コピー使用料	402,387	
		記念品・生徒奨励金	107,500	図書購入費	599,295	
	消耗品費		3,330,282	教具備品購入費	1,213,630	
	印刷製本費		109,641	校長会負担金等	110,625	
	修繕費		54,780	スキー大会派遣補助金	437,610	
	通信運搬費等		519,202	遠距離通学補助金(28名)	729,500	
	ピアノ調律手数料		52,900	準要保護児童援助費(29人)	1,226,269	
学校災害共済保険料		189,340	特別支援教育就学奨励費(10人)	215,407		
クリーニング料		19,580	その他(旅費・受信料・課外活動)	292,708		
			合計	47,663,471		
国県支出金の内訳 特別支援教育就学奨励費補助金 405,000円 部活動指導員任用補助金 230,000円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,137,000円						

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (基金利子)	一 般 財 源
48,468,000	47,663,471	2,772,000		4,812	44,886,659

9款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費
----	-----	----	-------	----	------

事業名	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	決算書の頁	P. 78
-----	---------------------------	-------	-------

事業内容	<p>学校環境整備事業では、国の進める GIGA スクール構想が、新型コロナウイルス感染症流行の影響で、事業が前倒しになり整備が急速に進むことになった。白馬村では学校施設環境改善補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を活用し、村内学校でのタブレット型端末1人1台体制の構築や小学校内の通信環境等を整備した。なお、このページの事業費は学校環境整備事業の内数を再掲した。</p>
------	---

実績・成果	<p><b>【学校環境整備事業】</b>          学校環境整備事業の中で、令和2年度は小学生のタブレット型端末1人1台導入を主とした整備を行った。中学生は既に端末を1人1台導入済みであるので、まだ導入されていない小学生分の端末を1人1台購入し、併せて学校内の通信ネットワーク環境の整備等を行った。          財源は、学校施設環境改善国庫補助金 22,623,000 円と、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 22,537,000 円を活用した。</p>
	<p><b>【総事業費】</b> 45,161,278 円</p> <p><b>【主な整備内容】</b></p> <p>①白馬南・北小学校 情報端末購入業務(備品購入費) 25,623,400 円          児童用タブレット 425 台、教師用タブレット 50 台を購入。</p> <p>②白馬南・北小学校 情報通信ネットワーク環境整備工事(工事請負費等) 19,344,000 円          端末1人1台を見据えて校内のLAN工事を行った。ケーブルCAT6 A配線、アクセスポイントを40か所以上設置。</p> <p>③オンライン学習のための情報機器を購入(消耗品・備品購入費) 193,878 円          オンライン学習に使う教師用ヘッドセット等30台、簡易実物投影機2台 購入</p> <p>端末を1人1台導入し、遠隔学習のための情報機器等を購入したことにより、小学校でも非常時の際にはオンライン学習が可能となった。また、校内の通信環境を整備したことにより、インターネットや動画を活用した授業がスムーズに行えるようになった。</p>



予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
45,162,000	45,161,278	45,160,000			1,278

9款	教育費	2・3項	小学校費・中学校費	1目	学校管理費
----	-----	------	-----------	----	-------

事業名	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	決算書の頁	P. 79 - 81
-----	---------------------------	-------	------------

**事業内容**

学校管理事業では、学校保健特別対策事業補助金を活用し、小中学校で感染症対策に必要な備品や消耗品を学校の判断でスピーディーに整備した。事業費から補助金を除いた残額には新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充てており、村からの持ち出しはほとんどなく必要なものを整備した。なお、このページの事業費は学校管理事業の内数を再掲した。

**【学校管理事業】**

村内小中学校の維持管理を行う学校管理事業の中で、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策を行うために国庫補助事業を活用した。これは、各学校で新型コロナウイルス感染症対策に必要な備品や消耗品の調達に対して国から補助金を受け整備したもの。財源は、学校保健特別対策事業国庫補助金 1,750,000 円と、事業費の残額に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,771,000 円を充当した。国庫補助金は、学級数等に応じて交付され、南小と中学はそれぞれ 50 万円、北小は 75 万円が交付されている。

**【総事業費】** 3,521,009 円  
 内訳 南小 1,010,986 円 北小 1,501,404 円 中学 1,008,619 円

**【主な整備内容】**

事業により整備したものの主なものは以下のとおり。

費目	感染症対策内容	整備したもの
備品類	密をさげ、空き教室で分散授業を行うため	電子黒板、机、椅子
	積極的に換気を行うため	網戸の設置
	健康状態の確認などのため	非接触体温計、診察台等
	乾燥した空間を避けるため	加湿器
消耗品類	手指消毒の励行	オートディスペンサー
	授業での飛沫感染防止のため	マスクやマウスシールド
	日常の手指消毒用品	石鹸、薬用アルコール
	清掃、消毒作業用品	ペーパータオル、次亜塩素水



各学校に必要な備品、消耗品をスムーズに調達することができ、学校における新型コロナウイルス感染症対策が充実した。




※下記予算額、決算額は2項小学校費、3項中学校費の内数。

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
3,522,000	3,521,009	3,521,000			9

9款	教育費	2・3項	小学校費・中学校費	2目	教育振興費
----	-----	------	-----------	----	-------

事業名	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	決算書の頁	P. 79 - 83
-----	---------------------------	-------	------------

事業内容	各学校の教育振興事業では、新型コロナウイルス感染症による学校休業などでも学びを止めないためにオンライン授業などができるように、新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を活用し、必要なパソコンソフトや学習機材の整備や、教師をサポートするGIGAスクールサポーターの配置をした。なお、このページの事業費は小学校教育振興事業と中学校教育振興事業の内数を再掲した。
------	---

実績・成果	<p><b>【教育振興事業】</b>          新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業を活用して、公立学校臨時休業に伴うオンライン学習推進事業として、以下の整備を行った。</p> <p><b>【総事業費】</b> 2,923,520円</p> <p><b>【主な整備内容】</b>          中学校ではタブレットを持ち帰り学習ができるように設定を変更してオンライン授業を行っている。また、小学校では家庭のパソコンから利用できるパソコンソフトやデジタル学習用の機材を整備した。</p> <p>南小学校教育振興事業 パソコンソフト使用料 264,000円          北小学校教育振興事業 パソコンソフト使用料 264,000円          簡易実物投影機6台購入(教具備品購入) 258,720円          中学校教育振興事業 タブレット端末利用設定変更委託(PC保守委託料) 792,000円          パソコンソフト使用料 242,000円          インターネット接続料(通信運搬費) 75,000円          デジタル教科書使用権取得料(情報教育環境整備リース料) 283,800円</p>   <p>オンライン授業等の学習をサポートするために、ICT支援のGIGAスクールサポーターを1名配備して、授業のサポートを行った。</p> <p>中学校教育振興事業          GIGAスクールサポーター報酬(会計年度任用職員報酬) 744,000円</p>  <p>学校のオンライン学習機能の強化を図ることができた。また、GIGAスクールサポーターを配置し、1人1台端末の積極的な利活用を促進した。春の臨時休業期間においても、交付金を活用し臨機応変にシステム変更等の作業が進められた。中学のオンライン授業は全国的にも先進事例として取り上げられている。          ※下記の決算額は小学校費、中学校費の内数。</p>
-------	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
2,924,000	2,923,520	2,923,000			520

9款	教育費	4項	社会教育費	1目	社会教育総務費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	社会教育一般事業(人権教育事業)	決算書の頁	P.83-84
-----	------------------	-------	---------

事業内容	<p>ウイング 21 にてコンサート等の公演を行い、芸術文化に触れる機会の充実に努めた。成人式については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため延期した。次代の社会を担う青少年が心身ともに健やかに成長できるよう、家庭・学校・地域住民・企業・関係団体と連携して、安全で安心して暮らすことができる環境整備・普及啓発活動に努めた。村内各地区の子ども会育成会と連携を図り、子どもたちの健全育成のために各種行事を実施した。</p>
------	---

実績・成果	<p>1. 社会教育委員会 社会教育委員会の開催(3回)、各種会議・研修会等への参加 社会教育委員報酬【133,800円】</p> <p>2. 青少年の健全育成のための環境整備、普及啓発活動等 (1)有害環境パトロール活動(8月7日(金)、参加者:PTA・社会教育委員・子ども会役員等) (2)青少年育成村民大会の開催(10月24日(土)、参加者:154人) 青少年育成村民会議負担金【197,761円】</p> <p>3. 成人式 &lt;新型コロナウイルス感染症の影響により延期&gt; (対象者 84名)</p> <p>4. ウイング 21 文化ホールにおける各種公演(芸術文化に触れる機会の創出) (1)主催事業 ①末吉朋子&amp;和田ひできコンサート &lt;延期&gt; ②中国雑技と伝統音楽 &lt;延期&gt; (2)共催事業 ①NAGANO 国際音楽祭 in 白馬 11月28日(土) 入場者数 174名 ②第6回 はつゆきコンサート 12月5日(土) 入場者数 120名 ウイング 21 芸術文化シリーズ実行委員会負担金【299,995円】</p> <p>5. 村内各地区を越えた子ども同士の交流ができる子ども会行事の実施 (1)夏の白馬村子ども会行事ー木流川観察会(8月5日(水) 15名参加) (2)冬の白馬村子ども会行事ーノルディックスキーこどもの日(2月23日(火) 45名参加) (3)全国子ども会安全共済会への加入 841名(150円/名) (4)大北地方子ども会フォーラム &lt;中止&gt; 白馬村子ども会連絡協議会・大北地方子ども会連絡協議会負担金【235,326円】</p> <p>6. その他(人件費・備品購入費・講師謝礼等)【9,733,332円】</p>
-------	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 (ふるさと基金)	一般財源
10,966,000	10,600,214	25,000		500,000	10,075,214

9款	教育費	4項	社会教育費	2目	公民館費
----	-----	----	-------	----	------

事業名	公民館一般事業	決算書の頁	P.84-85
-----	---------	-------	---------

事業内容	<p>1. 地域の身近な学習拠点・交流の場として、住民の学習ニーズや地域の実情に応じた公民館講座を開催するなど多様な学習機会を提供した。</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症の影響により村民運動会は中止としたが、文化祭は縮小して展示を行い、人々の集い・学び・ふれあいを創出して生涯学習の充実を図った。</p>
------	--

実績・成果	1. 公民館講座 村民のニーズ把握に努め、公民館講座を開催した。																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>講座名</th> <th>回数</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">はくば塾</td> <td>文学講座「わが詩・わが歌」</td> <td>1回</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>白馬の歩み～年表から歴史を振り返る～</td> <td>3回</td> <td>39名</td> </tr> <tr> <td>山麓めぐり勉強会</td> <td>7回</td> <td>67名</td> </tr> <tr> <td>歩いて白馬山麓を一周する</td> <td>6回</td> <td>117名</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">ふれあい教室</td> <td>ヘルシークッキング講座</td> <td>中止</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>そば打ち教室</td> <td>5回</td> <td>71名</td> </tr> <tr> <td>楽しい伝筆教室</td> <td>6回</td> <td>34名</td> </tr> <tr> <td>心と体の健康を楽しむ講座</td> <td>5回</td> <td>43名</td> </tr> <tr> <td>油彩画とパステル画教室</td> <td>4回</td> <td>58名</td> </tr> <tr> <td>SDGs 学習講座</td> <td>3回</td> <td>35名</td> </tr> <tr> <td>ドローン体験講座</td> <td>2回</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>民踊「白馬の踊り」教室</td> <td>中止</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">里山道中</td> <td>信越国境探索</td> <td>中止</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>山之神</td> <td>中止</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>スノーシュー東山</td> <td>1回</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>スノーシュー早川谷</td> <td>1回</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">歴史紀行</td> <td>黒部の神社と史跡巡り</td> <td>中止</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>佐久の神社と史跡巡り</td> <td>中止</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合 計</td> <td>537名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	講座名	回数	参加延人数	はくば塾	文学講座「わが詩・わが歌」	1回	21名	白馬の歩み～年表から歴史を振り返る～	3回	39名	山麓めぐり勉強会	7回	67名	歩いて白馬山麓を一周する	6回	117名	ふれあい教室	ヘルシークッキング講座	中止	1名	そば打ち教室	5回	71名	楽しい伝筆教室	6回	34名	心と体の健康を楽しむ講座	5回	43名	油彩画とパステル画教室	4回	58名	SDGs 学習講座	3回	35名	ドローン体験講座	2回	17名	民踊「白馬の踊り」教室	中止	1名	里山道中	信越国境探索	中止	1名	山之神	中止	1名	スノーシュー東山	1回	20名	スノーシュー早川谷	1回	15名	歴史紀行	黒部の神社と史跡巡り	中止	1名	佐久の神社と史跡巡り	中止	1名	合 計			537名
	区分	講座名	回数	参加延人数																																																															
	はくば塾	文学講座「わが詩・わが歌」	1回	21名																																																															
		白馬の歩み～年表から歴史を振り返る～	3回	39名																																																															
		山麓めぐり勉強会	7回	67名																																																															
		歩いて白馬山麓を一周する	6回	117名																																																															
	ふれあい教室	ヘルシークッキング講座	中止	1名																																																															
		そば打ち教室	5回	71名																																																															
		楽しい伝筆教室	6回	34名																																																															
		心と体の健康を楽しむ講座	5回	43名																																																															
		油彩画とパステル画教室	4回	58名																																																															
		SDGs 学習講座	3回	35名																																																															
		ドローン体験講座	2回	17名																																																															
		民踊「白馬の踊り」教室	中止	1名																																																															
里山道中	信越国境探索	中止	1名																																																																
	山之神	中止	1名																																																																
	スノーシュー東山	1回	20名																																																																
	スノーシュー早川谷	1回	15名																																																																
歴史紀行	黒部の神社と史跡巡り	中止	1名																																																																
	佐久の神社と史跡巡り	中止	1名																																																																
合 計			537名																																																																
講座講師謝礼【388,000円】																																																																			
2. その他公民館事業																																																																			
(1)村民運動会 <中止> (村民健康スポーツデー)																																																																			
(2)文化祭(作品展示:48団体、芸能発表はケーブルテレビ放映、映画上映・出店等は中止)																																																																			
(3)席書大会(参加者38名)																																																																			
(4)こーみんなま・ぱぱクリスマスパネルシアター(参加者80名)																																																																			
その他(公民館長・分館長・公運審委員報酬、消耗品、折込、保険掛金等)【4,380,016円】																																																																			

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (受講料・使用料)	一 般 財 源
5,323,000	4,768,016			297,600	4,470,416

9款	教育費	4項	社会教育費	3目	図書館費
----	-----	----	-------	----	------

事業名	図書館事業	決算書の頁	P.85-86
-----	-------	-------	---------

事業内容	図書館法に基づき、図書・記録・その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養・調査研究・レクリエーション等に資することを目的に白馬村図書館を運営した。白馬村図書館協議会を開催し、よりよい図書館運営を目指すために第三次図書館基本計画を策定した。
------	---

実績	図書館の運営・利用状況 司書(会計年度任用職員)フルタイム2名・パートタイム1名																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開館日数</td> <td>276日</td> <td>273日</td> <td>274日</td> </tr> <tr> <td>来館者数</td> <td>15,274人</td> <td>15,052名</td> <td>9,451名</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>25,710冊</td> <td>26,995冊</td> <td>26,687冊</td> </tr> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>54,671冊</td> <td>55,962冊</td> <td>56,512冊</td> </tr> <tr> <td>レファレンス件数</td> <td>1,004件</td> <td>1,246件</td> <td>780件</td> </tr> <tr> <td>図書等購入費</td> <td>1,299,763円</td> <td>1,299,779円</td> <td>1,294,620円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※蔵書冊数には視聴覚資料及び雑誌を含む ※レファレンスとは情報を求める利用者に対して提供される個人的援助のこと</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により来館者数は減少したものの、感染拡大期間には貸出冊数の上限を20冊に増やす等の対応をとることで、貸出冊数は前年並みとなった。季節や時事に応じた特設展示を15回行ったほか、北アルプス地域5館間の輸送車巡回による相互貸借や他館返却は利用が伸びている。また、北アルプス地域5市町村による図書館システム統合に向けて協議を行っている。</p> <p>蔵書冊数は年々増加しているが、現在の施設ではこれ以上開架冊数を増やすことが難しい。新たな図書館等複合施設については、官民連携の可能性を調査し、候補地を見直すこととした。</p> <p>消耗品費・修繕費・光熱水費・燃料費・通信運搬費等【1,661,405円】 図書館システム保守委託料・機器借上料等【1,232,012円】 児童室エアコン設置・トイレ洋式化等工事費【923,307円】 その他(司書・図書館協議会委員報酬、負担金等)【6,324,713円】</p>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	開館日数	276日	273日	274日	来館者数	15,274人	15,052名	9,451名	貸出冊数	25,710冊	26,995冊	26,687冊	蔵書冊数	54,671冊	55,962冊	56,512冊	レファレンス件数	1,004件	1,246件	780件	図書等購入費	1,299,763円	1,299,779円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																									
開館日数	276日	273日	274日																									
来館者数	15,274人	15,052名	9,451名																									
貸出冊数	25,710冊	26,995冊	26,687冊																									
蔵書冊数	54,671冊	55,962冊	56,512冊																									
レファレンス件数	1,004件	1,246件	780件																									
図書等購入費	1,299,763円	1,299,779円	1,294,620円																									
成果																												

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金等)	一 般 財 源
11,737,000	11,463,057	80,000		305,700	11,077,357



9款	教育費	4項	社会教育費	4目	文化財保護費
----	-----	----	-------	----	--------

事業名	文化財保護事業	決算書の頁	P.86
-----	---------	-------	------

事業内容	<p>村内の文化財等の保護及び活用に努め、村民の郷土理解の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国・県・村指定文化財の保護・活用・パトロール等</li> <li>・白馬連山氷河調査事業</li> <li>・神城断層地震震災の撓曲保護及びデジタルアーカイブ利活用</li> </ul>
------	--

実績成果	<p>1. 文化財パトロール・保護事業          村内天然記念物指定の桜の開花状況等調査(4月)          県文化財指導員と共に村内文化財(国・県指定)のパトロールを実施(6月)          (実施箇所: 神明社、銅制御正体、船山遺跡、八方尾根高山植物帯)          八方薬師堂のエドヒガンザクラが折れ、支柱の設置等を補助した。          八方区への補助金額【350,000円】(事業費 467,500円)</p> <p>2. 文化財審議委員会の開催 年3回(6月、10月、2月)          各種調査を行うとともに、村内の文化財の状況について現状や課題を共有して検討した。          文化財審議委員報酬【197,800円】</p> <p>3. 白馬連山氷河調査事業          唐松沢氷河に続き、白馬村内で氷河の可能性が高いとされる白馬沢・杓子沢・不帰沢について新潟大学・白馬山案内人組合等と調査を行った。(令和2~4年度)          委託料【3,767,000円】(事業費:5,650,000円(北ア地域振興局負担分:1,883,000円))</p> <p>4. 2014年長野県神城断層地震震災アーカイブの構築とその利活用に関する事業          (1) 神城断層地震の森上撓曲断層部を文化財として保存するために、現地の測量及び図化を行うとともに、代替地を取得した。          調査委託料【557,700円】          (2) 信州大学及び小谷村との3者共同研究として、神城断層地震の被災記録(写真や資料、被災者インタビュー動画など)をデジタルアーカイブとして電子データで集積保存し、これを活用した生涯学習や学校教育コンテンツを開発した上で、活用しながら地域独自で継承していける仕組みを構築し、震災記憶の継承と地域防災力の向上を図る。          負担金【1,100,000円】</p> <p>5. その他(旅費・消耗品・修繕費)【25,752円】</p>
------	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 (ふるさと基金)	一般財源
6,593,000	5,998,252			4,800,000	1,198,252

9款	教育費	4項	社会教育費	4目	文化財保護費
----	-----	----	-------	----	--------

事業名	伝統的建造物群保存事業	決算書の頁	P.86
-----	-------------	-------	------

事業内容	<p>平成12年12月に文化庁から重要伝統的建造物群保存地区に選定された青鬼地区において、文化庁や長野県教育委員会から指導・助言を得ながら、保存審議会を開催して指定物件(主屋・土蔵・石垣等)の保存及び活用の方向性を協議している。</p> <p>※地区内の指定物件については、劣化具合を精査して優先順位を付け、補助対象経費のうち、最低15%を個人負担として残りの85%を上限に補助を実施している。</p>
------	---

実績成果	<p>1. 伝統的建造物群保存地区保存審議会 *新型コロナウイルス感染症による事業先送りのため未開催</p> <p>2. 国宝重要文化財等保存・活用事業を活用した修理工事 *新型コロナウイルス感染症による事業先送りのため未開催</p> <p>3. お善鬼の館等維持管理 公開・共用施設として、地区内の「お善鬼の館」を借り受け、青鬼集落保存会に維持管理を委託して運営した。 委託料・光熱水費・浄化槽点検汲取手数料等【213,875円】</p> <p>4. パンフレット等制作 パンフレット及び伝統的建造物群保存地区選定20周年記念誌を作成した。 印刷製本費【361,913円】</p> <p>5. 全国伝統的建造物群保存地区協議会負担金【50,000円】</p>
------	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 (施設使用料)	一般財源
822,000	625,788			1,800	623,988

9款	教育費	5項	保健体育費	1目	保健体育総務費
----	-----	----	-------	----	---------

事業名	保健体育一般事業	決算書の頁	P87
-----	----------	-------	-----

事業内容	1. スポーツ推進委員会活動(白馬村スポーツ祭、少年スポーツ祭、大北縦断駅伝、体力年齢向上プロジェクト) 2. 白馬村スポーツ祭、少年スポーツ祭の開催 3. 体育協会活動補助 4. その他
------	---

実績	1. スポーツ推進委員会活動 (1)スポーツ推進委員報酬 585,000 円 (2)その他(傷害保険料) 16,650 円 <span style="float:right">【601,650 円】</span>
績	2. 白馬村スポーツ祭、少年スポーツ祭 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 スポーツ少年団(12 団体)活動、体育協会加盟団体(13 団体)活動の活動補助
成	3. 体育協会活動負担金補助金 (1)各種村民対象のスポーツ大会の開催 ①白馬村体育協会補助金 1,120,000 円 ②スポーツ少年団助成金 702,000 円 ③郡体協負担金等 70,937 円 <span style="float:right">【1,892,937 円】</span>
果	4. 審判委託料 白馬村スノースポーツ教室運営委託金 <span style="float:right">【286,000 円】</span> 5. その他 人件費 <span style="float:right">【10,094,161 円】</span>

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (ふるさと基金)	一 般 財 源
13,272,000	12,874,748			1,820,000	11,054,748

9款	教育費	5項	体育施設費	2目	体育施設費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	体育施設維持管理事業	決算書の頁	P87
-----	------------	-------	-----

事業内容	1. 体育施設の貸出状況 2. 体育施設の維持管理 3. 各種イベント、教室への会場提供等(白馬村体育協会加盟団体、スポーツ少年団、スポーツクラブでの教室開催等) 4. 大規模改修工事(アリーナ床研磨、天井・内壁改修、アリーナ照明 LED 化、ミーティングルーム設置工事、トイレ改修、多目的トイレ新設等)
------	---

実績・成果	1. 貸出状況 (1)利用者数 38,153 名 (2)収入金額 958,550 円
-------	--

施設名	利用者数(名)			収入金額(円)		
	令和元年度	令和2年度	比較	令和元年度	令和2年度	比較
北部トレセン	19,247	12,669	△6,578	847,750	286,600	△561,150
南部トレセン	5,813	4,131	△1,682	981,800	155,400	△826,400
B&G体育館	4,146	977	△3,169	47,500	5,800	△41,700
B&Gプール	6,223	5,385	△838	297,650	252,900	△44,750
北小体育館	4,114	744	△3,370	11,000	8,400	△2,600
南小体育館	1,575	340	△1,235	10,400	—	△10,400
北部グラウンド	16,657	10,706	△5,951	220,600	141,850	△78,750
南部グラウンド	7,061	2,316	△4,745	252,600	102,000	△150,600
中学グラウンド	308	265	△43	—	—	—
北小グラウンド	40	—	△40	—	—	—
南小グラウンド	420	620	200	4,000	5,600	1,600
合計	65,604	38,153	△27,451	2,673,300	958,550	△1,714,750

2. 維持管理費用

(円)

施設名	令和元年度	令和2年度	比較	令和2年度内訳			
				電気料	上下水道料	燃料費	電話料
北部グラウンド	852,041	737,873	△114,168	716,588	16,320	4,965	—
南部グラウンド	928,824	948,910	20,086	936,025	7,920	4,965	—
B&G プール	1,901,412	1,391,813	△509,599	572,318	470,670	313,964	34,861
B&G 体育館	361,159	298,116	△63,043	273,986	24,130	—	—
北部トレセン	713,349	548,925	△164,424	507,425	41,500	—	—
南部トレセン	309,130	307,093	△2,037	187,433	119,660	—	—
合計	5,065,915	4,232,730	△833,185	3,193,775	680,200	323,894	34,861

(1)消耗品費・・・	【316,941 円】
(2)委 託 料・・・体育施設鍵管理委託料 130,000 円 プール上屋設置委託料 342,540 円 北部・南部農業者トレーニングセンター清掃業務 167,200 円 白馬村 B&G プール運営業務 2,684,000 円 B&G 体育館大規模改修工事管理業務 1,496,000 円 その他委託 459,340 円	【5,279,080 円】
(3)用地賃借料・・・北部トレセン・北部グランド・B&Gプール土地賃借料	【1,116,600 円】
(4)修繕費・・・北部トレーニングセンター屋内壁修繕工事 297,000 円 信濃森上駅前オリンピック看板撤去工事 123,200 円 その他修繕 253,715 円	【673,915 円】
(5)原材料費・・・体育施設等駐車場区画線購入業務	【163,900 円】
3.白馬村 B&G 体育館大規模改修工事	
(1)工事請負費	【79,002,000 円】
4. その他	
(1)B&G 財団負担金 10,000 円	
(2)その他(旅費・AED・モップ使用料、チラシ折込等)	【441,549 円】

予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他 (使用料・ふるさと 基金・B&G 財団助 成 金 等 )	一 般 財 源
91,623,000	91,226,715		37,800,000	43,590,264	9,836,451

9款	教育費	5項	体育施設費	2目	体育施設費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	ウイング21維持管理事業	決算書の頁	P87-88
-----	--------------	-------	--------

事業内容	1. ウイング21の貸出状況(開催イベント:消防出初式、講習会、スポーツイベント、ウイング21友の会による映画鑑賞会、狂言等、その他貸館イベント) 2. ウイング21の維持管理
------	---

実績・成果	1. 使用状況 消防出初式、各種講習会スポーツイベント、映画鑑賞会、文化イベント他																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th colspan="3">利用者数(名)</th> <th colspan="3">使用料(円)</th> </tr> <tr> <th>令和元年</th> <th>令和2年</th> <th>比較</th> <th>令和元年</th> <th>令和2年</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール他</td> <td>31,242</td> <td>15,975</td> <td>△15,267</td> <td>1,076,050</td> <td>536,800</td> <td>△539,250</td> </tr> <tr> <td>多目的室</td> <td>37,401</td> <td>13,165</td> <td>△24,236</td> <td>538,550</td> <td>304,200</td> <td>△234,350</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>47,479</td> <td>21,636</td> <td>△25,843</td> <td>2,567,600</td> <td>622,000</td> <td>△1,945,600</td> </tr> <tr> <td>トレーニングルーム</td> <td>3,635</td> <td>1,552</td> <td>△2,083</td> <td>689,900</td> <td>305,900</td> <td>△384,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>119,757</td> <td>52,328</td> <td>△67,429</td> <td>4,872,100</td> <td>1,768,900</td> <td>△3,103,200</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	利用者数(名)			使用料(円)			令和元年	令和2年	比較	令和元年	令和2年	比較	ホール他	31,242	15,975	△15,267	1,076,050	536,800	△539,250	多目的室	37,401	13,165	△24,236	538,550	304,200	△234,350	アリーナ	47,479	21,636	△25,843	2,567,600	622,000	△1,945,600	トレーニングルーム	3,635	1,552	△2,083	689,900	305,900	△384,000	合計	119,757	52,328	△67,429	4,872,100	1,768,900	△3,103,200
	施設名		利用者数(名)			使用料(円)																																											
		令和元年	令和2年	比較	令和元年	令和2年	比較																																										
	ホール他	31,242	15,975	△15,267	1,076,050	536,800	△539,250																																										
	多目的室	37,401	13,165	△24,236	538,550	304,200	△234,350																																										
	アリーナ	47,479	21,636	△25,843	2,567,600	622,000	△1,945,600																																										
	トレーニングルーム	3,635	1,552	△2,083	689,900	305,900	△384,000																																										
	合計	119,757	52,328	△67,429	4,872,100	1,768,900	△3,103,200																																										
	2. 維持管理費用																																																
(1) ウイング管理・体育施設予約受付における人件費 【7,442,821円】																																																	
(2) 光熱水費等・・・電気 4,119,961円、水道 360,680円、燃料費 931,160円 【5,411,801円】																																																	
(3) 消耗品費・・・アリーナ床用ワックス等 【612,696円】																																																	
(4) 修繕費・・・西下屋R階段部雨漏り修繕工事 344,300円、その他 236,785円 【581,085円】																																																	
(5) 委託料・・・舞台機構設備保守点検 517,000円、調光・映像設備保守点検 385,000円 環境衛生管理法定点検 438,900円、空調機器保守点検 935,000円 消防設備保守点検 363,000円、ウイング21清掃業務委託 660,000円 公共施設エレベーター等保守管理業務 317,900円 自家電気工作物の保安管理業務 682,440円 消火器交換業務 330,000円、その他 1,150,500円 【5,779,740円】																																																	
(6) 備品購入費・・・東芝ノートパソコン1台 【209,000円】																																																	
(7) LED照明借上料 ウイング21LED照明借上げ料9回目/84回 【1,914,660円】																																																	
(8) 工事請負費 ウイング21誘導灯取替工事 【317,900円】																																																	
(9) その他(通信費、コピー機等使用料等) 【503,819円】																																																	

予算額 (円)	決算額 (円)	財源内訳 (円)			
		国県支出金	地方債	その他 (使用料・ふるさと 基金等)	一般財源
22,975,000	22,773,522			1,974,090	20,799,432

9款	教育費	5項	保健体育費	3目	学校給食費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	学校給食センター事業	決算書の頁	P.88～89
-----	------------	-------	---------

事業内容

学校給食は、隣接する中学校へは直接受渡し、北小学校・南小学校へはそれぞれ専用のコンテナ車で運搬している。また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行のため

- ・ 学校3校及び福祉施設へのマスクの作成・提供
- ・ 給食停止期間中の調理員出勤制限
- ・ 中学校の消毒作業支援
- ・ 弁当形式給食の試行

を実施した。

新型コロナウイルス感染症による学校の休業に伴い、給食の提供数も例年と比べ大きく減少した。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを活用し施設の消毒及び感染防止対策を実施した。

学校給食は、地場産推進を目標としている。費用負担は保護者に負担がかからないように、1食あたり小学校で10円、中学校で20円を一般財源で補填している。

区 分		白馬南小学校	白馬北小学校	白馬中学校
年間給食実施数		177 日	183 日	171 日
給食提供人数		105 人	314 人	206 人
給食 費負 担額	内 訳	実質費用	290 円	345 円
		保護者	280 円	325 円
		村	10 円	20 円

子育て支援策として、3人以上の子どもを扶養する世帯の3人目以降の児童生徒の給食費の減免を行った。

区 分	白馬南小学校	白馬北小学校	白馬中学校	計
対象者数	12 人	45 人	3 人	60 人
減免額合計	2,986,620 円			

※ふるさと白馬村を応援する基金を充当した。

給食用食材の購入は、給食用物資納入業者登録制度に基づき、登録業者から地場産物を優先して購入するように図っている。

対全件	県外産の割合	県内産の割合	大北産の割合	白馬産の割合
	54%	<b>46%</b>	25%	25%
対長野県産		その他県内産	大北産の割合	白馬産の割合
		45%	<b>55%</b>	27%
対大北産			その他大北産	白馬産の割合
			52%	<b>48%</b>

給食センターでは年間3,054.5kgの生ごみが発生した。この生ごみの処理はセンター敷地内に設置した生ごみ処理機で処理し、ごみ処理委託料の軽減とともに、環境保護への取り組みを図っている。

**1 総事業費 90,541,361円****2 主食の状況**

週5日の内米飯4日、麺類(H27年度より村内企業のものを使用)とパンを隔週で1日ずつ。

**3 職員の状況 30,359,691円**

区 分	人員(名)	金額(円)
栄養士 (フルタイム会計年度任用職員)	1	2,812,800
常勤調理員 (パート会計年度任用職員)	10	27,546,891
臨時・代替調理員・パン搬送	4	

※栄養教諭1、栄養士1名体制で、栄養教諭は県費職員

**4 維持費 55,185,258円**

(1) 消耗品費 2,300,364円

(2) 燃料費等 8,318,076円

区 分	金額(円)
燃料費	950,231
光熱水費	7,367,845

(3) 修繕費 182,600円

洗浄機の食器取り出し口の照度が低く、汚れ落ちの確認ができないため、予備照明を追加した。

(4) 賄材料費 36,408,056円 (給食原材料)

(5) 委託料 6,992,942円

区 分	金額(円)	主な内訳	金額(円)
施設管理 委託料	4,867,500	自家用電気工作物保安管理	562,320
		機械設備保守点検業務	3,041,500
		厨房(調理)機器保守	820,800
		警備委託	149,040
		自動ドア保守料	132,000
		その他	161,840
業 務 委託料	2,125,442	衛生検査	803,660
		消毒等業務	1,313,400
		その他	8,382

(6) 備品購入費 126,500円

昇降式運搬車用ステンレス製かぶせ台



(7) 負担金補助金 856,720 円

内 容	金額 (円)
学校徴収金システム運用保守費用負担金	840,720
学校給食会等負担金	16,000

**5 扶助費 3,974,374 円**

区 分	白馬南小学校		白馬北小学校		白馬中学校	
	対象 人数	金額 (円)	対象 人数	金額 (円)	対象 人数	金額 (円)
準要保護児童生徒援助 (給食費全額)	9	402,784	33	1,630,045	29	1,456,325
特別教育就学児童生徒奨励 (給食費 1/2)	4	77,560	8	182,700	9	224,960

※ふるさと白馬村を応援する基金を充当した。

**6 各種委員会の状況**

- 学校給食センター献立委員会 (偶数月に開催)  
令和2年度は、コロナウイルス感染症のため4月の開催を見送った。
- 学校給食センター運営委員会 (通常は年1会開催)  
給食センターの運営方法全般について検討する。6月に開催。

**7 その他 1,022,038 円**

役務費 477,934 使用料及び賃借料 504,504 公課費 39,600

財源内訳の「その他」

学校給食費負担金： 31,922,965円

ふるさと白馬村を応援する基金： 6,460,000円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (上記のとおり)	一 般 財 源
91,108,000	90,541,361	930,000	0	38,382,965	51,228,396

9款	教育費	5項	保健体育費	3目	学校給食費
----	-----	----	-------	----	-------

事業名	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	決算書の頁	P. 89
-----	---------------------------	-------	-------

事業内容	<p>学校給食センター事業では、学校保健特別対策事業や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しながら、感染症予防対策を実施した。</p> <p>主な事業内容は、マスク等感染予防消耗品、アクリルパーティションや加湿器の整備、給食センター全体の消毒作業を行った。なお、このページの事業費は学校給食センターの内数を再掲した。</p>
------	--

実績・成果	<p><b>【学校保健特別対策事業】</b>  <b>感染症対策のためのマスク等購入事業 総事業費 326,357円</b>          国庫補助金 105,000円 補助率 1/2          全国的に不織布マスクが品薄状況となったため、学校休業期間中の給食センターで調理員がペーパータオルを使用したマスクを作り各学校に予備用として配布した。また、給食配膳、下膳時の感染症対策として、給食当番が使用する使い捨て手袋を整備し各校に配布した。なお、調理員は中学校の教室等の消毒作業にも従事した。</p> <p>マスクの配布数 1,980枚          配布の内訳 南小 520枚 北小 740枚 中学 560枚          包括支援センター 80枚 社協 80枚</p> <p><b>【学校給食費返還等事業】</b>          学校休業に伴う給食の停止に際して生じた、給食費の返還や食材のキャンセルによる違約金、仕入れ食材の廃棄等に要した費用を補填する事業で、H31～R2までが対象で一括交付されている。決算は2年度に渡る補助金なので一般財源としている。</p> <p>休業等に関して要した経費 263,011円          (H31 64,128円 R2 198,883円)          学校臨時休業対策費補助金 197,000円          一般財源 66,011円</p> <p><b>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金事業】</b>  <b>総事業費 922,092円</b>(交付金充当事業費 825,000円)          給食センター事務室や控室における感染予防対策と施設の消毒を行った。          なお、施設の消毒費用 825,000円に交付金を活用した。</p> <p>アクリル板、加湿器、サーキュレーター等 97,092円          施設消毒委託料 825,000円</p> <p>国庫補助金(学校保健特別対策事業費補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)を活用することで、必要な個所に必要な時期に対策を施すことができた。</p>
-------	---



予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
1,512,000	1,447,332	930,000			517,332

10 款	災害復旧費	2 項	公共土木施設 災害復旧費	2 目	現年発生公共土木 施設災害復旧費
------	-------	-----	-----------------	-----	---------------------

事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業 (繰越)	決算書の頁	P.90
-----	--------------------------	-------	------

事業内容	<p>24 時間雨量が 80mmを超えた場合や地震等異常な天然現象により公共土木施設に生じた災害を復旧する事業。</p> <p>国土交通省・総務省による災害査定を申請し採択を受けた場合に公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法により国から事業費の 2/3(0.667)が交付される。</p>				
	起債	補助	現年	充当率 100%	交付税算入率 95%
			過年	充当率 90%	交付税算入率 95%
	単独		充当率 100%	交付税算入率 47.5-85.5%	

実績	令和元年 7 月 25 日梅雨前線豪雨による災害				
	1. 村道 0206 号線 菅1 (補助) L=34.5m				
		植生シート工	A=830m <sup>2</sup>	吹付法枠工	A=572m <sup>2</sup> 水路工 L=66m
		工事契約額			43,956,000 円
		令和元年度精算額(前払い)			16,940,000 円
			令和 2 年度精算額	27,016,000 円	
	2. 村道 3032 号線 菅2 (補助) L=10m				
		吹付法枠工	A=159m <sup>2</sup>		
		工事契約額			8,052,000 円
		令和元年度精算額(前払い)			2,500,000 円
			令和 2 年度精算額		5,552,000 円
	3. 上記 設計監督委託料				162,000 円
	4. 村道 0206 号線 菅1 (単独工事分)				253,000 円

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
36,227,000	32,983,000	21,722,822	10,800,000		460,178

11 款	公債費	1 項	公債費	1 目	元金
------	-----	-----	-----	-----	----

事業名	公債元金事業	決算書の頁	P. 90
-----	--------	-------	-------

事業内容	長期借入金の元金償還に係る事業		
------	-----------------	--	--

実績・成果	1. 起債の償還額		
	(単位：円)		
	地方債名	元金償還額	R 2 末残高
	公共事業等債	16,832,446	245,737,342
	一般単独事業債	124,629,171	1,703,690,032
	教育・福祉施設等整備事業債	97,408,472	1,787,931,274
	辺地対策事業債	41,481,440	152,383,824
	災害復旧事業債	88,774,564	513,263,122
	臨時財政対策債	190,254,591	2,105,372,639
	その他	51,108,592	606,933,492
合計	610,489,276	7,115,311,725	
<p>償還元金は、学校教育施設等整備事業債の元金償還開始などにより前年度比 27,830,903 円 (4.8%) 増加となりました。ですが、健全財政堅持のため新規発行債を抑制したことにより、令和2年度末現在高は 29,337,277 円 (0.4%) 減少しています。</p>			

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (村住貸付収入・ 土地改負担金)	一 般 財 源
610,529,000	610,489,276			4,648,390	605,840,886

11 款	公債費	1 項	公債費	2 目	利子
------	-----	-----	-----	-----	----

事業名	公債利子事業	決算書の頁	P. 90
-----	--------	-------	-------

事業内容	長期借入金の利子及び一時借入金の利子償還に係る事業
------	---------------------------

実績・成果	<p>1. 長期債利子 【27,273,230 円】 前年度比 4,660,633 円(14.6%)減少</p> <p>2. 一時借入利子 【332,054 円】(一時借入金残高ピーク時 400,000,000 円) 前年度比 266,466 円(406.3%)増加</p> <p>一時借り入れについては、低い利率を提示した村内金融機関から借り入れを行っています。</p>
-------	--

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 ( )	一 般 財 源
27,629,000	27,605,284				27,605,284

12 款	諸支出金	1 項	基金費	1-5 目	各種基金
------	------	-----	-----	-------	------

事業名	基金事業	決算書の頁	P. 90-91
-----	------	-------	----------

事業内容

財政調整基金、減債基金、ふるさと納税（ふるさと白馬村を応援する基金）、地域情報化施設基金、企業版ふるさと納税（ふるさと白馬ひとつくり基金）への積立に係る事業

実績・成果

1. 基金積立 (単位:円)

基金名	積立額	内利子分	R 2 末基金残高
財政調整基金	130,497,706	497,706	877,042,743
減債基金	173,869	173,869	217,387,770
ふるさと白馬村を応援する基金	260,664,104	398,943	512,206,338
スポーツ振興	49,660,854	115,254	153,012,470
環境保全	100,682,366	86,066	131,229,834
国際交流	6,794	6,794	5,099,306
教育力向上	10,398,576	28,906	25,986,825
白馬高校	35,187,767	85,847	57,579,460
国際観光地	33,313,128	17,008	66,024,424
子育て支援	23,674,699	52,469	53,043,099
事業者支援	3,113,200	1,669	12,344,100
地域力向上	4,626,720	4,930	7,886,820
ふるさと白馬ひとつくり基金	6,003,208	3,208	15,763,208
地域情報化施設基金	6,421,691	14,356	23,124,291
合計	403,760,578	1,088,082	1,645,524,350

2. 財政調整基金

前年度に比べ年度末残高は 195,497,706 円増加しています。要因としては、令和2年度も一般会計への繰り入れをせず、令和元年度の余剰金処分として 65,000,000 円と令和2年度一般会計から 130,000,000 円積み立てたことなどによるものです。

3. ふるさと納税

前年度に比べ、ふるさと白馬村を応援する基金の年度末残高は 21,155,896 円減少しました。基金条例の改正により寄附金を基金への積み立てとふるさと納税事業の特定財源に充当先を変更したためです。

予算額 (円)	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他 (寄附金、利子等)	一 般 財 源
403,763,000	403,760,578			270,760,578	133,000,000

# **国民健康保険事業勘定 特別会計**

## 1 概況

平成 30 年度から国民健康保険事業の運営が、市町村から都道府県に移行したため、保険事業費について長野県から給付費等の経費（診療費等）が交付金として交付され、白馬村からは納付金として、国民健康保険の医療費分、後期高齢者支援金等分、介護給付金分を長野県に納付している。

なお、国民健康保険の資格の取得・喪失の届出の事務処理、保険証の交付については、従前と同様に白馬村が担っている。

### ○保険料(税)水準の統一に向けた動き

長野県では国保料(税)水準等を統一することを視野に、現状の課題を中期的に改革するための「国民健康保険運営の中間的改革方針(保険料水準等の統一に向けたロードマップ)」を策定した。原則二次医療圏での医療費指数の統一と、保険料(税)の算定方式や応益割額のばらつきといった課題があり、一定程度揃えていく必要があることから、令和9年度までに資産割の廃止と応益割額を二次医療圏の標準保険料率の応益割額に近づけていくことが示された。令和3年度から8年度にかけ、県と市町村の事務職員等から構成されるワーキンググループによる取組の検証や引き続き検討を要する事項の協議が行われることとなっており、今後の動向を注視していく。

### ○白馬村の概況

当村の基幹産業である観光関連産業は、自営業や季節労務に従事する者が多いことから、全世帯の4割以上が国保加入世帯となっている。

また、平成 29 年頃からは冬期間(12 月から3月)に多くの外国籍の者が転入し、それに伴い国民健康保険への加入が増加していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により外国籍の者が減少となった。国内転居の外国籍の者もいることから、外国籍の者を含む被保険者に対し、引き続き制度及び保険証の適正利用、国保税の納入についての周知を推進する。

国保税は、所得水準、被保険者数の変動等により、現年度分の調定額は前年度より減少(滞納繰越分も減少、全体でも減少)し、徴収率は新型コロナウイルス感染症の影響により集客に大きな影響があったものの、現年度分で 96.2%と、前年比 1.4 ポイント減にとどまった。滞納繰越分を含む全体の徴収率は 90.3%と前年比 2.1 ポイント減となった。

保険給付費は、一般被保険者及び退職被保険者の療養費が大幅に減少し前年度比 79,822 千円の減、また白馬村全体の医療費総額は前年比 98,595 千円の減となった。

また保健事業においては、健康増進、医療費の抑制のため、引続き特定健診、若年健診の受診率の向上、保健指導等への取り組みを推進するとともに、医療費適正化の観点から、令和2年度においても医療費通知とジェネリック医薬品利用差額通知等を継続して実施し、保険者努力支援制度等による助成を受けた。第三者行為に該当する疑いのある者への勧奨通知の実施も始めた。

### ○マイナンバーカードへの健康保険証機能の追加

令和 3 年 3 月からマイナンバーカードが健康保険証として使用できるようになったため、令和元年から電算システムの改修に着手し、マイナンバーカードを健康保険証として使用できるようになっている。しかし、保険医療機関、薬局のハード面の整備が必要なことから、国としては全国的な運用は令和 5 年 3 月からとしている。現在使用している紙の健康保険証も当分の間は継続となる。

令和2年度から 70 歳から 74 歳の方が持つ高齢者受給者証が保険証と一体化されたことにより、8月1日の保険証更新時に、一体化した保険証の交付を行った。



### ○退職被保険者

廃止された退職者医療制度の経過措置として、平成27年3月末(平成26年度末)で同制度の資格を有する者については、65歳到達時まで退職被保険者として区分してきたが、令和元年度末で該当者がいなくなった。診療報酬の処理、保険者間調整などで、時効である2年間は発生する。

## 2 国保世帯数及び被保険者の状況

令和2年度末の国保世帯数は1,712世帯で、加入率は42.8%で前年比4ポイント減少。

被保険者数は2,850人で、加入率は33.3%で1.8ポイント減少した。

		H28年度末	H29年度末	H30年度末	R元年度末	R2年度末
世帯数 単位:世帯	国保	2,024	2,026	2,110	1,925	1,712
	全体	4,051	4,099	4,267	4,145	3,998
	加入率	50.0%	49.4%	49.4%	46.4%	42.8%
被保険者数 単位:人	国保	3,445	3,351	3,367	3,089	2,850
	全体	9,028	8,947	9,007	8,795	8,556
	加入率	38.2%	37.5%	37.4%	35.1%	33.3%

## 3 決算状況

歳入総額は977,250,594円で、前年度に比べ110,040,183円の減、歳出総額は954,786,707円で、前年度に比べ114,022,691円の減となった。歳入歳出差引額は22,463,887円で実質収支も同額である。このうち地方財政法第233条の2の規定により9,241,000円を国民健康保険財政調整基金に繰り入れたため、令和3年度への繰越金は13,222,887円となった。

令和元年度末の国民健康保険財政調整基金残高は182,408,624円で、令和2年度では財政調整基金から9,214,000円を国保会計に繰り入れ、財政調整基金利子129,908円と国民健康保険財政調整基金条例第2条に基づき、令和元年度繰越金の2分の1以上の額9,241,000円を積み立て、令和2年度中の財政調整基金への積立額は156,908円で、令和2年度末残高は182,565,532円となった。

### 【歳入】

(単位:円)

科 目	令和元年度収入額	令和2年度収入額	割合	前年比
国民健康保険税	250,277,722	225,771,614	23.1%	△24,506,108
国庫支出金	0	4,631,000	0.5%	4,631,000
県支出金	681,568,265	606,776,283	62.1%	△74,791,982
財産収入	162,283	129,908	0.0%	△32,375
繰入金	106,683,373	104,473,008	10.7%	△2,210,365
繰越金	39,923,509	18,481,379	1.9%	△21,442,130
諸収入	8,675,625	7,773,402	0.8%	△902,223
基金繰入金	0	9,214,000	0.9%	9,214,000
合 計	1,087,290,777	977,250,594	100%	△110,040,183

## 【歳出】

(単位：円)

科 目	令和元年度支出額	令和2年度支出額	割合	前年比
総 務 費	23,175,431	24,217,448	2.5%	1,042,017
保 険 給 付 費	672,273,161	592,481,962	62.2%	△79,791,199
国民健康保健事業費納付金	329,876,447	316,435,988	33.1%	△13,440,459
保 健 事 業 費	15,378,601	15,674,356	1.6%	295,755
基 金 積 立 金	20,124,283	129,908	0.0%	△19,994,375
諸 支 出 金	7,981,475	5,847,045	0.6%	△2,134,430
合 計	1,068,809,398	954,786,707	100%	△114,022,691

次年度への繰越金 13,222,887 円      基金保有額 182,565,532 円

## 4 国民健康保険税の状況

令和2年度現年課税分調定額は230,141,900円で前年度に比べ20,462,800円の減となった。滞納繰越分の調定額は19,947,628円で、前年度に比べ385,943円の減となった。

徴収率は、現年課税分で96.2%(前年比1.4ポイント減)、滞納繰越分で22.3%(前年比5.7ポイント減)、全体で90.3%(前年比2.1ポイント減)となった。

(単位:円)

		調定額	収納額	不納欠損額	未収額	徴収率
一般分	現年課税分	230,141,900	221,292,908	0	8,848,992	96.2%
	滞納繰越分	19,899,328	4,430,406	1,361,006	14,107,916	22.3%
	計	250,041,228	225,723,314	1,361,006	22,956,908	90.3%
退職分	現年課税分	—	—	—	—	—
	滞納繰越分	48,300	48,300	0	0	100%
	計	48,300	48,300	0	0	100%
合 計	現年課税分	230,141,900	221,292,908	0	8,848,992	96.2%
	滞納繰越分	19,947,628	4,478,706	1,361,006	14,107,916	22.5%
	計	250,089,528	225,771,614	1,361,006	22,956,908	90.3%

## 【新型コロナウイルス感染症の影響による国保税の減免】

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に対する国保税の減免を行った。申請者数は65名、うち承認が55名で、9,318,500円の減免を行った。この減免に対する費用の財政支援として、10分の6相当分を国庫補助金の国民健康保険災害等臨時特例補助金、10分の4相当分を県補助金の特別調整交付金として交付され、令和2年度は補助金申請時点(令和2年11月13日)の減免額5,560,300円の実績により、5,559,000円の補助金(千円未満切り捨て)が交付された。

なお、令和2年度の補助金交付申請以降に減免された国保税に対する財政支援は令和3年度の特別調整交付金により支援される予定である。

(単位:円)

		医療保険給付 諸費	介護保険制度 運営推進費	合 計
国保税減免額		4,835,600	724,700	5,560,300
国・県の支出金		4,835,000	724,000	5,559,000
内 訳	国民健康保険災害等臨時特例補助金 (国庫補助金 6/10 相当分)	2,901,000	322,000	3,223,000
	特別調整交付金 新型コロナウイルス感染症分 (県補助金 4/10 相当分)	1,934,000	402,000	2,336,000

## 5 保険給付の状況

保険給付費は 592,481 千円で前年度と比べ 79,791 千円の減額となった。

退職被保険者の資格を持つ者は令和元年皆無となったが、診療報酬の計算は月遅れになるため療養給付費が発生している。

被保険者の減少もあるが、県に報告している事業状況報告でも、令和元年度に比べ、入院・外来・調剤がすべて減少しており新型コロナウイルス感染症予防による診療控えが見受けられる。併せて近年、保健師が重症化予防にも力を入れており、特定疾病等の重症患者の増加もなく、予防の効果もあると考える。

### (1) 保険給付の状況

区分	給付種別	令和2年度		前年比		概 要
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	
一般被 保険者	療 養 給 付 費	29,533	510,931,414	△4,678	△69,083,246	医科・歯科・調剤等
	療 養 費	999	5,832,972	△4	△506,529	柔道整復師施術費・補装具等
	高 額 療 養 費	1,280	68,690,050	△66	△7,582,499	自己負担限度額超過分
	移 送 費	0	0	0	0	移送に要する費用
	高額介護合算療養費	0	0	0	0	医療・介護の合算限度額超過分
	出 産 育 児 一 時 金	9	3,764,000	△5	△2,118,940	産科医療補償制度加入 42 万円
	葬 祭 費	7	210,000	△3	△120,000	1 件当たり 3 万円
	精 神 給 付 金	890	1,072,789	△7	17,357	精神通院分の給付
退 職 被 保 険 者	療 養 給 付 費	1	2,387	△67	△409,689	医科・歯科・調剤等
	療 養 費	4	35,325	△12	△19,054	柔道整復師施術費・補装具等
	高 額 療 養 費	0	0	0	0	自己負担限度額超過分
	移 送 費	0	0	0	0	移送に要する費用
	高額介護合算療養費	0	0	0	0	医療・介護の合算限度額超過分
小 計		37,723	590,538,937	△4,167	△79,822,600	
審 査 支 払 手 数 料			1,943,025		31,401	国保連等への手数料
合 計			592,481,962		△79,791,199	

## (2) 医療費

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
白馬村の医療費総額	823,234,455	836,165,128	829,439,564	793,637,180	695,041,453
一人当たりの医療費	244,665	255,847	256,713	250,773	240,615
県内順位	75位	72位	73位	75位	73位

※令和2年度は長野県国民健康保険団体連合会の速報値(令和3年7月9日現在)

## 6 保健事業の状況

## (1) 特定健康診査等事業(メタボリックシンドロームの早期発見)

特定健診受診料の無料化を継続実施

- 特定健診 該当者(年度末年齢40～74歳) 1,840名(前年比64名減)
- 受診者 1,079名(前年比72名増)
- 受診率 58.6%(前年比5.7ポイント増)
- (令和元年度受診率 52.9%)

- 特定保健指導 積極的指導該当者/初回実施者 27名/19名
- 動機付け指導該当者/初回実施者 77名/69名

特定健診結果提出代行業務を委託

特定健診に準ずる検査結果提出代行業務を大北医師会との契約により、大北地域の医療機関をかかりつけ医として通院する者の検査結果の提供を受け、保健指導につなげた。

- 結果代行件数 42件 (令和元年度:44件、2件の減)

## (2) 若年健診

生活習慣病の一次予防に重点を置いた取組として、特定健診対象前の30代被保険者を対象とし、特定健診の検査項目による健診を実施。

健診結果は個別に保健師より説明をし、必要に応じて保健指導を行った。

これにより、早期からの受診意識の高揚と保健指導等により発症予防のための生活習慣改善の機会づくりにつながった。

- 若年健診 対象者 30代被保険者 334名(令和2年4月1日現在の有資格者)
- 受診者 66名(前年比18名増)
- 受診率 19.8%(前年比5.6ポイント増)
- (令和元年度受診率 14.2% 受診者48名)

## (3) 人間ドック受診補助金

被保険者の負担軽減を図ることにより、健康増進並びに疾病の予防、早期治療の推進を図った。

- 令和2年度受診者補助 :1人あたり20,000円を上限(補助率 3分の2)
- :脳ドックも受診した場合は10,000円を上乗せ補助
- 172名 3,610,000円を補助 (令和元年度:193名 3,973,000円、19名の減)

# 後期高齢者医療特別会計

## 1 事業の概要

老人保健医療制度にかわり平成 20 年4月から制度化された 75 歳以上の高齢者を対象とした医療制度で、保険者は長野県後期高齢者医療広域連合。

令和3年3月31日現在の白馬村の被保険者数は 1,322 名で、被保険者数は 6 年ぶりに減少した。

後期高齢者医療制度では、保険者である長野県後期高齢者医療広域連合と市町村とで事務を分担し制度を運営しており、広域連合では保険料の決定・医療給付・保険証の作成を、市町村は、保険料の徴収・申請や届出の受付・保険証の交付・納付された保険料の保険者への納付が主なものとなっている。

また、令和元年度から令和 2 年度までの 2 年間、長野県後期高齢者医療広域連合に主査級職員 1 名を派遣し、派遣職員の人件費については、広域連合から負担金として納付されている。

## 2 被保険者の状況

(単位:名)

	白馬村			長野県全体			
	令和2年 3月31日 現在	令和3年 3月31日 現在	前年比	令和2年 3月31日 現在	令和3年 3月31日 現在	前年比	
被保険者数	1,331	1,322	△9	356,748	355,282	△1,466	
一部負担金 割合	1割の者	1,258	1,242	△16	336,299	335,323	△976
	3割の者	73	80	7	20,449	19,959	△490
障害認定者	8	7	△1	4,286	4,167	△119	
旧被扶養者	16	7	△9	2,968	2,484	△484	

※旧被扶養者:後期高齢者医療制度の被保険者となる日(75歳の誕生日)の前日において健康保険法、船員保険法、国家公務員共済組合法、地方公務員等共済組合法の規定による被扶養者であった後期高齢者医療制度の被保険者

被保険者数の推移(各年度末)

(単位:名)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
長野県全体	327,726	333,890	339,990	345,188	352,126	356,748	355,282
増減数	—	6,164	6,100	5,198	6,938	4,622	△1,466
白馬村人口	9,120	9,156	9,028	8,947	9,007	8,795	8,556
被保険者数	1,208	1,244	1,252	1,260	1,296	1,331	1,322
増減数	—	36	8	8	36	35	△9
人口比率	13.2%	13.6%	13.9%	14.1%	14.4%	15.1%	15.5%

## 3 医療費の状況(長野県後期高齢者広域連合の年間集計資料 1 から抜粋)

		令和元年度	令和2年度	前年比
総医療費	白馬村	981,348,001 円	995,117,024 円	13,769,023 円
	長野県全体	297,258,181,764 円	291,918,009,558 円	△5,340,172,206 円
1人当り医療費	白馬村	748,549 円	751,599 円	3,050 円
	長野県全体	838,973 円	818,902 円	△20,071 円

#### 4 令和2年度後期高齢者医療特別会計決算について

##### (1) 決算額

区 分	令和元年度	令和2年度	前年比
歳 入	98,056,396 円	101,696,675 円	3,640,279 円
歳 出	97,634,202 円	101,275,181 円	3,640,979 円
収 支	422,194 円 (翌年度へ繰越)	421,494 円 (翌年度へ繰越)	△700 円

##### (2) 歳入内訳

区 分	令和元年度	令和2年度	前年比
後期高齢者医療保険料	75,110,100 円	77,647,300 円	2,537,200 円
繰 入 金	22,784,956 円	23,560,381 円	775,425 円
一般会計繰入金	1,515,000 円	2,234,322 円	719,322 円
保険基盤安定繰入金	21,269,956 円	21,326,059 円	56,103 円
繰 越 金	152,440 円	422,194 円	269,754 円
諸 収 入	8,900 円	66,800 円	57,900 円
雑 入	0 円	0 円	0 円
合 計	98,056,396 円	101,696,675 円	3,640,279 円

※諸収入には、長野県後期高齢者広域連後からの過年度還付金のほか延滞金が含まれる。

##### (3) 歳出内訳

区 分	令和元年度	令和2年度	前年比
徴 収 費	1,061,336 円	1,712,322 円	650,986 円
保 健 事 業 費	698,000 円	522,000 円	△176,000 円
長野県後期高齢者医療広域連合負担金	95,865,966 円	98,975,059 円	3,109,093 円
過年度還付金	8,900 円	65,800 円	56,900 円
合 計	97,634,202 円	101,275,181 円	3,640,979 円

##### (4) 令和2年度保険料率等 所得割:8.43%(増額) 均等割:40,907円(据置き)

所得割、均等割は、長野県後期高齢者医療広域連合が2年毎に見直し

##### (5) 収納状況

令和2年度現年度賦課分調定額は78,334,200円で前年度に比べ3,311,800円増加した。

徴収率は、98.6%(前年度比1.0ポイント減)となった。

徴収率=(収納額-還付未済額)÷調定額 (単位:円)

区 分	調定額	収納額	還付 未済額	不 納 欠損額	未収額	徴収率
特別徴収保険料	47,925,400	47,925,400	0	0	0	100%
普通徴収保険料	30,408,800	29,588,200	22,600	0	820,600	97.3%
現年度賦課分計	78,334,200	77,513,600	22,600	0	820,600	99.0%
過年度保険料	401,900	133,700	0	0	268,200	
合 計	78,736,100	77,647,300	22,600	0	1,088,800	98.6%

(6) 保険料軽減該当者

区 分	所得割軽減	7.75 割軽減	7割軽減	5 割軽減	2 割軽減
人 数	0 名	350 名	244 名	202 名	170 名

(7) 長野県後期高齢者医療広域連合負担金内訳

区 分	令和元年度	令和2年度	前年比
保険基盤安定分	21,076,166 円	21,326,059 円	249,893 円
保 険 料 分	74,789,800 円	77,527,500 円	2,737,700 円
特別徴収分	44,277,100 円	47,925,400 円	3,648,300 円
普通徴収分	30,512,700 円	29,602,100 円	△910,600 円
過年度保険料分	0 円	121,500 円	121,500 円
合 計	95,865,966 円	98,975,059 円	3,109,093 円

## 5 保健事業の実施

長野県後期高齢者医療広域連合からの補助金を得ながら下記事業を実施した。

- 人間ドック補助事業 29 名 522,000 円(18,000 円上限/人)(R1:36 名)  
後期高齢者人間ドック事業 補助金額 437,172 円
- 後期高齢者健康診査の実施 242 名受診(R1:243 名)  
後期高齢者健康診査事業補助金 1,331,000 円 (一般会計健康福祉課事業に充当)
- 健康指導の実施  
健康診断結果の返却時、及び人間ドックの補助金申請時に保健師より健康指導を実施し、高齢者の健康状態の維持に努めた。



# **農業集落排水事業特別会計**

## 1. 事業の概要

野平地区農業集落排水事業は、東部地区(平成26年4月1日、公共下水道へ統合)に続き、2番目の処理区として、平成13年度に事業採択され、平成16年度に供用を開始した。

経理状況は、歳入総額 4,131,007 円、歳出総額 4,120,058 円、収支差引額 10,949 円(翌年度へ繰越)となった。

## 2. 整備状況

	野平地区
処理対象汚水	生活排水・し尿
処 理 対 象	水洗化人口 50 人 (計画人口 100 人)
処 理 方 式	担体流動方式
汚 水 処 理 量	計画日最大: 27 m <sup>3</sup> /日
全 体 事 業 費	166,510 千円
事 業 内 容	<b>【処理施設】</b> 敷地面積 694 m <sup>2</sup> 、構造 RC 建築床面積 54.76m <sup>2</sup> 事業費 69,969 千円 <b>【管路施設】</b> 管路延長 1,091.8m PRP管 φ 200 mm・φ 150 mm 事業費 96,541 千円

## 3. 汚水処理人口普及状況

区 分	令和元年度	令和2年度
行政区域内人口 a	8,795人	8,556人
整備人口	8,630人	8,488人
公共下水道 b	6,634人	6,569人
うち浄化槽設置	1,139人	1,153人
農業集落排水 c	55人	52人
浄化槽	1,941人	1,867人
普及率(公共下水道・農業集落排水) (b+c)/a	76.05%	77.38%
処理区域別水洗化人口 d	8,615人	8,475人
公共下水道	6,623人	6,558人
うち浄化槽設置	1,139人	1,153人
農業集落排水	51人	50人
浄化槽	1,941人	1,867人
水洗化率 d/a	97.95%	99.05%

#### 4. 汚水処理施設の状況

施設の汚水流入量及び汚泥発生量

	令和元年度	令和2年度	増減率(%)
汚水流入量(m <sup>3</sup> )	4,910m <sup>3</sup>	4,998m <sup>3</sup>	1.8%
汚泥発生量(t)	14.0 t	29.0 t	107.1%

#### 5. 決算状況及び成果

(1) 歳入〔決算書の頁 P.118〕

決算額〔収入済額 前年度対比表〕

(単位:円・%)

年度 区分(款)	令和元年度	令和2年度	対前年度 増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
使用料及び手数料	909,500	970,940	61,440	6.8	23.5
繰入金	2,797,000	3,096,000	299,000	10.7	74.9
繰越金	10,085	10,760	675	6.7	0.3
諸収入	52,987	53,307	320	0.6	1.3
合計	3,769,572	4,131,007	361,435	9.6	100.0

※ 「使用料及び手数料」の内訳は使用料現年分 970,940 円である。

(2) 歳出〔決算書の頁 P.119～120〕

① 決算額〔支出済額 前年度対比表〕

(単位:円・%)

年度 区分(款)	令和元年度	令和2年度	対前年度 増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
農業集落排水事業費	1,974,360	2,335,606	361,246	18.3	56.7
公債費	1,784,452	1,784,452	0	±0.0	43.3
合計	3,758,812	4,120,058	361,246	9.6	100.0

② 処理場及び管渠維持管理における主な事業内容及び成果〔決算書の頁 P.119〕

(単位:円)

区 分		事業費	事業内容・成果
需用費	処理場電気料	214,498	
	処理場水道料	20,990	
役務費	汚泥処理料	211,627	汚泥清掃運搬 3 回分
委託料	保守管理委託料	150,000	受託者:野平地区排水処理組合
	運転維持管理委託料	1,678,600	受託者:水 ingAM(株)

## 6. 地方債借入先別及び利率別現在高の状況

[決算書の頁 P.119]

(単位:円)

借入先	令和元年度 現在高 A	令和2年度 発行額 B	令和2年度 償還元金額 C	差引現在高 (A+B-C) D
1. 政府資金(財政融資)	13,508,060		1,087,731	12,420,329
2. 地方公営企業等金融 機構	5,491,613		409,407	5,082,206
3. 村内の金融機関				
合 計	18,999,673		1,497,138	17,502,535

借入先	Dの利率別内訳			
	1.0%未満	1.0%以上 2.0%未満	2.0%以上 3.0%未満	3.0%以上 4.0%未満
1. 政府資金(財政融資)	1,439,656	6,479,360	4,501,313	
2. 地方公営企業等金融 機構		185,234	4,896,972	
3. 村内の金融機関				
合 計	1,439,656	6,664,594	9,398,285	